

教育要覧

平成 2 8 年 版

名古屋市教育委員会

教 育 要 覧

平 成 2 8 年 版



名 古 屋 市 教 育 委 員 会

教 育 委 員 会



杉 崎 教育長



梶 田 委 員



福 谷 委 員



小 栗 委 員



野 田 委 員



船 津 委 員

(平成28年7月1日現在)

ま え が き

近年において、少子化・高齢化やグローバル化の進展など、教育を取り巻く環境は変化し続けており、教育行政には、その大きな流れに的確に対応しながら「将来を担う人づくり」という使命を果たしていくことが求められています。

本市教育委員会では、これまでの取り組みの成果を継承しつつ、「なごやっ子の“学び”はいかにあるべきか」、「子どもたちの“学び”をどう担うのか」、「生涯を通じた“学び”へどう接続するか」といった大きなテーマのもと、教育現場が直面している課題の解決を図るため、平成27年3月に、新しい「名古屋市教育振興基本計画」を策定しました。

この計画を通して、本市教育行政を取り巻く複雑・多様な現状に対して適切に対応していくために、名古屋市立幼稚園、小・中・特別支援・高等学校段階における教育・育成に関する施策及び生涯学習全般における学びの支援に関する施策に取り組んでいます。

この「教育要覧（平成28年版）」では、最新の統計資料とともに、平成27年度の教育のあゆみを集録し、名古屋市の教育の現状を広く紹介しています。

本書を通じて、本市の教育をご理解いただき、より一層のご支援とご協力をいただければ幸いです。

平成28年9月

名古屋市教育委員会

目 次

ま え が き

第1部 教 育 行 財 政

第1章 教 育 行 政	1
1 平成27年度本市教育行政のあらまし	1
2 教 育 委 員 会	3
3 総合教育会議（ナゴヤ子ども応援会議）	4
4 条例規則等の制定改廃	5
5 附属機関その他の機関	8
6 教育委員会事務局及び学校以外の教育機関等	16
7 教育委員会所管施設一覧	28
8 広報広聴調査活動	28
9 企画調整事務	31
10 争 訟 事 務	32
第2章 教 育 財 政	34
1 平成28年度教育関係予算の概要	34
2 新規・拡充事業及び重点施策	37
3 小・中学校標準運営費	39
4 マイスクールプラン	40
第3章 計 画 の 推 進	41
1 名古屋市教育振興基本計画	41
2 名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針	42
3 小規模校対策に関する実施計画	43
4 名古屋市不登校対策基本構想	44
5 魅力ある市立高等学校づくり推進基本計画	45
6 第2次名古屋市子ども読書活動推進計画	46
7 名古屋市スポーツ推進計画	47
8 「歴史の里」基本計画	48

第2部 学校施設、設備、管理、なごや子ども応援委員会

第1章 校（園）地及び校（園）舎の実態	50
1 学校施設の整備	50
2 学校施設の現況	52
3 学校の通学区域の変更	71

4 小規模校対策	71
第2章 学校設備の充実状況	72
第3章 学校施設の管理	73
1 学校施設の機械警備	73
2 学校（園）近隣協力員	73
第4章 なごや子ども応援委員会	74
1 趣旨	74
2 各委員会の構成	74
3 設置ブロックと設置校・SC配置校	74

第3部 幼児、児童、生徒、教職員

第1章 幼児、児童、生徒	75
1 幼児、児童、生徒数	75
2 児童・生徒表彰件数	78
3 進路状況	79
4 児童・生徒の長期欠席と就学免除・猶予状況	81
第2章 教職員	85
1 教職員構成状況	85
2 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師数	86
3 教員の採用と異動状況	87
4 教職員表彰件数	88
5 教職員の福利厚生	88
6 平成27年度教員免許状取得状況	89
7 教育指導者の派遣事業（名古屋市教育サポートセンター）	89
8 学校事務支援センター	89
9 学校問題解決支援チーム	90

第4部 学校教育

第1章 教育指導	91
1 平成27年度学校教育の努力目標	91
2 教育課程の概況	92
3 指導方針	93
4 個に応じた指導	94
5 総合的な学習の時間	94
6 生徒指導	95
7 不登校児童生徒対策	95
8 進路指導	96

9	特 別 活 動	97
10	道 徳 教 育	97
11	安 全 教 育	97
12	学校図書館教育	98
13	職 業 教 育	98
14	野 外 教 育	99
15	国 際 理 解	99
16	情 報 教 育	102
17	定 時 制 教 育	102
18	特別支援教育	103
19	幼 児 教 育	111
20	学 校 諸 行 事	112
21	開かれた学校づくり	114
22	ESDフレンドシップ事業	114
23	海外演奏家等による音楽鑑賞の推進	114
24	いじめ対策	114
第2章 教科用図書採択		115
1	教科用図書の採択	115
2	教科用図書の展示会	115
3	平成28年度使用教科用図書	115
第3章 高等学校入学者選抜		116
1	概 要	116
2	平成28年度募集人数と志願者数等	116
第4章 教職員研修と教育研究		118
1	名古屋市教育センター	118
2	教職員研修の実施	119
3	教員免許状更新講習	124
4	教師力フォローアップ	124
5	研 究 調 査 等	125
6	教育研究資料の利用	125
7	情報教育ネットワーク	125
8	教 育 相 談	126
9	学力向上サポート事業	127
10	指導体験記録の募集	127
第5章 就 学		128
1	就 学 援 助	128
2	就 学 奨 励	129
3	私 学 助 成	130

4 越境通学防止	131
----------------	-----

第5部 学校保健、給食、体育

第1章 学 校 保 健	134
1 児童・生徒・幼児の保健管理	134
2 就学時健康診断	138
3 教職員の保健管理	139
4 学校環境衛生管理	141
5 学校における安全対策	141
6 日本スポーツ振興センター	142
7 名古屋市学校保健会	142
第2章 学 校 給 食	143
1 学 校 給 食	143
2 運 営 組 織	146
3 普 及 活 動	147
第3章 学 校 体 育	148
1 学校体育の概要	148
2 各 種 講 習 会	149
3 元気いっぱいなごやっ子の育成	149
4 体力・運動能力調査	150
5 各種体育大会	151
6 名古屋市小中学校体育連盟	151
7 名古屋市学校体育センター	152

第6部 生涯学習・社会教育

第1章 生涯学習の推進	154
1 生涯学習社会を目指して	154
2 生涯学習が必要とされる社会的背景	154
3 基 本 方 針	154
4 平成27年度重点事業	155
第2章 成 人 教 育	157
1 成人教育の概況	157
2 女 性 教 育	162
3 視 聴 覚 教 育	163
第3章 青少年教育	165
1 青少年教育の概況	165
2 青 少 年 の 教 育	165

第4章 文化財の保護	168
1 概 要	168
2 文化財の保護	168
3 「歴史の里」の整備	169
4 「歴史文化基本構想」の策定	169
第5章 市民スポーツ	170
1 市民スポーツの概況	170
2 活動状況（平成27年度主要事業実績）	173
第6章 社会教育施設	174
1 社会教育施設の概況	174
2 図 書 館	174
3 名古屋市博物館	189
4 名古屋市見晴台考古資料館	196
5 名古屋市美術館	199
6 名古屋市科学館	201
7 生涯学習センター、女性会館	206
8 スポーツ施設	214
第7章 学 校 開 放	230
1 学校開放の概況	230
2 学 校 開 放	230

第7部 人権教育

第1章 人権教育の推進体制	244
1 基本的な考え方	244
第2章 学 校 教 育	245
1 人権教育の研究推進	245
2 人権教育研修会	246
3 資 料 の 整 備	246
第3章 社 会 教 育	247
1 文化センター等における教育委員会主催事業	247
2 市民の人権問題についての認識を深めるための社会教育	247

付 録

1 事務参考資料（出版物等一覧）	249
2 教 育 年 表	253
3 中学校区一覧	255

第1部 教育行財政

第1章 教育行政

1 平成27年度本市教育行政のあらまし

(1) 教育委員会では、平成27年3月に平成30年度までを計画期間とする「名古屋市教育振興基本計画」を策定し、教育を取り巻く環境の変化に対応しながら、学校教育をはじめとした教育施策を推進することにより、夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子の育成に取り組んだ。

(2) 学校教育では、平成27年度の努力目標を定め、社会の変化に主体的に対応できるたくましい青少年の育成を目指して、一人一人のよさや可能性を伸ばし、よりよい自己実現を促す教育の実践に努めた。

ア 学校施設の整備については、教室の増築、大規模改造、リニューアル改修、統合校の建設等を実施した。

イ 教育指導面では、教育課程の参考及び指導指針を示すとともに、集団生活への適応を図るため、小学校1年生・2年生での30人学級を実施した。

ウ 実生活に生きてはたらき、各教科等の学習の基本となることばの力を育成するため、「ことばの力育成事業」に取り組んだ。小学校4～6年生を対象に国語科補助教材の活用促進を進め、小学校4年生・5年生を対象に国語科標準学力調査を実施した。そして、「なごやっ子漢字検定プリント」を配信するとともに、「小学校国語の授業ハンドブック」の教科書との対応を本市教育課程に位置づけて活用を促進した。さらに、学力向上サポート事業を生かして、学校図書館司書配置に向けたモデル実践と、スピーチ力向上のためのモデル実践を行った。また、小学生向けの「なごやっ子読書ノート」を全児童に、中学生向けの「なごやっ子読書カード」を全中学校に、「アイディア広がる図書委員会」ポスターを全校に配布するとともに、「本の帯コンクール」を実施した。

エ 英語が話せるなごやっ子の育成をめざして、外国人英語指導助手とのティームティーチングによる生きた英語指導と英語活動・外国語活動アシスタントとのティームティーチングによる小学校英語活動・外国語活動を実施したほか、日本語指導が必要な外国人児童・生徒の相談等に対応する日本語教育相談センターの運営、母語学習協力員の配置等、学習指導の充実に努めた。

オ 生徒指導対策については、関係諸機関との連絡協議会の開催、学校における児童・生徒指導活動推進事業の実施、進路指導体制の確立、小・中学校で特設講座（基礎・発展）の開設、心理的な理由による不登校児童生徒に対する教育相談や適応指導を進める子ども適応相談センターの運営、中・高生による「夢・チャレンジ」支援事業の実施など、その充実を図った。また、「名古屋市いじめ防止基本方針」のもと、「学校における仲間づくり推進事業」や「なごやINGキャンペーン」を実施するとともに「いじめ防止教育プログラム」の活用促進を

図り、いじめのない学校づくりに努めた。さらに、スクールカウンセラーの配置拡充、インターネット上におけるいじめの対策に取り組んだ。これに加え、市内11ブロックの中学校11校になごや子ども応援委員会を設置し、児童生徒が抱える問題の未然防止・早期発見や個別支援、学校支援の協力体制の構築を図った。

カ その他にも、特色ある教育活動や学校づくりを行うマイスクールプランの実施、人権教育、国際理解教育、情報教育等、教育内容の充実を図ったほか、「あいち・なごやユネスコ世界会議」における「あいち・なごや宣言」を受け、E S Dを継続・発展させるため「E S Dフレンドシップ事業」を実施した。

キ 児童・生徒の健康管理の面では、入学及び市外から転入した者を対象とした心臓検診や、全小学校でのアレルギー性疾患に関する検診、また、小学校において歯科疾患特別健診を実施するなど、児童・生徒の疾患対策の一層の充実を図った。

学校給食では、子どもたちの心身の健全な発達に資することを目的として地産地消の取り組みを始め内容の充実を努めた。また、複数メニュー、弁当併用、ランチルームでの喫食等の方式での中学校スクールランチを110校で実施した。

学校体育においては、児童・生徒が生涯を通じて運動を実践し、健康な生活を営むための能力や態度の基礎の育成に努めるとともに、体育学習や部活動における指導者の資質向上に役立てるため、体育実技等の講習会を実施した。

ク 教育奨励事業としては、要・準要保護児童生徒の就学援助等を実施した。

(3) 社会教育行政については、市民が教養を高め、生涯の各時期に応じて、多様で、かつ、自主的な学習ができるよう、条件整備に努めた。

ア 成人教育の面では、社会教育施設における各種講座や講演会等を充実させて開設した。更に、家庭教育の振興を図るための事業として、家庭教育セミナー、あい・あい・あいさつ活動、地域ふれあい実践講座、ファミリーデーなごやを実施するとともに、インターネットを活用した講座を開設したほか、子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現するため、名古屋土曜学習プログラムを実施した。

また、女性教育の内容充実を図るとともに、関係団体の指導者育成や活動助成を行った。

イ 青少年教育については、平成18年度から青少年に関する諸施策の総合的な企画等、市長の権限に属する事務の補助執行が解かれ子ども青少年局の所管事業になるとともに、青少年教育に関する権限を子ども青少年局長の補助執行とした。

ウ スポーツ振興の面では、市民スポーツ祭をはじめ各種事業の充実を図るとともに、スポーツティブ・ライフ月間やマラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知を実施したほか、スポーツ功労者表彰を実施した。また、子どものスポーツ振興のため、子どもスポーツフェスタを開催したほか、地域ジュニアスポーツクラブの育成・支援を行った。

エ 文化財保護の面では、文化財保護事業への助成、歴史的町並み保存事業の促進、遺跡発掘調査等各種調査を実施したほか、文化財の公開事業、史跡散策路の活用等、保護事業を推進した。また、「歴史の里」の整備に着手し、予定区域内の埋蔵文化財の発掘調査を実施した。また、市内に残された山車行事の民俗学的な位置づけやその独自性などについて明らかとす

るために山車行事の総合調査を実施した。このほか市の文化財全体を通じた保存継承・活用の方針を示した「名古屋市歴史文化基本構想」の策定に向けた取り組みを行った。

オ トワイライトスクール（放課後学級・施設開放）については、平成21年度から、放課後学級を「トワイライトスクール」として、それに関する権限を子ども青少年局長が補助執行し実施した。また、施設開放については、「生涯学習開放」として引き続き教育委員会において実施した。

- (4) ふれあい交流事業については、昭和61年に名古屋市、中津川市及び稲武町（現豊田市）の3者間で結ばれた「ふれあい協定」に基づき、教育・スポーツ・文化等の交流を通して市民の友好親善と相互理解を深めた。

2 教育委員会

(1) 教育委員会の組織と活動

ア 教育委員会の組織

教育委員会は、合議制の執行機関で教育長及び5人の委員で構成されている。

教育長は市議会の同意を得て、市長が任命する。任期は3年で再任されることができる。教育長は教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表する。委員は市議会の同意を得て、市長が任命する。任期は4年で、教育行政の安定を図るため、毎年1人又は2人ずつ改任（又は再任）される。

教育委員会の職務権限は、教育に関する事務を管理執行することであり、市長の権限に属するもの（教育に関する大綱の策定に関する事務のほか、大学・幼保連携型認定こども園・私立学校、教育財産の取得・処分及び教育委員会の所掌事務に関する契約の締結・予算の執行）を除き、教育事務の大部分に及ぶ。

また、教育委員会は、その権限に属する事務に関し、教育委員会規則を定める権限を有している。

教育委員会の権限に属する事務を処理するため、教育委員会に事務局が置かれ、教育長は事務局の事務を統括し、所属の職員を指揮監督している。

教育委員会の委員

（平成28年7月1日現在）

職 名	氏 名	年齢	職 業	就任年月日
教 育 長	杉 崎 正 美	58		28. 4. 1
委 員 (教育長職務代理者)	梶 田 知	59	会 社 役 員	24. 10. 8
委 員 (教育長職務代理者)	福 谷 朋 子	45	弁 護 士	24. 10. 8

委 員	小 栗 成 男	52	会 社 役 員	26. 3. 24
委 員	野 田 敦 敬	58	大 学 教 授	26. 10. 1 (再任)
委 員	船 津 静 代	54	大 学 職 員	27. 10. 1

イ 教育委員会の会議

教育委員会の意思は、教育委員会の会議において決定される。会議は、教育長が招集し、教育長及び在任委員の過半数が出席して開かれ、その議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは教育長の決するところによる。

平成27年度は、旧制度に基づき、委員長が会議を主宰し、定例会12回、臨時会7回の会議を開き、重要案件の審議を行った。

なお、教育委員会の権限に属するすべての事務を教育委員会の会議の審議を経て決定することは實際上不可能であり、合理的とは言えないため、重要な事項を除き、平常事務的な事項の決定は教育長等専決規則（昭和31年名古屋市教育局教育委員会規則第13号）の定めるところにより教育長が専決している。

平成27年度において教育委員会に提出された議案は次のとおりである。

教育委員会議案一覧表

内 容	件 数	内 容	件 数
事務局人事に関するもの	3 件	予算に関するもの	3 件
教職員人事に関するもの	3 件	表彰に関するもの	5 件
条例の改正等に関するもの	6 件	社会教育委員等の委嘱等に関するもの	15 件
教育委員会規則に関するもの	18 件	教科書の採択に関するもの	4 件
		そ の 他	27 件

3 総合教育会議（ナゴヤ子ども応援会議）

（1）ナゴヤ子ども応援会議

本市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定、教育の条件整備など重点的に講ずべき施策及び児童・生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置について協議・調整を行うため、総合教育会議が設置されている。会議は市長と教育委員会によって構成され、市長が招集する。

平成27年度においては3回開催され、教育に関する大綱の協議を行うとともに、教育行政の重要課題等に関して市長と教育委員会で意見交換を行った。

(2) ナゴヤ子ども応援大綱

ア 大綱の概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第1条の3に基づき、市長が定める本市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱として、「ナゴヤ子ども応援大綱～日本で1番子どもを応援するマチ ナゴヤ～」を策定した。

大綱の策定にあたっては、総合教育会議（ナゴヤ子ども応援会議）において市長と教育委員会が協議することとされており、本市では、平成27年5月24日に開催された総合教育会議（ナゴヤ子ども応援会議）において教育委員会との協議を行い、同日合意している。

イ 大綱の内容

- ・「教育」を「Education」へ！
- ・「なごやっ子」の育ちと針路を応援する仕組みを確立！
- ・歴史や文化を大切に作る心を育み、世界にはばたく力を育成！
- ・名古屋市教育振興基本計画の重点的取組事項を力強く推進！

4 条例規則等の制定改廃（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(1) 条例

条例番号	名 称	概 要
27年57	名古屋市立学校設置条例の一部を改正する条例 [平成27.7.15公布、平成27.9.12施行]	町の区域の設定に伴い、規定を整理した。
27年58	名古屋市生涯学習センター条例の一部を改正する条例 [平成27.7.15公布、平成28.4.1施行他]	千種生涯学習センター等の管理を指定管理者に行わせるため、規定を整理した。
27年64	名古屋市文化財保護条例の一部を改正する条例 [平成27.7.24公布・施行他]	文化財の活用をより推進する等のため、規定を整理した。
28年9	名古屋市入学準備金条例の一部を改正する条例 [平成28.3.23公布、同年4.1施行]	入学準備金の延滞利息の割合を改正するため、規定を整理した。
28年10	名古屋市図書館条例の一部を改正する条例 [平成28.3.23公布、平成29.4.1施行他]	中村図書館等の管理を指定管理者に行わせる等のため、規定を整理した。
28年42	名古屋市立学校の授業料等に関する条例の一部を改正する条例 [平成28.3.31公布、同年4.1施行]	幼稚園の授業料について必要な事項を定めるため、規定を整理した。

(2) 教育委員会規則

規則番号	名 称	概 要
27年21	名古屋市生涯学習センター条例施行規則の一部を改正する規則 [平成27.6.9公布・施行]	指定管理者選定委員会の設置について、規定を整理した。
27年22	名古屋市生涯学習センター条例施行規則の一部を改正する規則 [平成27.7.24公布、平成28.4.1施行等]	千種生涯学習センター等の指定管理者の指定の手續等について、規定を整理した。
27年23	名古屋市文化財保護条例施行規則及び名古屋市伝統的建造物群保存地区保存条例施行規則の一部を改正する規則 [平成27.7.24公布・施行]	名古屋市文化財保護条例の一部改正に伴い、規定を整理した。
27年24	名古屋市学校施設開放に関する規則の一部を改正する規則 [平成27.12.14公布、平成28.1.7施行等]	沢上中学校の運動場の開放月日を変更するため、規定を整理した。
28年1	名古屋市伝統的建造物群保存地区保存条例施行規則の一部を改正する規則 [平成28.3.31公布、同年4.1施行]	行政不服審査法の全部改正等に伴い、規定を整理した。
28年2	名古屋市教育員会事務局規則の一部を改正する規則 [平成28.3.31公布、同年4.1施行]	総務部企画経理課の分掌事務を変更する等のため、規定を整理した。
28年3	名古屋市生涯学習センター処務規則の一部を改正する規則 [平成28.3.31公布、同年4.1施行]	千種生涯学習センター等の管理を指定管理者に行わせる等のため、規定を整理した。
28年4	名古屋市図書館処務規則の一部を改正する規則 [平成28.3.31公布、同年4.1施行]	鶴舞中央図書館の組織を変更するため、規定を整理した。
28年5	教育長専決規則の一部を改正する規則 [平成28.3.31公布、同年4.1施行]	名古屋市指定管理者選定委員会条例の制定等に伴い、規定を整理した。
28年6	名古屋市教育委員会の区長に対する事務委任規則の一部を改正する規則 [平成28.3.31公布、同年4.1施行]	千種生涯学習センター等の管理を指定管理者に行わせることに伴い、規定を整理した。
28年7	名古屋市立高等学校学則の一部を改正する規則 [平成28.3.31公布、同年4.1施行]	向陽高等学校等の生徒定員を変更するため、規定を整理した。
28年8	名古屋市立特別支援学校学則の一部を改正する規則 [平成28.3.31公布、同年4.1施行]	西養護学校等の生徒定員を変更するため、規定を整理した。

規則番号	名 称	概 要
28年9	名古屋市入学準備金条例施行規則の一部を改正する規則 [平成28. 3. 31公布、同年4. 1施行]	名古屋市入学準備金条例の一部改正に伴い、規定を整理した。
28年10	名古屋市奨学金規則を廃止する規則附則第2項及び第3項の規定によりなおその効力を有するものとされた同規則の規定による廃止前の名古屋市奨学金規則の一部を改正する規則 [平成28. 3. 31公布、同年4. 1施行]	奨学金の延滞利息の割合を改正するため、規定を整理した。
28年11	名古屋市就学援助規則の一部を改正する規則 [平成28. 3. 31公布、同年4. 1施行]	就学援助の対象者等について、規定を整理した。
28年12	名古屋市教育委員会会議規則の一部を改正する規則 [平成28. 3. 31公布、同年4. 1施行]	行政不服審査法の全部改正に伴い、規定を整理した。
28年13	名古屋市図書館館則の一部を改正する規則 [平成28. 3. 31公布・施行他]	中村図書館等の管理を指定管理者に行わせること等に伴い、規定を整理した。
28年14	名古屋市生涯学習センター条例施行規則等の一部を改正する規則 [平成28. 3. 31公布、同年4. 1施行]	名古屋市指定管理者選定委員会条例の制定に伴い、規定を整理した。
28年15	名古屋市立幼稚園授業料減免規則の一部を改正する規則 [平成28. 3. 31公布、同年4. 1施行]	名古屋市立学校の授業料等に関する条例の一部改正に伴い、規定を整理した。

(3) 市 規 則

規則番号	名 称	概 要
27年72	名古屋市私立高等学校及び私立幼稚園授業料補助に関する条例施行細則の一部を改正する規則 [平成27. 6. 16公布・施行]	私立幼稚園の授業料補助対象者を区分する所得割額を改める等のため、規定を整理した。

(4) 訓 令

訓令番号	名 称	概 要
27名教委教訓令6	教育次長以下代決規程の一部を改正する規程 [平成27. 5. 11公布・施行]	平成27年度の教育委員会事務局の組織改正等に伴い、規定を整理した。

訓令番号	名 称	概 要
27名教 委教訓 令7	教育次長以下代決規程の一部を改正する 規程 [平成27. 7. 24公布・施行]	名古屋市文化財保護条例の一部改正に伴 い、規定を整理した。
27名教 委教訓 令8	名古屋市教育委員会事務局係設置並びに 分掌事務規程の一部を改正する規程 [平成27. 10. 1公布・施行]	生涯学習部文化財保護室の分掌事務を変 更する等のため、規定を整理した。
28名教 委訓令 1	名古屋市教育委員会情報あんしん条例施 行規程の一部を改正する規程 [平成28. 1. 4公布・施行]	本市以外の者に廃棄を委託する場合等につ いて、規定を整理した。
28名教 委訓令 2	名古屋市立学校文書管理規程の一部を改 正する規程 [平成28. 1. 4公布・施行]	本市以外の者に廃棄を委託する場合につ いて、規定を整理した。
28名教 委訓令 3	名古屋市教育委員会情報あんしん条例施 行規程の一部を改正する規程 [平成28. 3. 31公布、同年4. 1施行]	平成28年度の組織改正等に伴い、規定を 整理した。
28名教 委訓令 4	名古屋市立学校文書管理規程の一部を改 正する規程 [平成28. 3. 31公布、同年4. 1施行]	平成28年度の組織改正に伴い、規定を整 理した。
28名教 委教訓 令1	教育次長以下代決規程の一部を改正する 規程 [平成28. 3. 31公布、同年4. 1施行]	地方教育行政の組織及び運営に関する法 律の一部改正等に伴い、規定を整理した。
28名教 委教訓 令2	名古屋市教育委員会事務局係設置及び分 掌事務規程の一部を改正する規程 [平成28. 3. 31公布、同年4. 1施行]	名古屋市指定管理者選定委員会条例の制 定に伴い、教育委員会事務局指定管理者 選定委員会に関する事務について、総務 部企画経理課企画統計係の分掌事務に加 える等のため、規定を整理した。
28名教 委教訓 令3	名古屋市教育委員会課長代理設置規程の 一部を改正する規程 [平成28. 3. 31公布、同年4. 1施行]	初任給、昇格及び昇給等に関する規則の 一部改正に伴い、規定を整理した。
28名教 委教訓 令4	教育次長委任規程を廃止する規程 [平成28. 3. 31公布、同年4. 1施行]	平成28年度の組織改正に伴い、規程を廃 止した。

5 附属機関その他の機関

(1) 名古屋市教育委員会事務局指定管理者選定委員会

名古屋市指定管理者選定委員会条例（平成28年名古屋市条例第16号）に基づき、指定管理者に管理を行わせる公の施設に係る指定管理者の候補者の選定に関する事項について調査審議し、その結果を教育委員会に答申する。

委 員

(平成28年 7 月 1 日現在)

種 別	役 職	氏 名
公の施設の管理 若しくは事業に ついて識見のあ る者	公認会計士	小 野 田 誓
	弁護士	小 林 和 正
	構成作家、大学講師 コミュニケーションアドバイザー	千 田 伸 子
	保育補助	西 川 幸 江
	中川児童館長 特定非営利活動法人こどもNPO職員	根 岸 恵 子

(2) 名古屋市産業教育審議会

産業教育振興法（昭和26年法律第228号）第11条、名古屋市産業教育審議会委員定数条例（昭和27年名古屋市条例第4号）及び名古屋市産業教育審議会規則（昭和27年名古屋市教育委員会規則第3号）に基づき、昭和27年7月に発足し、教育委員会の諮問に応じて、産業教育に関して調査審議し、教育委員会に対して答申又は建議を行っている。

(3) 名古屋市いじめ対策検討会議

いじめ防止対策推進法（平成25年法律第71号）第14条第3項及び第28条第1項並びに名古屋市いじめ対策検討会議条例（平成27年名古屋市条例第38号）に基づき、教育委員会の諮問に応じて、いじめの防止等のための対策や重大事態に係る事実関係などに関して調査審議し、その結果を教育委員会に答申している。

平成27年度は、8回開催し、主にいじめが要因として疑われる事案について調査審議した。

委 員

(平成28年 7 月 1 日現在)

所 属 ・ 役 職 等	氏 名
犬飼法律事務所 所長	犬 飼 敦 雄
元教諭（校長経験者）	川 本 健 仔
名古屋大学大学院教育発達科学研究科 教授	窪 田 由 紀
元 名古屋市立中学校長	小 竹 佑 一
春日井市スクールソーシャルワーカー	杉 原 里 子

名古屋市立大学大学院 医学研究科精神・認知・行動医学分野 助教	鈴 木 真佐子
人間環境大学 人間環境学部 教授	坪 井 裕 子
愛知淑徳大学心理学部 教授	古 井 景
名古屋市立大学大学院 医学研究科精神・認知・行動医学分野 病院講師	山 田 敦 朗

(4) 名古屋市社会教育委員協議会

社会教育法（昭和24年法律第207号）第15条及び名古屋市社会教育委員条例（昭和24年名古屋市条例第58号）に基づき、教育委員会が委嘱した10人の社会教育委員によって構成される協議会である。名古屋市社会教育委員協議会規則（昭和24年名古屋市教育委員会規則第6号）に基づき、会議を開催し、教育委員会の諮問に応じ、意見を述べている。任期は2年で、平成28年2月1日に第34期社会教育委員を委嘱した。

平成27年度は、6回開催し、補助金交付などについて審議した。

委 員

(平成28年7月1日現在)

種 別	役 職	氏 名
学 校 教 育 関 係 者	名古屋市立東桜小学校長	鈴 木 直 政
社 会 教 育 関 係 者	名古屋市立小中学校PTA協議会会長 名古屋市地域女性団体連絡協議会会長 日本ボーイスカウト愛知連盟理事	寺 本 充 加 藤 玲 子 瀧 克 己
家 庭 教 育 の 向 上 に 資 す る 活 動 を 行 う 者	臨床心理士	後 藤 かをり
学 識 経 験 者	名城大学大学院教授 金城学院大学教授 名古屋市立大学大学院教授 弁護士 公募委員	伊 藤 康 児 原 史 子 原 田 信 之 上 田 敏 喜 岩 間 祐 実

(5) 名古屋市文化財調査委員会

名古屋市文化財の保存及び活用に関する条例（昭和47年名古屋市条例第4号）に基づき、教育委員会の諮問に応じて市指定文化財の指定などに関して意見を述べるとともに、文化財の保存、活用に関する専門的事項を調査審議している。

平成27年度は、2回開催し、文化財保護行政上の課題などについて審議・報告した。

委 員

（平成28年7月1日現在）

所属・職名	氏 名	担 当 部 会
愛知淑徳大学 非常勤講師	赤羽 一郎	考古埋蔵文化財、史跡名勝天然記念物
名古屋造形大学 教授	池田 洋子	美術工芸
元名古屋市博物館副館長	井上 光夫	考古埋蔵文化財、史跡名勝天然記念物
東海学院大学 教授	岡本 真理子	建造物・町並み
名古屋工業大学 大学院 教授	河田 克博	建造物・町並み
中京大学 非常勤講師	鬼頭 秀明	無形文化財・民俗文化財
愛知県立芸術 大学 名誉教授	熊田 由美子	美術工芸
南山大学 教授	黒沢 浩	考古埋蔵文化財・史跡名勝天然記念物
日本福祉大学 教授	高部 淑子	文書典籍
中部大学 教授	永田 典子	無形文化財・民俗文化財
名古屋大学大学院 教授	西澤 泰彦	建造物・町並み
名古屋大学博物館准教授	西田 佐知子	史跡名勝天然記念物
愛知県立大学 非常勤講師	服部 直子	文書典籍
愛知県立旭丘高等学校教諭	服部 誠	無形文化財・民俗文化財
岐阜聖徳学園 大学 名誉教授	安田 徳子	文書典籍
名古屋大学大学院 教授	山本 直人	考古埋蔵文化財・史跡名勝天然記念物
金城学院大学 非常勤講師	吉田 俊英	美術工芸

(6) 名古屋市スポーツ推進審議会

スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第31条及び名古屋市スポーツ推進審議会条例（昭和57年名古屋市条例第16号）に基づき、教育委員会が任命した15人以内によって構成される審議会である。

平成27年度は、2回開催し、名古屋市スポーツ推進計画に基づく事業の実施状況、名古屋市スポーツ功労者顕彰などについて審議した。

委 員

(平成28年7月1日現在)

役 職	氏 名
名古屋市女性レクリエーションバレーボール連絡協議会会長	磯 田 芳 美
中日ドラゴンズ営業本部野球事業部部長	三 木 安 司
名古屋市教育スポーツ協会理事（名古屋市体育協会副会長）	後 藤 泰 之
あいち健康の森健康科学総合センター健康開発部長	村 本 あき子
三重大学教授	鶴 原 清 志
アテネ五輪日本代表（陸上競技）	中 田 有 紀
名古屋市会教育子ども委員会委員長	山 田 昌 弘
公募委員	竹 内 紀 彦
日本福祉大学教授	吉 田 文 久
北京五輪日本代表（シンクロナイズドスイミング）	松 村 亜矢子
名古屋グランパスエイト取締役専務	中 林 尚 夫
名古屋大学総合保健体育科学センター講師	田 中 憲 子
名古屋市スポーツ推進委員連絡協議会評議員	淀 川 悦 子

(7) 名古屋市図書館協議会

図書館法（昭和25年法律第118号）第14条及び名古屋市図書館協議会条例（昭和44年名古屋市条例第7号）に基づき、鶴舞中央図書館に置かれ、図書館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、図書館奉仕について館長に対して意見を述べることができる。

平成27年度は、5回開催し、主に次のような事項について審議した。

ア 利用増加について

イ 収入確保策について

委 員

(平成28年7月1日現在)

種 別	役 職	氏 名
学 校 教 育 関 係 者	名古屋市立名城小学校長	川 北 貴 之

種 別	役 職	氏 名
社 会 教 育 関 係 者	名古屋市地域女性団体連絡協議会理事 コミュニケーションアドバイザー	橋 本 りゑ子 千 田 伸 子
家庭教育の向上に 資する活動を行う者	名古屋市立小中学校 P T A 協議会理事	清 水 尚 子
学 識 経 験 者	名城大学人間学部教授 愛知県弁護士会図書委員会委員 南山大学人文学部准教授 同朋大学社会福祉学部講師 中日新聞社編集局資料部部長 公募委員	神 谷 俊 次 小 林 和 正 林 雅 代 木 本 有 香 越 智 俊 至 野 本 秀 喜

(8) 名古屋市博物館協議会

博物館法（昭和26年法律第285号）第20条及び名古屋市博物館条例（昭和52年名古屋市条例第8号）に基づき、博物館に置かれ、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。

平成27年度は、2回開催し、次のような事項について審議した。

- ア 平成26年度事業報告・決算について
- イ 平成27年度事業中間報告について
- ウ 平成27年度中間事業報告について
- エ 平成28年度事業計画、予算（案）について

委 員

（平成28年7月1日現在）

種 別	役 職	氏 名
学 校 教 育 関 係 者	名古屋市立東山小学校長 学校法人菊武学園理事長	佐 藤 佳 子 高 木 弘 恵
社 会 教 育 関 係 者	名古屋市地域女性団体連合会理事 徳川美術館長 熱田神宮宝物館長	青 山 淑 子 徳 川 義 崇 千 秋 季 頼
家庭教育の向上に 資する活動を行う者	名古屋市立小中学校 P T A 協議会理事	新 木 久 子
学 識 経 験 者	日本放送協会名古屋放送局長 中日新聞社名古屋本社事業局長 名古屋造形大学教授 名古屋商工会議所文化・観光委員会副委員長 愛知県立大学教授	中野谷 公 一 加 藤 宏 幸 池 田 洋 子 滝 茂 夫 丸 山 裕美子

種 別	役 職	氏 名
	東朋テクノロジー株式会社取締役社長 名古屋市博物館資料委員 公募委員	富 田 英 之 羽 賀 祥 二 出 口 志 穂

(9) 名古屋市美術館協議会

博物館法第20条及び名古屋市美術館条例（昭和63年名古屋市条例第7号）に基づき、美術館に置かれ、美術館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。

平成27年度は、2回開催し、次のような事項について審議した。

ア 平成26年度事業実施結果について

イ 平成27年度事業実施状況について

ウ 平成28年度事業計画案及び予算案について

委 員

(平成28年7月1日現在)

種 別	役 職	氏 名
学 校 教 育 者 関 係	名古屋市立高蔵小学校長 愛知県私学協会副会長 愛知県立旭丘高等学校長	伊 藤 久 仁 大 谷 恩 笹 尾 幸 夫
社 会 教 育 者 関 係	公益財団法人名古屋市文化振興事業団副理事長 金城学院大学人間科学部教授 名古屋市地域女性団体連絡協議会書記	別 所 眞 三 原 史 子 橋 本 りゑ子
家庭教育関係者	名古屋市立小中学校PTA協議会理事 公募委員	伊 藤 敦 子 近 藤 眞 理
学 識 経 験 者	愛知県立芸術大学教授 名古屋商工会議所文化・観光委員会副委員長 愛知県美術館長 名古屋造形大学教授 名古屋芸術大学教授 株式会社JTB中部代表取締役社長	小 西 信 之 滝 茂 夫 島 敦 彦 江 本 菜穂子 高 橋 綾 子 松 本 博

(10) 名古屋市科学館協議会

博物館法第20条及び名古屋市科学館条例（昭和37年名古屋市条例第27号）に基づき、科学館に置かれ、科学館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる。

平成27年度は、2回開催し、次のような事項について審議した。

ア 平成26年度事業報告について

イ 平成26年度決算見込について

ウ 平成28年度事業計画案について

委 員

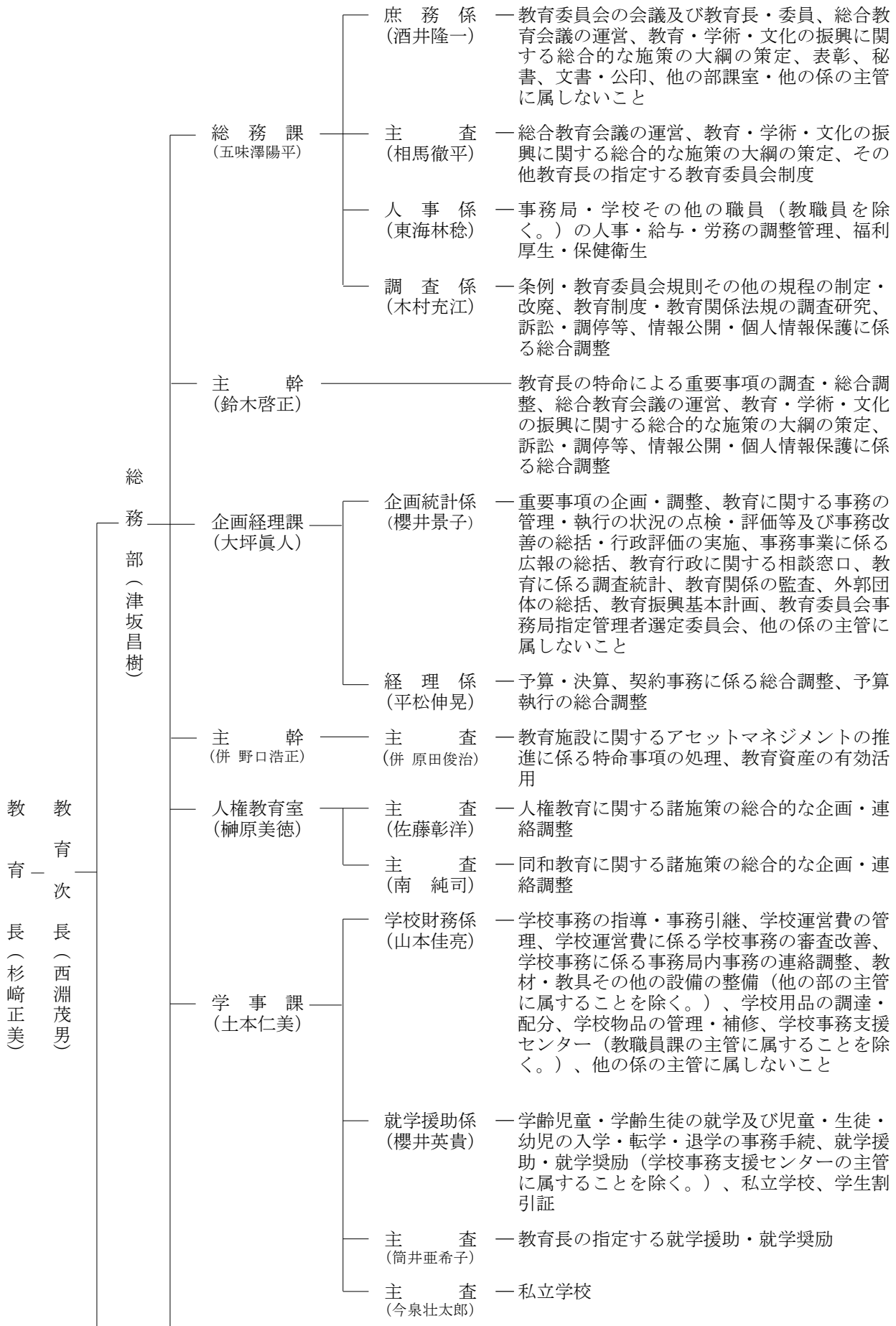
(平成28年 7 月 1 日現在)

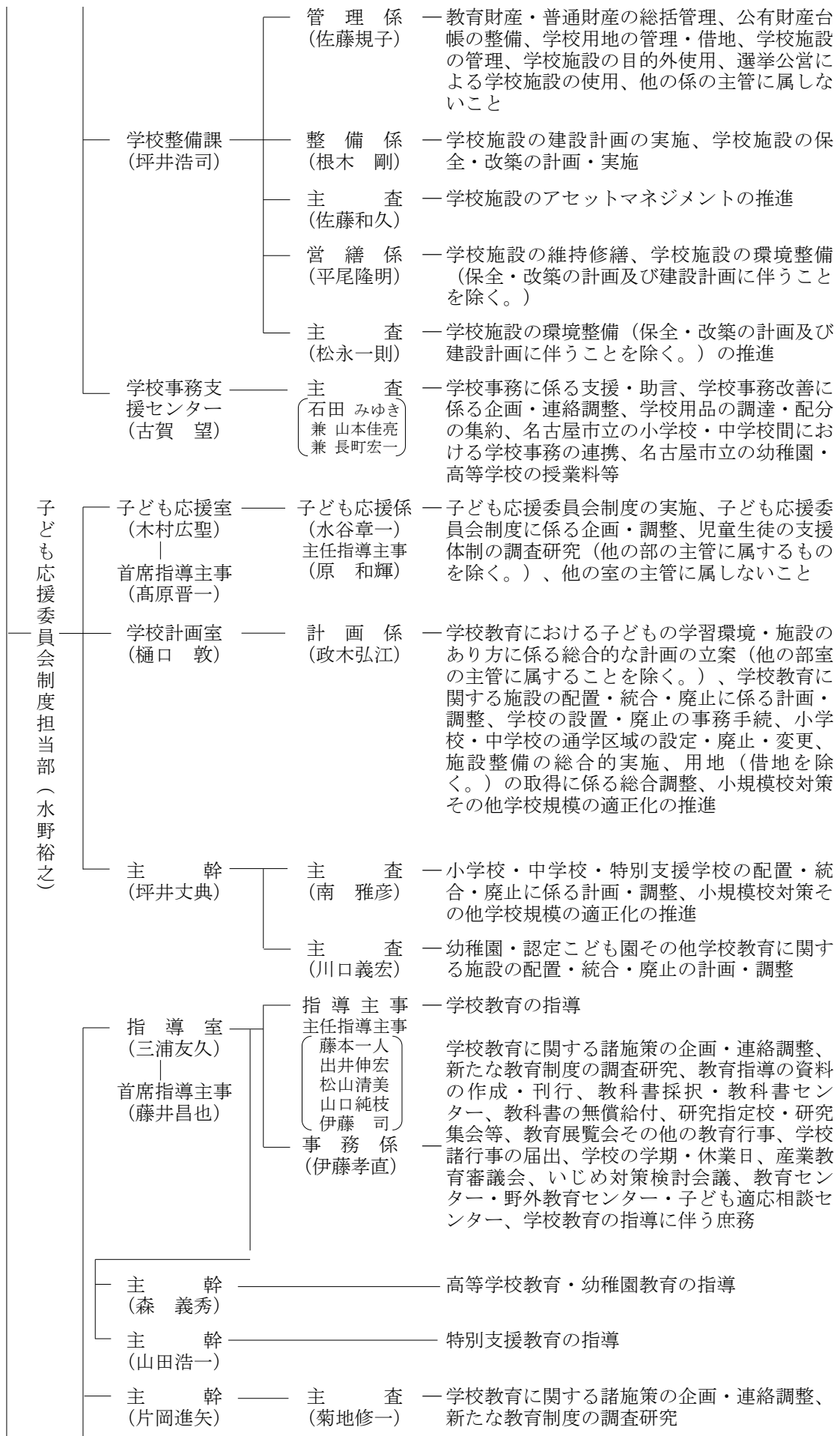
種 別	役 職	氏 名
学 校 教 育 関 係 者	名古屋市立東山小学校長 愛知県立千種聾学校長 愛知県私学協会副会長	佐 藤 佳 子 大 塚 とよみ 大 谷 恩
社会教育関係者	名古屋市地域女性団体連絡協議会理事	青 山 淑 子
家庭教育の向上に 資する活動を行う者	名古屋市立小中学校 P T A 協議会理事 公募委員	吉 田 美 帆 窪 寺 裕 美
学 識 経 験 者	名古屋看護助産学校非常勤講師 国立病院機構名古屋医療センター院長 名古屋大学大学院生命農学研究科教授 日本放送協会名古屋放送局長 公益財団法人中部科学技術センター専務理事 名古屋商工会議所副会頭 中日新聞社名古屋本社事業局長	小 林 身 哉 直 江 知 樹 束 村 博 子 中野谷 公 一 神 崎 修 三 内 藤 弘 康 加 藤 宏 幸

6 教育委員会事務局及び学校以外の教育機関等

(1) 機構及び事務分掌

(平成28年7月1日現在)





学校教育部 (金田慎也)	教職員課 (相川保敏)	管 理 係 (長町宏一)	— 学校事務職員・学校栄養職員の人事、教職員の人事記録、教職員の諸給与の決定・支払、教育職員免許法、学校事務職員の組織する職員団体、学校事務支援センター(教職員課の主管に属することに限る。)、他の課室・他の係の主管に属しないこと
	首席管理主事 (久野賢二)		
		安全衛生係 (橘 弘子)	— 教職員の安全管理・衛生管理、教職員の公務災害補償、教職員の福利厚生
		管 理 主 事 主任管理主事 (安藤 稔 加藤裕司 鈴木 健)	— 教職員(学校事務職員・学校栄養職員を除く。)の選考・人事、学校の組織編制、教職員の組織する職員団体、校(園)長会
	主 幹 (加藤行孝)	主 査 (水野隼人)	— 教職員の服務規律、学校運営等に係る支援、学校事務(他の部の主管に属することを除く。)の改革推進、教職員の服務・学校事務の監察、教職員に関する制度の調査研究(権限移譲に係るものを除く。)、学校事務支援センター(教職員課の主管に属することに限る。)
	主 幹 (中馬英和) (併 杉本隆司)	主 査 (高田健吾) (楓 知樹) (併 中河智博)	— 教職員定数・配置に関する権限移譲に係る教育施策の企画・調整、教職員に関する制度の調査研究(権限移譲に係るものに限る。)
	学校保健課 (寫村直樹)	保健体育係 (池俣賢二郎)	— 学校の保健・安全に関する計画及び環境衛生、児童生徒・幼児の健康診断及び健康管理・健康教育、就学時の健康診断、学校医・学校歯科医・学校薬剤師、独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付事業、保健関係団体、学校体育の指導・奨励(他の部の主管に属することを除く。)、学校体育行事の計画・実施(他の部の主管に属することを除く。)、学校体育施設・用具、他の係の主管に属しないこと
		小学校給食係 (碓氷義行) 主任指導主事 (深田陽一郎)	— 学校給食(中学校スクールランチを除く。)の運営・同物資の管理、学校給食の衛生管理、学校給食に係る調理・栄養の指導、学校給食に係る設備の整備、給食関係団体
		中学校給食係 (上野雄也)	— 中学校スクールランチの運営・同物資の管理、中学校スクールランチの衛生管理、中学校スクールランチに係る調理・栄養の指導、中学校スクールランチに係る設備の整備
	主 幹 (山田博文)	主 査 (勝田将生)	— 学校給食(中学校スクールランチを除く。)の調理業務の効率化に係る施策の企画・調整、学校給食の衛生管理、学校給食に係る設備の整備
	稲武野外教育センター (神谷洋一)	副 所 長 (松岡篤司)	— 野外教育の施設としてセンターを使用させること、野外教育に関する指導・助言・調査研究・図書その他の資料の収集等
	中津川野外教育センター (牧野 晃)	副 所 長 (酒向正人)	— //
	子ども適応相談センター (森 敬之)	教育相談部 (江崎友美)	— 不登校児の教育相談・心理療法による治療・相談に関する調査研究、他の部の主管に属しないこと
		適応指導部 (高橋英貴)	— 不登校児の学習指導・生活指導、不登校児の指導に関する調査研究

生涯学習部（小山祥之）

生涯学習課（百花草和善）

管 理 係（永井祐司）

社会教育係（猿渡晴祥）

主 査（野村直弘）

生涯学習係（鈴木昌泰）

主 査（谷地直哉）

主 幹（櫻井瑞郎）

主 幹（併）（5）

主 査（併）（1）

※（併）生涯学習センター館長	
（中川）林川 浩司	（ 港 ）藤本 知哉
（ 南 ）滝川 嘉彦	（ 緑 ）常包 泰樹
（天白）竹内 勝義	※（併）生涯学習センター主査（緑）山内 富士男

ス ポ ー ツ 振 興 課（野嶋 清）

市民スポーツ係（小泉さよ子）

主 査（服部真紀）

少年スポーツ係（清水 晃）

施 設 係（平山暁久）

社会教育委員、生涯学習センター・女性会館に係る総合調整、小学校施設の生涯学習開放、高等学校施設の学習開放、生涯学習に関する事業の連絡調整、図書館（他の係の主管に属することを除く。）、他の課室・他の係の主管に属しないこと

生涯学習の推進に関する諸施策の企画・調整、社会教育に関する諸施策の調査研究、成人教育、家庭教育の振興、女性教育、生涯学習センター・女性会館における教育に関する事業の企画・実施に係る専門的事項、PTA、女性教育関係団体、視聴覚教育、学校における部活動（他の課の主管に属することを除く。）

女性教育、女性教育関係団体、女性会館

生涯学習に関する専門的な調査研究・先導的な学習の方法の開発、生涯学習の施策の推進に必要な情報の収集・提供、生涯学習に関する各種の団体・機関との連携協力、生涯学習センター（中川・港・南・緑・天白生涯学習センターを除く。）・女性会館の事業、女性教育の事業、生涯学習センター・女性会館の管理等に関する合理化

生涯学習センター（中川・港・南・緑・天白生涯学習センターを除く。）・女性会館の事業、生涯学習センター・女性会館の管理等に関する合理化

生涯学習センター（中川・港・南・緑・天白生涯学習センターを除く。）・女性会館の事業、生涯学習センター・女性会館の管理等に関する合理化

地域の生涯学習の振興

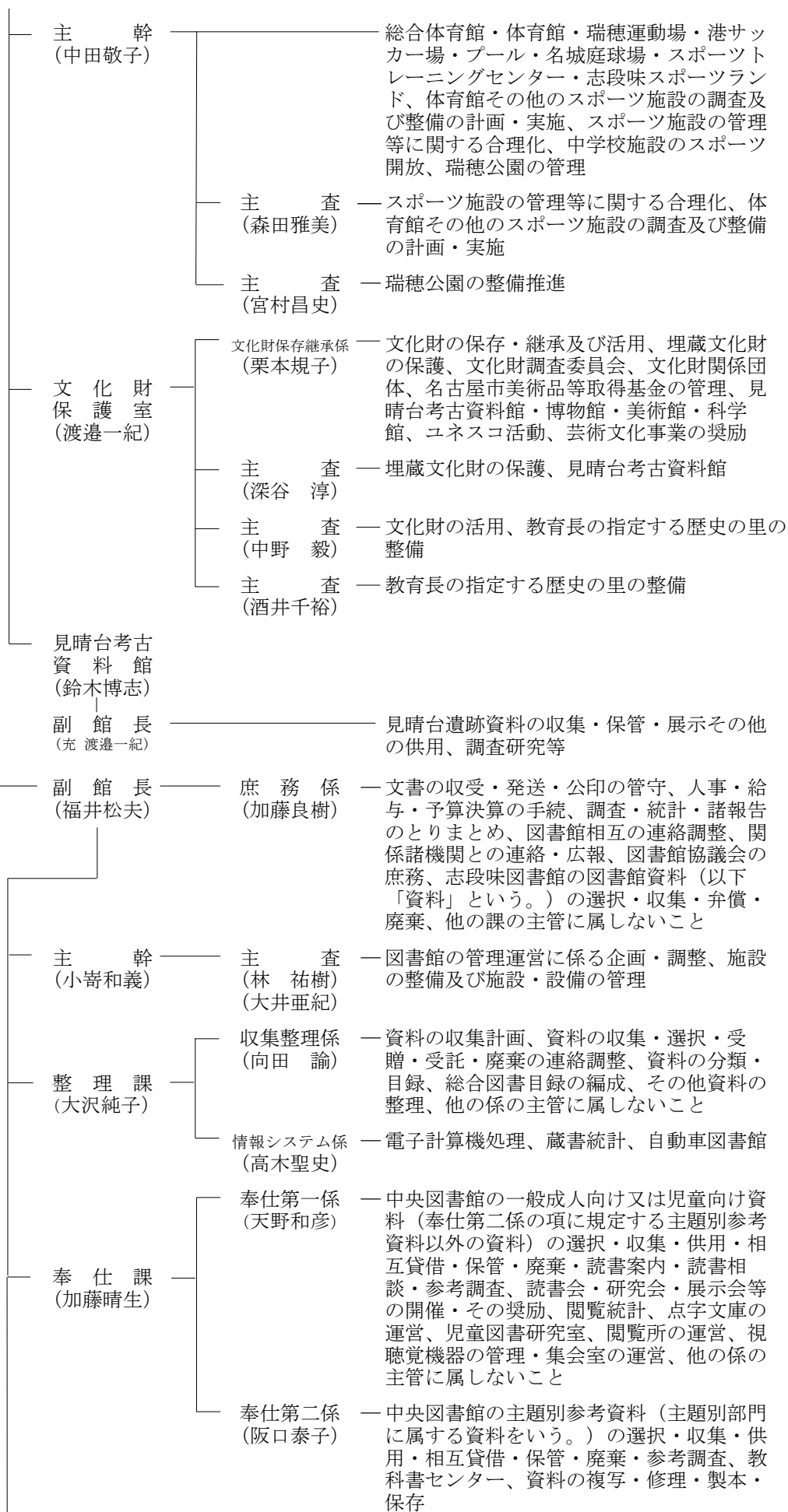
※（併）生涯学習センター館長	
（中川）林川 浩司	（ 港 ）藤本 知哉
（ 南 ）滝川 嘉彦	（ 緑 ）常包 泰樹
（天白）竹内 勝義	※（併）生涯学習センター主査（緑）山内 富士男

スポーツの普及・振興（他の係の主管に属することを除く。）、市民スポーツ・レクリエーションの指導・奨励（他の係の主管に属することを除く。）、スポーツ推進審議会、体育関係団体・レクリエーション関係団体（他の係の主管に属することを除く。）、スポーツ推進委員、教育スポーツ協会、他の係の主管に属しないこと

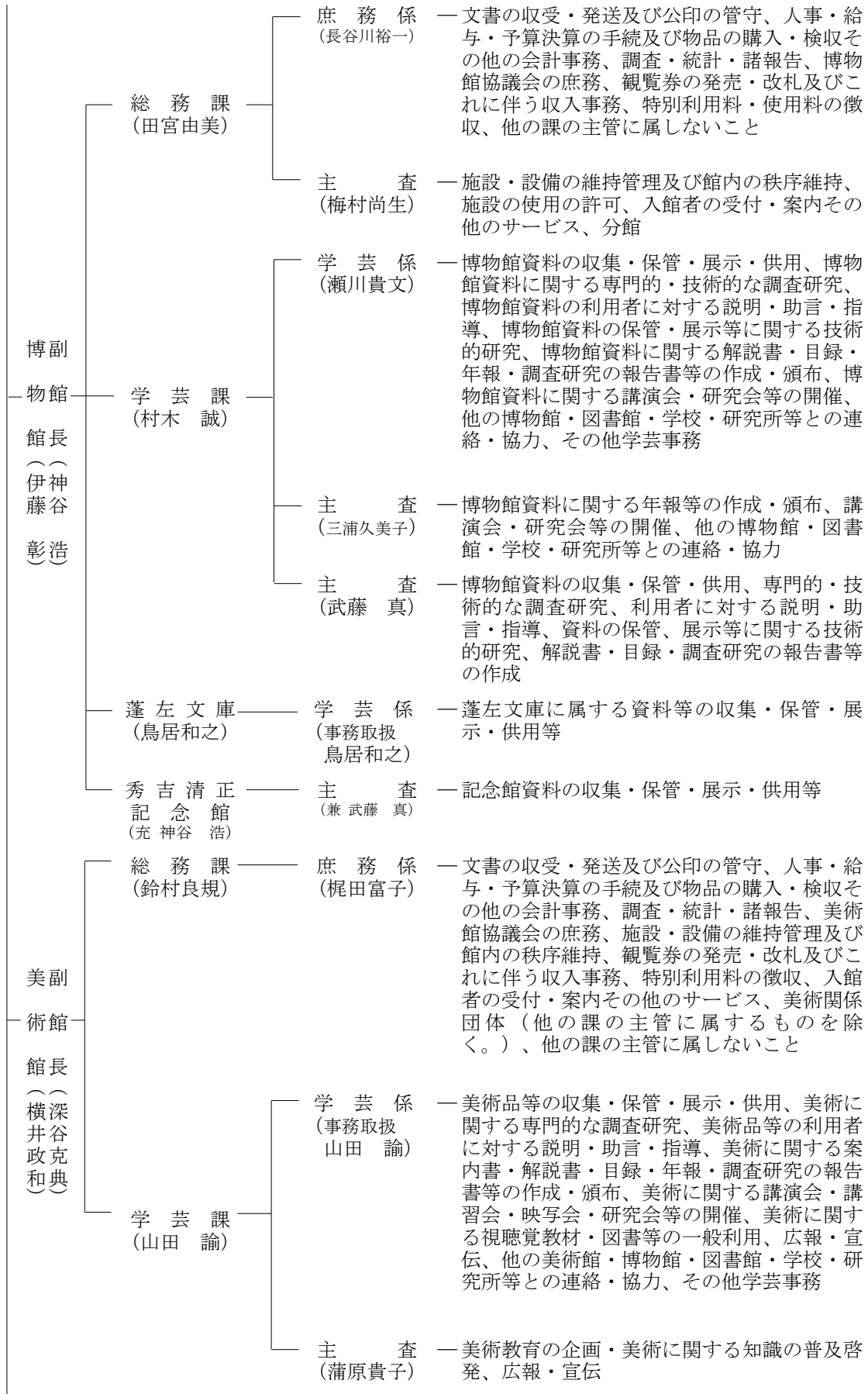
スポーツ事業に係る特命事項の処理

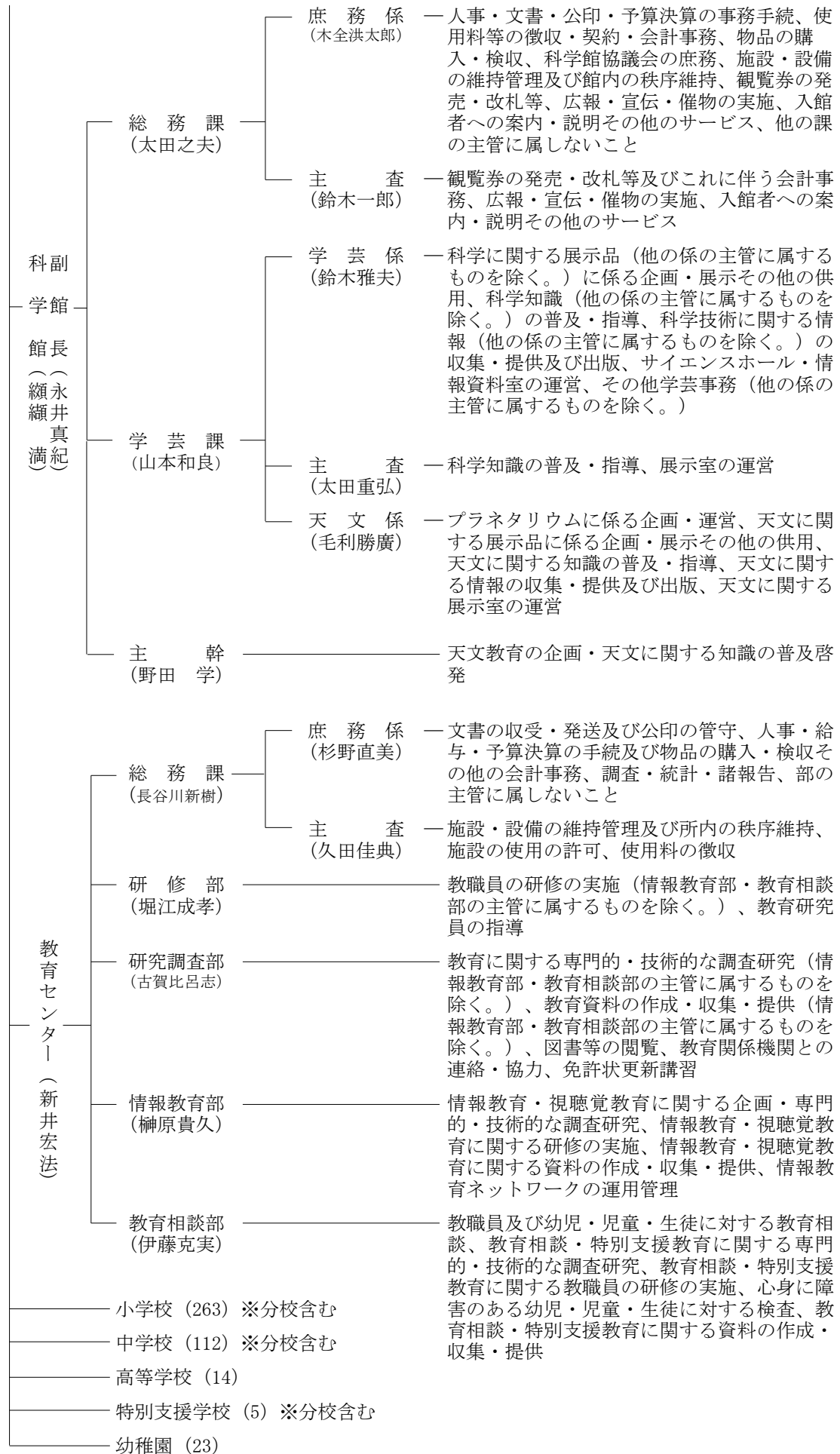
少年のスポーツの普及・振興、学校における部活動（体育に係るものに限る。以下「運動部活動」という。）、運動部活動関係団体、運動部活動に関する行事の計画・実施

総合体育館・体育館・瑞穂運動場・港サッカー場・プール・名城庭球場・スポーツトレーニングセンター・志段味スポーツランド、体育館その他のスポーツ施設の調査及び整備の計画・実施、スポーツ施設の管理等に関する合理化、中学校施設のスポーツ開放、瑞穂公園の管理



千種図書館 (堀 淳)	奉 仕 係 (山盛平和)	—	資料の収集・整理・保存・館内供用・個人貸出し・団体貸出し・相互貸借、読書案内・読書相談、読書会等の開催、他の図書館等との協力等
東 図 書 館 (森園茂樹)	奉 仕 係 (中野正博)	—	〃
北 図 書 館 (深澤淳一郎)	奉 仕 係 (古畑隆敏)	—	〃
楠 図 書 館 (兼 深澤淳一郎)	奉 仕 係 (西 隆子)	—	〃
西 図 書 館 (田中敦司)	奉 仕 係 (塩沢宏之)	—	〃
山田図書館 (兼 田中敦司)	奉 仕 係 (岡部なぎさ)	—	〃
中村図書館 (坂東 彰)	奉 仕 係 (中村 剛)	—	〃
瑞穂図書館 (小汐智美)	奉 仕 係 (蓑島直子)	—	〃
熱田図書館 (朝倉 宏)	奉 仕 係 (三輪裕之)	—	〃
中川図書館 (安立満裕)	奉 仕 係 (山中隆敏)	—	〃
富田図書館 (兼 安立満裕)	奉 仕 係 (河合和美)	—	〃
港 図 書 館 (井戸千鶴)	奉 仕 係 (森田和光)	—	〃
南陽図書館 (兼 井戸千鶴)	奉 仕 係 (大久保智恵)	—	〃
南 図 書 館 (後藤和弘)	奉 仕 係 (山下豊春)	—	〃
守山図書館 (山本泰雄)	奉 仕 係 (山田靖子)	—	〃
緑 図 書 館 (篠山治人)	奉 仕 係 (岩田孝司)	—	〃
徳重図書館 (兼 篠山治人)	奉 仕 係 (畑中義国)	—	〃
名東図書館 (兼 堀 淳)	奉 仕 係 (松井孝弥)	—	〃
天白図書館 (山下博文)	奉 仕 係 (小出哲生)	—	〃

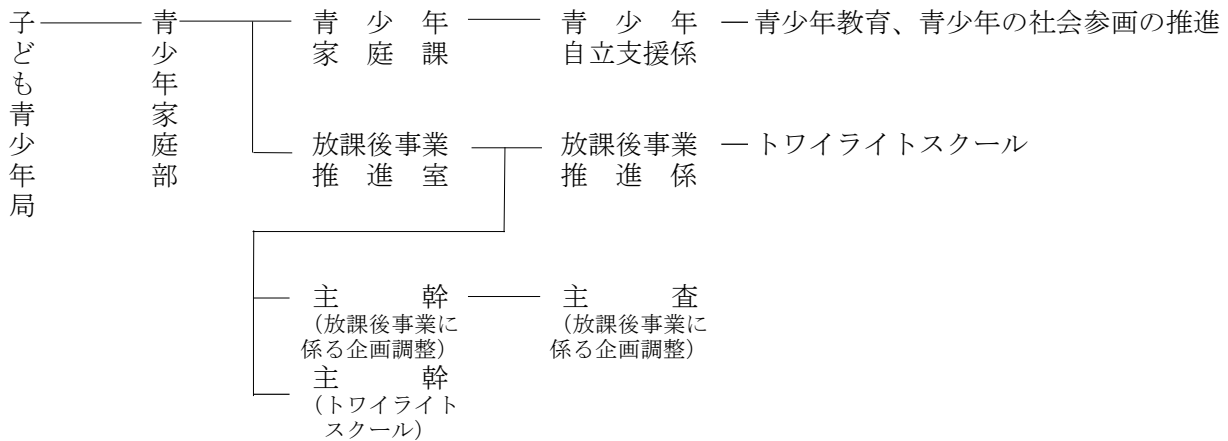




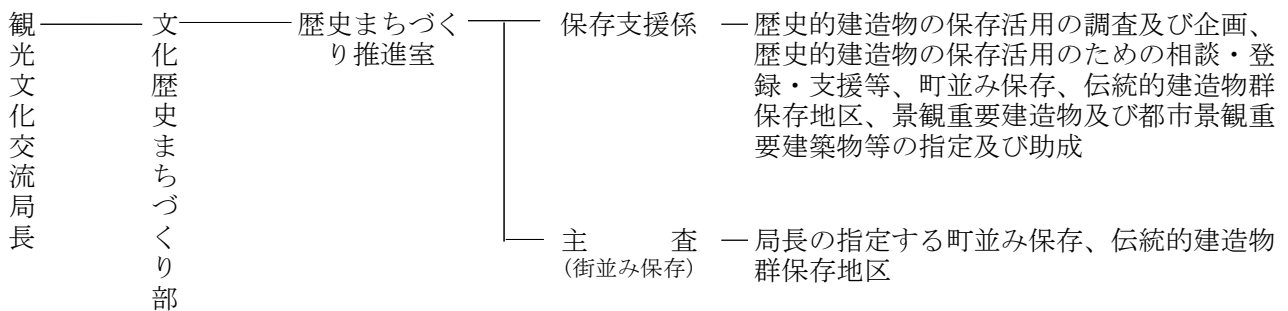
公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会へ派遣

局付理事		局付主査	
〈事務局長〉	岩田 隆	〈総務課庶務係長〉	大嶽 祐介
局付主幹		〈総務課経理係長〉	大重健太郎
〈総務課長〉	瀬音 秀幸		
〈学校開放課長〉	小川 真一		
〈学校給食課長〉	谷 茂明		

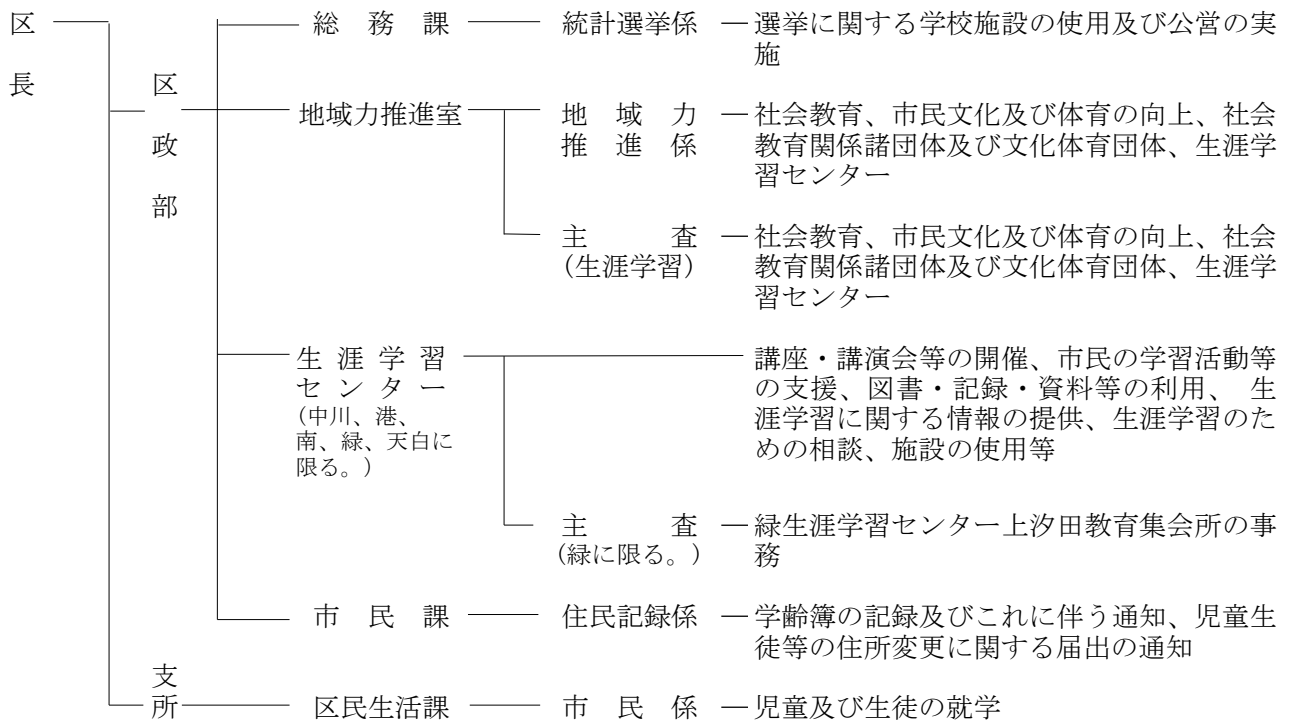
(2) 子ども青少年局における教育関係事務



(3) 観光文化交流局における教育関係事務



(4) 区役所(16区)における教育関係事務



組織機構 \ 職種別	合 計	指 導 主 事	社会 教育 主 事	事務職員			技術職員			
				主 事 等	司 書	学 芸 員	技 師 等	保 健 師	管理 栄養 士	業 務 士
総計	692	161	26	347	94	40	11	2	4	7
小計（事務局）	388	119	24	225	—	7	5	2	4	2
総務部	96	—	2	92	—	—	1	—	—	1
総務課	27	—	—	27	—	—	—	—	—	—
企画経理課	17	—	—	17	—	—	—	—	—	—
人権教育室	3	—	2	1	—	—	—	—	—	—
学事課	24	—	—	23	—	—	—	—	—	1
学校整備課	25	—	—	24	—	—	1	—	—	—
子ども応援委員会制度担当部	81	66	—	15	—	—	—	—	—	—
子ども応援室	70	65	—	5	—	—	—	—	—	—
学校計画室	11	1	—	10	—	—	—	—	—	—
学校教育部	122	52	—	62	—	—	1	2	4	1
指導室	45	29	—	15	—	—	—	—	—	1
教職員課	50	18	—	30	—	—	—	2	—	—
学校保健課	27	5	—	17	—	—	1	—	4	—
生涯学習部	89	1	22	56	—	7	3	—	—	—
生涯学習課	44	—	21	23	—	—	—	—	—	—
スポーツ振興課	28	1	1	25	—	—	1	—	—	—
文化財保護室	17	—	—	8	—	7	2	—	—	—
小計（公所）	304	42	2	122	94	33	6	—	—	5
学校事務支援センター	4	—	—	4	—	—	—	—	—	—
稲武野外教育センター	6	1	—	2	—	—	—	—	—	3
中津川野外教育センター	4	1	—	2	—	—	—	—	—	1
子ども適応相談センター	11	8	—	3	—	—	—	—	—	—
見晴台考古資料館	2	—	—	1	—	1	—	—	—	—

鶴 舞 中 央 図 書 館	55	—	—	17	37	—	—	—	—	1
千 種 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
東 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
北 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
楠 図 書 館	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—
西 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
山 田 図 書 館	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—
中 村 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
瑞 穂 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
熱 田 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
中 川 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
富 田 図 書 館	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—
港 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
南 陽 図 書 館	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—
南 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
守 山 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
緑 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
徳 重 図 書 館	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—
名 東 図 書 館	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—
天 白 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
博 物 館	31	—	—	16	—	13	2	—	—	—
蓬 左 文 庫	3	—	—	2	—	1	—	—	—	—
秀 吉 清 正 記 念 館	2	—	—	1	—	1	—	—	—	—
美 術 館	16	—	—	9	—	6	1	—	—	—
科 学 館	32	—	2	17	—	11	2	—	—	—
教 育 セ ン タ ー	49	32	—	16	—	—	1	—	—	—

(注) 1 教育長を除く。

2 事務職員の役職者は主事等に、技術職員の役職者は技師等を含む。

3 休職、休業に係る定数外指定の職員を含む。

7 教育委員会所管施設一覧

学 校 教 育 施 設	幼稚園	23	社 会 教 育 施 設	生涯学習センター（分館含む）	17
	小学校（分校含む）	263		女性会館	1
	中学校（分校含む）	112		総合体育館	1
	高等学校	14		体育館	14
	特別支援学校（分校含む）	5		名城庭球場	1
	野外教育センター（分館含む）	3		プール	13
	子ども適応相談センター	1		スポーツランド	1
	小計	421		スポーツトレーニングセンター	2
そ の 他 の 施 設	学校事務支援センター	1	育 施	瑞穂運動場	1
	教育センター（分館含む）	2	港サッカー場	1	
	小計	3	設	図書館（分館含む）	21
			博物館（分館含む）	3	
			見晴台考古資料館	1	
			美術館	1	
			科学館	1	
		小計	79		
合計				503	

8 広報広聴調査活動

（１）広 報

教育委員会の重点施策や事業は、市の広報紙「広報なごや」あるいはテレビ・ラジオ等を通して幅広く市民に知らせるとともに、市政記者クラブを通じて報道機関へ関係資料を提供した。また、平成26年度中における市の教育事業等を集録した「教育要覧 平成27年度版」を作成した。

（２）広 聴

市民の教育に対する「声」を行政に反映させることを目的として市民経済局が行う次のような広聴活動に協力した。

ア 個 別 広 聴（市民の声）

市民からの教育に関する提案・意見・要望、苦情、相談・問合せは、市民経済局広聴課および区役所まちづくり推進室を通じて「市民の声」として寄せられた。平成27年度の総数は537件で、その主な内訳は次のとおりである。

声 の 種 類	件 数	声 の 種 類	件 数
1 学 校 教 育	211	2 生 涯 学 習	238
(1) 入学・転校	4	(1) 成人教育	5
(2) 通学区域	12	(2) 社会教育施設	62
(3) 学校施設	21	(3) 博物館施設	20
(4) 教職員	19	(4) 文化財保護	6
(5) 教育指導・教育相談	92	(5) スポーツ・レクリエーション	145
(6) 就学支援	45		
(7) 学校給食	18	3 そ の 他	88

イ 集 会 広 聴

(ア) 団体広聴

団体から寄せられる市政への要望や意見のうち、内容が複数局に係わるものについて、団体広聴として市民経済局広聴課が窓口になり、文書回答をし、関係局との話し合いの場を設け、団体とのコミュニケーションに努めている。

平成27年度は、16団体の要望等が団体広聴として処理されたが、そのうち教育に関する要望等が含まれていたのは、12団体であった。

(イ) 地域懇談会

区長をはじめ区内公所（署）長と関係局職員が地域区民の意見、提案など直接聴き、これを行政に反映するとともに、市区政についての広報を図り、区民の理解を深めることによって住みよいまちづくりを進めていくことを目的として、地域懇談会を各区で開催している。

平成27年度は、44回開催され、「教育」に関しての事項は27件であった。

(3) 調査統計

平成27年度に実施した調査統計は次のとおり14件で、このうち文部科学省主管によるものが4件、県教育委員会主管によるものが3件、市教育委員会が独自に実施したものが7件であった。

<平成27年度実施の調査統計一覧>

調査件名	調査実施月	対象と方法	調査事項	主管
学校基本統計	27年 5 月			文 部 科学省
学校調査 卒業後の状況調査 不就学学齢児童生徒調査		市立学校（悉皆） 中・高（悉皆） 市教委・ 区役所（悉皆）	学校、在学者、学級数等 卒業生数、進学者数等 理由別不就学者数	
学校保健統計調査	27年 4 月	市立学校（標本）	発育・健康状態	〃
地方教育費調査	27年 6 月	市立学校 ・市教委（悉皆）	学校教育費、社会教育費 及び教育行政費の使途 別、財源別支出状況等	〃
社会教育調査	27年10月	社会教育施設 ・市教委（悉皆）	職員・施設・設備・事業 実施・利用の状況	〃
中学校卒業生の進学状況調査	27年 5 月	中学校（悉皆）	高等学校進学者等	県教委
高等学校入学状況調査	27年 5 月	高等学校（悉皆）	志願者・入学者数	〃
中学校卒業見込者の進路希望状況調査	27年 9 月 12月	中学校（悉皆）	高等学校への進学希望 者数	〃
幼児児童生徒数、学級 数、教職員数調査	27年 4 月	市立学校（悉皆）	在学者数、学級数、教職 員数	市教委
小学校卒業生の進学状 況調査	27年 4 月	小学校（悉皆）	設置者別中学校入学状 況	〃
高等学校卒業生の進路状 況調査	27年 4 月	高等学校（悉皆）	進学者、就職者数等	〃
学校保健調査	27年 4 月	市立学校（悉皆）	発育状況、健康状態	〃
長期欠席児童生徒数調査	27年 4 月	小・中（悉皆）	欠席日数、欠席理由、欠 席中の状態等	〃
幼児人口実態調査	27年 4 月	区役所（悉皆）	学区別幼児（0～5歳）数	〃
義務教育人口の推計	27年 5 月	市教委、 小・中学校（悉皆）	学校別児童生徒数、学級 数	〃

9 企画調整事務

企画調整事務は、教育委員会内の重要事項の企画調整並びに他の局等に関わり合いをもつ事務事業についての連絡調整である。各種計画の教育委員会における対応をはじめ、教育委員会内の全般の事務事業について総合的・有機的な執行のための潤滑油的な役割を担っている。

(1) 教育委員会内の重要事項の総合調整

教育委員会の重要事業計画及び教育委員会内重要事項の事前・事後調整

(2) 複数の局室区にわたる重要事項の連絡調整

総合調整会議にかかる議案の事前調整、その決定事項の事後調整、進行管理

(3) 教育長・教育次長の特命による事務事業

教育委員会内各課間における分掌事項の間隙部分に対する対応措置の立案

(4) 規程に基づく事務

ア 計画主任の事務（計画主任設置規程）

イ 広報幹事の事務（名古屋市広報広聴事務取扱規程）など

○ 本市の計画

計 画 の 名 称	教育委員会関係部分	備 考
名古屋市基本構想	Ⅳ－３ 市民の教育と文化	昭和52年12月20日 市議会で議決
名古屋市総合計画2018	施策 7, 8, 9, 10, 12, 13, 15, 16, 18, 33 , 34, 35, 38, 43, 44の該当部分	平26年10月１日 市議会で議決 (～平成30年度まで)

10 争 訟 事 務

(1) 教職員に係る不利益処分についての不服申立て

ア 平成27年5月15日提出の件（平成27年人委（不）第1号） 不服申立人 中学校教諭

平成27年4月1日付で処分庁のなした転任処分は、手続上違法かつ不当なものであり、身分等において不利益を受けるものであることから、取り消されるべきである。

（平成28年3月30日名古屋市人事委員会判定「却下」）

(2) 教職員に係る訴訟事件

ア 懲戒免職処分取消等請求事件（平成26年（行ウ）第135号）

原告 元中学校事務職員

被告 名古屋市

中学校の元学校事務職員である原告が、公金を横領したとの処分理由により懲戒免職処分を受けたが、当該懲戒免職処分は違法であるとして、懲戒免職処分の取消し等を請求して、平成26年12月10日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、現在係属中である。

イ 損害賠償等請求事件（平成27年（ワ）第4253号）

原告 高等学校講師

被告 名古屋市

高等学校の講師である原告が、部活動の主顧問や学級担任を命じられなかったこと、その他講師差別が行われていることに対して、慰謝料30万円の支払い等を請求して、平成27年9月29日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、平成28年3月25日に請求棄却の判決があった。

ウ 損害賠償請求事件（平成26年（ワ）第4342号）

原告 中学校教諭

被告 中学校教頭

補助参加人 名古屋市

中学校の教諭である原告が、勤務校の教頭から暴行を受けたとして、慰謝料等約361万円の支払いを請求して、平成26年8月21日名古屋簡易裁判所に提訴し、同年10月7日名古屋地方裁判所へ移送され、平成28年3月8日名古屋市の補助参加が決定したもので、現在係属中である。

(3) その他の訴訟事件

ア 損害賠償請求事件（平成25年（ワ）第745号）

原告 元中学校の生徒及びその保護者

被告 名古屋市

当時中学生であった原告が、同級生生徒らからのいじめを受けたことに対して、いじめを防止できなかったこと及び事案把握後の学校側の対応に対する慰謝料等として、1,760万円の支払いを請求して、平成25年2月25日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、平成28年4月19日に請求棄却の判決があった。

イ 損害賠償請求事件（平成26年（ワ）第 215号）

原告 小学校の児童及びその保護者

被告 名古屋市

小学校の児童である原告が、同級生児童からいじめ行為の被害に遭い不登校になったこと
に対して、学校側が適切な措置を怠ったことにより精神的損害を受けたとして、慰謝料等約
3,045万円の支払いを請求して、平成26年1月20日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、
平成27年10月7日に請求棄却の判決があった。

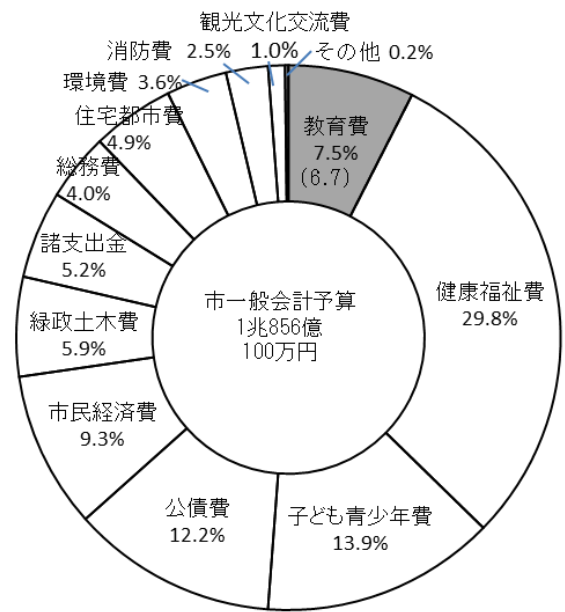
第2章 教育財政

1 平成28年度教育関係予算の概要

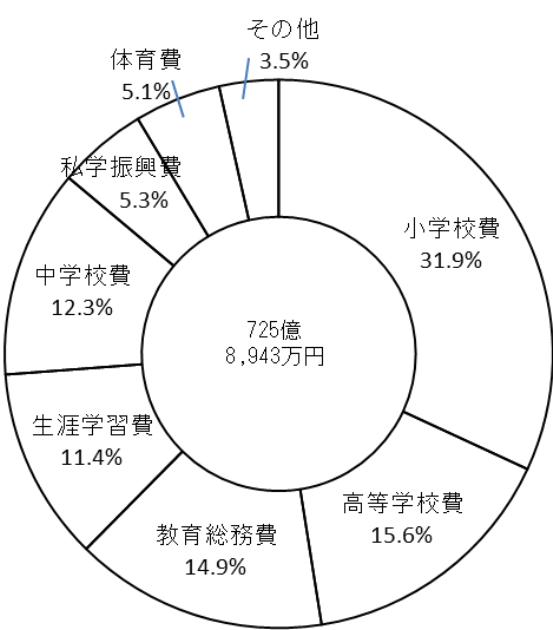
(1) 平成28年度当初予算

教育委員会所管予算額は、725億8,943万円で、一般会計の総額1兆856億100万円のうち6.7%を占めている。

一般会計予算内訳（単位%）



教育委員会所管予算科目別内訳（単位%）



教育費（ ）は、教育委員会所管分

当初予算の科目別内訳

科 目	28年度 予算額	27年度 予算額	増△減	主 な 内 容
教 育 総 務 費	千円 10,850,360	千円 9,695,653	千円 1,154,707	
教 育 委 員 会 費	9,329	10,954	△1,625	委員会の運営費
事 務 局 費	4,019,990	3,799,821	220,169	教職員の人事管理費、職員の人件費始め事務局運営費
教 育 指 導 費	2,613,524	2,158,242	455,282	学校教育の指導・支援費及び子ども適応相談センターの運営費
学校保健体育費	1,128,061	1,143,520	△15,459	学校医等の報酬、学校保健衛生対策費及び学校体育振興費

科 目	28年度 予算額	27年度 予算額	増△減	主 な 内 容
教 育 奨 励 費	千円 1,648,907	千円 1,704,892	千円 △55,985	要・準要保護児童生徒及び定時制 高校生の就学奨励事業費
教育センター費	1,123,002	582,392	540,610	教育センターの運営費
野 外 教 育 セ ン タ ー 費	307,547	295,832	11,715	稲武・中津川野外教育センター、 野外学習センターの運営費
小 学 校 費	23,156,048	24,838,251	△1,682,203	
学 校 管 理 費	15,736,396	15,554,081	182,315	小学校263校の運営費
学 校 整 備 費	7,419,652	9,284,170	△1,864,518	大規模改造の工事費、なごや小学 校の建設の工事費
中 学 校 費	8,957,497	8,004,468	953,029	
学 校 管 理 費	6,644,538	6,656,753	△12,215	中学校112校の運営費
学 校 整 備 費	2,312,959	1,347,715	965,244	大規模改造の工事費、公害対策校 における空調設備の工事費
高 等 学 校 費	11,323,036	11,534,450	△211,414	
学 校 管 理 費	11,323,036	11,534,450	△211,414	全日制13校、定時制2校の運営費
幼 稚 園 費	1,699,685	1,674,636	25,049	
幼 稚 園 費	1,699,685	1,674,636	25,049	幼稚園23園の運営費
特別支援学校費	734,534	736,830	△2,296	
学 校 管 理 費	734,534	736,830	△2,296	特別支援学校5校の運営費
私 学 振 興 費	3,856,447	3,869,070	△12,623	
私 学 振 興 費	3,856,447	3,869,070	△12,623	私立高校生、私立幼稚園児の授業 料補助など各種助成
生 涯 学 習 費	8,293,756	9,138,716	△844,960	
生涯学習推進費	3,851,297	4,106,371	△255,074	生涯学習の推進、学校開放事業の 実施、部活動の振興、成人・女性 教育の振興、文化財の保護及び職 員の人件費
生涯学習施設費	687,808	631,787	56,021	生涯学習センター（16館）、女性会 館、見晴台考古資料館等生涯学習 施設の運営費

科 目	28年度 予算額	27年度 予算額	増△減	主 な 内 容
図 書 館 費	千円 1,206,553	千円 1,122,640	千円 83,913	図書館（21館）の運営費
博 物 館 費	418,019	369,173	48,846	博物館の運営費
科 学 館 費	913,958	663,825	250,133	科学館の運営費
美 術 館 費	232,475	225,422	7,053	美術館の運営費
生 涯 学 習 費 施 設 整 備 費	983,646	2,019,498	△1,035,852	歴史の里の整備
体 育 費	3,718,069	3,321,636	396,433	
体 育 振 興 費	3,718,069	3,321,636	396,433	市民スポーツの振興費及び総合体育館、スポーツセンター（13館）、市営プール（13か所）、瑞穂運動場、志段味スポーツランド等市民体育施設の運営費
計	72,589,432	72,813,710	△224,278	

（２）当初予算の推移（教育委員会所管分）

年 度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
（百万円） 教 育 費	72,834	69,943	70,327	78,204	66,829	61,715	61,168	65,613	72,814	72,590
（％） 対前年 度伸率	△0.4	△4.0	0.5	11.2	△14.5	△7.7	△0.9	7.3	11.0	△0.3

2 新規・拡充事業及び重点施策

事項	主な内容
コーディネーター支援講師の配置	●なごや子ども応援委員会との調整役として、生徒指導担当教諭等をコーディネーターとし、その支援のための非常勤講師を全中学校に配置
スクールカウンセラーの養成	●公立大学法人名古屋市立大学と連携し、大学院人間文化研究科に開設する臨床心理士養成コースの運営に係る経費を負担
キャリア教育・生命尊重教育推進事業	●児童生徒の夢や命を大切にする心を育むための活動を推進
県費負担教職員に係る権限移譲に向けたシステムの開発等	●県費負担教職員の給与負担等の権限移譲に向けた義務教育費国庫負担金システムの開発等
学校施設長寿命化計画の策定	●学校施設を計画的に保全し、施設の長寿命化を図るための中長期的な計画を策定
瑞穂公園体育館建設の設計	●田辺陸上競技場の敷地に建設する体育館の設計
瑞穂公園レクリエーション広場改修の設計	●田辺陸上競技場の機能をレクリエーション広場に移転するための改修の設計
瑞穂公園陸上競技場改築に係る調査	●陸上競技場の改築に向けた、今後の大会開催需要等を踏まえた施設のあり方等の調査
杉原千畝顕彰事業	●杉原千畝の生誕の地である岐阜県加茂郡八百津町の八百津小学校と平和小学校との間で交流事業を実施
給食用磁器食器等への更新	●小学校給食用のアルマイト食器を磁器食器等へ更新
肢体不自由学級設置校等へのエレベーター整備の設計	●中学校の肢体不自由学級設置校等におけるエレベーター整備の設計
高等学校における世界に通用する人材の育成	●工業高等学校及び工芸高等学校の生徒をドイツに派遣し、現地企業の職業訓練生との交流等を実施
特別支援学校における必要教室確保策の検討	●特別支援学校の教室不足に対応するための最適な手法の検討や職業教育の充実に向けた調査を実施
なごや子ども応援委員会の運営	●いじめや不登校など児童生徒に関わる諸問題へ対応するなごや子ども応援委員会の体制を強化
スクールカウンセラーの配置	●いじめ問題等の悩みを抱える児童生徒や保護者等へのカウンセリング体制の充実
学校生活アンケートの実施	●いじめや不登校の防止及び早期発見に向けてアンケートを実施
学校における仲間づくり推進事業	●児童生徒が互いに思いやる心を身につけ、友情を深め合うための自主的ないじめ防止活動を推進
発達障害対応支援員の配置	●発達障害の可能性のある幼児児童生徒の介助等を行う

学習支援講師の配置	ための支援員を配置 ●発達障害対応支援講師、不登校対応支援講師、学習指導支援講師、日本語指導講師、生徒指導支援講師を配置
医療的ケアが必要な障害のある児童生徒の学校生活支援	●医療的ケアが必要な障害のある児童生徒に対する学校生活における支援
母語学習協力員の配置	●バイリンガルの学習協力員を配置し、日本語指導や適応相談を実施
指導者用デジタル教科書の導入	●中学校の英語科授業の活性化を図るため、全中学校に指導者用デジタル教科書を導入
郷土の歴史学習の充実	●中学生を対象に郷土の歴史に対する興味を喚起するための副読本の作成
子ども・教育に関する総合的な応援体制に関する調査	●子ども・教育に関する各相談施設の効率的な連携を図るための手法等について調査
教育館移転改築の設計等	●老朽化が進み、耐震性が不十分な教育館を移転改築するための設計等
私立幼稚園就園奨励補助	●ひとり親世帯、多子世帯等への負担軽減の拡充
部活動外部指導者及び顧問の派遣	●部活動の充実・活性化を図るとともに、部活動時間中、子どもを常に見ることができるよう、教員顧問を補助し、専門的な技術指導を行う外部指導者及び、教員顧問がいなくても部活動指導ができる顧問を派遣
土曜日の教育活動推進事業	●伝統芸能や郷土史探索など体験を重視した土曜日の学習プログラム
瑞穂公園野球場防球ネットの整備	●野球場での場外ファウルボール対策として防球ネットを整備
市体育館空調設備等整備の設計	●市民が快適かつ安全に利用できるようにするための空調設備等整備
科学館 B 6 型蒸気機関車の動態展示に向けた調査	●科学館の屋外展示物である B 6 型蒸気機関車の動態展示に向け、外部整備工場において、車両状況を調査
美術館の改修	●内装改修や防犯監視カメラ設備の更新等
歴史の里ガイダンス施設の整備	●国史跡である志段味古墳群を活用した歴史体験・学習エリアとして整備している歴史の里におけるガイダンス施設の整備
スポーツセンター等の窓ガラス飛散防止対策	●避難所となるスポーツセンター等の安全対策のための窓ガラスの取替及び飛散防止フィルムの貼付
天井等落下防止対策	●吊り天井等について、地震発生時の落下防止対策としての撤去等
小学校 1・2 年生での 30 人学級の実施	●集団生活への適応を図るため、小学校 1・2 年生における 30 人学級を全校で実施

なごや小学校新校舎の建設	●幅下小学校跡地に新校舎を建設
校舎等の大規模改造	●昭和 55 年以前に建設された校舎の内装・外壁・屋上防水工事等
インターネット上におけるいじめ対策	●インターネット上における児童生徒に関する誹謗中傷等問題のある書き込みについて、検索・監視・削除依頼等を行うとともに学校からの相談を受付
私立高等学校授業料補助	●保護者負担の軽減
博物館所蔵資料の修復	●劣化が進んでいる名古屋城下図及び秀吉文書等の修復
ウィーン博物館との交流事業	●友好提携に関する協定書に基づく交流事業
ランス美術館との交流事業	●友好提携に関する覚書に基づく交流事業
山車行事の総合調査	●名古屋三大祭に関連した山車行事についての調査

3 小・中学校標準運営費

標準運営費とは、各教科等教育活動に要する経費及び学校の維持管理等に要する経費（人件費、光熱水費等を除く。）の標準を算定したものである。

（１）標準運営費の推移

区分 年度	小 学 校				中 学 校			
	校数	予 算 額	1 校 均	児童 1 人平均	校数	予 算 額	1 校 均	生徒 1 人平均
	校	千円	千円	円	校	千円	千円	円
18	260	2,886,757	11,103	24,014	110	1,681,637	15,288	31,856
19	261	2,800,154	10,729	23,354	110	1,631,188	14,829	30,513
20	262	2,800,154	10,688	23,404	110	1,631,188	14,829	30,631
21	263	2,800,154	10,647	23,548	110	1,631,188	14,829	30,594
22	262	2,800,154	10,688	23,813	110	1,631,188	14,829	30,718
23	262	2,800,154	10,688	24,356	110	1,631,188	14,829	30,421
24	263	2,810,842	10,688	24,694	110	1,631,188	14,829	30,337
25	264	2,809,284	10,641	24,980	110	1,632,660	14,709	30,590
26	264	2,890,925	10,950	25,715	111	1,678,222	15,119	31,827
27	263	2,882,917	10,962	25,589	112	1,692,160	15,109	32,443
28	263	2,879,287	10,948	25,629	112	1,686,969	15,062	33,021

（注）事務局等で一括支払又は一括購入する経費を含む。

(2) 平成28年度 1校当たり標準運営費

科 目	区 分	小 学 校			中 学 校		
		28予算	27予算	対前年比較	28予算	27予算	対前年比較
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
報 償 費		72	72	0	101	103	△2
交 際 費		6	6	0	6	6	0
需 用 費		5,407	5,404	3	7,201	7,237	△36
	(消耗品費)	(4,847)	(4,846)	(1)	(6,024)	(6,033)	(△9)
	(燃料費)	(4)	(4)	(0)	(6)	(6)	(0)
	(食糧費)	(19)	(19)	(0)	(17)	(17)	(0)
	(印刷製本費)	(300)	(299)	(1)	(928)	(949)	(△21)
	(修繕料)	(187)	(186)	(1)	(177)	(182)	(△5)
	(賄材料費)	(50)	(50)	(0)	(49)	(50)	(△1)
役 務 費		312	312	0	485	485	0
	(通信料)	(264)	(264)	(0)	(408)	(408)	(0)
	(手数料)	(48)	(48)	(0)	(77)	(77)	(0)
委 託 料		339	357	△18	416	416	0
使用料及び賃借料		22	22	0	67	67	0
工 事 請 負 費		1,848	1,848	0	2,120	2120	0
原 材 料 費		48	48	0	61	61	0
備 品 購 入 費		2,884	2,883	1	4,590	4,599	△9
	(庁用備品費)	(874)	(874)	(0)	(817)	(819)	(△2)
	(事業用備品費)	(1,055)	(1,054)	(1)	(1,998)	(2,005)	(△7)
	(図書費)	(955)	(955)	(0)	(1,775)	(1,775)	(0)
負担金補助及び交付金		10	10	0	15	15	0
合 計		10,948	10,962	△14	15,062	15,109	△47

4 マイスクールプラン

小・中・高等学校、特別支援学校では、様々な体験活動や既存の教科の枠を超えた学習を行う等、多彩な特色ある教育活動や学校づくりを「マイスクールプラン」として実施している。

第3章 計画の推進

1 名古屋市教育振興基本計画

(1) 計画の概要

名古屋市教育振興基本計画は、教育を取り巻く環境や諸制度の変化に対応し、本市教育行政の進むべき方向性を明らかにするとともに、その充実に資する取り組みの総合的かつ計画的な推進のため、平成27年3月に策定した。

この計画の対象範囲は、「名古屋市立幼稚園、小・中・特別支援・高等学校段階などにおける教育・育成に関する施策」及び「生涯学習全般における学びの支援に関する施策」としている。

ア 基本理念

この計画では、「なごやっ子教育推進計画（平成19年3月策定）」及び「名古屋市教育振興基本計画（平成23年3月策定）」の基本理念を受け継ぎ、「夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子の育成」を基本理念とする。

～この計画がめざす「なごやっ子」像～

- (ア) なごや（郷土）が大好きで、なごや（郷土）をもっとよくしたいと望んでいる
- (イ) 豊かな感性と創造力を備える
- (ウ) 社会性を備え、他人を思いやり、協力・協調する
- (エ) 人生をたくましく生きる力を備える
- (オ) 未来への夢を抱き、学び成長し続ける

イ 計画期間

平成27年度～平成30年度（4年間）

(2) 主要な課題

- ア 社会を生き抜く力を備えた子どもの育成
- イ 多様な教育的ニーズに対応できる教育環境の充実
- ウ 子どもの豊かな育ちの応援
- エ 生涯を通じた学びへの接続

(3) 施策の基本的方向

- ア 「なごやっ子」の資質と個性を育む“学び”の提供
- イ 教員の資質向上と、教育環境の整備
- ウ 子どもの育ちと針路を応援する体制づくり
- エ 学校・家庭・地域の連携
- オ 生涯を通じた学びの支援

2 名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針

平成21年9月に名古屋市学校教育研究協議会から、名古屋市における小・中学校の適正規模、学校規模適正化の対象などの検討結果が報告された。

この協議会からの報告を踏まえ、平成22年3月に「名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針」を策定した。

＜基本方針の概要＞

（１）学校規模の基準

望ましい学校規模は、小・中学校ともに、少なくとも各学年でクラス替えができる規模とする。

ア 望ましい学校規模（適正規模）

（ア）小学校 12 学級から 24 学級

（イ）中学校 6 学級以上は必要（9 学級から 18 学級が望ましい）

イ 学校規模適正化の対象

（ア）小学校 11 学級以下

（イ）中学校 5 学級以下

ウ 学校規模適正化の方法

（ア）学校の統合

（イ）通学区域の変更

エ 通学距離

徒歩通学を基本とし、小学校で概ね 2 k m、中学校で概ね 3 k m

（２）学校規模適正化の進め方

- ・ 教育的課題が大きい小学校を優先して学校規模適正化に取り組む。
- ・ 中学校については、現段階では対象とせず、小学校の進捗状況等を勘案して改めて検討する。

ア 対象校選定の考え方

平成22年5月1日現在の学級数を基に、幼児人口により把握した将来の学級数による。

イ 対象校の優先順位

対象となるすべての学校を一斉に実施することはできないため、グループ分けを行い、クラス替えができない第1グループから段階的に順次取り組む。

（ア）第1グループ

平成22年5月1日現在、6 学年すべてが単学級の学校で、実施計画期間内も同じ状況が継続する見込みの学校

（イ）第2グループ

- ・ 平成22年5月1日現在、6 学年すべてが単学級の学校で、実施計画期間内に 6 学級でなくなる見込みの学校（7 学級から 11 学級になる見込みの学校）
- ・ 平成22年5月1日現在、7 学級から 11 学級の学校で、実施計画期間内に 6

学級になる見込みの学校

(ウ) 第3グループ

平成22年5月1日現在、7学級から11学級の学校で、実施計画期間内も同じ状況が継続する見込みの学校

ウ 実施計画の策定

- (ア) 実施計画を平成22年度に定め、幼児人口が把握できる6年ごとに見直す。
- (イ) 学校の組合せは、中学校ブロック内の小学校同士で12学級から24学級となる組合せとする。
- (ウ) 通学距離が2kmを大幅に超える場合は、通学区域の変更での対応を検討する。
- (エ) 組合せを検討する際には、学校の沿革や歴史、地域の特性、校地・校舎の状況などの諸条件を勘案する。

(3) 取り組みの際の留意点

保護者や地域の皆様の十分な理解を得ながら、次の事項に留意して進める。

- ア 児童への配慮（スクールカウンセラーの派遣、統合前の学校の教員のバランスよい配置など）
- イ 通学の安全（関係行政機関との連携、家庭・地域との協力）
- ウ 保護者、地域との連携・協力（各種情報の共有化）
- エ 統合後の校舎・校地の活用（可能な限り既存校舎を活用し、必要に応じて整備の検討。校舎や校地は、全市的な視点での有効活用などの検討）

3 小規模校対策に関する実施計画

「名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針」に基づき、小規模校対策の対象となる学校の選定、学校ごとの方策、今後の取り組みの進め方などをまとめた「小規模校対策に関する実施計画」を平成22年9月に策定・公表した。

<実施計画の概要>

(1) 実施計画期間

平成23年度から平成28年度まで

(2) 対象校

平成22年5月1日現在の学級数及び0歳から5歳までの幼児人口により、小規模校対策の対象校（小学校44校）を選定し、優先順位をつけ第1から第3までのグループに分類した。

ア 第1グループ（9校）

幅下小・南押切小・江西小・那古野小・豊臣小・御園小・白金小・大生小・高坂小

イ 第2グループ（18校）

内山小・千種小・六郷小・六郷北小・榎小・浮野小・中村小・栄小・平和小・
千早小・大須小・広見小・正色小・中川小・西築地小・浦里小・梅森坂小・
相生小

ウ 第3グループ（17校）

東桜小・明倫小・大杉小・杉村小・栄生小・米野小・諏訪小・松原小・鶴舞小
井戸田小・西福田小・白水小・柴田小・千鳥小・本地丘小・西城小・牧の原小

（3）学校ごとの方策と具体的な進め方

ア 第1グループ

統合相手校など小規模校対策の具体的な学校ごとの方策を定め、実施計画期間内の開校を目指す。

- ・ 幅下小・江西小・那古野小の3校を統合
- ・ 南押切小・榎小（第2グループ）・栄生小（第3グループ）の3校を統合
- ・ 豊臣小：諏訪小（第3グループ）と統合
- ・ 御園小：名城小と統合
- ・ 白金小：村雲小と統合
- ・ 大生小：宝小と統合
- ・ 高坂小：相生小（第2グループ）と統合

イ 第2グループ

保護者・地域説明会を開催し、児童数の推移や地域の状況等を把握しながら、第1グループに準じて進める。

ウ 第3グループ

保護者・地域説明会を開催し、その後、学校から児童数の推移等の情報収集を行う。

4 名古屋市不登校対策基本構想

（1）構想の概要

不登校の未然防止及び不登校児童生徒の学校復帰の促進を目指し、不登校対策として取り組むべき施策の方向性を定めた「名古屋市不登校対策基本構想」を平成25年2月に策定した。

ア 5つの視点

不登校の子ども及びその保護者に対する支援の一層の充実を図るため、下記の5つの視点に基づき取り組みを実施する。

- （ア）子どもが安心できる環境づくり
- （イ）学習への興味・関心・意欲の喚起
- （ウ）子どもの心に寄り添う体制づくり
- （エ）適応段階に応じた支援

(オ) 保護者への情報提供や保護者の不安軽減

イ 計画期間

平成 25 年度～平成 29 年度（5 年間）

（２）平成 27 年度の主な実績

- ア 不登校・いじめ・問題行動等の教育相談に加え、福祉との連携も視野に入れた、子ども・教育に関する総合的な相談施設について、関係局を交えた整備検討を行うとともに、相談施設相互の連携のあり方について検討を行った。
- イ 子ども適応相談センターにおける過大な通所者数の緩和及び市南部・北東部方面からの通所促進を図るため、南区と中区において、子ども適応相談センターのサテライトスクールを運営した。
- ウ 相談環境の充実のため、小学校のスクールカウンセラー通年配置校（140 時間）を 131 校に拡充し、新たに特別支援学校 4 校に 30 時間配置した。
- エ 発達障害のある児童生徒の学校生活への適応を図るため、発達障害対応支援員の配置校数を 54 校から 57 校へ拡充した。
- オ 発達障害の可能性のある児童生徒に対する個別指導や少人数での指導を推進するため、発達障害対応支援講師の配置校数を 58 校から 65 校へ拡充した。
- カ 担任教員が不登校児童生徒等に接する時間を増やし学校復帰の促進を図るため、不登校対応支援講師を 40 校に配置した。

5 魅力ある市立高等学校づくり推進基本計画

（１）計画の概要

魅力ある市立高等学校づくり推進基本計画は、名古屋市教育振興基本計画の「特色ある市立高等学校づくり」を受け、全ての市立高校で目指す特色づくりを明確にし、平成 25 年度より 5 年間にわたって推進する計画として、平成 25 年 2 月に策定された。

ア 基本理念

(ア) 名古屋市立高校は、社会の変化や生徒・保護者のニーズに対応しながら、次に掲げる資質をもった生徒を育成する。

- ① 人生をたくましく生きる力を備える
- ② 未来への夢を抱き、学び成長し続ける
- ③ 社会性を備え、他人を思いやり、協力・協調する
- ④ 豊かな感性と創造力を備える

(イ) 名古屋市立高校は、社会の発展に努め、地域社会に貢献できる人材を育成する。

(ウ) 名古屋市立高校に、義務教育と高等教育や産業界とを結ぶ役割をもたせ、学校間連携や校種を超えた連携による教育活動を推進し、名古屋市の教育活動を活性化させる。

イ 計画期間

平成 25 年度～平成 29 年度

(2) 平成 27 年度の主な実績

ア 向陽高等学校

世界で活躍できる科学技術系人材を育てる理数教育の推進するために、平成 27 年度に国際科学科を新設し、本市の理数教育の拠点校として、大学及び研究機関との連携や、英語をツールとしたグローバル教育を進めた。

イ 北高等学校

国際的な教養を身につけさせる国際理解教育を推進するために、平成 27 年度に国際理解コースを新設し、海外の高校生との交流等を行い、英語によるコミュニケーション能力の向上や日本文化及び異文化理解を深めた。

ウ 工業高等学校

より実践的な技能者の育成を目指し、学校での授業と企業での長期研修とを組み合わせたデュアルシステムの実施に向けて、企業研修の試行と実施校の取組に関する調査を行った。

エ 工芸高等学校

より高度な先端的技術を習得した技能者を育成するための専攻科の設置等についての実施校の取組に関する調査や、設置に際しての諸課題についての検討を進めた。

6 第 2 次名古屋市子ども読書活動推進計画

(1) 計画の概要

子どもの読書活動を推進していくため、平成24年度に策定した「第2次名古屋市子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭・地域・図書館・学校や関係機関がそれぞれ連携・協力し、さまざまな読書の機会や場の提供、読書に取り組みやすい環境や仕組みづくりに取り組んでいる。

ア 理念

子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである。乳幼児期から読書に親しむようにさせるとともに、発達段階に応じた読書活動を総合的に推進する。

(2) 平成27年度の主な実績

ア 1月9日に、「読書フェスティバル」を開催。「あなたの思い出の本さがします」「名古屋市図書館88景」の展示や、クイズを解いて本を探すゲーム「きみもたんでいになろう!」、自動車図書館の出動等を実施し、1,605人の市民が参加した。

イ 市内全区で小学生130名を子ども図書館大使に任命し、図書館の裏側探検や、大使によるおはなし会の開催等を実施。プログラム修了後、学校等で図書館の魅力を伝える活動を行った。

- ウ 市内全保健所の乳幼児健診時に絵本紹介冊子を3種類配布するとともに、519回26,716人の子どもと保護者に絵本の読み聞かせを実施した。
- エ 市立小学校、中学校及び特別支援学校に「なごやっ子読書ノート」、「なごやっ子読書カード」を配布し、日常生活における読書意欲と表現力を喚起した。
- オ 読書への興味関心を高めるため、市立小学校・特別支援学校小学部5・6年生および市立中学校・特別支援学校中学部全学年を対象に、「本の帯コンクール」を実施した。
- カ 鶴舞中央図書館に設置した「学校図書館連携窓口」により、市立小中学校・特別支援学校の学校図書館に図書室整備・図書購入・図書委員会活動・現場職員研修・授業協力等の助言を19校20件行った。また学校への郵送貸出サービスとして「学習支援図書セット貸出」を61校114件、「特別支援教育資料貸出」を18校283点実施した。図書修理ボランティアを養成・派遣し64校のべ177人で4,792冊の修理を行った。
- キ 学校図書館における子どもの主体的な取り組みを推進するため、ポスター「アイディア広がる図書委員会」を市立小学校、中学校、特別支援学校及び高等学校に配布した。

7 名古屋市スポーツ推進計画

(1) 計画の概要

「なごやマイ・スポーツ推進プラン」（平成14年3月策定）を継承・発展させるスポーツ基本法第10条に基づく「地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画」として平成25年3月に策定した。

この計画では、平成25年度から概ね10年間を計画期間とし、スポーツを実施することによる多様な意義の啓発、運動・スポーツの実施機会の提供により運動・スポーツの実施率の向上を図っていく。

ア 基本理念

「やろまい 運動・スポーツ」でナゴヤ・元気UP!～スポーツを通じた交流・個から社会へ～を基本理念とし、「いつでも、どこでも（地域において、職場において、通勤途上において）、だれとでも、気軽に、スポーツを楽しむことができる「みんなでやろまい（皆でやりましょう）」という社会環境の醸成を図ることをめざしている。

イ 目標

(ア) 基本目標

- ・スポーツの楽しさ・意義への気づきを促進
- ・いつでも、どこでも、だれとでも、気軽にスポーツを楽しむことができるよう機会・場を提供

(イ) 数値目標

成人の運動・スポーツ実施率（週に1回以上の頻度で運動・スポーツを実施する者の割合）を65%以上とする。

(2) 施策体系

ア 意識啓発・スポーツ実施機会の提供

- ・スポーツ・ライフ月間の実施
- ・健康・スポーツのまるはちデーの設定
- ・大会・イベントの誘致・開催、交流の推進
- ・他の施策と連携したスポーツの推進

イ 支援体制の充実

- ・市民スポーツの推進体制の整備
- ・インセンティブ制度の拡充

ウ 活動の場の充実

- ・スポーツ総合推進拠点施設等の充実
- ・市有施設の維持管理・有効活用

8 「歴史の里」基本計画

(1) 計画の概要

「歴史の里」は、歴史的資産を活用したまちづくりを推進するため、日本の古墳時代の縮図、尾張のルーツとも言われる国史跡を含む貴重な文化財である志段味古墳群と自然地形・景観を保存・活用して、歴史を身近に感じた体験・学習を通して幅広い世代が楽しむことができる施設として平成30年度のフルオープンを目指して事業を推進している。

「歴史の里」基本計画は、平成21年3月に策定された「歴史の里」基本構想をもとに、整備に向けての基本理念や利用・整備内容等について定めた計画として平成26年3月に策定された。

(2) 基本理念

古代ロマンを五感で体感～「学び」と「にぎわい」のある地域づくり～

(3) 基本方針

- ア 貴重な文化財、自然環境の保存
- イ 歴史・文化の体感・体験
- ウ 過去と未来をつなぐ歴史・文化の拠点づくり
- エ 市民と連携し、協働する仕組みの形成

(4) 計画範囲

計画範囲は庄内川、東谷山、尾張丘陵、野添川に囲まれた地域とし、このうち主要な古墳が残る5つの地区を拠点地区としている。

- ア 勝手塚古墳地区
- イ 大塚・大久手古墳群地区
- ウ 白鳥塚古墳地区
- エ 東谷山白鳥古墳地区

才 東谷山山頂3古墳地区



第2部 学校施設、設備、管理、 なごや子ども応援委員会

第1章 校（園）地及び校（園）舎の実態

1 学校施設の整備

（1）校（園）舎の建設

ますます多種・多様化する学校施設へのニーズの中で、よりよい教育環境をめざして、既存の施設を有効に活用しつつ、学校施設の改善・向上を図っている。平成27年度の主な整備内容は次のとおりである。

ア 校舎の改修

校舎の老朽化対策として小学校7校について大規模改造を行うとともに、施設の長寿命化に向けてリニューアル改修をモデル校1校で行う等既存施設の改善に努めている。

イ 統合校の建設

小規模校である幅下小学校・江西小学校・那古野小学校の3校を統合した「なごや小学校」の新校舎の建設に着手した。

ウ 小学校の普通教室の冷房化

子どもたちの学習環境の充実を図るため、小学校123校の普通教室へ空調設備を整備した。

エ 天井等落下防止対策工事

地震発生時の安全確保を図るため、小学校3校、中学校51校、高等学校6校において、体育館、格技場等の吊り天井等落下防止対策工事を行った。

オ 事業費

平成27年度の事業費（委託料を含む）は、小学校8,996,650千円、中学校1,347,650千円、高等学校350,340千円、特別支援学校3,000千円である。

(2) 学校施設の維持修繕

平成27年度に実施した維持修繕は以下のとおりである。

(千円)

種別 項目	小学校費	中学校費	高等学校費	幼稚園費	特別支援学校費
指 定 修 繕 費	849,949	384,239	60,618	22,866	17,939
(校舎雨漏り補修)	166,502	66,027	8,015	9,742	1,490
(校舎・教室補修)	151,157	39,488	22,155	2,126	6,531
(障害児用施設改修)	70,770	27,775	0	0	-
(トイレ補修)	63,755	20,918	1,865	2,722	2,014
(給食調理所補修)	23,056	0	-	-	0
(給排水補修)	49,892	32,717	1,152	745	0
(電気・ガス補修)	36,333	23,915	4,398	354	0
(空調機器補修)	87,781	49,278	4,663	889	676
(プール補修)	72,544	31,627	2,597	934	122
(運動場補修)	48,485	34,521	2,569	0	0
(体育館補修)	28,966	20,724	9,485	-	4,055
(門・塀補修)	31,892	9,560	0	0	864
(防球ネット補修)	4,320	17,144	2,660	778	0
(その他)	14,496	10,545	1,059	4,576	2,187
常 時 修 繕 費	455,200	253,351	26,046	12,080	13,435
合 計	1,305,149	637,590	86,664	34,946	31,374

2 学校施設の現況

(1) 幼稚園 23園

(平成28年5月1日現在)

区分 園名	幼児数 人	学級数	園地面積 m²	園舎	
				建物延面積 m²	保育室数
総計	2,106	99	42,440	18,402	132
第 二	133	6	1,529	1,031	8
第 一	118	6	2,653	1,162	6
大 幸	97	5	2,216	989	8
報 徳	41	3	1,682	1,115	7
楠 西	50	3	2,117	626	4
お り ベ	51	3	2,221	794	6
第 三	89	6	3,767	1,881	10
比 良 西	69	3	1,859	570	4
吹 上	84	3	2,376	763	6
高 田	66	3	860	565	4
常 磐	75	3	—	—	4
荒 子	27	2	—	598	4
春 田	66	3	2,585	572	4
は と り	66	3	1,590	572	4
二 城	124	6	1,998	750	6
鳴 子	118	6	2,365	1,024	6
桶 狭 間	117	6	1,820	734	6
大 高	76	3	2,594	826	6
神 の 倉	104	5	1,652	656	5
西 山 台	160	6	1,988	848	6
猪 高	150	6	2,916	1,013	8
梅 森 坂	76	3	1,652	571	4
植 田	149	6	—	742	6

(注) 園地面積、園舎の—は、併設などの区分不可能なもの。

(2) 小学校 263校

区 分 校 名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
総 計	111,075	(461) 4,235	(12,096) 3,169,365	1,555,932	5,501	1,695

※校地面積には笹島中学校分・南養護学校分校分を、建物延面積、特別教室数には笹島中学校分を含む

千 種 区 15校

計	7,305	266 (26)	(11,521) 172,829	93,512	334	97
内 山	131	8 (2)	7,987	5,324	11	6
春 岡	315	14 (1)	9,783	4,817	14	6
千 種	212	8 (1)	11,068	5,437	16	7
高 見	490	18 (1)	10,533	7,143	31	7
大 和	302	12 (1)	8,055	4,780	15	5
田 代	1,050	34 (3)	11,427	9,184	33	9
上 野	673	23 (2)	10,116	7,623	32	8
東 山	1,019	33 (2)	10,059	6,820	37	5
自 由 ケ 丘	368	15 (2)	21,299	5,930	17	6
千 石	189	8 (1)	11,566	4,536	13	5
富 士 見 台	967	30 (2)	13,276	8,600	30	6
星 ケ 丘	387	16 (2)	9,087	5,066	18	8
宮 根	363	16 (3)	10,817	5,933	25	6
千 代 田 橋	427	16 (2)	13,200	6,483	25	7
見 付	412	15 (1)	14,556	5,836	17	6

東 区 9校

計	3,046	119 (10)	(10,192) 91,735	50,662	155	62
旭 丘	462	17 (2)	9,951	5,392	19	8
筒 井	353	15 (2)	9,578	5,920	16	6
東 桜	309	13 (1)	9,542	5,294	14	9
矢 田	400	16 (2)	11,388	8,145	28	8
山 吹	493	16	10,412	5,417	18	6

区 分 校 名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
東 白 壁	308	12	7,404	4,890	14	7
葵	250	10	10,924	4,771	12	5
明 倫	264	11 (1)	9,336	4,873	12	6
砂 田 橋	207	9 (2)	13,200	5,960	22	7

北 区 19校

計	7,149	279 (31)	(11,372) 216,071	113,478	382	126
飯 田	474	17 (2)	8,300	5,527	23	6
大 杉	245	11 (2)	12,751	5,414	14	6
清 水	410	14 (2)	11,468	7,087	26	6
杉 村	204	6	7,775	5,038	12	7
名 北	481	18 (2)	12,075	6,880	27	7
金 城	415	16 (2)	11,650	6,379	27	6
城 北	578	21 (2)	11,646	7,491	27	8
六 郷	104	6	6,603	3,556	6	6
楠	774	28 (3)	9,938	7,134	28	7
光 城	523	19 (1)	13,731	6,550	18	6
東 志 賀	393	15 (1)	11,235	6,368	15	7
味 鉢	660	22 (2)	16,671	7,463	32	7
西 味 鉢	279	12 (1)	11,115	4,520	14	6
楠 西	344	14 (2)	9,809	5,161	17	6
如 意	253	13 (2)	10,651	5,208	15	7
宮 前	321	13 (2)	13,040	6,710	28	8
川 中	268	13 (2)	11,420	5,898	17	7
六 郷 北	158	7 (1)	12,993	4,999	15	6
辻	265	14 (2)	13,200	6,095	21	7

西 区 18校

計	6,714	262 (25)	(10,236) 184,251	95,412	337	110
---	-------	----------	---------------------	--------	-----	-----

区 分 校 名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
榎	228	10 (1)	5,771	3,951	11	5
栄 生	189	7 (1)	9,855	4,162	11	7
上 名 古 屋	377	15 (1)	9,628	5,940	21	6
城 西	350	13	10,910	5,199	17	6
児 玉	239	10 (1)	10,056	4,859	14	6
枇 杷 島	331	13 (1)	8,658	5,489	23	6
南 押 切	144	8 (2)	8,000	3,742	11	5
庄 内	682	24 (2)	13,257	7,553	28	8
稲 生	599	22 (2)	10,653	7,548	31	5
山 田	849	29 (2)	16,411	6,536	32	7
平 田	471	17 (2)	10,156	5,479	23	6
比 良	292	13 (1)	10,695	4,679	16	6
大 野 木	511	19 (3)	11,103	5,712	22	6
浮 野	171	8 (1)	11,690	5,100	20	8
比 良 西	330	15 (2)	11,617	5,169	17	6
中 小 田 井	559	21 (2)	11,407	5,987	25	7
なごや（西）	288	12 (1)	7,437	3,980	9	5
なごや（東）	104	6	6,947	4,327	6	5

中 村 区 15校

計	4,944	193 (25)	(11,107) 166,618	93,122	275	102
中 村	187	9 (3)	8,886	5,840	20	7
牧 野	192	9 (2)	9,063	5,549	15	8
米 野	222	8	8,971	3,938	13	6
日 比 津	333	14 (2)	10,565	6,101	17	6
柳	342	14 (2)	9,017	4,511	18	6
稲 葉 地	655	23 (2)	13,971	7,415	29	8
日 吉	335	14 (2)	13,679	5,584	16	7
岩 塚	496	18 (2)	15,149	6,313	23	7
豊 臣	135	6	8,648	4,358	11	5

校 名	区 分	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
						普通 教室	特別 教室
千 成		393	15 (1)	12,679	6,373	25	6
諏 訪		282	11 (1)	13,433	4,460	13	5
稲 西		237	10 (2)	10,244	5,247	21	8
八 社		543	19 (2)	12,853	5,865	20	8
ほ の か		441	15 (2)	10,382	7,962	20	6
笹 島 (※)		151	8 (2)	9,078	13,606	14	9

(※) 校地面積、建物延面積、特別教室数には笹島中学校分含む

中 区 11校

計		2,129	99 (15)	(9,530) 104,835	51,111	133	61
名 城		222	10 (2)	10,914	6,127	20	5
栄		154	7 (1)	10,052	5,117	13	6
新 栄		195	9 (2)	9,219	5,047	12	6
松 原		225	9 (1)	11,430	4,285	12	5
橘		332	14 (2)	6,823	5,114	15	6
平 和		164	8 (2)	11,817	4,309	9	5
老 松		201	9 (2)	10,341	5,299	15	6
大 須		179	8 (1)	7,418	5,042	13	6
正 木		296	12 (1)	8,134	4,001	11	6
千 早		112	7 (1)	9,074	3,389	7	5
御 園		49	6	9,613	3,381	6	5

昭 和 区 12校

計		4,520	176 (22)	(10,263) 112,898	58,261	211	70
鶴 舞		181	8 (2)	8,167	4,337	11	5
吹 上		320	14 (2)	7,946	5,437	23	7
村 雲		315	14 (2)	13,035	5,086	17	7
松 栄		781	27 (2)	9,302	6,808	27	6
御 器 所		483	17 (2)	9,738	5,430	21	5

区 分 校 名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
広 路	431	17 (2)	10,601	5,537	22	7
八 事	385	15 (2)	7,265	4,070	16	5
白 金	163	6	9,604	4,146	9	6
川 原	390	16 (2)	13,297	5,868	18	7
川 原 (分)	17	3 (3)	—	—	—	—
滝 川	766	27 (3)	12,927	6,298	29	7
伊 勝	288	12	11,016	5,244	18	7

瑞 穂 区 11校

計	5,025	189 (19)	(11,714) 128,862	68,776	234	72
弥 富	709	22 (1)	14,134	7,619	25	6
御 劔	288	12 (1)	11,666	6,866	12	7
堀 田	232	11 (2)	14,766	6,054	23	7
汐 路	622	24 (3)	12,473	7,246	27	7
高 田	351	15 (2)	7,929	5,442	18	6
瑞 穂	428	18 (4)	10,969	5,885	25	5
井 戸 田	303	12	9,748	5,276	16	8
穂 波	462	18 (2)	11,158	5,510	17	6
豊 岡	375	14	9,996	6,112	17	7
陽 明	713	24 (2)	13,405	7,216	30	7
中 根	542	19 (2)	12,618	5,550	24	6

熱 田 区 7校

計	2,606	108 (12)	(10,704) 74,928	39,163	133	46
高 蔵	300	13 (1)	10,615	5,093	15	9
旗 屋	368	16 (2)	7,738	4,902	16	6
千 年	305	13 (1)	9,714	4,765	16	6
船 方	592	21 (2)	16,648	6,766	27	6
白 鳥	344	15 (2)	7,834	6,040	22	7

校 名	区 分	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
						普通 教室	特別 教室
野 立		362	15 (2)	11,414	6,156	22	6
大 宝		335	15 (2)	10,965	5,441	15	6

中 川 区 24校

計		11,039	406 (40)	(11,807) 283,371	137,651	512	151
広 見		106	6	11,390	3,794	6	6
露 橋		277	10 (1)	14,148	4,604	14	5
愛 知		237	11 (2)	13,200	5,485	18	6
八 熊		292	13 (2)	10,878	5,214	19	6
昭 和 橋		507	20 (3)	8,726	5,432	20	7
常 磐		827	28 (3)	13,492	7,318	31	6
八 幡		647	22 (2)	9,186	6,907	29	7
荒 子		1,031	33 (2)	13,424	8,596	38	7
正 色		149	7 (1)	11,642	5,281	15	8
篠 原		589	21 (2)	10,768	6,275	22	7
戸 田		631	22 (2)	11,278	6,286	27	7
豊 治		596	21 (2)	12,174	5,554	25	5
千 音 寺		700	23 (2)	14,608	6,662	27	6
長 須 賀		388	14 (1)	8,137	4,140	14	6
万 場		405	16 (2)	14,409	6,547	25	7
野 田		506	17	10,912	5,239	19	6
明 正		288	14 (2)	12,293	5,911	23	6
中 島		440	14	11,572	6,239	27	9
玉 川		331	14 (2)	10,063	4,427	15	5
西 中 島		340	14 (2)	12,072	5,236	18	6
五 反 田		522	18 (1)	11,609	5,475	20	6
春 田		423	15 (2)	12,758	6,418	22	5
赤 星		541	21 (2)	12,030	5,954	23	7
西 前 田		266	12 (2)	12,602	4,657	15	5

校 名	区 分	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
						普通 教室	特別 教室

港 区 20校

計		7,664	299 (37)	(11,467) 229,354	117,839	413	126
東 築 地		548	20 (2)	14,982	8,129	30	7
中 川		212	9 (2)	7,284	5,479	12	7
大 手		474	18 (2)	12,250	6,355	25	6
港 西		562	21 (2)	9,279	5,614	25	6
小 碓		489	19 (2)	13,986	7,983	30	5
西 築 地		233	11 (1)	9,810	4,919	12	6
高 木		509	19 (2)	9,281	6,195	23	8
南 陽		393	15 (2)	13,342	7,191	28	6
港 楽		360	15 (3)	9,284	5,465	21	5
成 章		246	9	10,131	5,153	15	7
明 徳		429	16 (2)	9,927	5,361	22	6
稲 永		418	14 (2)	12,830	6,844	25	6
東 海		215	10 (2)	10,537	4,666	13	6
野 跡		251	12 (2)	12,288	4,228	13	5
当 知		496	20 (2)	10,654	6,296	23	8
正 保		346	14 (2)	12,649	5,209	18	7
神 宮 寺		248	12 (2)	11,924	5,143	18	6
西 福 田		211	9 (1)	12,602	5,099	15	6
福 田		653	22 (2)	13,497	6,222	27	6
福 春		371	14 (2)	12,817	6,288	18	7

南 区 18校

計		5,899	240 (32)	(13,087) 235,577	112,998	380	122
豊 田		431	17 (2)	12,287	6,429	22	7
明 治		375	14 (2)	14,411	8,072	33	8
呼 続		384	15 (2)	11,740	6,570	26	6

区 分 校 名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
白 水	238	10 (1)	13,012	5,469	19	7
桜	295	13 (2)	10,727	5,304	18	6
道 徳	420	15 (2)	16,302	8,563	29	8
笠 寺	378	16 (2)	21,316	6,939	32	7
大 生	139	8 (2)	13,728	5,636	15	7
大 磯	246	11 (1)	9,413	4,544	14	7
千 鳥	224	10 (2)	12,413	6,007	19	8
菊 住	489	18 (3)	10,802	5,757	18	7
宝 (※)	295	13 (1)	14,705	8,371	20	6
柴 田	148	7 (1)	11,492	5,788	12	5
伝 馬	342	14 (2)	16,794	7,381	18	8
星 崎	359	14 (2)	11,906	5,476	21	6
春 日 野	366	15 (2)	10,623	4,597	18	6
笠 東	389	16 (2)	10,034	4,724	18	6
宝 南	381	14 (1)	13,872	7,371	28	7

(※)校地面積には南養護学校分校分含む

守 山 区 20校

計	10,300	383 (38)	(14,205) 284,106	124,927	477	135
大 森	360	15 (2)	13,140	6,350	24	6
小 幡	669	23 (2)	26,804	8,834	39	8
守 山	598	22 (2)	18,482	7,561	25	8
廿 軒 家	719	26 (3)	17,676	6,564	25	7
鳥 羽 見	346	15 (2)	16,126	6,160	19	6
瀬 古	821	29 (3)	18,008	7,609	30	7
志 段 味 東	706	25 (3)	13,802	5,313	25	7
志 段 味 西	675	23 (2)	14,166	5,571	29	6
白 沢	558	20 (2)	11,967	5,819	23	6
本 地 丘	134	8 (2)	15,920	5,643	27	6
苗 代	781	26 (2)	9,089	5,989	26	8
天 子 田	321	14 (2)	11,706	6,480	26	7

校 名	区 分	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
						普通 教室	特別 教室
二 城		517	18 (1)	10,276	5,207	21	6
森 孝 東		212	9 (1)	13,320	4,950	15	6
森 孝 西		293	12	15,006	5,463	22	7
西 城		245	12 (2)	13,637	5,685	13	6
大 森 北		375	14	7,690	5,587	15	7
小 幡 北		400	17 (2)	10,014	5,402	16	7
吉 根		778	27 (2)	13,800	7,813	27	7
下 志 段 味		792	28 (3)	13,477	6,927	30	7

緑 区 28校

計	15,242	563 (61)	(14,905) 417,355	176,548	679	185
鳴 海	655	22 (2)	29,580	8,359	26	8
平 子	419	16 (2)	14,987	4,954	19	5
鳴 海 東 部	796	27 (3)	16,970	6,866	25	6
東 丘	704	24 (3)	18,144	5,558	26	5
鳴 子	352	15 (2)	13,547	5,771	18	6
有 松	753	27 (2)	12,931	7,037	27	7
大 高	641	23 (2)	31,322	7,411	28	7
緑	334	15 (2)	9,915	4,882	17	5
片 平	587	22 (2)	13,515	6,128	22	7
戸 笠	408	16 (2)	11,640	5,358	21	7
太 子	436	18 (2)	13,222	5,175	19	6
旭 出	569	20 (2)	13,317	6,367	24	8
浦 里	201	9 (2)	14,598	6,287	22	10
黒 石	248	13 (2)	10,363	4,854	16	6
神 の 倉	697	24 (3)	12,388	6,418	27	5
長 根 台	433	17 (2)	14,450	6,373	28	6
桶 狭 間	860	28 (2)	14,508	6,442	32	8
相 原	455	17 (2)	11,588	5,721	21	7
桃 山	530	21 (2)	12,709	6,462	25	7

校 名	区 分	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
						普通 教室	特別 教室
南	陵	518	19 (2)	14,817	5,914	24	7
大	高 北	307	13 (2)	17,190	4,850	14	5
大	高 南	583	23 (3)	16,367	5,916	30	7
徳	重	453	16 (2)	13,888	6,268	25	7
滝	ノ 水	506	19 (2)	13,221	7,559	33	6
大	清 水	1,028	33 (2)	12,999	6,640	32	7
常	安	270	13 (1)	12,795	5,995	15	6
小	坂	607	22 (3)	12,725	8,010	28	7
熊	の 前	892	31 (3)	13,659	8,973	35	7

名 東 区 19校

計		9,396	347 (34)	(12,824) 243,664	114,935	447	119
猪	高	559	19 (1)	20,945	8,788	35	7
藤	が 丘	590	24 (4)	10,931	6,493	29	6
香	流	561	21 (2)	10,159	5,892	25	6
猪	子 石	387	14 (1)	10,811	5,181	19	7
高	針	365	15 (2)	16,499	5,965	22	7
西	山	1,383	40	15,213	7,297	40	6
名	東	1,059	34 (3)	13,511	7,075	32	7
梅	森 坂	226	11 (2)	11,568	5,264	21	6
蓬	来	379	15 (2)	10,844	6,501	18	8
本	郷	344	16 (2)	9,901	6,013	22	6
貴	船	688	23 (2)	13,110	6,493	27	6
上	社	518	17	12,898	5,615	24	5
豊	が 丘	274	13 (2)	12,036	4,764	16	6
引	山	284	13 (2)	14,771	5,897	22	7
極	楽	463	17 (1)	10,830	5,711	20	6
平	和 が 丘	297	14 (2)	12,401	5,530	21	5
前	山	395	16 (2)	11,567	6,191	22	8
北	一 社	410	16 (2)	12,470	5,679	20	6

校 名 区 分	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
牧 の 原	214	9 (2)	13, 199	4, 586	12	5

天 白 区 17校

計		8, 097	306 (34)	(13, 112) 222, 911	107, 537	399	111
天	白	811	28 (2)	14, 402	7, 111	32	6
野	並	517	18 (1)	10, 122	6, 298	29	7
高	坂	124	8 (2)	12, 396	5, 265	14	7
八 事	東	516	20 (2)	9, 934	6, 442	28	5
表	山	568	21 (2)	11, 372	5, 347	22	7
平	針	607	22 (2)	15, 335	6, 849	26	6
平 針	南	358	15 (2)	13, 987	6, 058	19	8
植	田	508	19 (2)	20, 565	7, 237	27	7
し ま	だ	392	16 (2)	16, 579	6, 371	23	7
山	根	561	22 (2)	11, 566	5, 583	22	7
相	生	132	6	11, 592	5, 593	17	7
大	坪	405	16 (4)	10, 502	5, 431	18	6
	原	665	24 (2)	11, 536	6, 395	28	6
植 田	南	430	17 (2)	12, 303	7, 053	28	7
平 針	北	306	13 (2)	11, 954	5, 819	19	6
植 田	北	462	16 (1)	14, 066	6, 350	19	6
植 田	東	735	25 (4)	14, 700	8, 335	28	6

- (注) 1 学級数欄の () 内は、特別支援学級数の再掲。
2 校地面積欄の () 内は、1校当たりの平均。ただし、川原小学校分校を除く。

(3) 中学校 112校

校 名 \ 区 分	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
総 計	50,650	1,656 (192)	(17,798) 1,957,849	863,301	2,119	1,351

※校地面積、建物延面積、特別教室数のうち、笹島中学校分は笹島小学校欄に記載

千 種 区 7校

計	2,823	95 (11)	(18,353) 128,473	56,178	120	88
今 池	209	8 (2)	13,935	6,348	12	11
城 山	501	16 (2)	17,801	8,470	21	13
振 甫	492	17 (2)	22,270	9,021	21	13
千 種 台	552	18 (2)	19,836	8,969	19	13
若 水	326	10	14,065	7,396	17	13
千 種	312	11 (1)	17,248	7,469	15	13
東 星	431	15 (2)	23,318	8,505	15	12

東 区 4校

計	1,182	41 (4)	(16,354) 65,417	28,644	60	49
あ ず ま	208	8 (2)	16,531	7,371	12	12
富 士	430	13	16,151	7,523	18	13
桜 丘	254	9	17,071	6,680	12	10
矢 田	290	11 (2)	15,664	7,070	18	14

北 区 7校

計	3,389	111 (14)	(18,841) 131,888	58,417	151	88
若 葉	269	11 (2)	14,565	7,314	15	12
志 賀	545	17 (2)	20,692	8,126	25	11
大 曾 根	459	15 (2)	24,692	9,054	23	13
八 王 子	285	12 (3)	16,374	7,954	21	13
楠	668	21 (2)	17,505	9,207	22	13

校 名 \ 区 分	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
北 陵	616	18 (1)	21,521	8,997	26	13
北	547	17 (2)	16,539	7,765	19	13

西 区 7校

計	3,165	106 (13)	(13,793) 96,556	51,564	127	84
浄 心	437	13	11,489	7,427	17	11
菊 井	163	9 (3)	10,532	5,982	12	11
名 塚	556	18 (2)	17,185	8,759	22	13
天 神 山	369	14 (2)	12,929	7,853	18	13
山 田	761	24 (3)	14,246	7,979	24	12
山 田 東	585	18 (2)	12,958	6,911	21	11
平 田	294	10 (1)	17,217	6,653	13	13

中 村 区 7校

計	2,259	79 (13)	(18,205) 109,234	45,192	125	72
豊 国	337	12 (3)	19,296	7,945	21	12
笹 島 (※)	86	4 (1)	—	—	8	—
笈 瀬	180	8 (2)	14,796	6,600	15	12
御 田	552	17 (2)	27,370	7,857	21	12
豊 正	510	18 (3)	22,239	9,420	28	12
黄 金	179	7 (1)	13,064	6,584	11	11
日 比 津	415	13 (1)	12,469	6,786	21	13

※校地面積、建物延面積、特別教室数のうち、笹島中学校分は笹島小学校欄に記載

中 区 4校

計	789	30 (3)	(18,257) 73,031	27,271	51	42
前 津	124	6 (1)	13,947	7,457	12	11
伊 勢 山	419	15 (2)	23,306	6,774	17	11
白 山	142	6	21,784	6,290	10	11

校 名 \ 区 分	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
丸 の 内	104	3	13,994	6,750	12	9

昭 和 区 6校

計	1,740	60 (8)	(16,297) 81,489	33,990	78	62
桜 山	505	15	14,406	6,828	18	14
北 山	225	8 (1)	19,920	6,575	11	12
川 名	503	15	21,381	8,004	23	12
川 名 (分)	10	2 (2)	—	—	—	—
円 上	215	9 (2)	13,056	6,397	13	11
駒 方	282	11 (3)	12,726	6,186	13	13

瑞 穂 区 5校

計	2,080	67 (6)	(18,508) 92,540	38,914	86	64
田 光	266	10 (2)	13,195	7,160	12	12
瑞 穂 ケ 丘	263	9	26,529	6,774	13	13
萩 山	713	21 (1)	21,685	8,587	25	13
汐 路	504	16 (2)	18,112	8,239	21	13
津 賀 田	334	11 (1)	13,019	8,154	15	13

熱 田 区 4校

計	1,199	42 (6)	(15,085) 60,341	27,381	53	44
沢 上	285	11 (2)	15,156	6,522	12	10
宮	273	11 (2)	14,952	8,122	15	13
日 比 野	431	14 (2)	13,599	7,669	18	13
日 比 野 (南)	210	6	16,634	5,068	8	8

中 川 区 11校

計	5,456	179 (22)	(18,081) 198,893	85,868	204	138
---	-------	----------	---------------------	--------	-----	-----

校 名	区 分	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
						普通 教室	特別 教室
一	色	314	11 (1)	13,209	7,331	14	12
長	良	791	25 (4)	27,196	9,374	28	14
山	王	351	12 (2)	18,939	7,410	17	13
一	柳	671	21 (2)	18,676	7,972	24	13
八	幡	282	11 (2)	13,098	6,496	13	12
昭	和 橋	377	14 (2)	14,287	7,105	14	11
富	田	380	15 (4)	26,563	7,988	22	13
は	と り	916	27 (2)	17,985	9,154	26	12
助	光	360	11	16,513	6,737	12	13
供	米 田	568	17 (1)	15,980	8,126	17	12
高	杉	446	15 (2)	16,447	8,175	17	13

港 区 8校

計		3,774	122 (14)	(18,308) 146,465	65,109	161	100
港	南	651	20 (2)	16,989	8,740	22	12
港	北	394	14 (2)	19,834	7,903	19	13
東	港	533	18 (2)	17,874	8,886	25	13
南	陽	606	18 (2)	23,897	8,741	25	12
宝	神	580	18 (2)	16,525	8,192	23	13
当	知	469	16 (3)	16,500	7,756	18	12
港	明	326	10	18,541	7,915	16	13
南	陽 東	215	8 (1)	16,305	6,976	13	12

南 区 7校

計		2,942	98 (13)	(17,768) 124,381	60,676	142	85
本	城	597	19 (2)	17,361	8,752	27	13
新	郊	262	11 (2)	14,022	7,178	15	11
桜	田	471	15 (2)	21,519	8,441	19	12

校 名 \ 区 分	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
大 江	438	14 (2)	16,510	8,255	21	12
名 南	317	11 (2)	22,245	9,910	19	13
南 光	437	14 (1)	16,198	10,319	24	14
明 豊	420	14 (2)	16,526	7,821	17	10

守 山 区 8校

計	4,609	152 (20)	(19,763) 158,108	63,678	183	101
守 山	700	22 (3)	17,072	8,537	22	13
守 山 東	708	22 (3)	32,033	7,812	21	12
守 山 西	838	27 (3)	18,348	8,554	31	13
志 段 味	426	18 (3)	18,222	6,580	25	13
大 森	535	17 (2)	17,960	7,997	25	12
守 山 北	406	14 (2)	17,823	7,117	14	12
森 孝	356	13 (2)	16,545	7,124	21	13
吉 根	640	19 (2)	20,105	9,957	24	13

緑 区 12校

計	7,179	224 (22)	(17,687) 212,254	99,686	265	149
鳴 海	459	15 (2)	18,196	8,689	24	13
有 松	977	29 (2)	18,431	9,146	28	12
大 高	578	18 (2)	30,579	8,628	21	12
鳴 子 台	395	14 (2)	17,100	8,711	21	12
東 陵	469	14 (1)	17,844	6,672	15	12
千 鳥 丘	337	12 (2)	16,776	7,821	17	14
神 沢	569	17 (1)	13,895	7,902	23	13
扇 台	702	21 (2)	16,536	9,101	29	12
滝 ノ 水	902	27 (2)	16,522	8,473	29	13
左 京 山	414	13 (1)	13,337	7,536	14	13
鎌 倉 台	485	16 (2)	16,539	6,905	16	10
神 の 倉	892	28 (3)	16,499	10,102	28	13

名 東 区 8 校

計	4, 221	128 (10)	(19, 209) 153, 679	64, 451	172	98
猪 高	646	20 (2)	37, 661	9, 227	26	13
神 丘	976	28 (2)	16, 090	8, 764	30	13
高 針 台	752	23 (2)	17, 264	8, 475	25	12
猪 子 石	360	12 (2)	16, 203	9, 481	26	13
藤 森	488	15 (2)	13, 258	7, 585	22	13
牧 の 池	348	11	18, 791	7, 139	15	12
上 社	219	7	16, 621	6, 193	10	10
香 流	432	12	17, 791	7, 587	18	12

天 白 区 7 校

計	3, 843	122 (13)	(17, 871) 125, 100	56, 282	141	87
天 白	648	21 (3)	26, 405	8, 652	21	13
御 幸 山	641	22 (4)	15, 975	8, 542	23	13
久 方	340	11 (1)	16, 558	8, 038	21	12
平 針	468	16 (3)	16, 407	8, 134	18	12
南 天 白	217	7	16, 501	6, 444	10	12
植 田	1, 035	30 (2)	16, 754	8, 557	30	12
原	494	15	16, 500	7, 915	18	13

- (注) 1 学級数欄の () 内は、特別支援学級数の再掲。
2 校地面積欄の () 内は、1 校当たりの平均。ただし、川名中学校分校を除く。

(4) 高等学校 14校

区 分 校 名	生徒数 人	学級数	校地面積 m ²	建物延面積 m ²	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
計	12,869	330	(32,229) 451,202	205,018	362	290
菊 里	1,073	27	35,841	13,747	30	41
向 陽	1,086	27	26,486	11,970	30	18
桜 台	1,119	28	27,679	13,810	30	19
北	947	24	35,180	13,196	28	21
緑	1,076	27	38,226	12,024	30	17
富 田	875	22	33,808	11,458	25	25
山 田	821	21	29,838	11,614	28	18
名 東	1,121	28	35,011	13,054	30	21
西 陵	597	15	31,997	14,083	22	17
名 古 屋 商	952	24	29,476	16,814	24	23
若 宮 商	713	18	32,526	11,786	24	15
工 業	716	18	42,554	23,873	24	21
工業(定時制)	116	4	—	—	—	—
工 芸	836	21	43,232	25,516	21	21
中 央	821	26	9,348	12,073	16	13

(注) 校地面積欄の()内は、1校当たりの平均。

(5) 特別支援学校 5校

区 分 校 名	生徒数 人	学級数	校地面積 m ²	建物延面積 m ²	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
計	1,142	176	40,628	34,268	150	68
西	274	44	9,065	7,836	32	16
南	323	42	11,603	11,227	39	18
天 白	154	26	10,273	4,999	19	13
守 山	329	50	9,687	8,439	44	21
南 (分)	62	14	—	1,767	16	0

※校地面積のうち、南養護学校分校分は宝小学校欄に記載

3 学校の通学区域の変更

名古屋市立有松小学校及び名古屋市立桶狭間小学校の通学区域の変更

(平成 28 年 4 月 1 日施行)

次の区域を名古屋市立有松小学校の通学区域から除き、名古屋市立桶狭間小学校の通学区域に加える。

名古屋市緑区有松町大字桶狭間字幕山 44 番の 1、58 番の 21、58 番の 22、58 番の 265、58 番の 266、58 番の 271 から 58 番の 273 まで及び 58 番の 275 の各地番のうち、町の区域が名古屋市桶狭間北西部土地区画整理組合の施行地区に係る土地区画整理事業の換地処分公告があった日の翌日から名古屋市緑区桶狭間西に設定される区域

4 小規模校対策

「名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針」及び「小規模校対策に関する実施計画」に基づき、保護者、地域住民等の理解を得ながら小規模校対策を進めていく。

(1) 平成27年度の主な実績

- ・ 幅下小学校・江西小学校・那古野小学校では、3校統合校であるなごや小学校を西校舎・東校舎で開校した。
- ・ 計画の対象校及び統合の相手校について、各学校の状況に応じ、平成28年度入学予定児童の保護者への説明会や、PTAや地域住民に対する説明等を実施するなど、小規模校対策への理解を得るための取り組みを進めた。特に児童数の推移に基づき、児童数が120人を超えないと見込まれる学校について速やかに統合へ向けた合意を図るため、PTAや地域住民に対する説明等を実施した。

(2) 平成28年度の主な取り組み予定

- ・ 平成27年度に開校した3校統合校のなごや小学校について、旧幅下小学校に新校舎の建設を進める。
- ・ 計画の対象校及び統合の相手校について、各学校の状況に応じ、平成29年度入学予定児童の保護者への説明会や、PTAや地域住民に対する説明等を実施するなど、引き続き小規模校対策への理解を得るための取り組みを進める。さらに、児童数の推移に基づき、児童数が120人を超えないと見込まれる場合、速やかに小規模校の対策を図る。
- ・ 「小規模校対策に関する実施計画」の実施計画期間が平成28年度までのため、次年度以降の実施計画を策定する。

第2章 学校設備の充実状況

平成27年度に実施した学校設備の充実状況は、次のとおりである。

(千円)

種 別 項 目		小学校	中学校	高等学校	幼稚園	特別支援 学校	備 考
1	主要設備品の更新	29,021	17,086	8,780	—	1,127	
2	多目的スペース 設備品	—	—	—	—	—	
3	増改築設備品	3,704	—	—	—	—	
4	体育館兼講堂設備品	—	—	—	—	—	
5	産業教育設備品	—	—	10,010	—	—	
6	理科教育設備品	29,336	34,840	3,030	—	—	
7	教材教具設備品	283,289	201,539	45,404	36,586	2,393	
8	教室設備品修繕費	7,357	6,115	346	—	—	
9	表簿用紙の購入	4,607	2,428	858	263	170	
10	どん帳の整備	605	2,128	—	—	—	
計		357,919	264,136	68,428	36,849	3,690	

第3章 学校施設の管理

1 学校施設の機械警備

教育委員会が所管する学校における教職員の勤務時間外の学校施設、物品等の保全を図るため、民間警備会社へ警備を委託している。火災、侵入等の災害が発生したときには、次の警備により、民間警備会社警備員が緊急措置を講ずる。

- ア 火災警備 火災感知器による情報を監視し、事故発生時の緊急出動、必要に応じ消防署への通報や施設管理者への連絡を行う。
- イ 防犯警備 機械監視装置による情報を監視し、事故発生時の緊急出動、必要に応じ警察署への通報や施設管理者への連絡を行う。

2 学校（園）近隣協力員

機械警備の補完として、各校（園）2名（併設園を除く）を学校（園）長の内申に基づき教育委員会が依頼する。学校内の鍵を保管し、学校施設の異常を確認した場合に関係機関へ通報したり、地震・風水害等で避難所となる場合には、その開設について協力する。

第4章 なごや子ども応援委員会

1 趣旨

平成26年4月1日、市内11ブロックの中学校11校に、なごや子ども応援委員会を設置した。なごや子ども応援委員会では、スクールカウンセラー始め4つの職種の職員が、学校のスタッフの一員として教員と協働して活動し、いじめ、不登校等につながる心の問題に対し、専門的見地からの積極的なアプローチを行い、児童生徒が抱える問題の未然防止・早期発見や個別支援とともに、学校支援の協力体制を構築していく。

なお、平成27年度以降、スクールカウンセラー(SC)が常勤的に活動するSC配置校を順次増やしている。

2 各委員会の構成

職 種	人数	身 分
ス ク ー ル カ ウ ン セ ラ ー	3 又は 4	一般任期付職員
ス ク ー ル ソ ー シ ャ ル ワ ー カ ー	1 又は 2	一般任期付職員
ス ク ー ル ア ド バ イ ザ ー	1	一般任期付職員
ス ク ー ル ポ リ ス	1	非 常 勤 職 員

3 設置ブロックと設置校・SC配置校

	ブロック	設置校（11校）	配置校（25校）
1	千種・東	振甫中学校	千種：城山中学校 東：あずま中学校、矢田中学校
2	北	北陵中学校	若葉中学校、楠中学校
3	西	山田東中学校	名塚中学校、平田中学校
4	中村・中	御田中学校	中村：豊国中学校、黄金中学校 中：前津中学校
5	昭和・天白	天白中学校	昭和：川名中学校 天白：植田中学校、御幸山中学校
6	瑞穂・南	明豊中学校	瑞穂：汐路中学校、南：大江中学校
7	熱田・港	東港中学校	熱田：沢上中学校、港：宝神中学校
8	中川	一柳中学校	八幡中学校、富田中学校
9	守山	大森中学校	守山東中学校、森孝中学校
10	緑	大高中学校	鎌倉台中学校、鳴子台中学校
11	名東	高針台中学校	猪高中学校、猪子石中学校

※ 設置校・SC配置校以外のブロック内の市立学校（園）の事案にも、学校からの依頼により対応する。

第3部 幼児、児童、生徒、教職員

第1章 幼児、児童、生徒

1 幼児、児童、生徒数

(1) 市立幼稚園・学校の学校種別学年幼児、児童、生徒数

(平成28年5月1日現在)

区 分	幼稚園	小学校	中学校	高等学校		特別支援学校			
				全日制	定時制	小学部	中学部	高等部	
1 年	男	315	9, 593	8, 577	1, 646	160	24	30	178
	女	296	9, 104	7, 962	2, 314	121	12	12	101
	計	611	18, 697	16, 539	3, 960	281	36	42	279
2 年	男	339	9, 677	8, 711	1, 653	134	22	42	162
	女	367	9, 148	8, 141	2, 300	133	12	22	95
	計	706	18, 825	16, 852	3, 953	267	34	64	257
3 年	男	389	9, 766	9, 027	1, 677	127	27	44	153
	女	400	9, 113	8, 232	2, 342	108	13	20	70
	計	789	18, 879	17, 259	4, 019	235	40	64	223
4 年	男	—	9, 382	—	—	88	16	—	—
	女	—	9, 039	—	—	66	7	—	—
	計	—	18, 421	—	—	154	23	—	—
5 年	男	—	9, 101	—	—	—	27	—	—
	女	—	8, 765	—	—	—	11	—	—
	計	—	17, 866	—	—	—	38	—	—
6 年	男	—	9, 383	—	—	—	26	—	—
	女	—	9, 004	—	—	—	16	—	—
	計	—	18, 387	—	—	—	42	—	—
計	男	1, 043	56, 902	26, 315	4, 976	509	142	116	493
	女	1, 063	54, 173	24, 335	6, 956	428	71	54	266
	計	2, 106	111, 075	50, 650	11, 932	937	213	170	759

(注) 幼稚園1年欄は3歳児、2年欄は4歳児、3年欄は5歳児。

(2) 行政区別幼児、児童、生徒数

(平成28年5月1日現在)

区 分		千 種	東	北	西	中 村	中	昭 和	瑞 穂	熱 田
幼稚園	男	68	103	63	86	—	—	45	41	—
	女	65	112	79	72	—	—	39	25	—
	計	133	215	142	158	—	—	84	66	—
小学校	男	3,726	1,600	3,644	3,440	2,537	1,090	2,307	2,597	1,305
	女	3,579	1,446	3,505	3,274	2,407	1,039	2,213	2,428	1,301
	計	7,305	3,046	7,149	6,714	4,944	2,129	4,520	5,025	2,606
中学校	男	1,471	613	1,732	1,660	1,184	398	927	1,059	621
	女	1,352	551	1,657	1,505	1,075	391	813	1,021	578
	計	2,823	1,182	3,389	3,165	2,259	789	1,740	2,080	1,199
高等 学 校	全 日 制	男	502	491	488	325	—	574	—	—
		女	1,523	345	459	1,093	—	512	—	—
		計	2,025	836	947	1,418	—	1,086	—	—
	定 時 制	男	—	—	—	—	404	—	—	—
		女	—	—	—	—	417	—	—	—
		計	—	—	—	—	821	—	—	—
特別支 援学校	男	—	—	—	—	—	—	—	—	210
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	113
	計	—	—	—	—	—	—	—	—	323

区 分		中 川	港	南	守 山	緑	名 東	天 白	計	
幼稚園	男	128	—	—	67	198	169	75	1, 043	
	女	106	—	—	57	217	217	74	1, 063	
	計	234	—	—	124	415	386	149	2, 106	
小学校	男	5, 683	3, 851	2, 990	5, 284	7, 855	4, 835	4, 158	56, 902	
	女	5, 356	3, 813	2, 909	5, 016	7, 387	4, 561	3, 939	54, 173	
	計	11, 039	7, 664	5, 899	10, 300	15, 242	9, 396	8, 097	111, 075	
中学校	男	2, 862	1, 949	1, 541	2, 399	3, 655	2, 205	2, 021	26, 315	
	女	2, 594	1, 825	1, 401	2, 210	2, 210	2, 016	1, 822	24, 335	
	計	5, 456	3, 774	2, 942	4, 609	4, 609	4, 221	3, 843	50, 650	
高等 学 校	全 日 制	男	1, 128	—	456	—	521	457	34	4, 976
		女	463	—	663	—	555	664	679	6, 956
		計	1, 591	—	1, 119	—	1, 076	1, 121	713	11, 932
	定 時 制	男	105	—	—	—	—	—	—	509
		女	11	—	—	—	—	—	—	428
		計	116	—	—	—	—	—	—	937
特別支 援学校	男	182	—	46	213	—	—	100	751	
	女	92	—	16	116	—	—	54	391	
	計	274	—	62	329	—	—	154	1, 142	

(3) 高等学校の課程別・学科別生徒数、学級数

(平成28年5月1日現在)

区 分		全 日 制		定 時 制		計		学科別 比率 (%)
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	
普 通 科	男女 計	3,607	193	376	22	3,983	215	65.5%
		4,076		376		4,452		
		7,683		743		8,426		
商 業 科	男女 計	67	42	28	4	95	46	13.5%
		1,598		50		1,648		
		1,665		78		1,743		
工 業 科	男女 計	1,157	39	105	4	1,262	43	13%
		395		11		406		
		1,552		116		1,668		
家 庭 科	男女 計	0	3	—	—	0	3	0.9%
		118		—		118		
		118		—		118		
音 楽 科	男女 計	11	3	—	—	11	3	0.9%
		103		—		103		
		114		—		114		
英 語 科	男女 計	22	3	—	—	22	3	1%
		101		—		101		
		123		—		123		
総 合 学 科	男女 計	63	15	—	—	63	15	4.6%
		534		—		534		
		597		—		597		
国 際 科 学 科	男女 計	49	2	—	—	49	2	0.6%
		31		—		31		
		80		—		80		
合 計	男女 計	4,976	300	509	30	5,485	330	100.0
		6,956		428		7,384		
		11,932		937		12,869		
課程別比率 (%)		92.7%		7.3%		100.0		

(注) 比率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、総数と内訳の合計とが一致しない場合がある。

(4) 年度別学校数、学級数、幼児・児童・生徒数、教員数

幼稚園

(各年度5月1日現在)

区 分	園 数	学級数	幼 児 数			教員数
			男	女	計	
26 年 度	23	98	1,130	1,077	2,207	165
27 年 度	23	99	1,056	1,100	2,156	165
28 年 度	23	99	1,043	1,063	2,106	171

小 学 校

(各年度5月1日現在)

区 分	学校数			学級数	児 童 数			教員数
	本校	分校	計		男	女	計	
26 年 度	263	1	264	4,176	56,699	54,123	110,822	6,152
27 年 度	261	2	263	4,216	56,727	54,052	110,779	6,246
28 年 度	261	2	263	4,235	56,902	54,173	111,075	6,332

中 学 校

(各年度5月1日現在)

区 分	学校数			学級数	生 徒 数			教員数
	本校	分校	計		男	女	計	
26 年 度	109	2	111	1,682	27,190	25,027	52,217	3,235
27 年 度	110	2	112	1,666	26,742	24,757	51,499	3,232
28 年 度	110	2	112	1,656	26,315	24,335	50,650	3,235

高 等 学 校

(各年度5月1日現在)

区 分	学校数			学級数		生 徒 数						教員数	
	全日 制	定時 制	計	全日 制	定時 制	全 日 制			定 時 制			全日 制	定時 制
						男	女	計	男	女	計		
26 年 度	13	2	15	302	28	4,934	7,067	12,001	497	418	915	799	85
27 年 度	13	2	15	301	29	4,966	7,008	11,974	502	435	937	801	84
28 年 度	13	2	15	300	30	4,976	6,956	11,932	509	428	937	806	84

特別支援学校

(各年度5月1日現在)

区 分	学校数			学級数	小 学 部			中 学 部			高 等 部			教員数
	本校	分校	計		男	女	計	男	女	計	男	女	計	
26 年 度	4		4	171	137	64	201	131	70	201	433	236	669	422
27 年 度	4	1	5	169	128	63	191	134	71	205	459	254	713	431
28 年 度	4	1	5	176	142	71	213	116	54	170	493	266	759	443

2 児 童 ・ 生 徒 表 彰 件 数

区 分	小学校		中学校		特別支援学校		高等学校		総 計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
25 年 度	41	53	40	41	0	1	1	1	82	96	178
26 年 度	47	51	32	58	2	0	1	2	82	111	193
27 年 度	42	50	40	51	1	1	1	1	84	103	187

3 進路状況

(比率は小数点以下第2位を四捨五入しているの、総数と内訳の合計とが一致しない場合がある。)

(1) 平成28年度入学及び平成27年度卒業児童生徒数

区 分	入学児童生徒数			卒業児童生徒数		
	男	女	計	男	女	計
小 学 校	9,593	9,104	18,697	9,380	8,910	18,290
中 学 校	8,577	7,962	16,539	9,034	8,412	17,446
高 等 学 校	1,641	2,309	3,950	1,616	2,312	3,928
	160	121	281	102	81	183

(2) 平成27年度市立中学校卒業者の進路状況

区 分	卒 業 者	進 学 者			就 職 者 そ の 他
		全日制	定時制	通信制等	
男	9,034	8,078	167	616	173
女	8,412	7,790	100	387	135
計	17,446	15,868	267	1,003	308
比 率 %	100.0	91.0	1.5	5.7	1.8

(3) 平成27年度市立高等学校卒業者の進路状況

ア 全日制課程

区 分	卒 業 者			進 学 者				就職者		専修学校等 入学者		就職をして 進学した者		その他	
				国公立		私 立									
	男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
普通科	1, 165	1, 394	2, 559	270	271	575	825	15	10	260	270	—	—	45	18
商業科	25	526	551	—	—	6	80	14	296	5	136	—	—	—	14
工業科	375	129	504	1	2	57	33	266	58	48	33	—	—	3	3
家庭科	1	38	39	—	2	—	9	—	2	1	21	—	—	—	4
音楽科	3	36	39	1	20	—	12	—	—	2	3	—	—	—	1
英語科	13	25	38	2	4	9	19	—	—	—	2	—	—	2	0
総合科	34	164	198	1	—	16	65	7	43	9	52	—	—	1	4
計	1, 616	2, 312	3, 928	275	299	663	1, 043	302	409	325	517	—	—	51	44
比率%	100. 0			58. 0				18. 1		21. 4		0. 0		2. 4	

イ 定時制課程

区 分	卒 業 者			進 学 者				就職者		専修学校等 入学者		就職をして 進学した者		その他	
				国公立		私 立									
	男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
普通科	65	70	135	—	2	24	25	14	8	17	22	—	—	10	13
商業科	10	8	18	—	—	—	—	9	3	—	2	—	—	1	3
工業科	27	3	30	—	—	2	—	12	1	3	—	—	—	10	2
計	102	81	183	0	2	26	25	35	12	20	24	—	—	21	18
比率%	100.0			29.0				25.7		24.0		—		21.3	

(注) 専修学校等入学者…専修学校（専門課程）、専修学校（一般課程）、各種学校（予備校、洋裁学校等）、又は公共職業訓練機関等に入学した者

(4) 市立中学校、高等学校の進路累年比較

ア 中 学 校

区 分	卒 業 者		進 学 者						就 職 者	
			全日制		定時制		通信制等		そ の 他	
	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率
25 年 度	17, 898	100. 0	16, 176	90. 4	357	2. 0	994	5. 6	371	2. 1
26 年 度	17, 510	100. 0	15, 803	90. 3	289	1. 7	1, 083	6. 2	335	1. 9
27 年 度	17, 446	100. 0	15, 868	91. 0	267	1. 5	1, 003	5. 7	308	1. 8

イ 高等学校（全日制）

区 分	卒 業 者		進 学 者		就職進学者		就 職 者		そ の 他	
	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率
25 年 度	3,806	100.0	2,162	56.8	—	—	703	18.5	941	24.7
26 年 度	3,912	100.0	2,277	58.2	—	—	708	18.1	927	23.7
27 年 度	3,928	100.0	2,280	58.0	—	—	711	18.1	937	23.9

ウ 高等学校（定時制）

区 分	卒 業 者		進 学 者		就職進学者		就 職 者		そ の 他	
	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率
25 年 度	200	100.0	42	21.0	—	—	43	21.5	115	57.5
26 年 度	178	100.0	46	25.8	—	—	43	24.2	89	50.0
27 年 度	183	100.0	53	29.0	—	—	47	25.7	83	45.4

4 児童・生徒の長期欠席と就学免除・猶予状況

(比率は小数点以下第3位を四捨五入しているので、総数と内訳の合計とが一致しない場合がある。)

(1) 平成27年度間長期欠席児童生徒数

ア 長期欠席者総数と長期欠席率

区 分	在 学 者 数			長期欠席者数			長期欠席率 (%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
小 学 校	56,727	54,052	110,779	653	590	1,243	1.15	1.09	1.12
中 学 校	26,742	24,757	51,499	1,083	934	2,017	4.05	3.77	3.92
合 計	83,469	78,809	162,278	1,736	1,524	3,260	2.08	1.93	2.01

(注) 長期欠席者とは、年間を通じて30日以上欠席した者

イ 長期欠席者総数と長期欠席率（欠席理由別）

区 分	長期欠席者数	欠席理由別長期欠席者数			欠席理由別欠席率 (%)		
		身体傷病	不登校	家庭によるもの	身体傷病	不登校	家庭によるもの
小 学 校	1,243	395	553	295	31.78	44.49	23.73
中 学 校	2,017	241	1,606	170	11.95	79.62	8.43
合 計	3,260	636	2,159	465	19.51	66.23	14.26

ウ 長期欠席者の行政区別比較

区 分		千 種	東	北	西	中 村	中	昭 和
小 学 校	在 学 者	7,143	3,011	7,108	6,750	4,903	2,128	4,428
	長 期 欠 席 者	36	32	100	64	65	62	32
	長 期 欠 席 率	0.50	1.06	1.41	0.95	1.33	2.91	0.72
中 学 校	在 学 者	2,888	1,178	3,503	3,201	2,332	825	1,778
	長 期 欠 席 者	89	50	181	94	83	37	46
	長 期 欠 席 率	3.08	4.24	5.17	2.94	3.56	4.48	2.59

エ 欠席理由別・欠席日数別長期欠席者数

区 分			小 学				
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年
在 学 者 (A)			18,859	18,905	18,495	17,845	18,406
長 期 欠 席 者 (B)			141	138	184	218	279
学年別長期欠席率 (B/A×100) %			0.75	0.73	0.99	1.22	1.52
欠 席 理 由 別	本人によるもの	身 体 傷 病	57	43	65	79	79
		不 登 校	32	47	71	97	144
	家庭によるもの	経 済 的 理 由	0	0	0	0	0
		家 族 の 傷 病	3	2	1	1	1
		保 護 者 の 無 理 解	24	25	21	21	21
		そ の 他	25	21	26	20	34
	欠 席 日 数 別	30日 ～ 49日	79	54	79	100	123
		50日 ～ 99日	41	52	63	61	80
		100日 ～ 149日	10	19	23	30	39
		150日 以 上	9	8	17	18	31
		全 欠 席	2	5	2	9	6

瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
4,951	2,611	11,190	7,795	5,906	10,083	15,295	9,371	8,106	110,779
33	27	172	168	83	114	121	66	68	1,243
0.67	1.03	1.54	2.16	1.41	1.13	0.79	0.70	0.84	1.12
2,099	1,246	5,621	3,866	3,029	4,612	7,122	4,314	3,885	51,499
69	56	262	256	175	147	190	139	143	2,017
3.29	4.49	4.66	6.62	5.78	3.19	2.67	3.22	3.68	3.92

校			中学校				
6年	計	比率(%)	1年	2年	3年	計	比率(%)
18,269	110,779		16,847	17,229	17,423	51,499	
283	1,243		477	792	748	2,017	
1.55	1.12	—	2.83	4.60	4.29	3.92	—
72	395	31.78	69	95	77	241	11.95
162	553	44.49	369	632	605	1,606	79.62
0	0	—	1	0	1	2	0.10
5	13	1.05	0	4	2	6	0.30
21	133	10.70	13	30	34	77	3.82
23	149	11.99	25	31	29	85	4.21
106	541	43.52	109	150	114	373	18.49
82	379	30.49	150	220	181	551	27.32
39	160	12.87	122	176	188	486	24.10
46	129	10.38	84	187	216	487	24.14
10	34	2.74	12	59	49	120	5.95

(2) 就学免除・猶予児童生徒数

(平成28年5月1日現在)

不 就 学 理 由 年 性 齢 別		就 学 免 除 者					就 学 猶 予 者				
		病 弱 ・ 発 育 不 全	児 童 は 少 年 院 に い る た め 自 立 支 援 施 設 又	重 国 籍 の た め	そ の 他	計	病 弱 ・ 発 育 不 全	児 童 は 少 年 院 に い る た め 自 立 支 援 施 設 又	重 国 籍 の た め	そ の 他	計
6 歳	男						1		2		3
	女								3		3
7 歳	男								2		2
	女								1		1
8 歳	男								2		2
	女								2		2
9 歳	男										
	女	1				1			2		2
10歳	男								2		2
	女										
11歳	男								1		1
	女	1				1					
小計 (6～ 11歳)	男						1		9		10
	女	2				2			8		8
12歳	男										
	女										
13歳	男								1		1
	女								2		2
14歳	男								2		2
	女										
小計 (12～ 14歳)	男								3		3
	女								2		2
合計 (6～ 14歳)	男						1		12		13
	女	2				2			10		10

第 2 章 教 職 員

1 教職員構成状況

(1) 学校種別職務別教職員数

(平成28年5月1日現在)

区 分	校 (園) 長		教 頭		主 幹 教 諭		教 諭		養 護 教 諭		栄 養 教 諭		講 師		合 計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
幼 稚 園	2	19					2	123					1	24	5	166	171
小 学 校	211	49	216	46	1	3	1,703	3,502		309	6	86	73	127	2,210	4,122	6,332
中 学 校	100	10	109	3	6		1,484	1,313		134		3	34	39	1,733	1,502	3,235
高 全 日 制	13		11	2			449	258		26			17	30	490	316	806
学 校 定 時 制	1		3				49	24		5				2	53	31	84
特 別 支 援 学 校	3	1	6	3			139	252	1	9		5	18	6	167	276	443
小 計	333	79	345	54	7	3	3,826	5,472	1	483	6	94	143	228	4,658	6,413	11,071
合 計	412		399		10		9,298		484		100		371				

区 分	事務職員		実習助手		栄養職員		業 務 士			
	男	女	男	女	男	女	給食調理員		用 務 員	
幼 稚 園									31	13
小 学 校	116	166			2	23	19	811	291	263
中 学 校	69	60				2			122	111
高 等 全 日 制	31	10	21	37					14	13
学 校 定 時 制	2	2	2	4					2	1
特 別 支 援 学 校	6	10						15	5	4
小 計	224	248	23	41	2	25	19	826	465	405
合 計	472		64		27		845		870	

(注) 実習助手欄の()内は、介助職員で別掲。業務士には、嘱託員を含む。

(2) 学校種別年齢段階別教員数(小、中学校) (平成28年4月1日現在)

区 分	小 学 校						中 学 校					
	男		女		計		男		女		計	
	教員数	比率	教員数	比率	教員数	比率	教員数	比率	教員数	比率	教員数	比率
25歳未満	147	2.9	282	5.6	429	8.5	60	2.2	67	2.4	127	4.6
25歳～29歳	316	6.3	612	12.1	928	18.4	226	8.2	244	8.8	470	17.0
30歳～34歳	362	7.2	620	12.3	982	19.5	298	10.8	196	7.1	494	17.9
35歳～39歳	265	5.3	452	9.0	717	14.2	182	6.9	153	5.5	345	12.5
40歳～44歳	159	3.2	330	6.5	489	9.7	176	6.4	178	6.4	354	12.8
45歳～49歳	163	3.2	443	8.8	606	12.0	153	5.5	176	6.4	329	11.9
50歳～54歳	117	2.3	359	7.1	476	9.4	158	5.7	168	6.1	326	11.8
55歳以上	87	1.7	326	6.5	413	8.2	176	6.4	145	5.2	321	11.6
合 計	1,616	32.1	3,424	67.9	5,040	100.0	1,439	52.0	1,327	48.1	2,766	100.0
平 均 年 齢	37歳2月		39歳4月		38歳7月		40歳5月		40歳5月		40歳5月	

- (注) 1 臨時講師(1年未満)、非常勤講師は含まない。
2 比率は小数点以下第2位を四捨五入しているので、総数と内訳の合計とが一致しない場合がある。

2 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師数

(平成28年5月1日現在)

区 別	学校医	学校医 (眼科)	学校医 (耳鼻咽喉科)	学校医 (精神科)	学 校 歯科医	学 校 薬剤師
学校別						
小 学 校 (263)	人 262	人 262	人 —	人 —	人 262	人 262
中 学 校 (112)	111	111	111	4	111	111
全日制 (13)	13	—	—	—	13	13
高等学校 単位制 (1)	1	—	—	—	1	1
定時制 (2)	2	—	—	—	2	2
幼 稚 園 (23)	23	—	—	—	23	23
特別支援学校 (5)	5	5	5	5	5	5
計	417	378	116	9	417	417

(注) ()内は、学校・園数(分校を含む。)

3 教員の採用と異動状況

(1) 教員志願と採用状況

平成27年度実施の教員採用選考により、幼・小・中・高・特別支援学校（小・中学校特別支援学級を含む。）教員、養護教員及び栄養教員合わせて393人を平成28年4月1日付で採用した。

平成27年度実施教員採用選考状況

区 分	志願者数	受験者数	採用者数	採 用 内 訳				
				幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学 校
					(特別支援学級含む)			
幼 稚 園 教 員	118	101	12	12	—	—	—	—
小 学 校 教 員	805	747	244	—	244	—	—	—
中 学 校 教 員	1, 184	1, 027	96	—	—	72	24	—
高等学校教員								
特別支援学校教員	79	66	17	—	—	—	—	17
養 護 教 員	138	121	17	—	7	10	0	—
栄 養 教 員	43	35	7	—	7	—	—	—
合 計	2, 367	2, 097	393	12	258	82	24	17

(2) 平成27年度末教員異動状況

ア 教員異動の大部分は、平成28年4月1日付で実施した。

イ 教員の異動方針は、次のとおりである。

- (ア) 清新の気を流入し、教育意欲の高揚を図る。
- (イ) 公正かつ適正な異動を行い、人事の刷新を図る。
- (ウ) 広く人材を登用し、学校教育の活性化を図る。
- (エ) 適材を適所に配置し、教職員構成の均衡を図る。

平成27年度末教員異動状況（一般教員）

区 分	転 任	退職及び市外転出
幼稚園	14	7
小学校	578	198
中学校	344	85
高等学校	49	26
特別支援学校	53	12
合 計	1,038	328

平成27年度末教員異動状況（校（園）長・教頭）

区 分	新 任		転 任		退職及び市外転出	
	校（園）長	教 頭	校（園）長	教 頭	校（園）長	教 頭
幼 稚 園	3	-	3	-	3	-
小 学 校	57	55	36	20	68	12
中 学 校	13	20	17	9	16	2
高 等 学 校	5	5	4	3	7	2
特 別 支 援 学 校	3	1	0	1	1	0
合 計	81	81	60	33	95	16

4 教職員表彰件数

区 分	幼稚園	小学校		中学校		特別支援学校		高等学校		総 計		
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
23 年 度	0	1	6	5	0	1	1	0	0	7	7	14
24 年 度	1	3	7	1	2	1	0	1	0	6	10	16
25 年 度	0	5	7	4	1	0	1	1	0	10	9	19
26 年 度	1	4	5	5	2	0	1	1	0	10	9	19
27 年 度	0	3	10	6	3	0	0	1	0	10	13	23

5 教職員の福利厚生

教職員の福利厚生は、主として公立学校共済組合及び一般財団法人愛知県教育職員互助会の事業として実施されている。また補完的に市立学校教職員で組織する名古屋市教職員福利厚生会が、レクリエーションを主体とした事業を実施している。

6 平成27年度教員免許状取得状況

名古屋市立学校教員で平成27年度中に新たに免許状を取得した件数は次のとおりで、合計70件である。

免 許 状 種 別	件数	計	免 許 状 種 別	件数	計
高等学校教諭専修免許状	7	11	幼稚園教諭専修免許状	0	2
高等学校教諭一種免許状	4		幼稚園教諭一種免許状	2	
高等学校助教諭臨時免許状	0		幼稚園教諭二種免許状	0	
			幼稚園助教諭臨時免許状	0	
中学校教諭専修免許状	6	10	養護教諭専修免許状	1	3
中学校教諭一種免許状	3		養護教諭一種免許状	2	
中学校教諭二種免許状	1		養護教諭二種免許状	0	
中学校助教諭臨時免許状	0		養護助教諭臨時免許状	0	
小学校教諭専修免許状	3	24	特別支援学校教諭専修免許状	0	19
小学校教諭一種免許状	16		特別支援学校教諭一種免許状	2	
小学校教諭二種免許状	5		特別支援学校教諭二種免許状	17	
小学校助教諭臨時免許状	0		特別支援学校助教諭臨時免許状	0	
栄養教諭一種免許状	1	1			
栄養教諭二種免許状	0				

7 教育指導者の派遣事業（名古屋市教育サポートセンター）

学校教育の充実及び円滑な推進を図るため「名古屋市教育人材バンク」を昭和61年7月に教育館内に設置し、臨時講師の発掘、登録及び紹介事務を行っている。平成20年4月より、「名古屋市教育サポートセンター」と名称を変更し、人材を有効に活用するための事業拡大を図る。

平成27年度中の登録者数及び派遣・紹介した講師の人数は次のとおりである。

種 別	登 録 者 数 (27. 4～28. 3)	登 録 者 総 数 (28. 3. 31現在)	派 遣 者 数 (27. 4～28. 3)
	人	人	人
臨 時 講 師	1, 132	4, 920	2, 111

8 学校事務支援センター

学校事務支援センターでは、学校（幼稚園を含む）の学校事務に係る支援を行うことにより、学校事務の円滑かつ適正な運営を図るため、手引・マニュアルの電子化を行う等の事務改善、学校用品の一括調達・支払、及び、小中学校間における学校事務の連携に関すること等を行っている。

9 学校問題解決支援チーム

名古屋市立学校・幼稚園における解決困難な事案について、その早期解決と学校の負担軽減を図るため、平成23年度に学校問題解決支援チームを設置し、教育委員会と弁護士等の専門家が連携し、学校に対し指導・助言及び支援を行っている。

第4部 学 校 教 育

第1章 教 育 指 導

1 平成27年度学校教育の努力目標

学校は、「夢に向かって人生を切り拓くなごやっ子の育成」を期し、豊かな感性と創造力を備え、心身ともに調和のとれた人間形成を図る役割を担っている。

そのため、各学校では一人一人の個性を尊重し、他者とのかかわりの中でその伸長を図るとともに、「生きる力」をはぐくむ教育実践が進められている。一方、学ぶ意欲の向上や学習習慣の確立、いじめ・不登校の解消、運動習慣の確立など、家庭や地域と連携して取り組まなければならない課題もある。

また、子ども一人一人が自分をかけがえない存在だと思いつつ、自分のよさや可能性に気づき、能力を発揮して自己実現を図ることができるよう、子どもの豊かな育ちを応援することが必要である。

そこで、各学校では、子どもの実態と学習指導要領等の趣旨を踏まえ、明確な教育目標に基づく創意ある教育活動を、学びの連続性を重視しつつ展開していかなければならない。さらに、学校評価や学校評議員制を活用し、主体的に学校運営や教育活動の改善に取り組む、「創造していく学校づくり」に努めていかなければならない。

子どもが、将来の夢を抱き、他者と協力しながら学びを一步一步確実にすすめることができるよう、平成27年度名古屋市学校教育の努力目標を次のように定める。

夢に向かい ともに歩む

- 1 基礎的・基本的な知識・技能を習得し、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現するなど幅広い学力の育成に努める。
- 2 創り出す喜びや表現する楽しさ、美しいものや自然に感動する心など、豊かな感性の育成に努める。
- 3 思いやりの心、自律心や公共心、自他の生命や人権を尊重する態度、自分や家族・郷土に対する誇りや愛着など、道徳性の涵養に努める。
- 4 すすんで運動に親しむとともに、望ましい生活習慣を身に付け、生涯を通じて健康・安全で活力のある生活を送ろうとする態度の育成に努める。

2 教育課程の概況

学習指導要領を基準とし、本市教育課程を参考として、各学校で教育課程を編成し、年間35週の授業時間を確保した。

平成27年度の名古屋市立小中学校の授業時間数の設定は、次のとおりである。

小学校標準授業時数（平成27年度）

区 分		第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	第 4 学年	第 5 学年	第 6 学年
各教科の授業時数	国 語	306	315	245	245	175	175
	社 会	—	—	70	90	100	105
	算 数	136	175	175	175	175	175
	理 科	—	—	90	105	105	105
	生 活	102	105	—	—	—	—
	音 楽	68	70	60	60	50	50
	図 画 工 作	68	70	60	60	50	50
	家 庭 育 体	—	—	—	—	60	55
道 徳 の 授 業 時 数		34	35	35	35	35	35
特別活動の授業時数		34	35	35	35	35	35
総合的な学習の時間の授業時数		—	—	70	70	70	70
外 国 語 活 動		—	—	—	—	35	35
総 授 業 時 数		850	910	945	980	980	980

中学校標準授業時数（平成27年度）

区 分		第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
必修教科の授業時数	国 語	140	140	105
	社 会	105	105	140
	数 学	140	105	140
	理 科	105	140	140
	音 楽	45	35	35
	美 術	45	35	35
	保 健 体 育	105	105	105
	技 術 ・ 家 庭 語 外 国 語	70	70	35
道 徳 の 授 業 時 数		35	35	35
特 別 活 動 の 授 業 時 数		35	35	35
総合的な学習の時間の授業時数		50	70	70
総 授 業 時 数		1,015	1,015	1,015

3 指 導 方 針

各学校においては、名古屋市学校教育の努力目標を達成するため、一人一人の児童生徒のもつよさや可能性を理解し、その伸長を図るとともに、「生きる力」をはぐくむ適切な教育活動を行うことによって、将来の夢を抱き、他者と協力しながら学びを一步一步確実にすすめる子どもを育てることに努める。そのために、次の事項について具体的に検討し、校内での共通理解を図り、創意と工夫のある指導を進める。

【教育課程編成】

教育課程の編成に当たっては、学習指導要領に基づくとともに、本市教育課程を参考にして、児童生徒一人一人の学習状況や興味・関心を的確に把握し、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をはぐくみ、自ら課題を解決しようとする力の育成を図られるよう全体として調和のとれた編成に努める。その際、各教科等の関連、学びの連続性を重視するとともに、地域や学校の実態に応じ、創意工夫を生かした教育活動が展開できるように留意する。

【指導と評価】

- 1 各教科等の指導に当たっては、知的好奇心を喚起する「分かる授業」を展開し、児童生徒の学ぶ意欲を高めるとともに、次の点に留意する。
 - ・ 言語活動の充実を図り、体験的・問題解決的な学習及び自主的・自発的な学習を重視した指導に努める。児童生徒が、学習内容を確実に身に付けることができるように個別指導やグループ別指導、繰り返し指導を取り入れる。また、学習内容の習熟の程度に応じた指導、児童生徒の興味・関心等に応じた課題学習や補充的・発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など、指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実に努める。
 - ・ 学ぶ意欲の向上や学習習慣の確立、運動習慣の確立などについては、家庭と連携して定着を図ることが必要である。
 - ・ 児童生徒が、情報モラルを身に付け、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用できるようにする学習活動の充実に努める。
 - ・ 教科書やその他の教材・教具の有効活用や学校図書館、特別教室等の学校施設の計画的な活用に努める。
- 2 児童生徒の個に応じた指導に配慮して、個性の伸長を図るとともに、豊かな心の育成に努め、相互理解に基づく温かい人間関係を育てる。また、より良い人格の形成や社会性の育成を図るために、すべての教育活動を通して、基本的な生活習慣及び集団や社会のルール・マナーを身に付けさせる指導に努める。
- 3 学校健康教育、人権教育、国際理解教育、環境教育、情報教育等については、他の各教科等との関連付けを図るなど、指導計画に適切に位置付けた指導に努める。
- 4 障害のある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、一人一人の教育的なニーズを把握し、持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服するため、計画的・組織的に適切な指導及び必要な支援に努める。
- 5 学習の到達目標を明確にして、学習内容の指導の徹底を図るとともに、評価規準を設定して、指導の過程や成果を絶えず評価し、より効果的な指導が行えるよう指導の改善を図る。

なお、指導に当たっては、「指導と評価の一体化を目指した具体的な事例集」等を参考にする。

4 個に応じた指導

(1) 小学校1年生・2年生の30人学級、中学校1年生の35人学級の全校実施

学校生活の入門期の小学校1、2年生において30人以下の学級を基本として構成し、一人一人を大切にしたいきめ細かな指導を展開することにより、学校生活に早く慣れ親しむことを目的としている。平成21年度より、愛知県と同様、「中1ギャップ」に対応するため、中学校1年生での35人学級を実施している。

(2) 少人数指導の推進

基本教科を中心とした少人数による指導やチームティーチングを通して、児童生徒の基礎学力の定着を図ることを目的としている。

(3) 学習支援講師

基礎的な学習から発展的な学習まで、幅広く児童生徒に対する学習指導を支援し、教育活動の一層の充実を図るために学習指導支援講師を、また、不登校児童生徒や問題行動への対応に取り組む教員をサポートするために不登校対応支援講師を派遣している。さらに、日本語指導を必要とする児童生徒が多く在籍する学校には日本語指導講師を、通常の学級に在籍している発達障害の可能性のある児童生徒に対してきめ細かな指導が必要である学校には発達障害対応支援講師を派遣し、学習補充や適応指導の充実を図っている。

5 総合的な学習の時間

(1) 趣旨

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力を育成するために、児童生徒の興味・関心などに基づく課題や国際理解、情報、環境、福祉・健康などの課題、地域や学校の特色に応じた課題等に取り組む。小学校3年生から中学校3年生まで実施。

(2) 取り組み例

- 自然や環境を守る取り組みや福祉についての調べ学習
- 地域の人々の協力を得た中学生の職場体験学習
- 保護者や地域の方々を学習ボランティアとして招いている。
- 「その道の達人派遣事業」で、その道の達人である大学教授・ものづくりの熟練職人・外国人ボランティア・博物館等の学芸員・図書館司書などが学校に出向き、自らの専門分野を児童生徒にわかりやすく教える授業を展開した。
- 環境教育を推進する方法として、「環境学習ウィーク・トライ&アクション」において、児童生徒の主体的な環境保全活動の取り組みをした。

6 生 徒 指 導

- (1) 学校教育全体を通して、共通理解に基づいた生徒指導体制の確立を目指し、望ましい人間関係の育成、一人一人を大切にする個別指導に努めた。
- (2) 小学校低学年では、基本的生活習慣の育成に重点をおき、中学年以上では、生活場面での具体的指導に努めた。また、中学校では教師と生徒、生徒相互の人間的な心のふれあいを重視し、一人一人の生活実態に即した適切な指導と教育相談の充実に努めた。
- (3) 家庭・地域・関係諸機関との連携を密にするとともに、「いじめ」を始めとする児童生徒の問題行動については早期発見・早期対応に努めた。
- (4) 生徒指導対策として、次の事業を実施した。
 - 生徒指導担当教員の連絡会の開催…………… 中学校生徒指導主事連絡会（ブロック・区）
 - 関係諸機関との連絡会の開催…………… 中学校生徒指導連絡協議会（市教委・学校・関係諸機関）
 - 児童・生徒指導活動推進…………… 進路指導、地域別懇談会、緊急家庭訪問、いじめ・問題行動等防止対策連絡会議（中学校ブロック）、学区巡視パトロール、児童・生徒指導校内研修会 等
 - スクールカウンセラーの配置…………… 小学校262校、中学校111校、高等学校14校、特別支援学校4校に配置
 - 中・高生による「夢・チャレンジ」支援事業… 17校で実施
 - 特設講座(基礎・発展)の開設(小・中・特別支援学校)… 非常勤講師をのべ166校に配置
 - 高校生徒指導活動推進…………… 要指導生徒家庭訪問、緊急指導対策、生徒指導主事連絡協議会、校外補導等
 - いじめ対策…………… なごやI N G（いじめのない学校づくり）キャンペーン、学校生活アンケート、ネットパトロール、学校における仲間づくり推進事業の実施、いじめ防止教育プログラムの活用促進

7 不登校児童生徒対策

(1) 概 要

- ア 「生徒指導の手引」等を参考にして不登校児童生徒への援助・指導や教育相談活動の充実に向けての取り組みを進めた。
- イ 引きこもり傾向にある不登校児童生徒（小中学生）に対しては、13人の生徒指導相談員が臨床心理士・社会福祉士のサポートを受け、家庭・学校などへの訪問相談・指導を行った。
- ウ 不登校児童生徒の減少を図るために、不登校対応支援講師を派遣し、児童生徒の実態に合った具体的な不登校対策を推進した。

(2) 名古屋市子ども適応相談センター（愛称：なごやフレンドリーナウ）

心理的な理由により登校できない児童生徒に対して、教育相談、適応指導を行いながら早期に学校へ復帰させることを目的として、昭和63年12月に開設した。平成3年9月には改築移転し、施設・事業の拡充を図った。

教育相談部と適応指導部の二部門による相談・適応指導を行う。

また、平成26年4月、南区にサテライトスクール（愛称：笠寺サテライト）を開設した。

さらに、平成27年6月には中区に第2サテライトスクール（愛称：鶴舞サテライト）を開設した。

平成27年度の実績等は次表のとおりである。

施 設 名	子ども適応 相談センター	子ども適応 相談センター サテライトスクール	子ども適応 相談センター 第2サテライトスクール
所 在 地	名古屋市西区城西三丁目20番30号	教育相談部 名古屋市南区東又兵ヱ町5丁目1番地の16 スポーツ振興会館5階	名古屋市中区千代田五丁目18番24号
		適応指導部 名古屋市南区東又兵ヱ町5丁目1番地の10 南生涯学習センター1階	
通 所 申 込 者 数	365人		
学 校 復 帰 者 数	176人（小学生 46人・中学生 130人）		

8 進 路 指 導

- (1) 中学生に対する進路指導は、主として学級活動の時間に、高校生に対しては、主としてホームルームの時間に行った。
- (2) 自己の個性の理解、進路への関心の高揚、進路の明確化とその吟味、進路情報の理解と活用、望ましい勤労観・職業観の形成、将来の生活設計、適切な進路選択などの指導に努めた。
- (3) 中学校全校に配置した進路指導用コンピュータを活用し、事務量の軽減を図るとともに、学校独自の指導資料の作成や、より適切な進路指導が行えるよう配慮した。
- (4) 中学校全校に整備した進路指導室を活用し、生徒一人一人の実態に即した進路指導の一層の充実を図った。
- (5) 個々の生徒に対する指導の徹底を図るために、生徒の家庭との連絡を密にし、保護者会、進路相談など計画的に実施した。
- (6) よりきめの細かい進路指導の体制を確立するため、非常勤講師あるいは本務教員を配置した。

9 特 別 活 動

教師と児童生徒、児童生徒相互の人間的な触れ合いを基盤に、望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図った。また、集団の一員としての自覚を高め、よりよい生活や人間関係を築いていく資質や能力を身に付けていくよう支援した。

- (1) 児童生徒が児童会・生徒会活動に、自発的・積極的に参加するよう支援した。
- (2) 学級活動においては、児童生徒が自主的に活動の計画や実践をできるよう支援した。
- (3) 児童一人一人が個性の伸長を図り、集団の一員として協力できるように、文化的、体育的、生産的又は奉仕的な活動の全般にわたってクラブを設けるようにした。
- (4) 日常の学習成果を生かし、児童生徒の自主的な活動を助長するような学校行事の実践に努めた。
- (5) 心豊かな実践力のある児童生徒を育てるために、全小中学校で体験活動や地域との交流活動などを実施した。

10 道 徳 教 育

- (1) 学校の教育活動の全体を通して行うことを基本とし、特に、各学校の教育目標、地域や児童生徒の実態を踏まえた全体計画を全教師の共通理解のもとに作成し、効果的な指導に努めた。また、家庭や地域社会との連携を図り、指導の効果を一層高めるように努めた。
- (2) 道徳の時間の指導に当たっては、「生きる力」の育成及び今日的な教育課題に対応した重点指導の内容を明確にし、児童生徒の実態に即した年間指導計画を作成し、その指導実践を通して、よりよく生きるための道徳的実践力を培うように努めた。
- (3) 毎時間の指導においては、読み物資料・「私たちの道徳」の利用、教育機器の活用、体験活動との関連を図るなどし、一人一人の児童生徒の道徳性の育成を図るように努めた。

11 安 全 教 育

(1) 交通安全教育

交通安全指導の手引、名古屋市教育課程（特別活動編）に基づき、地域や学校の実情に即した指導を行った。

交通訓練日の設定や、交通安全行事への積極的な参加により、交通安全の意識の高揚に努めた。

各校の通学路を検討し、登下校の安全確保に努めた。

ア 新入学児童の交通安全対策

新入学児童全員に黄色い帽子を支給し、通学の安全を図った。

新入学児童保護者に対して市長から交通安全メッセージの手紙を送り、交通指導員から「交通安全のお願い」のリーフレットを渡すとともに交通安全講話を行い、交通安全の徹底を図った。

イ 交通安全指導用備品等の配置

小学校及び特別支援学校に自転車用ヘルメットなどの備品を配置し、「自転車安全教室受講証」を配布した。

ウ 通学路安全対策検討会の開催

通学路の交通安全施設に関する要望事項を、各関係機関と協議・判定し、その結果を各学校に説明した。

関係機関から児童・生徒の交通事故防止や区における安全対策について説明した。

エ 学童交通生活安全協力功労者及び団体への感謝状贈呈

各区に選考委員会を設け、区長の推薦により、教育委員会が対象者を決定し、個人16人、団体16団体に対し、感謝状と記念品を贈呈した。

オ 平成27年度における幼児・児童・生徒の交通事故（教育委員会への届出による）

事故程度別 (人)				学校種別 (人)				
軽 傷	重 傷	死 亡	計	幼	小	中	高	計
31	22	0	53	0	40	12	1	53

(2) 防災教育

授業時、業間など様々な場合を想定した避難訓練を実施し、緊急時の避難方法の習得に努めた。また、「なごやっ子防災ノート」を配布し、授業等で活用して児童生徒の防災に対する意識を高めるとともに、家庭とも連携して防災教育を進められるようにした。

12 学校図書館教育

- (1) 自ら学ぶ学習態度の育成を目指し、教育活動全体を通して、学校図書館の計画的な利用を図った。
- (2) 豊かな人間性の育成を目指し、図書館利用指導や読書指導を通して、読書の習慣化に努めた。
- (3) 利用しやすい図書館づくりを目指し、資料整理と施設・設備の改善に努めた。
- (4) 「学校図書館の指導の手引き」を活用し、子どもたちの健やかな成長を支える読書活動が推進されるよう努めた。

13 職業教育

- (1) 教育課程の運営に当たって、指導内容及び指導方法の工夫と改善を推進した。
- (2) 望ましい勤労観・職業観の育成を目指し、インターンシップ（就業体験）を職業に関する専門学科を有する全日制の全ての高校で実施した。
- (3) 課題解決能力の育成を図るため、職業に関する全ての学科で「課題研究」の推進を図った。
- (4) 全校をインターネットに接続し、ネットワークを活用した模擬取引等の実施をすすめるなど、その教育利用を推進した。
- (5) 本市の職業教育の充実・振興を図ることを目的として、商業科・工業科・総合学科の高校生10人をマレーシアに派遣し、現地の産業の視察や体験活動などを行った。

14 野 外 教 育

(1) 概 要

名古屋の児童生徒に対して、自然に親しみ豊かな自然環境の中での学習や集団生活を体験させるため、稲武（昭和41年9月開設）及び中津川（昭和45年12月開設）の野外教育センターを利用し、中学校2年生、小学校5年生全員に2泊3日の野外教育を実施した。また、特別支援学校の小学部5年生、中学部2年生及び高等部2年生が1泊2日の野外教育を実施した。野外学習センター（平成2年5月開設）については、高校生のオリエンテーション・部活動合宿・その他の研修などの場として利用されている。

(2) 施設の概要

施設名	名古屋市稲武 野外教育センター	名古屋市中津川 野外教育センター	名古屋市野外 学習センター
所在地	愛知県豊田市稲武町 井山1番地の19	岐阜県中津川市 苗木4827番地	愛知県豊田市富永町 ヨシガタイラ15番地
施 設	敷地総面積 約315万㎡ 建 物（延面積） 第一本館 2,950.70㎡ 第二本館 1,553.69㎡ 第三本館 1,376.37㎡ 多目的ホール 1,722.77㎡ 収容人員 600人 第一本館 200人 第二本館 200人 第三本館 200人	敷地総面積 約12万㎡ 建 物（延面積） 第一本館 4,093.30㎡ 第二本館 2,619.62㎡ 多目的ホール 738.93㎡ 集会室 814.05㎡ 収容人員 700人 第一本館 400人 第二本館 300人	敷地総面積 約123万㎡ 建 物（延面積） 管理棟 951.29㎡ 食堂棟 1,455.76㎡ 宿泊棟 1,587.10㎡ 体育館 1,332.00㎡ 収容人員 500人

(3) 平成27年度施設利用状況

施 設 名	校 数	参加者合計（含引率者）
稲 武 野 外 教 育 セ ン タ ー	110 校	17,946 人
中 津 川 野 外 教 育 セ ン タ ー	265	19,976
野 外 学 習 セ ン タ ー	35	6,761

※野外学習センターについては、表中のほか、社会教育団体等（47団体、2,737人）が利用した。

15 国 際 理 解

(1) 高校生海外派遣事業

本市では、平成4年から市立商業科・工業科・総合学科に在籍する高校生10人を東南アジアに夏季休業中12日間派遣し、体験学習や現地産業の視察を通して相互理解を深め国際的感覚の向上に努めている。また、平成7年より普通科を設置する市立高校8校より16人をシドニー市の現地高校へ18日間派遣するとともに、シドニー市からの高校生16人を14日間市立高校8校で受け入れてきた。平成21年度より本市からの派遣のみとなり、また平成26年度より

夏季休業中12日間の派遣とし、現地校での英語学習・授業体験・交流活動及び自主研修プログラムなどにより、国際的視野をもった人間の育成を図っている。

(2) 姉妹友好都市児童生徒書画展

本市の姉妹友好都市へ小中学生の作品を送るとともに、姉妹友好都市からも作品を送ってもらい、作品交換を通して国際親善に努めた。これらの作品については、名古屋市博物館において、本市児童生徒の作品とともに11月下旬に展示され、小中学生はもちろん、多数の市民の観覧を受け、国際親善に役立った。なお、名古屋国際学園の絵画作品と、「ふれあい協定」による中津川市・豊田市稲武地区の小中学生の作品も展示した。

(3) 国際理解教育

本市では、昭和55年度より中高等学校の生徒に外国人英語指導助手の指導による学習を体験させ、英語学習に対する意欲を高めるとともに、生徒との直接的な交流による国際理解教育の実践を図っている。平成27年度は、助手95人を中学校全校、高等学校10校へ派遣した。また、商業高校3校（中央高校含む）と総合学科高校1校には高等学校非常勤外国人講師を7人配置し、1校当たり全学年で年間443～585時間（中央高校は年間112時間）生きた英語による学習を行った。さらに、名東高校にはロサンゼルス市より現職教員2人を配置するとともに、英語に慣れ親しむために小・特別支援学校264校へ英語活動アシスタントを、小学校259校へ外国語活動アシスタントを派遣した。

(4) 日本語教育が必要な児童生徒の受け入れ

ア 趣 旨

急増する外国人児童生徒の学校生活への円滑な適応を図るとともに、外国人児童生徒との直接的な交流体験を通して日本人児童生徒の国際理解を促進するために本市では以下のような取り組みを行っている。

イ 学校生活への適応指導

日本語教育相談センターに教育経験豊かな日本語学習支援コーディネーターと、ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピン語及びハングルが理解できるコンサルタントを配置して、電話等による相談や翻訳・通訳派遣要請に応じた。また、上記言語の会話集及びガイドブック「ようこそなごやへ」を活用して、日本語指導の充実を図っている。

ウ 日本語指導講師の配置

日本語指導が必要な児童生徒が多く在籍する小中学校には、日本語教育適応学級担当教員を配置するとともに、日本語指導講師を派遣し、日本語習得のための個別指導等を行った。

エ 母語学習協力員の配置

東区、北区、中区、中川区、港区、南区、緑区、名東区に、フィリピン語、ポルトガル語、中国語が話せる母語学習協力員を配置し、拠点校を中心に日本語指導や適応指導の補助を行った。

オ 平成28年度の主な事業予定

- (ア) 日本語教育相談センターにおける相談事業及び通訳・翻訳派遣を引き続き実施する。
- (イ) 初期日本語集中教室 2 教室を引き続き実施する。
- (ウ) 日本語通級指導教室 16 教室を引き続き実施する。
- (エ) 母語学習協力員を 26 人から 28 人に増員し学校に配置する。
- (オ) 日本語指導が必要な児童生徒への支援に関するホームページを運営し、各施策の周知及び利用促進を図る。

(5) 帰国児童生徒教育

ア 趣 旨

近年、海外から帰国したり、海外へ出国したりする保護者の増加に伴い、同伴する児童生徒の就学・進路や学校への適応にかかわる教育相談が多くなった。そこで本市としては、教育相談機関と帰国児童生徒教育の研究校の充実を図るとともに、高等学校への帰国生徒の受け入れを実施している。また、中国からの帰国者が増加し、それに伴う児童生徒の教育の重要性が問われるようになってきた。

イ 教育相談機関

名古屋市教育センター等で、次のような事項について相談に応じた。

- 相談内容
- 1 出国に伴う教育上の問題
 - 2 帰国に伴う進路・就職や学校への適応の問題

相 談 員 名古屋市教育センター指導主事等

ウ 帰国児童生徒教育研究協議会における研究

最近、海外勤務経験者児童生徒とあいまって中国帰国児童生徒が増加しており、その教育上の問題も複雑化してきた。

- (ア) 海外勤務経験者児童生徒数 田代小30人、東山小48人、城山中48人、笹島小37人、笹島中28人
- (イ) 中国帰国児童生徒数 浦里小30人、千鳥丘中16人 (平成27年度調査実績)

そこで、これらの問題に対応するために海外日本人学校の教職経験者や、帰国児童生徒教育研究協力校（上記7校）の教員で組織する帰国児童生徒教育研究協議会において、学校生活への早期適応指導、国際理解教育等に関する研究を進めている。指導方法としては学齢相当学年に入級させ、一般児童生徒とともに学習させること、特別時間割を設けて特定時間に帰国児童生徒を個別指導することで対応した。

エ 帰国児童生徒教育推進校

帰国児童生徒教育研究協力校のうち、笹島小学校と笹島中学校では、特に日本語教育が必要な海外勤務経験者児童生徒への個別指導などを行い、学校生活への適応を図った。また、AETや外国人ボランティアの協力を得て、児童生徒が海外で身に付けた言語や国際的な感覚の保持・伸長を図った。

オ 海外帰国生徒にかかる入学者選抜

海外帰国生徒の高等学校への受け入れ特別措置として、名東高校国際英語科において、所定の資格を有する者に特別選抜を実施している。

16 情 報 教 育

(1) 学習用コンピュータの設置及びネットワークの整備

学習用コンピュータは、平成元年度から本格整備を始め、平成10年度には特別支援学校に各8台のマルチメディア対応コンピュータを設置、平成11年度からは、小学校22台、中学校42台のコンピュータにサーバを加え、ネットワーク化し、その後、機器の更新と拡充を図っている。

平成18年度からは電子黒板とノートパソコン、プロジェクタを組み合わせて配備、また、ネットワークについては、すべての学校で平成22年度末までに校内LAN環境を整え、教室でのICTを活用した学習ができるように整備を進めている。さらに平成26年度からは、無線LANと電子黒板機能付きタブレット型パソコンの整備を始めた。現在、名古屋市立の全幼稚園、小・中・特別支援・高等学校が一つのネットワークで結ばれ、名古屋市教育センターを通してインターネットにつながっており、安全かつ安心してインターネットが使える環境が整っている。

(2) 情報教育の推進

「満載！授業のアイデアとコツ」などの教育用デジタルコンテンツ、学習リンク集などをネットワーク環境のもとで提供しており、電子黒板等を使って、「分かる授業の実現」に取り組んでいる。

また、情報モラルに関して「情報モラルコンテンツ」をパッケージ化して提供し、情報モラル教育を推進している。

(3) 視聴覚教材

名古屋市教育センター情報教育部視聴覚ライブラリーでは、16ミリ映画教材、ビデオ教材、DVD教材などを、学校や社会教育関係団体等へ貸し出している。

17 定 時 制 教 育

(1) 定時制教育の概況

生涯学習社会の中で、定時制高校には、勤労青年だけでなく、さまざまな学習歴をもった生徒が学習の場を求めて入学を希望するようになった。昨今では志望者数も増加傾向に転じている。これに応じて各校では、多様な教育課程の編成や、個別指導、少人数指導、個人面談や家庭訪問等、指導内容・指導方法の工夫・改善に取り組んでいる。

さらには平成11年度には、学年の区分を設けず、多様な選択科目から生徒が自分のペースに合わせて学習計画をたて、修得した単位を積み上げて卒業するという、新しいタイプの課程として、中央高校に本市としては初めて、単位制による課程を設置した。

定時制生徒のための教育条件の整備・充実は、関係方面の協力を得てその実績をあげている。条件に合致した生徒への教科書の無償給付、給食（割子弁当・牛乳）の補助などがその主なものである。

また、魅力ある定時制教育のあり方を求めて、指導内容・指導方法についての実践研究を重ね、修学の喜びを体験させるよう工夫をこらしている。

(2) 平成27年度定時制教育充実のための経費

設 備 費	教 科 書 無償給与費	給 食 費	教育指導費	計
円 341,000	円 1,103,000	円 1,003,000	円 535,000	円 2,982,000

(3) 主な定時制教育振興事業

- ア 定時制教育に精励する生徒への激励及び表彰
- イ 部活動等での活躍が顕著である生徒への激励及び表彰
- ウ 「名古屋市立高等学校定時制入学案内」（平成28年度生徒募集用パンフレット）「単位制による定時制課程（昼間）普通科」（紹介リーフレット）の作成・配布及び「広報なごや」に生徒募集要項を掲載（1回）
- エ 「定時制の生徒調査と研究紀要」（平成27年度版）の作成・発行
- オ 定時制教育に関する各種調査・研究

18 特別支援教育

(1) 概 況

障害のある児童生徒に対して、障害の種類及び程度に応じたきめ細かい教育を行うため、知的障害、弱視、難聴、言語障害、自閉症・情緒障害、肢体不自由及び病弱・身体虚弱（病院内学級を含む）の特別支援学級と、難聴、言語障害、発達障害の通級指導教室を設けると共に、知的障害の程度が比較的重い児童生徒のために特別支援学校を設置した。また、知的障害に加えて身体の障害が重いため学校へ通って学習することの困難な児童生徒に対しては、教師が家庭へ出向いて指導する訪問教育を行っている。さらに、平成23年度に軽度の知的障害の生徒のための職業教育を充実するため、守山養護学校高等部に産業科を設置し、平成27年度には南養護学校に小学部のみの分校を開校した。小・中学校及び幼稚園、高等学校に在籍する障害のある幼児児童生徒に年間を通して介助・支援が必要な場合に、学校生活介助アシスタントを、医療的ケアの必要な児童生徒に看護介助員や栄養士を配置している。また、学級や教科担任との連携を図りながら、発達障害の可能性のある幼児児童生徒に対して学校（園）生活への適応のため、学校（園）生活全般での介助等を行う発達障害対応支援員や個別指導あるいは少人数での指導を行う発達障害対応支援講師を配置している。さらに、発達障害の通級指導教室での指導がより効果的に定着するよう、通級指導定着支援員を配置している。

(2) 就学指導委員会

特別支援学級や通級指導教室、特別支援教育諸学校への入級・入室や入学については、適切な就学をすすめるため医師・学識経験者等の意見聴取者及び教育職員・関係行政職員等の

委員からなる就学指導委員会を設けている。

ア 学校別就学指導委員会

市内の各小学校及び中学校に置かれる就学指導委員会において、当該学校への障害のある児童生徒の就学に関する調査及び障害のある児童生徒の保護者に対する就学上の相談・助言等を行う。

イ 区別就学指導委員会

行政区内等に居住する障害のある児童生徒の就学に関する調整並びに、学校別就学指導委員会に対する指導及び助言を行う。

ウ 障害別専門部会

視覚障害等の障害種別や、特別支援学校に関する専門部会を開催し、入級・入室及び入学対象者の適切な学びの場について意見聴取を行う。

エ 市就学指導委員会

障害のある児童生徒の障害の程度に応じた特別支援学校及び特別支援学級への就学について、調査し審議するとともに、学校別就学指導委員会の依頼に応じて指導及び助言を行う。

(3) 特別支援教育の現状

ア 特別支援学級

特別支援学級の種別と入級対象者

種 別	入 級 対 象 者
知 的 障 害	知的発達に遅滞がみられ、他人との意思疎通に軽度の困難があり日常生活を営むのに一部援助が必要で、社会生活への適応が困難な者
弱 視	拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が困難な者
難 聴	補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが困難な者
自 閉 症 ・ 情 緒 障 害	自閉症又はそれに類する者等、及び心理的な要因でかん黙等がみられる者
肢 体 不 自 由	補装具によっても歩行や筆記等日常生活における基本的な動作に軽度の困難がある者
病弱・身体虚弱 (病院内学級を含む)	呼吸疾患等、疾患の状態が長期に渡り、持続的又は間欠的に医療又は生活の管理を必要とする者
言 語 障 害	構音障害、吃音等のある者又は言語機能の基礎的事項に発達の遅れがある者

・特別支援学級設置状況一覧表（設置年度は最初の年度を記載）

知的障害特別支援学級

（平成28年5月1日現在）

小 学 校				
区	校 名	設置年度	学級数	児童数
千 種	内 山	30	1	1
	春 岡	H13	1	4
	高 見	H17	1	3
	大 和	H27	1	3
	田 代	58	1	6
	自 由 ケ 丘	H17	1	3
	上 野	59	1	4
	富 士 見 台	56	1	6
	東 山	H27	1	3
	星 ケ 丘	H7	1	2
	宮 根	H18	1	3
	見 付	H26	1	3
東	旭 丘	41	1	3
	筒 井	H15	1	5
	矢 田	62	1	3
	東 桜	H28	1	1
	明 倫	H27	1	1
北	砂 田 橋	H11	1	2
	飯 田	30	1	4
	大 杉	38	1	1
	清 水	H14	1	5
	名 北	58	1	2
	金 城	60	1	2
	東 志 賀	H28	1	1
	城 北	36	1	2
	光 城	H12	1	2
	楠 楠	52	1	3
	味 鈍	H13	1	4
	西 味 鈍	H18	1	6
	楠 西	H12	1	2
	如 意	H27	1	3
	宮 前	H14	1	5
	川 中	H27	1	2
	辻	61	1	1
西	榎	H28	1	1
	なごや（西）	H27	1	2
	栄 生	H27	1	4
	上 名 古	36	1	2
	枇 杷 島	H22	1	2
	南 押 切	38	1	2
	庄 内	H22	1	2
	稲 生	H26	1	4
	山 田	59	1	3
	平 田	51	1	4
	比 良	56	1	1
	大 野 木	H23	1	3
	浮 野	H25	1	1
	比 良 西	H17	1	6
	中 小 田 井	H20	1	5
中 村	中 村	40	1	2
	ほ の か	H14	1	4
	牧 比 野	H21	1	2
	日 柳 津	H20	1	4
	稲 葉 地	H12	1	7
	日 吉	H24	1	5
	千 成	36	1	2
	岩 塚	H28	1	3
	稲 西	59	1	1
	八 社	50	1	3
中	名 城	H18	1	3
	栄	H28	1	1
		H21	1	2

小 学 校				
区	校 名	設置年度	学級数	児童数
中	新 栄	H25	1	5
	松 原	H27	1	2
	橘	31	1	5
	平 和	H25	1	1
	老 松	57	1	2
	千 早	H28	1	1
	大 須	H27	1	1
昭 和	正 木	H17	1	2
	鶴 舞	H25	1	3
	吹 上	39	1	2
	村 雲	H20	1	4
	松 栄	30	1	6
	御 器 所	H27	1	4
	広 路	42	1	5
瑞 穂	川 原	60	1	2
	八 事	H21	1	5
	滝 川	H20	1	3
熱 田	堀 田	37	1	4
	汐 路	59	1	3
	高 田	H27	1	2
	瑞 穂	32	1	7
	穂 波	H19	1	5
	陽 明	H21	1	2
	中 根	H18	1	5
中 川	高 蔵	H15	1	1
	旗 屋	H19	1	1
	千 年	H21	1	2
	船 方	H28	1	1
	白 鳥	31	1	3
	野 立	38	1	2
	大 宝	H24	1	2
中 川	露 橋	36	1	4
	愛 知	H16	1	2
	八 熊	H14	1	4
	昭 和 橋	H26	1	2
	常 磐	30	1	6
	八 幡	H20	1	3
	荒 子	H21	1	7
	篠 原	H17	1	4
	戸 田	41	1	3
	豊 治	H22	1	3
	千 音 寺	H19	1	2
	長 須 賀	H25	1	3
	万 場	H7	1	4
	明 正	61	1	5
	玉 川	H27	1	3
	赤 星	H21	1	5
	西 中 島	H19	1	3
	五 反 田	H27	1	3
港	春 前 田	H20	1	1
	西 前 田	H20	1	3
	東 築 地	H18	1	8
	中 大 手	H27	1	1
	港 西	36	1	1
	小 碓	H27	1	3
	高 碓	59	1	5
	南 木	57	1	2
	港 陽	H16	1	5
	明 楽	40	1	4
	稲 徳	51	1	4
	東 永 海	53	1	4
		H15	1	3

小 学 校				
区	校 名	設置年度	学級数	児童数
港	野 跡 当 知 正 保 神 寺 福 田 福 春	H23	1	2
		H20	1	4
		H21	1	4
		H25	1	3
		H26	1	4
		H22	1	2
南	豊 田 明 治 伝 馬 呼 続 白 水 桜 菊 住 道 徳 笠 寺 大 生 千 鳥 星 崎 春 野 笠 日 東 宝 南	H22	1	3
		59	1	2
		H18	1	5
		60	1	4
		42	1	3
		36	1	2
		H19	1	3
		49	1	4
		58	1	2
		39	1	2
		32	1	2
		H27	1	2
		H11	1	3
		H23	1	4
		H18	1	2
守 山	守 山 小 幡 廿 軒 家 大 森 瀬 古 鳥 羽 見 志 段 味 志 段 味 白 沢 苗 代 本 丘 天 子 田 二 城 森 孝 東 西 城 小 幡 北 吉 根 下 志 段 味	36	1	5
		H16	1	1
		H22	2	11
		50	1	3
		H16	1	3
		40	1	2
		H13	2	16
		H27	1	3
		58	1	3
		60	1	5
		H24	1	3
		H26	1	2
		H26	1	3
		H17	1	1
		H28	1	1
		H18	1	6
		H19	1	3
		H24	1	6
緑	鳴 海 鳴 東 東 丘 平 子 鳴 子 大 高 有 松 緑 片 平 戸 笠	50	1	7
		60	1	1
		H11	2	9
		40	1	1
		59	1	1
		61	1	1
		58	1	6
		48	1	1
		47	1	4
		H20	1	3

小 学 校				
区	校 名	設置年度	学級数	児童数
緑	太 子 浦 里 旭 出 黒 石 神 の 倉 長 根 台 桶 狭 間 相 原 桃 山 南 陵 大 高 北 大 高 南 徳 重 滝 ノ 水 大 清 水 常 安 小 坂 熊 の 前	H11	1	3
		H20	1	3
		H12	1	3
		55	1	1
		H16	2	11
		H14	1	2
		H18	1	1
		H16	1	8
		H19	1	4
		H13	1	5
		H26	1	3
		H21	1	5
		H13	1	2
		H21	1	4
		H14	1	2
		H21	1	2
		H17	1	1
		H20	1	4
名 東	香 流 高 針 藤 が 丘 猪 子 石 名 東 蓬 来 本 郷 貴 船 引 山 平 和 が 丘 豊 が 丘 前 山 梅 森 坂 北 一 社 牧 の 原	57	1	5
		52	1	2
		H13	1	2
		H28	1	1
		60	2	11
		H27	1	6
		58	1	3
		H12	1	3
		H11	1	3
		H17	1	3
		H28	1	1
		H18	1	6
天 白	天 白 八 事 東 平 針 植 田 野 並 高 坂 し ま だ 表 針 山 平 針 南 大 坪 山 根 原 植 田 南 平 針 北 植 田 北 植 田 東	40	1	6
		H16	1	2
		50	1	1
		55	1	5
		H21	1	2
		H19	1	1
		60	1	1
		H26	1	2
		H17	1	2
		59	3	17
		H18	1	2
		H27	1	4
		H23	1	5
		H11	1	1
		H18	1	6
		H21	1	5
計		(222校)	229	741

中 学 校				
区	校 名	設置年度	学級数	生徒数
千 種	今 池 城 山 千 種 振 甫 千 種 東 星	35	1	2
		59	1	3
		H16	1	4
		41	1	5
		60	1	3
東	あ ず ま 矢 田	H27	1	3
		40	1	3
北	若 葉 志 賀 北 陵 大 曾 根 八 王 子 楠 子 北	36	1	3
		H23	1	4
		H27	1	3
		H13	1	5
		34	1	6
		40	1	3
		H23	1	7
西	名 塚 天 神 山 山 田 平 田	58	1	3
		38	1	2
		56	1	4
		60	1	5
中 村	豊 国 笈 瀬 御 田 豊 正 日 比 津	36	2	10
		37	1	3
		H26	1	5
		38	2	11
中	伊 勢 山	H26	1	4
		H23	1	1
昭 和	北 山 円 上 駒 方	33	1	3
		42	1	4
		58	2	10
瑞 穂	田 光 萩 山 汐 路 津 賀 田	H15	1	1
		H25	1	2
		58	1	6
		38	1	3
熱 田	沢 上 宮 比 野 日 野	H23	1	5
		59	1	4
		35	1	6
中 川	一 色 長 良 山 王 一 柳 八 幡 昭 和 富 橋 は 田 供 と 高 米 高 杉	39	1	1
		36	1	6
		35	1	3
		H25	1	3
		H26	1	5
		H23	1	1
		45	2	12
		60	1	3
		H24	1	6
		H22	1	5

中 学 校				
区	校 名	設置年度	学級数	生徒数
港	港 南 港 北 東 港 南 陽 宝 神 当 知 南 陽 東	34	1	3
		H26	1	6
		37	1	6
		62	1	4
		H28	1	1
		58	1	5
		H28	1	3
南	本 城 新 郊 桜 田 大 江 明 豊 名 南 南 光	39	1	2
		H22	1	4
		36	1	4
		59	1	4
		H22	1	3
		H13	1	2
守 山	守 山 守 山 守 西 志 段 大 味 守 森 森 北 吉 孝 根 中	H26	2	12
		38	2	12
		41	1	2
		H22	2	11
		57	1	1
		H26	1	6
		H27	1	4
		H28	1	1
緑	鳴 海 大 高 有 松 鳴 子 台 東 陵 千 鳥 丘 神 沢 扇 台 滝 ノ 水 左 京 山 鎌 倉 台 神 の 倉	40	1	3
		H10	1	5
		H10	1	6
		58	1	2
		H16	1	5
		H21	1	6
		H11	1	4
		H15	1	5
		H14	1	3
		H16	1	5
		H16	1	5
		H26	1	3
名 東	猪 高 神 丘 高 針 台 猪 子 石 藤 森	H21	1	4
		H17	1	4
		H14	1	6
		62	1	1
		59	1	1
天 白	天 白 御 幸 久 山 平 方 植 針 田	52	2	13
		H19	2	10
		H28	1	1
		H4	2	10
		59	2	11
計		(89校)	100	407

自閉症・情緒障害特別支援学級

小 学 校				
区	校 名	設置年度	学級数	児童数
千 種	内 山	58	1	2
	千 種	H26	1	1
	千 石	H28	1	1
	田 代	H22	2	10
	自 由ヶ丘	H21	1	6
	上 見野	H11	1	4
	富 士 台	H14	1	8
	東 山	H15	1	2
	星 ケ丘	H25	1	2
	宮 根	H18	2	10
東	千 代 橋	H24	1	2
	旭 丘	53	1	6
	筒 井	H26	1	3
	矢 田 橋	H19	1	2
北	砂 田 橋	H17	1	2
	飯 田	H27	1	3
	大 杉	H28	1	1
	清 水	H21	1	3
	名 北	H14	1	2
	金 城	H15	1	2
	楠 北	H27	1	2
	味 鉾	H4	2	12
	補 鉾	H16	1	3
	如 西	H20	1	6
	宮 意	H27	1	3
	川 前	H22	1	2
	辻 中	H18	1	2
		H24	1	4
西	児 玉	H23	1	4
	南 押	H24	1	3
	庄 内	H24	1	5
	稲 生	H18	1	3
	山 田	H24	1	5
	平 野	H22	1	2
	大 比	H26	1	2
	中 小 田 井	H18	1	4
中 村		H22	1	3
	笹 島	H22	1	1
	中 の 村	59	1	2
	は 牧	H20	1	2
	日 比	H24	1	1
	諏 津	H17	1	3
		H23	1	5
	柳 葉	H15	1	3
	稲 地	H22	1	2
	日 西	H16	1	2
	岩 吉	H28	1	3
	八 塚	H28	1	3
中	新 栄	H24	1	4
	橋 和	H27	1	3
	平 松	59	1	7
	老 上	H27	1	1
昭 和	吹 器	H16	1	1
	松 栄	54	1	2
	御 所	59	1	1
	広 路	H28	1	1
	川 原	H15	1	2
	八 分	H14	1	1
	滝 事	H25	3	17
		H22	1	2
瑞 徳	弥 富	48	1	3
	御 鋸	H20	1	3
	堀 田	H27	1	1
	沙 路	58	1	2
	高 田	H28	1	3
	瑞 徳	H24	1	3
	穂 波	H15	1	1
	中 明 根	H22	1	4
熱 田		H19	1	3
		H18	1	8
	旗 屋	H21	1	1
	船 方	H26	1	5
中 川	白 鳥	H21	1	4
	大 立	57	1	4
		H25	1	2
	愛 知	H26	1	3
	八 熊	H18	1	3
	昭 和	H27	1	3
	常 八	H7	1	8
	荒 幡	H21	1	2
	正 子	H22	1	4
	篠 色	H28	1	1
	戸 原	H21	1	5
	豊 治	56	1	3
	千 音	H24	1	4
	万 寺	H27	1	8
	明 場	H14	1	6
	玉 正	H22	1	3
	赤 川	H15	1	1
	西 星	H22	1	3
港	春 島	H27	1	2
	西 前 田	H22	1	2
		H27	1	3
	東 築 地	H18	1	6
	中 川	H28	1	2
	大 手	H17	1	3
	港 西	H28	1	2
	小 確	H11	1	3
高	西 築 地	H21	1	3
	高 木	H14	1	1

(平成28年5月1日現在)

小 学 校				
区	校 名	設置年度	学級数	児童数
港	南 陽	H17	1	3
	港 楽	H20	1	5
	明 徳	H14	1	3
	稲 永	58	1	3
	東 海	H23	1	3
	正 保	H28	1	2
	野 跡	H27	1	2
	神 宮 寺	H21	1	1
	西 福 田	H27	1	1
	福 田 春	61	1	3
南		H25	1	2
	豊 田	H22	1	4
	明 治	H15	1	6
	伝 馬	H28	1	1
	呼 続	H15	1	4
	柴 田	H28	1	1
	桜 住	H28	1	1
	菊 道	H22	1	1
	笠 大	58	1	4
	宝 寺	H15	1	3
	大 生	H23	1	1
	千 磯	H28	1	1
	星 島	H24	1	3
	春 崎	H28	1	3
守 山	笠 野 東	H26	1	6
	守 山	H12	1	2
	小 山	H28	1	2
	廿 軒	H15	1	5
	大 軒	H26	1	7
	瀬 家	H23	1	5
	島 森	H17	1	4
	志 羽 見	H21	1	6
	志 段 味	57	1	2
	白 西	H21	1	4
	苗 沢	H26	1	1
	本 代	H13	1	4
緑	天 地 丘	H19	1	4
	西 田 城	H22	1	2
	小 幡	H25	1	4
	吉 幡	H27	1	2
	下 根	H25	1	1
	志 段 味	H21	1	4
		H25	1	2
	鳴 海	57	1	5
	東 部	H24	2	9
	平 丘	H23	1	1
	有 子	H27	1	2
	大 高	H9	1	4
名 東		H10	1	4
	片 緑	H20	1	7
	太 平	H12	1	1
	戸 子	H15	1	5
	浦 笠	H28	1	1
	旭 里	H28	1	1
	黒 出	H21	1	1
	の 石	H27	1	3
	長 根 狭	H18	1	1
	桶 台	H18	1	5
	相 間	H22	1	4
	桃 原	H22	1	2
	南 山	H21	1	2
	大 陵	H28	1	1
	徳 北	H22	1	2
	滝 南	H28	1	1
	小 重	H22	1	4
	熊 の 水	H16	1	3
天 白		H13	1	4
	猪 高	H25	1	2
	香 流	H20	1	2
	高 針	H12	1	5
	藤 丘	H15	1	2
	名 東	H21	1	5
	蓮 来	H28	1	2
	本 郷	H19	1	2
	費 船	H14	1	8
	引 山	H16	1	4
	平 丘	H25	1	2
	極 和 楽	H27	1	3
計	前 坂	H15	1	4
	梅 森	H27	1	2
	北 一	H25	1	4
	牧 の 原	H22	1	3
	天 白	59	1	3
	八 事	H18	1	1
	平 針	H14	1	3
	植 田	57	1	3
	高 坂	H25	1	3
	しま だ	H24	1	1
	表 山	H23	1	4
	大 坪	H23	1	3
	山 根	H22	1	2
	平 針	H28	1	2
	植 原	H27	1	2
	植 田	H13	1	6
	平 針	H28	1	2
	植 田	H21	2	10
計		(200校)	207	644

中 学 校						中 学 校				
区	校 名	設置年度	学級数	生徒数		区	校 名	設置年度	学級数	生徒数
千種	今城千種振	池山台	59	1	5	中川	はと	H20	1	2
		種	H24	1	1		高杉	H22	1	2
		台	H19	1	6		港南	H26	1	7
		種	H28	1	1		港北	H28	1	1
		甫	H21	1	4		港東	H28	1	5
東	あずま	ま田	59	1	2	港南	南陽	H元	1	1
			H10	1	3		宝神	H28	1	3
北	若志大八	葉賀根子	57	1	3		当知	H3	2	10
			H24	1	4		本城	H26	1	2
		曾王楠北	H17	1	4		新桜田	H22	1	3
			H17	1	4		江	59	1	1
			H16	1	7		大明	63	1	6
西	名山山田	塚山田東	H25	1	3	守山	豊南	H23	1	1
			H24	1	1		守山	58	1	2
			63	1	2		守山	H26	1	5
			62	2	9		守山	59	1	3
中村	豊笹笈御豊黄	国島瀬田正金	H28	1	3		守山	H2	1	2
			H23	1	3	守山	志段味	H27	1	4
			H28	1	1		大森	H19	1	2
			H28	1	3		守山	H27	1	3
			61	1	5		森孝根	H28	1	5
中	前伊勢	津山	H28	1	1		吉根	H28	1	1
			62	1	2	緑	鳴海	59	1	6
昭和	川名分校 (くすのき学園)		H25	2	10		大高	H25	1	7
		円上	59	1	3		有松	H15	1	6
		駒方	H20	1	3		鳴子	H26	1	3
瑞穂	田光路		H21	1	2		千鳥	H26	1	3
			H元	1	4	名東	滝ノ水	H21	1	3
熱田	沢宮野		H25	1	3		鎌倉	H25	1	3
			H23	1	2		神の	H18	1	2
			57	1	7		猪高	H18	1	3
中川	長山八一昭富	良王幡柳橋田	H23	1	5		猪高	H23	1	5
			H22	1	2	天白	針子	H25	1	7
			H28	1	2		高子	60	1	8
			H27	1	2		猪藤	H24	1	3
			H25	1	1		天白	H11	1	2
			58	2	10		天幸	57	1	2
							御幸	H25	2	10
							平針	H23	1	4
						計		(78校)	84	290

難聴特別支援学級

校 名	設置年度	学級数	生徒数
菊井中	49	2	13
計	(1校)	2	13

言語障害特別支援学級

校 名	設置年度	学級数	生徒数
菊井中	H24	1	1
計	(1校)	1	1

肢体不自由特別支援学級

校 名	設置年度	学級数	児童生徒数
千代田橋小	H22	1	1
六郷北小	H22	1	3
大野木小	H21	1	1
村雲小	H23	1	2
瑞穂小	H22	1	2
常磐小	H15	1	6
当知小	H20	1	1
菊住小	H23	1	4
瀬古小	H16	1	2
下志段味小	H27	1	1
小坂小	H18	1	2
藤が丘小	H26	1	4
植田東小	H24	1	2
八王子中	H25	1	1
山田東中	H27	1	1
長良中	H20	1	3
守山西中	H23	1	1
神の倉中	H22	1	2
計	(18校)	18	39

弱視特別支援学級

校 名	設置年度	学級数	児童生徒数
笹島小	49	1	2
熊の前小	H20	1	1
瑞穂小	H28	1	1
計	(3校)	3	4

病弱・身体虚弱特別支援学級（病院内学級を含む）

校名（病院名）	設置年度	学級数	児童数
中村小（第一日赤）	57	1	7
名城小（名古屋医療）	57	1	2
滝川小（第二日赤）	57	1	3
鶴舞小	H28	1	1
汐路小（市大）	59	1	3
昭和橋小（掖済会）	60	1	0
港楽小（中部労災）	58	1	1
大高南小（南生協）	57	1	0
藤が丘小	H26	1	4
計	(9校)	9	21

イ 通級指導教室

・通級指導教室の種別と入室対象者

言 語 障 害 教 室	言語障害がある者で、通常の学級での学習におおむね参加できる者
難 聴 教 室	聴覚障害がある者で、通常の学級での学習におおむね参加できる者
発 達 障 害 教 室	発達障害がある者で、通常の学級での学習におおむね参加できる者

・通級指導教室設置状況一覧表

(平成28年 5 月 1 日現在)

言語障害教室

校 名	設置年度	教室数	児童数
東 桜 小	H5 (40)	1	6
牧 野 小	H5 (49)	1	6
井 戸 田 小	H5 (60)	1	5
高 蔵 小	H5 (44)	1	6
成 章 小	H9	1	10
小 幡 小	H7	1	9
鳴 海 小	H7	1	11
表 山 小	H6	1	9
計	(8校)	8	62

難 聴 教 室

校 名	設置年度	教室数	児童数
東 桜 小	H5 (40)	1	4
牧 野 小	H5 (49)	1	8
井 戸 田 小	H5 (60)	1	10
高 蔵 小	H5 (44)	1	6
計	(4校)	4	28

※ () 内は学級としての設置年度

発達障害教室

校 名	設置年度	教室数	児童・生徒数
田 代 小	H18	1	6
星 ケ 丘 小	H22	1	12
旭 丘 小	H26	1	10
矢 田 小	H24	1	10
矢 田 中	H21	1	12
東 志 賀 小	H18	1	7
城 北 小	H25	1	21
楠 小	H22	1	10
稲 生 小	H22	1	15
山 田 小	H24	1	12
中 小 田 井 小	H21	1	6
稲 葉 地 小	H21	1	14
八 社 小	H24	1	24
正 木 小	H20	1	17
川 原 小	H25	1	13
桜 山 中	H19	1	8
弥 富 小	H22	1	9
豊 岡 小	H21	1	12
白 鳥 小	H22	1	10
大 宝 小	H22	1	12

校 名	設置年度	教室数	児童・生徒数
常 磐 小	H22	1	14
篠 原 小	H19	1	6
万 場 小	H24	1	7
高 木 小	H22	1	13
豊 田 小	H22	1	28
大 磯 小	H19	1	10
千 鳥 小	H25	1	28
廿 軒 家 小	H21	1	12
苗 代 小	H28	1	8
有 松 小	H18	1	13
旭 出 小	H22	1	10
大 高 南 小	H22	1	15
熊 の 前 小	H22	1	8
千 鳥 丘 中	H26	1	7
猪 子 石 小	H21	1	9
前 山 小	H22	1	10
植 田 小	H22	1	18
し ま だ 小	H20	1	15
計	(38校)	38	471

※県立聾学校による巡回指導

高見小・大和小・辻小・大野木小・御器所小・八事小・豊岡小・野立小・五反田小・
東築地小・福春小・明治小・廿軒家小・鳴海小・猪子石小・平和が丘小・植田小

—17校 20教室 20名

御田中—1校 2教室 2名

ウ 名古屋市立特別支援学校（知的障害）

特別支援学校設置状況一覧表

（平成 28 年 5 月 1 日現在）

校 名	開設 年度	区 分		小 学 部 1 ～ 6 年	中 学 部 1 ～ 3 年	高 等 部 1 ～ 3 年	計
西養護学校	48	普通科	通 常	54	38	180	272
			訪問教育	1	1	—	2
		計		55	39	180	274
南養護学校	51	普通科	通 常	62	49	273	384
			訪問教育	0	1	—	1
		計		62	50	273	385
天白養護学校	55	普通科	通 常	40	32	82	154
			施設内教育	0	0	—	0
		計		40	32	82	154
守山養護学校	60	普通科	通 常	56	49	144	249
		産業科 (H23～)		—	—	81	81
		計		56	49	225	330

（注） 施設内教育の施設とは、子ども青少年局所管のあけぼの学園。

（４）その他

ア 特別支援学級・特別支援学校連合運動会

期 日 8 月 6 日

場 所 日本ガイシスポーツプラザ ガイシホール

参加者 市立小・中学校の特別支援学級・特別支援学校の児童・生徒

イ 特別支援教育展（きらめき展）

期 日 2 月 16 日～21 日

場 所 名古屋市博物館

出品者 市立小・中学校の特別支援学級・通級指導教室・特別支援学校の児童・生徒

ウ 「名古屋の特別支援教育」の刊行

目 的 一般の学校職員・P T A等に対して、本市の特別支援教育の概要についての理解を図ること。

内 容 特別支援学校及び特別支援学級・通級指導教室の教育、障害の種類、教育措置、就学指導、その他本市の特別支援教育の現状等についての概要

19 幼 児 教 育

（１）幼稚園教育の概況

幼児期は、さまざまな体験を通して、生涯にわたる人格形成の基礎を培う大切な時期である。

幼稚園教育は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、一人一人の個性を大切にしながら、家庭と力を合わせ、幼児の健やかな成長や発達を促すことを目的としている。

そして、友達や先生と一緒に生活しながら、自分で行動する意欲や態度、友達を思いやる心などが育つような環境を整えて教育している。

(2) 幼稚園心の教育推進プラン

ア 体験学習の充実

幼稚園において、幼児の心に響く豊かな体験を推進することで、幼児期の健やかな成長を促す。

- ・人形劇や音楽等の鑑賞事業
- ・自然体験、社会体験事業

イ 子育て支援事業

幼稚園は地域における幼児期の教育のセンターとしての役割を担い、地域の親子に幼稚園の施設や機能を開放し、幼児期の教育に関する相談に応じたり、情報を提供したり、保護者同士の交流の機会を提供したりするなど「親と子の育ちの場」として、子育てを支援する事業を実施している。

- ・園舎、園庭開放
- ・未就園児の親子登園日の設定
- ・子育て相談
- ・子育て井戸端会議
- ・預かり保育など

(3) その他

「名古屋市立幼稚園の子どもたち」リーフレットの刊行

目的 市民に名古屋市立幼稚園の教育の概要について理解を図る。

内容 名古屋市立幼稚園の教育内容、幼稚園の一日の流れ、名古屋市立幼稚園配置図等についての概要

20 学 校 諸 行 事

(1) 名古屋市教育祭

ア 主 催 団 体

名古屋市教育祭実施委員会（名古屋市教育委員会、名古屋市立高等学校長会、名古屋市立小中学校長会、名古屋市立幼稚園長会、名古屋市立高等学校教員組合、名古屋市教員組合、名古屋市立幼稚園教職員組合）

イ 協 賛 団 体

名古屋市教育会、名古屋市立高等学校PTA協議会、名古屋市立小中学校PTA協議会、名古屋市立幼稚園PTA協議会

ウ 行 事 内 容

- (ア) 展覧会 高等学校は名古屋市民ギャラリー栄において9月15日から6日間、幼稚園は名古屋市博物館において12月1日から6日間、作品を展示した。小・中学校は学校ごとに実施した。
- (イ) 発表会 高等学校は11月7日に音楽会をアートピアホールにおいて実施した。小・中学校は11月11日に音楽会を日本特殊陶業市民会館ビレッジホールにおいて、午前・午後に分かれそれぞれ実施した。

(2) 修学旅行

ア 目 的 地

小学校 (261校)

京都・奈良	257校	京都・奈良・大阪	1校	奈良	1校	京都・大阪	1校
岐阜・石川	1校						

中学校 (110校)

東京・千葉・山梨	46校	東京・千葉	13校	東京・千葉・静岡	10校	東京・山梨	10校
東京・千葉・神奈川	7校	東京・千葉・山梨・静岡	4校	東京・千葉・長野	3校	その他関東方面	13校
大阪・和歌山	2校	大阪・和歌山・兵庫	1校	富山	1校		

高等学校 (14校：19行程)

長野 (スキー)	2校	岡山・広島・香川	1校	岡山・広島・(兵庫)	2校
広島・(山口)	3校	広島・兵庫	1校	大阪・兵庫	1校
奈良・京都・(滋賀)	2校	長崎・福岡・大阪	1校	広島・大阪・兵庫	1校
静岡・山梨	1校	沖縄	2校	韓国	1校
台湾	1校				

特別支援学校 (4校)

小・中学部	三重	3校	静岡	1校
高等部 (普通科)	大阪	2校	東京・(千葉)	2校
高等部 (産業科)	長崎	1校		

イ 実施時期

- 小 学 校 5月14校、6月19校、9月63校、10月146校、11月16校、12月3校
- 中 学 校 5月11校、6月99校
- 高等学校 5月1校、6月1校、9月1校、10月7校、11月3校、1月5校、2月1校

特別支援学校 小・中学部 10月4校、
高等部（普通科） 5月2校、9月1校、11月1校
高等部（産業科） 1月1校

21 開かれた学校づくり

（１）学校開放週間

1週間程度、保護者や地域の人々の参加・協力を得て学習や行事に取り組むことにより、年間を通じて開かれた学校づくりを進めている。

（２）学校評議員制

家庭や地域との連携を深め教育活動の充実を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進するために、学校運営のあり方について幅広く意見を聞いている。

平成27年度は、小学校261校、中学校110校、特別支援学校4校、高等学校14校、幼稚園23園の全412校（園）で実施した。

（３）ホームページの開設

学校から家庭・地域への情報発信のひとつとして学校ホームページの利用を行っている。

22 ESDフレンドシップ事業

平成26年度に開催された「あいち・なごやユネスコ世界会議」における「あいち・なごや宣言」を受け、ESDを継続・発展させるために、先進的な取り組みをしている名古屋市立学校（園）を支援し、その成果を全市に広めた。

23 海外演奏家等による音楽鑑賞の推進

世界のトップクラスの演奏家が学校を訪れて演奏することにより、音楽を身近な芸術文化として児童生徒に実感させるために、ウィーンピアノ四重奏団による演奏会を、小学校4校、中学校3校、高等学校1校、特別支援学校1校で開催した。

24 いじめ対策

いじめの未然防止については、児童生徒がいじめのない学校づくりに参画する「学校における仲間づくり推進事業」や「なごやINGキャンペーン」を実施するとともに、人権教育を基盤にした「いじめ防止教育プログラム」の活用促進を図った。いじめの早期発見については、スクールカウンセラーの配置拡充、インターネット上のいじめへの対応の充実、全ての小・中・高等学校における学校生活アンケートの実施を行った。いじめに対する措置・対応については、いじめの認知件数や態様等の報告を各学校から定期的に受けて対応の支援を図ったり、愛知県警察本部と締結した協定に基づいて連携を図ったりした。

第2章 教科用図書採択

1 教科用図書の採択

教科用図書は、学習指導上重要なものであるから、その採択は慎重かつ公正に行わなければならない。教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」及び「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」に基づき、厳正かつ民主的に、本市児童生徒に最も適した教科用図書を採択する方針を定めた。小学校用教科用図書は、平成27年度と同一のものを採択する方針を決定し、平成28年度使用教科用図書を採択した。中学校は採択替えの年に当たり、平成28年度使用教科用図書を種目ごとに審議し、採択した。

2 教科用図書の展示会

教科書センターを、鶴舞中央図書館、西・中川・南・天白図書館及び教育センターに設置した。展示会は、6月11日から7月5日まで開催した。

3 平成28年度使用教科用図書

(1) 小学校用（教科―出版社名）

国語・書写・音楽―教育出版、社会・家庭・保健―東京書籍、地図―帝国書院、算数―啓林館、理科・生活―大日本図書、図画工作―日本文教出版

(2) 中学校用（教科―出版社名）

国語―光村図書、書写・社会（地理）・社会（歴史）―教育出版、社会（公民）・技術家庭・英語―東京書籍、地図―帝国書院、数学―啓林館、理科・保健体育―大日本図書、音楽（一般）・音楽（器楽合奏）―教育芸術社、美術―日本文教出版

第3章 高等学校入学者選抜

1 概 要

平成28年度名古屋市立高等学校入学者選抜は、「平成28年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項」に基づき実施した。

全日制課程の入学者選抜は、中学校長より提出される推薦書と調査書及び面接等による「推薦入学」と、調査書及び学力検査（国語、数学、社会、理科、英語）と面接等による「一般入学」により実施した。なお、名東高校国際英語科では「海外帰国生徒にかかる入学者選抜」を行った。

定時制課程においては、中学校長より提出される調査書及び基礎学力検査、作文、面接により実施した。

2 平成28年度募集人数と志願者数等

（1）全日制課程

日程 推薦入学 2月17日（面接）

海外帰国生徒にかかる入学者選抜 2月17日（学力検査及び面接）

一般入学 Bグループ：3月7日（学力検査）、8日（面接）

Aグループ：3月10日（学力検査）、11日（面接）

学 科	募集人数	推薦入学 志願者数	推薦入学 合格者数	一般入学 募集人数	一般入学 志願者数	倍 率	昨年度 の倍率
	人	人	人	人	人		
普 通 科	2,520	515	359	2,161	4,899	2.27	2.22
音 楽 科	40	31	20	20	25	1.25	1.60
国 際 学 科	40	47	12	28	99	3.54	2.11
国 際 英 語 科	40	24 (6)	21 (5)	19	81	4.26	4.39
商 業 科	560	202	202	358	671	1.87	2.27
工 業 科	520	360	251	269	745	2.77	2.54
家 庭 科 (ファッション文化)	40	28	20	20	39	1.95	1.70
総 合 学 科	200	157	100	100	203	2.03	1.93
合 計	3,960	1,364 (6)	985 (5)	2,975	6,762	2.27	2.25

（注）（ ）内は、海外帰国生徒にかかる入学者選抜の再掲。

(2) 定時制課程

日程 前期選抜 3月15日 後期選抜 3月24日

学 科	総募集人員	志 願 者 数	
		前期選抜	後期選抜
	人	人	人
普 通 科（昼間）	160	200	24
普 通 科（夜間）	80	53	8
商 業 科（夜間）	40	15	8
工 業 科（夜間）	40	45	13
合 計	320	313	53

(注) 前期選抜の募集人員は、昼間定時制は総募集人員の8割程度、夜間定時制は総募集人員の7割程度。

第 4 章 教職員研修と教育研究

1 名古屋市教育センター

(1) 教育センターの概要

教育センターは、研修・研究調査部門、障害児教育部門、講堂・展示ホールを包括する総合教育センターとして、昭和56年7月16日開所。平成16年4月1日、視聴覚教育センターと情報処理教育センターが統合され、情報教育部が設置された。

教育センターでは、名古屋市立学校教職員の資質向上を図るため、初任者研修など各種の研修を実施するほか、平成8年10月1日に開設した子ども教育相談「ハートフレンドなごや」（教育相談の総合窓口）を通して、幼児から高校生年齢までの子どもの教育・養育上の問題に関するあらゆる相談に応じるとともに、教職員相談を実施している。また、最も重要な教育課題に対する研究を行い、学校現場に還元している。さらに、教育資料の作成・収集及び頒布、教育に関する専門的・技術的事項の調査研究も行っている。

	設立年月日	構 造	建物延面積	所 在 地
教 育 センター	昭和56年 7月16日	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上7階 塔屋2階	m ² 10,870.04	熱田区神宮三丁目 6番14号
分 館 (教育館)	昭和37年 9月1日	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上6階 塔屋2階	4,965.61	中区錦三丁目16番6号

(2) 平成27年度利用状況

区 分		延 件 数		延 利 用 人 数	
教育センター	主 催 事 業	件	件	人	人
	一 般 利 用	2,321	3,059	41,392	115,552
分 館	主 催 事 業	166	6,387	5,826	110,601
	一 般 利 用	6,221		104,775	
合 計	主 催 事 業	2,487	9,446	47,218	226,153
	一 般 利 用	6,959		178,935	

2 教職員研修の実施

(1) 研 修

(平成27年度)

	研 修 会 名	内 容	対 象	講座 数
基 本 研 修	幼稚園新規採用教員 研修会	教員としての心構えや基 本的な知識・技能	幼新規採用教諭のうち対 象者	1
	初任者研修会	教員としての使命感や基 本的な知識・技能	小・中・特新規採用教諭の うち対象者	1
	高等学校初任者研修 会	教員としての使命感や基 本的な知識・技能	高新規採用教諭のうち対 象者	1
	新規採用養護教員研 修会	養護教諭としての心構え や基本的な知識・技能	小・中・特新規採用養護教 諭のうち対象者	1
	高等学校新規採用養 護教員研修会	養護教諭としての心構え や基本的な知識・技能	高新規採用養護教諭のう ち対象者	1
	新規採用栄養教員研 修会	栄養教諭としての心構え や基本的な知識・技能	小・中・特新規採用栄養教 諭のうち対象者	1
	新規採用学校事務職 員研修会	学校事務職員としての心 構えや基本的な職務内容	小・中・特新規採用学校事 務職員全員	1
	幼稚園教職経験者研 修会（Ⅰ）	幼児の成長と発達につい ての理解	幼稚園経験5年目教諭全 員	1
	教職経験者研修会 （Ⅰ）	実践的指導力の養成	小・中・特経験5年目教諭 全員	1
	高等学校教職経験者 研修会（Ⅰ）	生徒指導・教科指導につい ての知識や考え方	高経験5年目教諭全員	1
	養護教員経験者研修 会（Ⅰ）	学校保健に関する専門的 な知識・技能	小・中・特経験5年目養護 教諭全員	1
	高等学校養護教員経 験者研修会（Ⅰ）	保健指導・生徒指導につい ての知識や考え方	高経験5年目養護教諭全 員	1
	学校事務職員経験者 研修会（Ⅰ）	職務遂行に必要な実務能 力の向上	小・中・特経験5年目学校 事務職員全員	1
	幼稚園教職経験者研 修会（Ⅱ）	幼稚園教員としての幅広 い見識・資質の向上	幼経験10年目教諭全員	1

	研 修 会 名	内 容	対 象	講座 数
基 本 研 修	養護教員経験者研修 会（Ⅱ）	養護教員としての幅広い 見識・資質の向上	小・中・特経験10年目養護 教諭全員	1
	高等学校養護教員経験 者研修会（Ⅱ）	養護教員としての幅広い 見識・資質の向上	高経験10年目養護教諭全 員	1
	栄養教員・学校栄養 職員経験者研修会 （Ⅱ）	栄養教員・学校栄養職員と しての幅広い見識・資質の 向上	小・中・特経験10・11年目 栄養教諭・学校栄養職員全 員	1
	学校事務職員経験者 研修会（Ⅱ）	学校事務職員としての幅 広い見識・資質の向上	小・中・特経験10年目学校 事務職員全員	1
	事務長研修会（新任 事務長研修・事務長 研修）	事務長の役割、学校運営へ の参画・遂行能力の養成	小・中・特の新任事務長全 員 小・中・特の事務長全員	1 1
	新任主査研修会	主査の役割と学校運営へ の参画・遂行能力の養成	小・中・特新任主査全員	1
	学校運営研修会（Ⅰ）	教務主任の役割と学校運 営	新任教務主任 経験2年目教務主任 教務主任全員	1 1 1
	学校運営研修会（Ⅱ）	校務主任の役割と学校運 営	新任校務主任 校務主任全員	1 1
	生徒指導研修会	生徒指導に関する今日的 な課題とその対応	小・中・特・高の生徒指導 主任、生徒指導主事及び生 活指導関係教諭	1
	情報教育担当者研修 会	これからの情報教育のあ り方についての理解	幼・小・中・特・高の情報 教育担当者等、情報教育を 推進する者1人以上	1
	教育相談研修会	教育相談担当者の役割と 子どもの抱える今日的な 課題克服に向けた具体的 な指導・支援	小・中・特・高の教育相談 担当者等、教育相談を推進 する教員各校1人以上	1
	特別支援学校・特別 支援学級・通級指導 教室新規担当教員研 修会	特別支援学校、特別支援学 級、通級指導教室の担当教 員として必要となる学 級・教室経営や指導・支援	小・中の通常の学級から、 新たに特別支援学校・特別 支援学級・通級指導教室に 異動した教諭・常勤講師全 員 特別支援学校・特別支援学 級から、新たに通級指導教 室に異動した教諭・常勤講	1

	研 修 会 名	内 容	対 象	講座 数
基 本 研 修			師の希望者 担当する障害種が変わった特別支援学級・通級指導教室の教諭・常勤講師の希望者 初任研（特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室）により、本研修未受講者の希望者	
	特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室教員研修会	障害のある子どもの理解や指導に関する、障害特性に応じた総合的な知識や今日的課題	特の教諭・養護教諭・栄養教諭・常勤講師全員、及び、小・中の特別支援学級・通級指導教室の教諭・常勤講師全員	1
	幼稚園教育研修会	幼稚園教員としての実践力や見識	幼教諭全員	1
	栄養教員・学校栄養職員研修会	食に関する指導と学校給食管理の在り方	小・中・特の栄養教諭・学校栄養職員全員	1
	学校事務職員研修会	学校事務職員にかかわる今日的課題	小・中・特の学校事務職員全員	1
	指導改善特別研修	学習指導、児童・生徒理解、意欲、使命感、今日的教育課題等	該当教員	1
	講師研修会	教員としての心構え、基本的な指導方法、児童生徒理解	任用1年目の常勤講師・非常勤講師全員と経験1年目未満で本研修の未受講者の希望者	1
	幼稚園教育課程研修会	幼稚園教育課程の講習	幼稚園各園1人 希望する公民保育所及び認定こども園（25園）	1
	小学校教育課程研修会	小学校教育課程の講習	小学校各教科等教諭代表	1
	中学校教育課程研修会	中学校教育課程の講習	中学校各教科等教諭代表	1
	特別支援教育 教育課程研修会	特別支援教育 教育課程の講習	特別支援学級担任及び通級指導教室担当各区代表	1

	研 修 会 名	内 容	対 象	講座 数
基 本 研 修	高等学校教育課程説明会	高等学校教育課程の講習	高等学校各校、各教科等教諭 1 人以上	1
	人権教育担当教員研修会	人権教育についての理解	人権教育担当教諭 各校（園） 1 人	1
経 営 研 修	校（園）長研修会	学校経営と校長の職務	新任校（園）長 経験 2 年目校（園）長 校（園）長全員	1 1 1
	教頭研修会	学校経営と教頭の職務	新任教頭 経験 2 年目教頭 教頭全員	1 1 1
専 門 研 修	アイデアいっぱい！ 楽しい授業づくり講座	各教科等の基礎的な指導法及び意欲を高める教材、学習方法	小・中・特の教員の希望者	1 1 1
	高等学校各科研修講座	教科等の専門的な知識・技能を高める	高各科担当教員	21
	小学校国語の授業力アップ講座	子ども主体の国語の授業の在り方	小の教員の希望者	1
	16ミリ映写機等操作技術講座	16ミリ映写機操作技術の習得	幼・小・中・特・高の希望者	1
	コンピュータ講座	学校におけるコンピュータ活用	幼・小・中・特・高の希望者	15
	情報教育研修講座	高校普通教科「情報」等の指導者養成	高の普通教科「情報」等担当者の希望者	1
	学校運営推進講座（Ⅰ）	学校運営の推進を担う教員の資質向上及び意識改革	幼・小・中・特の経験 8 年目以上の教諭・養護教諭・栄養教諭の希望者	1
	学校運営推進講座（Ⅱ）	学校運営の中核を担う教員の資質向上及び意識改革	幼・小・中・特の経験 13 年目以上の教諭・養護教諭の希望者	1
	子ども理解を深めるための教育相談講座	子どもが抱えている課題を解決するため専門家を交えて指導・支援の在り方の検討	幼・小・中・特・高の経験 20 年目以上の教諭・養護教諭の希望者	1

	研 修 会 名	内 容	対 象	講座 数
専 門 研 修	教育相談基礎講座： 教育臨床相談研修会	教育相談に関する基礎的 な知識・技能の習得	幼・小・中・特・高の経験 6年目以上の教諭・養護教 諭・栄養教諭・常勤講師の 希望者	1
	教育相談発展講座： 教育相談実践研修会	教育相談を校内の中心と なって推進するための専 門的な知識・技能の習得	教育相談基礎講座又は教 育相談集中研修会を修了 した教諭・養護教諭・栄養 教諭の希望者	1
	発達障害のある子ど もの理解と支援講座	発達障害のある子どもの 特性の理解とつまずきに 応じた具体的な支援方法	幼・小・中・特・高の教諭・ 養護教諭・栄養教諭・学校 栄養職員・学校事務職員・ 常勤講師・非常勤講師の希 望者	1
	特別支援学校・特別 支援学級指導法講座	特別支援学校、特別支援学 級に在籍する障害のある 子どもの指導法	幼・小・中・特の教諭・養 護教諭・栄養教諭・常勤講 師の希望者	1
	障害理解と障害種に 応じた支援専門講座	種々の障害に関する理解 と、障害のある子どもへの 支援の実際	幼・小・中・特の経験年数 3年目以上の教諭・養護教 諭・栄養教諭・常勤講師の 希望者	1
	発達障害支援専門講 座	発達障害支援の専門的技 能と、校(園)内の特別支援 教育を推進する上で必要 な専門的知識・技能	幼・小・中・特・高の経験 年数3年目以上で、「発達 障害のある子どもの理解 と支援講座」を受講したこ とがある教諭・養護教諭・ 栄養教諭の希望者	1
	日本語指導を必要と する児童生徒指導法 講座	日本語指導を必要とする 児童生徒教育に必要な知 識・技能	「日本語教育適応学級担 当教員」配置校の教諭・常 勤講師1人及び希望者	1
	幼年教育研修講座	幼年教育に関する具体的 な問題の究明と教員とし ての資質の向上	幼経験3年目以上の教諭 の希望者	1
	学校事務職員研修講 座	職務遂行に必要な実務・法 規・財務	小・中・特の経験3年目以 上の学校事務職員の希望 者	1
	学校保健研修講座	児童生徒の心身の健康問 題に対応していくために 必要な知識・技能	小・中・特・高の養護教諭・ 保健主事・常勤講師の養護 教諭の希望者	2

	研 修 会 名	内 容	対 象	講座 数
専 門 研 修	管理監督者のためのメンタルヘルス研修	管理職としての職場のメンタルヘルス	校（園）長の希望者 教頭の希望者	1
	名古屋市美術館における鑑賞教育講座	美術作品の鑑賞教育の進め方	小・中・高・特の教諭の希望者	1 1
	フレンドリーナウにおける子どもの理解と支援講座	施設見学と事例検討による児童生徒理解	小・中・高・特の教諭・養護教諭・栄養教諭の希望者	1
長 期 研 修	特別支援教育専門研修	特別支援教育に関する具体的な研修課題の追究と専門性の向上	小・中・特の経験年数4年目以上で45歳以下の教諭の希望者	1
	教育研究員	教育実践における具体的な問題の究明と教員の資質向上	幼・小・中・高・特の経験8年目以上の教諭・養護教諭・栄養教諭の希望者	1
	生涯学習研修	生涯学習についての研究	幼・小・中・高・特の経験11年目以上の教諭の希望者	1
	長期社会体験研修	教育に対する使命感や情熱の再認識と力量向上	幼・小・中・高・特の経験6年目以上の教諭・養護教諭・栄養教諭の希望者	1
	若手教員海外派遣研修	今日のかつ喫緊の教育課題の解決の参考となる海外先進事例の調査とそれに基づいた実践	幼・小・中・高・特の経験年数3年目以上で35歳以下の教諭・養護教諭・栄養教諭の希望者	1

（２）英語教員海外研修

本市教員の海外研修を通して、本市英語教育の充実と発展に努める。

3 教員免許状更新講習

本市教員が教員免許状更新講習を所定の期間内に受講する機会を確保するため、教育委員会が開設者となり、夏季休業中に名古屋市立大学で1コース、9月から10月の土曜日に教育センターで1コースの講習を実施している。

4 教師力フォローアップ

教師として「授業づくり」「学級経営」等の新たな課題をもった教職2年目、3年目の教員に対して、学校を訪問し、課題の解決を支援している。

5 研究調査等

(1) 研究調査

「センター研究」

今日的な教育課題について、実態を把握し、効果的な指導・対応の在り方などを追究し、名古屋市の学校（園）教育の発展に資する研究・調査を行う。

(2) 主な刊行物

ア 「教育センターNAGOYA」

「教育センターNAGOYA」を、第69号から第71号まで編集、刊行した。

イ 「教師となって」

新任教師として必要な専門職としての教師の資質や実践的指導について編集し、初任者研修会資料として刊行した。

(3) 名古屋教育史

名古屋教育史資料編を発刊した。

6 教育研究資料の利用

(1) 教育センター図書室

昭和22年に「教育課程文庫」として開設されて以来、毎年内外の教育図書の収集整理を行い、その拡充を図っている。研究や研修のための貸出し、調査・相談サービスをする。

区 分	図 書	研 究 資 料	教 科 書	計
	冊	冊	冊	冊
27年度増減数	83	253	132	468
28. 3. 31現在	28, 322	26, 171	13, 810	68, 303

上記の表の区分以外の資料

上記の表の資料の利用実績

ア 雑 誌 初等教育資料始め58種

ア 27年度貸出総数 935冊

イ 新 聞 日本教育新聞始め6種

イ 27年度調査・相談サービス 300件

(2) 教育研究資料の活用

図書資料を始め、各学校や教育研究所などで研究された教育資料を収集・整理している。教育情報検索システムや教育関係文献目録で、閲覧、貸出しの便宜を図っている。

調査普及教科書資料室には、小・中学校の教科書を整備して研究できるようにしている。

7 情報教育ネットワーク

(1) 概 要

平成16年4月、教育センター内に情報教育部ができたことを受け、名古屋市情報教育ネットワークの運用・管理をしている。現在、このネットワークを通して名古屋市立の全幼稚園、

小、中、特別支援、高等学校が一つに結ばれている。各学校が安心してインターネットを利用できるように、教育センターではウィルスチェックや有害情報除去のためのフィルタリングを行っている。さらに、外部からの不正侵入を防ぐためのファイヤーウォールも設置し、二重の防御態勢で安心して学習に取り組める環境を得ている。学校からの質問や相談、機器のトラブルに対しては、専用のヘルプデスクを設置し対応している。

(2) 教育センター 学校・園向けホームページ「くすのきネットなごや」

児童生徒、教員が教育現場でインターネットをより便利に、かつ簡単に使えるように、学校・園向けホームページ「くすのきネットなごや」を提供している。

各教科や総合的な学習の時間での調べ学習をはじめ、教員の教材研究や授業支援等でも幅広く活用できる。

- ・ 名古屋市の教育課程に合わせ、校種、学年、教科、単元別に沿った構成を整えるところに、地域、学区の教材を充実し、名古屋市独自の情報教育支援サイトになっている。
- ・ インターネット等を原因とするトラブルを防止するために、名古屋市独自の情報モラル学習用コンテンツを開発し、児童生徒・教職員だけでなく、保護者に対しても情報モラルコンテンツを配信している。
- ・ 児童生徒、教員により作成された授業のアイデアや指導のコツ、すぐに活用できる教材や資料の登録が容易にでき、共有化を目指している。
- ・ 授業や現職教育で活用できる動画等を配信し、教員の研修を支援している。

(3) 校内LAN・電子黒板・学習用コンピュータ等の整備

普通教室でICTを活用して「分かる授業」をすることができるように、すべての小・中学校、特別支援学校、高等学校で校内LANを整備し、学習用ノートパソコンやプロジェクタ、電子黒板を導入した。平成26年度からは電子黒板機能付タブレットの整備を始めている。

8 教 育 相 談

(1) 教育相談 子ども教育相談「ハートフレンドなごや」

幼児から高校生年齢までの子ども本人、その保護者、学校関係者等から、子どもの教育・養育上の問題に関するあらゆる内容について相談に応じている。

ア 電話相談・来所相談・メール相談

- ・ いじめ・不登校など学校生活に関わること
- ・ 発達の様子に関わること
- ・ 就学や進路について気掛かりなこと
- ・ 帰国・出国に際しての学校教育のこと 等

イ 訪問相談

- ・ 引きこもり傾向にある不登校の小中学生を対象に、家庭を訪問することを基本にして、相談に応じている。

(2) 教職員相談

ア 一般相談

- ・ 子どもの指導や保護者との関わり方、教職員間の悩みなど（指導主事・臨床心理士）

イ 専門相談

- ・ 心の健康問題（精神科医）
- ・ 法律問題（弁護士）

9 学力向上サポート事業

(1) 概 要

本市学力向上のための重点を設定し、それに基づいた各学校の創意工夫を活かした教科指導の研究や教育活動の展開を支援するとともに、その成果の市内各学校への普及を図ることをねらいとする。

(2) 対象事業

区 分	小 学 校	中 学 校	特別支援学校	高等学校
ア 重点型A 国語科における授業改善	正木、鶴舞、 大宝、熊の前			緑、名東 工業（定）
イ 重点型B 各教科等における 学校図書館司書を 活用した授業改善	白水、戸笠	一柳、上社		
ウ 一般型 各教科等における 言語活動の充実を はじめとする授業 の工夫	内山、如意、 中小田井、 ほのか、御器所、 川原、白鳥、 西中島、宝南、 鳥羽見、浦里、 黒石、南陵、常安	千種、昭和橋、 守山、植田	南	
合 計	20校	6 校	1 校	3 校

10 指導体験記録の募集

幼稚園・小・中・高・特別支援学校教職員の日常指導の中で生じた問題点を、実践的に解明した記録を募集した。平成27年度（第63回）は、496編の応募があった。そのうち特選1編、入選31編、佳作134編を表彰した。

第5章 就 学

1 就 学 援 助

(1) 概 要

就学援助は、経済的理由のため就学困難な児童・生徒の保護者に対して、市が学用品費、給食費等の援助をすることにより、児童・生徒が小・中学校における義務教育を円滑に受けられるようにする制度である。

就学援助の対象となる者は、次に掲げる児童・生徒の保護者である。

ア 要保護児童生徒

生活保護法（昭和25年法律第144号）第6条に規定する要保護者のうち、教育扶助を受けている家庭の児童・生徒

イ 準要保護児童生徒

教育委員会が、生活保護法第6条に規定する要保護者に準ずる程度に困窮していると認定した児童・生徒

ウ 特別支援教育就学奨励費受給児童生徒

特別支援学級等に就学している児童・生徒の保護者のうち、その世帯の収入額が需要額の2.5倍未満の者（一部の支給費目を除く）ただし、上記ア及びイを除く。

(2) 平成27年度事業実績

費 目	支 給 人 数	支 給 単 位	支 給 金 額	
			小 学 校	計
			中 学 校	
入 学 準 備 金 (準)	人 小 1,656	円 20,470	円 33,898,320	円 89,711,820
	中 2,370	23,550	55,813,500	
学用品費・通学用品費 校 外 活 動 費 (準)	小1年 1,887	12,970	180,042,960	376,529,570
	その他 10,847	15,200		
	中1年 2,499	24,560	196,486,610	
	その他 5,283	26,790		
修 学 旅 行 費 (要・準)	小 2,569	(平均) 24,199	62,166,232	201,818,914
	中 2,803	(平均) 49,823	139,652,682	
通 学 交 通 費 (準)	小 0	(所要額全額)	0	194,970
	中 5		194,970	
学 校 給 食 費 (準)	小(完全) 12,734	41,800	490,294,576	737,324,883
	中(完全) 66	47,300	2,823,401	
	中 スクールランチ 7,716	1食280+ ミルク代	244,206,906	
学 校 病 医 療 費 (要・準)	小 30	(平均) 19,962	598,860	822,420
	中 6	(平均) 37,260	223,560	

費 目	支 給 人 数	支 給 単 位	支 給 金 額	
			小 学 校	計
			中 学 校	
野 外 活 動 費 (準)	人	円	円	円
	小 2,108	6,510	13,724,330	28,430,771
	中 2,376	6,195	14,706,441	
食 物 ア レ ル ギ ー 管 理 指 導 費 (準) (給食実施校のみ)	小 45	(平均) 1,949	87,680	89,180
	中 1	1,500	1,500	
特 別 支 援 教 育 就 学 奨 励 費	小 671	「通学交通費 全額」	17,682,311	31,050,428
	中 348	「その他 限度額」	13,368,117	
合 計		小 学 校	798,495,269	1,465,972,956
		中 学 校	667,477,687	

2 就 学 奨 励

(1) 高等学校（入学準備金）

ア 概 要

勉学の意欲がありながら、経済的理由により修学が困難な者に対し、名古屋市入学準備金条例（平成16年名古屋市条例第11号）に基づいて、高等学校等に入学するために必要な学資を貸与した。（平成16年度から実施）

イ 平成27年度事業実績

貸 与 額	貸 与 人 員	貸 与 金 額
300,000円	312人	93,600,000円

(2) 高等学校（市立高等学校入学料免除）

ア 概 要

高等学校教育の振興に資するため、名古屋市立高等学校授業料等減免規則（平成14年教育委員会規則第6号）に基づいて、入学料を免除した。

イ 平成27年度事業実績

区 分	人 員	金 額
入 学 料	266人	1,339,600円

(3) 幼稚園（市立幼稚園授業料減免）

ア 概 要

幼稚園教育の振興に資するため、市立幼稚園に就園している園児の保護者に対し、名古屋市立幼稚園授業料減免等規則（昭和47年名古屋市教育委員会規則第22号）に基づいて、授業料を減免することができる（平成27年度は実績なし。）。

3 私学助成

(1) 概 要

私立学校における保護者負担を軽減し、私立学校教育の振興に寄与するため、私立高等学校及び私立幼稚園に在籍している方を対象に、名古屋市私立高等学校及び私立幼稚園授業料補助に関する条例（昭和48年名古屋市条例第27号）等に基づいて、授業料等の補助を行った。
（平成12年4月に総務局から事務移管された。）

ア 私立高等学校授業料補助 平成27年度事業実績

補 助 区 分		補助額（年）	人 員	金 額
		円	人	円
愛知県の実施する授業料減免の対象とならない者で、市民税の所得割額が298,500円に①、②の合計を加えた額未満の世帯 ①16歳未満の扶養親族の数×19,800円 ②16歳以上19歳未満の扶養親族の数×7,200円 （平成26年度以降に入学した生徒については、愛知県の授業料軽減事業の対象範囲外の者で、同325,500円未満の世帯）		26,000	1,397	36,322,000
同298,500円に①、②の合計を加えた額以上388,500円に①、②の合計を加えた額未満の世帯 ①16歳未満の扶養親族の数×19,800円 ②16歳以上19歳未満の扶養親族の数×7,200円 （平成26年度以降に入学した生徒については、同415,500円未満の世帯）		15,000	1,240	18,600,000
合 計			2,637	54,922,000

イ 私立幼稚園授業料補助 平成27年度事業実績

補 助 区 分		補助額（年）	人 員	金 額
		円	人	円
ア	生活保護世帯	308,000	14	3,332,000
		308,000	11	2,847,400
		308,000	3	891,000
イ	市民税非課税世帯・市民税所得割非課税世帯	272,000	934	222,897,300
		290,000	508	124,810,300
		308,000	55	12,972,300
ウ	市民税所得割額が77,100円以下の世帯	115,200	1,481	167,300,500
		211,000	663	134,882,500
		308,000	56	13,797,100

補 助 区 分		補助額(年)	人 員	金 額
エ	市民税所得割額が211,200円以下の世帯	円	人	円
		62,200	8,985	544,825,500
		185,000	5,130	923,731,600
オ	市民税所得割額が270,900円以下の世帯	308,000	432	106,924,100
		43,600	2,293	96,874,300
		154,000	1,524	228,270,600
カ	市民税所得割額が270,900円を超える世帯	308,000	117	29,364,200
		32,000	4,224	129,412,900
		154,000	2,524	374,996,400
カ	上記の区分以外の世帯	308,000	236	60,483,400
		37,000	129	4,190,500
		47,000	2	58,800
合 計			29,321	3,182,862,700

(注1) 補助区分における補助年額の内訳は、上段から1人目の方、同時在園及び小学校1～3年に兄弟がいる場合の2人目の方、同時在園及び小学校1～3年生に兄弟がいる場合の3人目以降の方。

(注2) 補助区分カにおける「上記の区分以外の世帯」とは、所得等に応じた補助額の算定を希望しない場合であり、この場合の1人目は、「市民税所得割額が270,900円を超える世帯」の1人目に含んで記載している。

4 越 境 通 学 防 止

(1) 概 要

市立小・中学校への通学は、特別な事情がある場合を除いて住所地の学区の学校へ通学するようになっている。越境通学とは、不正な住民登録を行うなど不当な手続きによって住所を偽り、通学区の学校に就学せず他学区の学校へ通学することをいう。

こうした越境通学は、行政的には違法な行為であり、人間尊重という教育本来の目的をゆがめ、教育の機会均等をそこなうものである。また、児童・生徒の人間形成を進めるうえからも大きなへい害となり、さらに、義務教育に関する施策に支障を及ぼすことになる。

このような越境通学の防止については、これまで関係者の協力を得て努力してきたが、依然として解消していない。

そのため、防止対策をさらに推進するために、教育委員会・校長会・区長代表・関係局長などで構成する「名古屋市学区外通学防止対策連絡会議」を設置し（昭和53年2月）、「越境入学防止対策基本方針」を決定して、種々対策を講じその解消に一層の努力をしてきた。

(2) 越境入学防止対策基本方針

越境入学は、法令に反する行為であるばかりか、児童・生徒の人間形成を進めるうえで教育本来の目的をゆがめるものである。なかでも旧「地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」第2条第1項に規定する対象地域を学区域に有する学校（以下「関係校」という）から他校への越境入学は、教育の機会均等・人間尊重のうえから重大な問題を生ずるものである。そのため連絡会議は、越境入学防止について、次の基本方針を決定す

るものとする。

- 1 越境入学は、発生を防ぐことが重要であり、教育委員会及び各小学校は、小・中学校への入学予定者の保護者に対して適正学区の学校へ入学するよう指導する。また、一般市民に対しても理解を求める。
- 2 教育委員会及び各小・中学校は、実態調査に基づき、現に越境通学していると認められる児童・生徒の保護者に適正学区へ復帰するよう勧告するとともに、あわせて、今後の防止対策の参考資料とするため、各種調査を行う。
- 3 各小・中学校において、小・中学校1年生及び各学年転入学者のうち、入学後に越境通学者と認められたものについては、保護者に対して居住地の学校へ通学するよう説得に努める。
- 4 各区役所窓口においては、学齢児童・生徒を含む世帯分離について慎重に取り扱い、特に関係校を含む学区からの転出については、十分な確認を行うなど、適切な措置をとるものとする。
- 5 越境入学の多い小・中学校及び区は、緊密な連携をはかり、越境入学防止の徹底をはかる。
- 6 市外からの越境入学を防止するため、教育委員会は、近隣市町村及びその教育委員会と緊密な連絡をとり、協力を依頼する。

(3) 平成27年度における主な対策

ア 越境通学者の保護者に対して、適正学区の学校に復帰するよう文書で勧告した。

(平成27年7月・12月、28年3月)

イ 区役所における指導

区役所の窓口において、越境通学のためと思われる住民登録の届出について、注意喚起文書を手渡すとともに誓約書や家主の証明書をとりなど指導を強めた。

越境通学者の保護者に対して、区役所から住所の確認の文書を出し、指導をした。

ウ 教職員への趣旨の徹底

小・中学校の職員室等に啓発ポスターを掲示するとともに、教職員全員にパンフレット(「越境入学を防止するために」)を配布して趣旨の徹底を図った。

全教頭を対象とする研修の場において、越境通学が及ぼすへい害を説明し、防止をしていただくよう指導した。

エ 隣接市町村教育委員会との協議

名古屋市外からの越境入学を防止するため隣接市町村教育委員会と協議し、協力を要請した。

オ 各PTAへの協力依頼

名古屋市立小中学校の各PTA会長あてに越境入学防止に関するチラシを配布し、協力を依頼した。

市PTA会報紙上に、越境入学防止の啓発文を掲載し、協力を依頼した。

カ 市民・保護者へのPR

市民・保護者へは、「広報なごや」等で啓発に努めた。

平成28年度小学校1年生と平成27年度小学校6年生の保護者全員に対し、越境入学防止に関するチラシを配布し、啓発に努めた。

各区役所・支所に越境入学防止についての立看板・ポスターを掲示し、リーフレットを配布するなどして来庁する市民の啓発に努めた。

キ 幼児教育機関への協力依頼

幼稚園・保育所で越境入学防止に関するポスターを掲示した。

ク 区役所職員への趣旨の徹底

市民課長会において、越境通学防止対策について説明したほか、職員研修の場において、越境通学が及ぼすへい害を説明し、防止をするよう指導した。

第5部 学校保健、給食、体育

第1章 学 校 保 健

1 児童・生徒・幼児の保健管理

定期健康診断、臨時健康診断及び健康相談を、学校医（眼科・耳鼻咽喉科を含む）・学校歯科医が中心となって実施した。

また、ぎょう虫卵の有無の検査を民間検査機関に委託して実施した。

定期健康診断実施結果は次表のとおりである。

平成27年度学校種別疾病異常の被患率 (%)

性別	疾病異常 校種別	低視力	結膜炎	中耳炎	慢性副鼻腔炎	へんとう肥大	伝染性皮膚疾患	心臓疾患	ぜん息	腎臓疾患	う 歯		結核性疾患
											処完了置者	未処置の者	
男子	幼稚園	…	—	—	—	4.64	0.10	0.49	0.10	—	7.10	14.69	…
	小学校	27.33	3.03	0.33	0.27	3.54	0.08	1.44	6.25	0.30	23.67	17.67	—
	中学校	46.62	1.53	0.22	0.65	0.70	—	1.51	5.80	0.36	16.80	10.73	—
	高等学校	44.44	0.30	0.10	0.24	1.11	—	1.29	4.59	0.37	25.78	12.83	—
女子	幼稚園	…	—	—	—	2.85	—	0.76	—	—	6.55	13.68	…
	小学校	33.06	2.51	0.29	0.19	3.16	0.06	1.28	4.12	0.29	21.57	15.97	—
	中学校	54.08	1.04	0.15	0.45	0.53	0.00	1.53	3.49	0.25	19.26	10.35	—
	高等学校	47.83	0.32	0.07	0.07	1.06	—	1.06	2.78	0.34	29.08	17.55	—

(注) 表中「…」は調査を実施していないことを、「—」は該当者のないことを表す。

(1) 児童・生徒の疾患対策

ア 心臓検診

小・中・高・特別支援学校1年生の児童・生徒全員を対象に心電図検査を実施した。なお、昭和57年度から心電図判読の省力化、迅速化、診断の均一化を目的としてコンピューターによる自動解析を導入し、昭和60年度から市外から転入した児童・生徒も対象とした。精密検診は専門の医療機関に依頼し、心疾患者に対しては適切な事後指導を行うとともに、学校における指導管理のために個人ごとの管理指導表を作成し、学校医の指導のもとに活用した。昭和59年度から川崎病既往症の小学校1年生に対し運動負荷心電図・心エコー等精密検査を実施した。昭和61年度から必要と認められる者を対象に心エコー図及びホルター心電図を導入した。なお、検診データのコンピューター処理を昭和63年度から小学校1年生、平成元年度から中学校1年生に導入した。平成27年度の結果は次表のとおりである。

区 分	受 診 人 員	要 精 検 査	心 疾 患 者
	人	人 %	人 %
小 学 校	18,844	437 (2.32)	292 (1.55)
中 学 校	16,730	467 (2.79)	407 (2.43)
高 等 学 校	4,254	198 (4.65)	64 (1.50)

イ 屈折検診

名古屋市学校医会に委託して、小学校1～6年生の全児童のうち、矯正視力で両眼とも(D)ランク(0.3未満)であった者を対象に特別精密検診を実施し、73人が受診した。

ウ 腎臓検診

小・中・高・特別支援学校の児童・生徒全員を対象にアンケート調査及び第1次検査を実施し、異常の認められた者についてはさらに第2・3次検査を行った。平成27年度の結果は次表のとおりである。

このうち要再検者に対しては、医師への受診をすすめるとともに、主治医の診断結果の報告を求め、学校医の指導のもとに健康管理を行った。

区 分	受 診 人 員	要 観 察	要 再 検
	人	人 %	人 %
小 学 校	110,549	19 (0.02)	143 (0.13)
中 学 校	50,527	22 (0.04)	85 (0.17)
高 等 学 校	12,790	1 (0.01)	23 (0.18)
特 別 支 援 学 校	1,050	0 (0.00)	1 (0.10)
計	174,916	42 (0.02)	252 (0.14)

エ 糖尿病検診

小・中・高・特別支援学校の児童・生徒全員を対象にアンケート調査及び尿糖検査を実施し、異常の認められた者については医師への受診をすすめるとともに、主治医の診断結果の報告を求め、学校医の指導のもとに健康管理を行った。平成27年度の結果は次表のとおりである。

区 分	受 診 人 員	要 観 察	要 治 療
	人	人 %	人 %
小 学 校	110,549	1 (0.001)	14 (0.013)
中 学 校	50,527	3 (0.006)	14 (0.027)
高 等 学 校	12,790	1 (0.008)	5 (0.039)
特 別 支 援 学 校	1,050	0 (0.000)	0 (0.000)
計	174,916	5 (0.003)	33 (0.019)

オ ぎょう虫卵検査

小学校1～3年及び幼稚園児全員を対象にぎょう虫卵検査を行った。平成27年度の結果は次表のとおりである。

区 分	ぎ ょ う 虫 卵	
	検査人員	保 有 者
	人	人 %
幼 稚 園	2,147	0 (0.00)
小 学 校	56,219	30 (0.05)
計	58,366	30 (0.05)

カ う歯予防対策

児童・生徒の歯と口の健康づくりのため、歯と口の健康週間に協賛し、市内小・中・特別支援学校で歯科保健活動の充実を期し、優れた実践活動を展開している学校を毎年数校表彰して歯科衛生思想の向上を図った。平成27年度の表彰校は、特別優良校が小学校1校、中学校1校、優良校が小学校20校、中学校6校、特別支援学校1校、歯科衛生活動奨励校が小学校3校、中学校3校であった。

また、歯みがきが歯の健康にとってどのような意味を持つのかを児童・生徒に認識させ、自分の歯ならびに合ったみがき方を習慣づけるため、小学校3年生全員を対象に染め出し錠（液）による歯口清掃指導を行った。

なお、平成27年度のうち歯の状況は次表のとおりである。

区 分	受診人員	り患者数	う歯総数	処置歯総数	1人平均う歯数
	人	人	本	本	本
小学校	110,210	10,215	17,760	11,611	0.16
中学校	49,626	14,635	36,050	23,970	0.73

キ 歯科疾患特別健診

歯周疾患対策として全市より抽出した小学校を対象に、歯科疾患特別健診を実施した。平成27年度の結果は次表のとおりである。

区 分		受診人員	歯周疾患要観察者	歯周疾患要治療勧告者
		人	人	人
春 期	小学校4年生	2,146	707	194
秋 期	小学校4年生	2,114	549	126

ク アレルギー性疾患対策事業

アレルギー性疾患を早期に発見して、適切な健康管理を行うとともに、健康の保持増進を図ることを目的とし小学校1年生18,859人に対して、内科、眼科、耳鼻咽喉科の検診として行った。平成27年度の結果は次表のとおりである。

区 分	内 科		眼 科	耳鼻咽喉科
	アトピー	ぜん息	アレルギー性結膜炎	アレルギー性鼻炎
	人 %	人 %	人 %	人 %
要 観 察	2,018 (10.70)	477 (2.53)	614 (3.26)	364 (1.93)
要 医 療	487 (2.58)	39 (0.21)	261 (1.38)	488 (2.59)

(2) 児童・生徒の体位

平成27年度の児童・生徒の主な体位は次表のとおりである。

性別	年 齢	項目 年度	身 長 (cm)				体 重 (kg)			
			昭和 50 年	平成 7 年	平成 27 年	全国 平均	昭和 50 年	平成 7 年	平成 27 年	全国 平均
男 子	6 歳 (小学 1 年生)		115.3	116.7	116.4	116.5	20.6	21.6	21.0	21.3
	12 歳 (中学 1 年生)		148.5	152.2	152.4	152.6	40.0	44.1	42.9	43.9
	15 歳 (高校 1 年生)		166.3	168.6	168.1	168.3	55.1	59.2	57.9	59.0
女 子	6 歳 (小学 1 年生)		114.5	115.8	115.5	115.5	20.1	21.0	20.5	20.8
	12 歳 (中学 1 年生)		149.5	151.6	151.7	151.8	41.4	44.1	42.8	43.6
	15 歳 (高校 1 年生)		155.9	157.4	157.0	157.1	49.8	51.1	50.3	51.5

性別	年 齢	項目 年度	座 高 (cm)			
			昭和 50 年	平成 7 年	平成 27 年	全国 平均
男 子	6 歳 (小学 1 年生)		64.7	65.1	64.7	64.8
	12 歳 (中学 1 年生)		79.5	80.9	81.3	81.4
	15 歳 (高校 1 年生)		88.9	90.0	90.0	90.4
女 子	6 歳 (小学 1 年生)		64.3	64.7	64.3	64.4
	12 歳 (中学 1 年生)		81.1	81.6	82.3	82.1
	15 歳 (高校 1 年生)		84.5	85.1	85.2	85.5

2 就学時健康診断

学校保健安全法（昭和33年法律第56号）第11条の規定により、平成28年4月に小学校へ入学する者の心身の状況を把握して適切な就学を図るため、平成27年11月末までに各小学校において実施した。

この健康診断の結果、疾病のあるものについては入学時までに治療して入学するように指導した。また、心身に障害があり、普通学級で学習することが困難と認められる者には、その心身の状況に応じた適切な就学指導・相談を進めた。

3 教職員の保健管理

教職員の健康管理として、健康診断・健康相談・安全衛生教育等を行った。なかでも、メンタルヘルスの重要性に鑑み、総合的なメンタルヘルス対策として、教職員安全衛生委員会及び元気な学校づくりプロジェクト会議等での審議を経て、平成24年3月に、「名古屋市教職員いきいき心の健康づくり計画」を策定した。実施期間は、平成24年度から平成28年度までの5年間を目途としている。

(1) 健康診断

学校保健安全法第15条及び教職員安全衛生管理規則（昭和60年教育委員会規則第14号）第16条の規定に基づき、定期健康診断、個別健康診断及び特別健康診断を実施した。

平成27年度の実施結果は次表のとおりである。

① 定期健康診断・個別健康診断

健診区分	受診者数※
管 理	人 2,556
一般A	7,583
一般B	2,048
計	12,187

※受診者数には代行受診者を含む。

項 目	受診者数	所見なし	要観察及び要医療
	人	人 %	人 %
胸 部	12,016	11,984 (99.7)	32 (0.3)
高 血 圧	12,018	9,869 (82.1)	2,149 (17.9)
心 臓 病	9,998	8,942 (89.4)	1,056 (10.6)
脳血管疾患	23	0 (0)	23 (100.0)
腎 臓 病	12,018	9,651 (80.3)	2,367 (19.7)
糖 尿 病	12,017	11,165 (92.9)	852 (7.1)
貧 血	9,999	8,368 (83.7)	1,631 (16.3)
肝 臓 病	9,997	7,675 (76.8)	2,322 (23.2)
脂質異常症	9,996	5,414 (54.2)	4,582 (45.8)
尿 酸	9,997	8,925 (89.3)	1,072 (10.7)
そ の 他	846	49 (5.8)	797 (94.2)

② 特別健康診断

胃検診受診状況

受診者	要精検者	出現率
人 2,419	人 85	% 3.5

大腸がん検診

受診者数	要精検者	出現率
人 4,392	人 236	% 5.4

風しん抗体検査

受診者数	無抗体者	出現率
人 364	人 82	% 22.5

B型肝炎抗体検査

受診者数	無抗体者	ワクチン接種者
人 200	人 29	人 22

VDT業務検診

一次検診	要二次検診	二次検診受診者
人 1,657	人 117	人 90

二次検診（90人）の内訳

経過観察等	所見なし
人 9	人 81

海外派遣後健康診断

対象者	受診者
人 5	人 5

（2）健康相談

面接・電話相談	メール相談	保健師による職場訪問	計
件 1,616	件 7	件 22	件 1,645

(3) 安全衛生教育

ア 産業医等が40校（園）へ出向き衛生講話を行った。

イ 教職員の健康を保持・増進するため、健康教室（9回）・予防教室（4回）・安全衛生セミナー（7回）を合計20回開催した。

4 学校環境衛生管理

(1) 感染症予防及び環境衛生管理のために、学校便所の清掃を実施した。

(2) 学校プール衛生対策として、循環ろ過機の設置によるプール水の消毒、浄化、プール施設の清掃及び水質検査を実施した。

(3) し尿浄化槽の維持管理のため、し尿浄化槽のある学校には消毒薬品の配布と清掃を実施した。

(4) 飲料水の衛生維持のために、水質検査及び飲料用貯水槽の清掃・消毒を実施した。

5 学校における安全対策

(1) 来訪者への声かけや校内巡視などの日常的な取り組みを始め、各職員の役割や対処方法などを明記した防犯対策・マニュアルを各学校の実情に応じて作成し、緊急時の対応を周知徹底している。また、全校に、防犯カメラやさすまたを整備するとともに、「なごやっ子あんしんメール」を運用し、児童・生徒の登下校時の安全確保を図るための不審者情報を、保護者の登録アドレスへ直接メール配信できるようにした。

(2) 児童の登下校時等の安全確保を推進するために、小学校区毎に「子ども安全ボランティア」等が「通学路の見守り活動」等を実施した。また、警察官OBをスクールガードリーダーとして委嘱し、登下校時の巡回や学校周辺の巡回を実施するとともに、学校、PTA及び地域の方々に対し専門的立場から指導助言を行った。

(3) 登下校時等の安全確保等のために、新入学児童を対象に防犯ブザーを配布した。

6 日本スポーツ振興センター

学校安全の普及・充実を図るとともに、小・中・高・特別支援学校及び幼稚園の管理下において児童、生徒及び幼児に事故が起きた場合、その治療、見舞等に必要な給付等を行うため日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度に加入した。

平成27年度 学校種別加入及び医療費給付状況 (平成28年5月16日現在)

種 別	加入校数	加入人員	給付件数	給付金額
	校(園)	人	件	円
小 学 校	262	110,937	13,064	22,302,888
中 学 校	111	51,489	10,330	23,580,520
高 等 学 校	16	12,899	4,082	30,989,423
特別支援学校	5	1,087	140	376,653
幼 稚 園	23	2,220	247	566,252
計	417	178,632	27,863	77,815,736

7 名古屋市学校保健会

学校保健の研究及び普及発達を図ることを目的として、学校医・学校歯科医・学校薬剤師・学校(園)長・保健主事・養護教諭・PTA、その他学校保健関係者によって組織されている団体である。

平成27年度に実施した主な事業は、次のとおりである。

- (1) 第66回指定都市学校保健協議会の開催
- (2) 平成27年度全国学校保健・安全研究大会への参加
- (3) 第58回名古屋市学校保健協議会の開催
- (4) 第48回名古屋市学校保健研究大会の開催
- (5) 平成27年度「名古屋市学校保健優良校」審査
- (6) 学校保健に関する研修会・講演会の開催
- (7) 会報「なごや学校保健」及び「教育医学」の発行
- (8) 各種疾患・歯科疾患・学校環境衛生に関する調査研究

第2章 学 校 給 食

1 学 校 給 食

学校給食は、健康教育の一環として、児童・生徒に、望ましい食事のあり方を理解させるとともに、食事を通して心のふれあいを深め、好ましい人間関係の育成と心身の健全な発達に資するものである。

(1) 学校給食の実施状況

(平成28年5月1日現在)

校別 項目	種 別	実施 校数	実 施 人 員			備 考
			児童生徒数	教職員数	計	
小 学 校	完全給食	262	111,058	8,017	119,075	
中 学 校	〃	1	459	37	496	
〃	〃 (スクールランチ)	110	50,181	3,555	53,736	
特別支援学校	完全給食	5	1,139	509	1,648	訪問教育を除く
高 等 学 校 (定時制)	〃	2	133	—	133	
計		379	162,970	12,118	175,088	

中学校スクールランチについては、ランチルームを整備するとともに、複数メニューからの選択・弁当の持参も認める方法で実施している。

(2) 献立と栄養摂取状況

ア 給 食 内 容

学校給食のねらいは、児童・生徒の適切な栄養摂取・健康増進を図るとともに、食事の正しいあり方を体得させ、好ましい人間関係を育成することである。

子どもは大人とちがって、生活するのに必要なエネルギーのほかに自分自身の体の成長、発育のための栄養素を必要とするので、この成長期にある児童・生徒の食事内容は、体の構成に必要な良質のたんぱく質（特に動物性たんぱく質）、骨の発育に必要なカルシウム、体の調子をよくし、抵抗力をつける各種のビタミンなどが豊富なものでなければならない。

このような点をふまえて栄養管理にあたっては、児童・生徒1人1回当たりの学校給食摂取基準とその食品構成により、児童・生徒の必要とする栄養量を確保し、家庭において不足

しがちな栄養素を補充するよう配慮している。

従来の小学校における完全給食は、パン（めん）・牛乳・おかずであったが、昭和55年度からは、食事内容の多様化を目的として米飯を月1回採り入れた。その後も国の方針として米を主食とした日本型食生活の推進がいわれ、本市においても米飯給食を順次拡大し、平成23年度より週3回を週3.5回とし実施している。

また、昭和58年度からは、国際理解教育の一環として、児童が姉妹・友好都市提携している都市の特徴ある料理や食材を用いた食文化の一端に触れ、幅広くその国の国民性や文化などについて学ぶなど、国際的な広い視野に立った好ましい能力を身につけていくことの手がかりとなるよう、姉妹・友好都市給食を実施している。平成16年度からは、「みんなで食べる！なごや産」という地産地消の取り組みを展開しており、現在、港区・中川区産の米、中川区産のみつば、水耕ねぎ、天白区産のにんじん、キャベツ、かぼちゃ、緑区産のたまねぎ、はくさい、ブロッコリー等の市内産野菜を使用しているほか、平成23年度より、愛知県の特産物を取り入れた献立や身近な郷土料理などの特徴ある献立を新たに「ふるさと献立」として位置づけ、食文化に対する総合的な理解を深め、郷土を心の拠り所とする気持ちの醸成を図った。

さらに、平成19年度から食物アレルギーの対策として、一部献立の除去食対応を実施している。

中学校スクールランチの献立については、中学生の発達段階を考慮し、学校給食法に基づき学校給食摂取基準にあわせるとともに、生徒の嗜好や季節感にも留意し、「楽しく・おいしく・バランスよく」という内容で作成している。種類は、ランチルーム用として2種類（A・B）と教室用として2種類（C・D）の複数メニューで実施している。

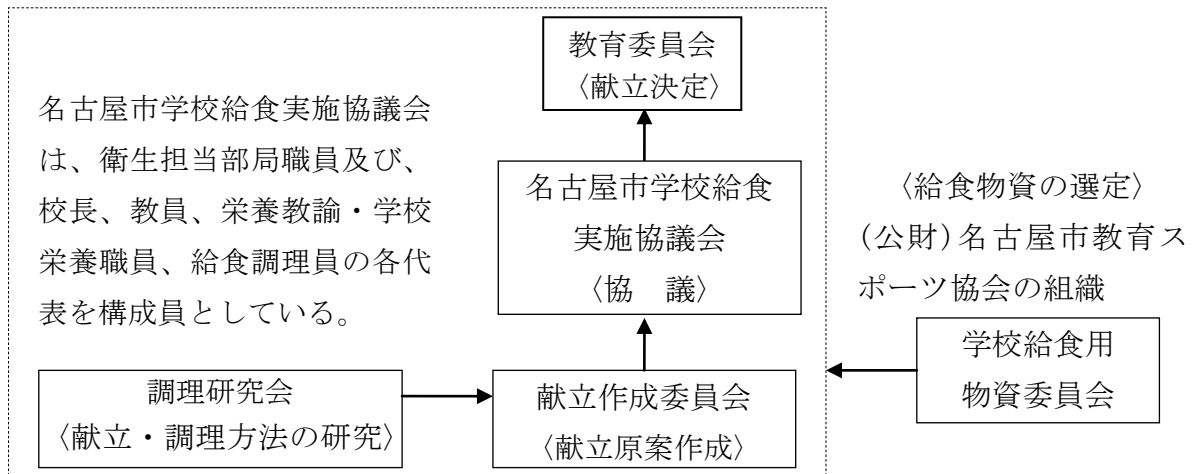
ランチルームメニューは、めん類・どんぶり物・シチューなど温かいメニューをメインとし、教室用のランチボックスでは、季節感・彩りにも配慮し、保温汁わんを使用して温かい汁物やカレー・どんぶりの具もつけている。

なお、東京電力福島第一原子力発電所事故により放出された放射性物質の食品への影響に対する不安を解消するため、平成23年9月より小学校給食及び中学校スクールランチにおいて使用する主な食材の放射性物質の検査を開始し、主な食材の産地情報と併せて名古屋市公式ウェブサイトにおいて公表を行った。

イ 献立のできるまで

「おいしい、楽しい、魅力ある学校給食」を実現するため、給食の基盤となる献立の作成には十分配慮し食事内容の改善充実に努めている。

小学校給食の献立作成過程は、次のとおりである。



献立の作成にあたっては、栄養・衛生・し好に配慮し、学校給食摂取基準に基づく栄養素を児童・生徒が摂取できるように努めている。

調理研究会で検討された献立内容を献立作成委員会に提出し、慎重に審議され、さらに学校給食実施協議会において了承したものを教育委員会が決定し実施される。

中学校スクールランチは、毎月1回の献立会議（献立調理技術会議）を通して、献立の実際のメニューを作成して検討を行ったものを、教育委員会で決定し実施している。

ウ 栄養摂取状況

平成27年度の小学校栄養摂取状況と本市の児童・生徒1人1回当たりの学校給食摂取基準は、次のとおりである。

区 分	エネルギー kcal	たんぱく質 g	脂 質 g	食 塩 相当量 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミン				食 物 纖 維 g
							レチノール 当量 μ g	B ₁ mg	B ₂ mg	C mg	
平成27年度 平均(小学校)	615	23.6	18.4	2.5	334	2.4	214	0.54	0.49	27	3.7
本 市 基 準 (小 学 校)	640	24.0	摂取エネルギーの 25~30%	2.5未 満	350	3.0	170	0.40	0.40	20	5.0
平成27年度 平均(中学校)	824	32.7	24.2	4.3	401	3.0	471	0.47	0.60	34	5.4
本 市 基 準 (中 学 校)	820	30.0	摂取エネルギーの 25~30%	3未満	450	4.0	300	0.50	0.60	35	6.5

(3) 学校給食関係職員の活動等

ア 学校給食研究会（教員・栄養教諭・学校栄養職員）

教員が食に関する指導を通して、子どもたちの望ましい食事のあり方と人間関係の効果的な育成について研究を進めている。また、栄養教諭・学校栄養職員は、健康な体と豊かな心を育てる学校給食をめざして、栄養管理上の指導及び食に関する指導の資料作成・研究等を行っている。

イ 調理員

本市小学校では、単独校調理場方式を採用しており、各学校における日々の調理の中でおいしい魅力ある給食づくりに努めている。

(4) 食に関する指導の推進と充実

「なごやっ子 食に関する指導の手引」、「学校給食指導の手びき」を活用し、食に関する指導の充実を図っている。また、小学校を中心に栄養教諭・学校栄養職員による「食に関する指導」の巡回指導を実施した。

2 運 営 組 織

(1) 名古屋市学校給食実施協議会

名古屋市学校給食実施協議会は、学校給食の円滑な運営を図るため、標準献立作成、連絡調整その他給食実施の総括をしている。

(2) 中学校スクールランチ連絡協議会

中学校スクールランチ連絡協議会は、中学校校長・教員などで構成し、中学校スクールランチの円滑な運営について協議している。

(3) 公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会（学校給食課）

市立小学校などにおける学校給食の円滑な運営、実施及びその発展に寄与することを目的として、次の事業を行っている。

ア 学校給食に用する物資の調達に関する事業

イ 学校給食の普及奨励に必要な事業

ウ その他この法人の目的達成に必要な事業

具体的な業務内容は、以下のとおりである。

(ア) 給食費の一括精算事務

(イ) 献立作成及び各種協議会等への協力

3 普 及 活 動

(1) 調理員の研修

平成27年度は、食品・調理及び衛生管理に関する知識の向上のため、講演会や調理技術実習を行った。また、新規採用者等を対象に、学校給食に従事するための職員としての心構えと調理実習、調理員経験10年以上の職員を対象に職場内における後輩職員等への円滑な指導が行えるよう研修を実施し、調理員の資質及び士気向上を図った。

(2) 学校巡回と夏季衛生講習会

中学校スクールランチ指導員・管理栄養士が巡回し、実施校での実施状況や衛生管理状況などを把握し、各学校の配膳室で調理業者への指導を行っている。また、夏季衛生講習会を開催し、調理業者の従事者に衛生管理指導を実施した。

(3) 試食会

新入生の保護者などを対象として各小学校及び各特別支援学校が開催する試食会（延べ小学校220回、特別支援学校6回）を実施し、学校給食のPRに努めた。

中学校スクールランチでは、各中学校の保護者や次年度入学予定児童、地域の方などを対象に、学校主催の試食会（延べ311回）を実施し、スクールランチへの理解を深めた。

第3章 学 校 体 育

1 学校体育の概要

(1) 基本方針

学校における体育・スポーツ活動は、児童・生徒が生涯を通じて運動を実践するとともに、健康で安全な生活を営むための能力や態度の基礎を育てるため、その調和的な発達を促す価値ある教育活動として学校教育の一翼を担っている。

本市において、学習指導要領に基づく教科体育はもとより運動部活動の振興、学校体育施設の拡充等、児童・生徒が十分な活動ができるよう諸条件を整備し、学校体育の充実と発展を図っていく。

(2) 学校体育の重点施策と事業の概要

ア 学校体育の研究推進

- ・ 教科体育外部指導者派遣事業（中学校教科体育の柔道、剣道の指導者）

イ 学校体育指導者の資質の向上

- ・ 体育実技講習会
- ・ 水泳指導法講習会
- ・ 中・高等学校柔道、剣道指導者講習会
- ・ 野外活動指導者養成講習会（小・中学校）
- ・ 新規採用教員水泳講習会
- ・ スクールダンスサイズ講習会（小・特別支援学校）

ウ 児童・生徒の体力運動能力の育成

- ・ 「元気いっぱいなごやっ子の育成」事業
- ・ 体力・運動能力調査の実施と集計

エ 部活動の振興

- ・ 部活動顧問及び外部指導者の派遣
- ・ 部活動指導者の養成
- ・ 生徒の全国大会等参加費に対する助成
- ・ 各種体育大会の充実
- ・ 名古屋市小中学校体育連盟への助成

オ 学校体育施設の充実

- ・ 学校体育センターの運営

2 各種講習会

体育・スポーツの指導者の資質の向上を図るため各種の講習会を開催し、併せて学校体育の振興に努めた。

平成27年度に実施した主な講習会は、次のとおりである。

講習会名	期 日	参加者数
水泳指導法講習会	5月8日・12日	各校1人352人
部活動外部指導者研修会	6月14日・10月3日	部活動外部指導者115人
体育実技講習会	6月10・12・16日	小学校257人、中学校81人
新規採用教員水泳講習会	7月30日 8月4・5日	小・中・特別支援学校322人
中・高等学校 柔・剣道指導者講習会	8月25・26日 9月2日	柔道36人、剣道23人
野外活動指導者養成講習会 (小・中学校)	8月4・5・6日(中津川) 8月5・6・7日(稲武)	小学校55人(中津川) 中学校27人(稲武)
スクールダンスサイズ講習会 (学校への講師派遣)	9月7日～1月29日	小学校20校 児童4,513人、教員28人
部活動指導者養成講習会	5月～1月	小・中学校11種目572人 高校1種目65人
各種スポーツ講習会	4月～10月	13種目

3 元気いっぱいなごやっ子の育成

子どもの体力・運動能力の向上を図るとともに、望ましい食生活等の指導を行うことにより、元気いっぱいなごやっ子の育成を目指した。

(1) 今の体力を知り、体力向上を目指そう

児童・生徒が自分自身の現在の体力・運動能力を知り、主体的に体力づくりに取り組んでいくことができる体力アップソフトの活用を行った。

(2) 体力アップに挑戦しよう

体力づくりに取り組む学校を募集し、実践研究を委嘱した。平成27年度は新たに小学校3校、中学校3校を委嘱し、平成27年度までに小学校104校、中学校23校の127校となった。

また、運動習慣形成のために、1年間一つの運動に継続して取り組む学校を募集し、16の小学校に実践研究を委嘱した。

(3) 食を学んで健康アップしよう

「食生活学習教材」を活用して、望ましい食生活などを身につけさせる食に関する指導を

実施した。

4 体力・運動能力調査

児童・生徒の体力・運動能力の現状を明らかにし、健やかな成長発達の指導に役立てることを目的に昭和41年度から継続して体力運動能力の調査を実施し、平成11年度からは、新種目で実施した。

(1) 平成27年度本市児童・生徒の体力の状況

区分	種目 性別 年齢	握 力 (kg)		上体起こし (回)		長座体前屈 (cm)		反復横とび (回)	
		男	女	男	女	男	女	男	女
小学校	10	15.6	15.3	18.0	16.9	31.4	36.0	40.0	38.0
	11	18.7	18.5	20.5	18.7	33.9	39.1	43.9	41.5
中学校	12	22.5	20.8	23.6	20.5	36.3	41.2	47.1	43.6
	13	27.7	23.0	27.2	23.0	40.7	43.9	50.9	45.8
	14	32.9	24.6	29.6	24.7	45.1	47.3	54.3	47.1

(2) 平成27年度本市児童・生徒の運動能力の状況

ア 小学校児童の運動能力の状況

区分	種目 性別 年齢	20mシャトルラン (回)		50m走 (秒)		立ち幅とび (cm)		ソフトボール投げ (m)	
		男	女	男	女	男	女	男	女
小学校	10	45.2	34.7	9.4	9.7	151.2	144.8	22.2	13.6
	11	56.8	43.3	9.0	9.3	162.4	153.6	25.8	15.7

イ 中学校生徒の運動能力の状況

区分	種目 性別 年齢	持久走 男・1500m 女1000m (分・秒)		20mシャトルラン (回)		50m走 (秒)		立ち幅とび (cm)		ハンドボール 投げ (m)	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
中学校	12	7' 14"	5' 07"	70.3	51.1	8.8	9.3	171.6	157.5	17.9	11.5
	13	6' 39"	4' 57"	86.0	59.4	8.2	9.1	187.2	163.0	20.7	12.8
	14	6' 18"	4' 54"	94.0	58.6	7.8	9.0	201.8	166.9	23.4	13.8

5 各種体育大会

児童・生徒の体力を増進し、スポーツ精神の育成を目指して各種体育大会を開催している。
平成27年度に実施した主な体育大会は、次のとおりである。

体育大会名	期 日	会場・参加者等
名古屋市中学校総合体育大会 男子14種目・女子15種目 (陸上競技・体操・新体操・卓球・ソフトテニス・バスケットボール・バレーボール・サッカー・ハンドボール・バドミントン・剣道・水泳・柔道・軟式野球・ソフトボール・ラグビー) (ただし、サッカー・軟式野球・ラグビーは男女混合チームを編成できる)	5月2日～7月25日	パロマ瑞穂スタジアム、市内各体育館、市内中学校他 男子 9349人 女子 6262人
名古屋市立高等学校体育大会 17種目	7月26日～9月21日	パロマ瑞穂スタジアム他 3,023人
名古屋市中学校駅伝競走	10月31日	庄内緑地公園陸上競技場・サイクリングコース 男子 414人(46校) 女子 352人(44校)

6 名古屋市小中学校体育連盟

昭和22年4月に、学校体育の振興を図ることを目的として発足した。現在18部の運動部(陸上競技・水泳・軟式野球・ソフトボール・バスケットボール・バレーボール・ハンドボール・サッカー・ラグビー・ソフトテニス・卓球・体操・ダンス・すもう・柔道・剣道・登山ハイキング・バドミントン)を有し、主として、学校体育(特に教科外体育)の振興に寄与する行事を各部ごとに開催している。

平成27年度には主な事業として、小学校指導会(10種目)、各運動部講習会(13種目)を開催した。

7 名古屋市学校体育センター

(1) 学校体育センターの概要

学校体育センターは、学校建設予定地の有効活用を図り、学校教育にかかる体育大会及び練習などに利用するための施設として、設置されている。

なお、学校教育の諸活動を妨げない限度において、市民のスポーツ及びレクリエーションその他社会教育活動のために利用することができる。

施 設 名	開所年月日	施 設 概 要	所 在 地
平田学校体育センター	平成 5 年 4 月 10 日	体育館・運動場・会議室 敷地面積 10,038.55㎡	西区山木二丁目167番地
天白学校体育センター	平成 5 年 4 月 10 日	体育館・運動場・会議室 敷地面積 13,601.49㎡	天白区菅田一丁目501番地
中川学校体育センター	平成 7 年 4 月 26 日	体育館・運動場・会議室 敷地面積 15,057.34㎡	中川区下之一色町字松蔭 一丁目45番地の 1

(2) 利用状況

平成27年度における利用状況は、次のとおりである。

センター名	体 育 館		運 動 場		会 議 室	
	件	人	件	人	件	人
平田学校体育センター	908	37,485	247	15,853	389	6,632
天白学校体育センター	1,256	56,451	282	30,474	594	15,243
中川学校体育センター	1,186	51,655	293	36,869	453	9,891

第6部 生涯学習・社会教育

第1章 生涯学習の推進

1 生涯学習社会を目指して

平成18年12月に教育基本法が改正され、第3条に生涯学習の理念として、「その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」との条文が新設された。

変動する現代社会で生活する人々が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送るために、生涯を通して自ら学ぶ活動として「生涯学習」がますます重要になってきている。

また、同法の社会教育に関する条文においても、「個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならない。」とする改正が加えられた。生涯学習を推進する中核的な役割を担う社会教育行政においては、個人的な興味・関心はもとより、社会共通の課題を解決するための学習の機会及び情報の提供など適切な方法で社会教育の振興に努め、生涯学習社会の構築を目指すことが求められている。

2 生涯学習が必要とされる社会的背景

(1) 社会の変化に対応するための学習の必要性

少子高齢化、科学技術の進展、情報化、国際化や環境問題などの社会の急激な変化によって生じたさまざまな課題に主体的に対応していくためには、学校教育で得た知識・技術だけでなく、絶えず新しく生みだされる知識・教養・技術を生涯にわたって学習する必要性が生じてきている。

(2) 社会の成熟化に伴う学習ニーズの拡大

人々のライフスタイルが大きく変化し、余暇時間の増大、生活水準や教育水準の向上などを背景として、物の豊かさから心の豊かさが求められるようになってきている。そして、価値観が多様化し、生涯を通じての生きがいや自己実現などのために、学習活動への意欲や関心が高まっているとともに、その目的や内容も多様かつ高度なものとなってきている。

(3) 生涯学習による市民の交流と地域活動の発展

市民一人ひとりが生涯にわたって学習することは、多くの人との交流や協調を通して、学習を基盤とした多様な活動が展開され、主体的に社会参加しようとする意欲の醸成につながるものであり、地域社会の活性化やまちづくりを進める上で有意義である。

3 基本方針

市民の学習は、学校や社会教育施設などの教育機関だけでなく、地域や社会の生活において、多様な学習機会を選択することにより、あるいは市民生活のなかで様々な形で行われている。こうした学習をきめ細かく支援していくためには、生涯学習に関連する諸機関の連携を図り、市民の学習環境を総合的に整備していくことが必要である。

本市では、こうした認識にたつて、市民一人一人の高度化・多様化する学習意欲に対応するため、次の基本方針のもとに、各種の取り組みを進めていく。

- (1) いつでも自由に学ぶことができ、その成果を生かして活躍できるような社会の構築をめざして、高等教育機関、民間教育事業者などとの役割分担と連携のもと、市民の多様なニーズに対応した学習機会の提供や活躍の場の充実につとめる。
- (2) 誰もが本に親しみ、必要な資料を入手できる環境づくりをすすめるとともに、情報化に対応した図書館サービスの提供につとめる。
- (3) 子どもから高齢者まで、各年代層において、気軽にスポーツに親しむことができるよう、多彩な事業の発展をはかるとともに、身近な活動の場の確保や地域に根ざしたさまざまな活動の支援をすすめる。

4 平成27年度重点事業

トワイライトスクールの実施

「親学」の展開

あい・あい・あいさつ活動の推進

ファミリーデーなごや

子どもの読書活動の推進

女性の学習活動の支援

生涯学習センター等の事業の充実

なごや子ども体験活動情報「わくわくキッズナビ」事業の実施

「家庭の日」の普及促進

土曜学習の推進

プラザ事業への参加・参画事業の実施

青少年の自主活動推進事業の実施

青少年育成サポーターの養成事業の実施

文化財保護事業補助の実施

歴史的町並み保存事業の推進

遺跡発掘調査の実施

文化財保護・啓発事業の実施

「歴史の里」の整備

山車行事の総合調査

「歴史文化基本構想」の策定

市民スポーツ祭の開催

マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知の開催

なごやかウォークの開催

スポーティブ・ライフ月間関連イベントの実施

子どもスポーツフェスタの開催

国際スポーツ交流の推進

部活動の振興

地域ジュニアスポーツクラブの育成支援

スポーツ教室の充実

博物館・美術館・科学館の特別展、企画展等の開催

第2章 成人教育

1 成人教育の概況

本市の成人教育は、生涯学習の観点から、市民一般を対象とした学習機会提供、親を対象とした家庭教育の振興、PTAを対象とした組織的活動の助成の3つを主な柱として推進している。なお、市民一般を対象とした学習機会提供としては、市民の多様化する学習要求にこたえるため、生涯学習センターなど社会教育施設を中心に、現代的課題、なごや学、親学・青少年育成などの講座を地域の実情に合わせて開設した。

(1) 家庭教育事業

ア 家庭教育セミナー

本市社会教育の重点施策のひとつとして、昭和55年度から全市立小・中学校PTAに、それに加え平成6年度からは全市立幼稚園PTA及び特別支援学校父母の会にも委託し、家庭教育セミナーを開設してきた。

	趣 旨	運 営 形 態	参加者
家庭教育セミナー	子どもの健全な成長を図るため、家庭教育に関する諸問題や親のあり方などについて学習を深めることにより、家庭や親のあるべき姿・親の役割やしつけのあり方（親学）などについて認識を深め、よりよい家庭を築こうとする意欲を高める。	- 市立幼稚園・小・中学校PTA、特別支援学校父母の会の計397団体に開設委託、年1回以上実施 「親学」を参考資料に、全体会で基調提案、分散会で討議	延べ 18,849人

イ パンフレット「親学」の発行

子どもにとって親はどうあるべきかを考え、子どもとともに親として成長する楽しさなどについて学ぶ「親学」の普及・推進のため、パンフレット「親学」を発行し、幼稚園・保育園・小・中・特別支援学校の保護者を対象として配布した。

ウ 幼児期家庭教育支援事業

(ア) 「幼稚園の子どもたち」の発行

乳幼児期の教育がその人の生涯にわたっての人間形成に資する面がきわめて大きいにもかかわらず、これらの養育者に対する家庭教育についての学習機会は必ずしも十分とはいえない。そこで、昭和46年度から家庭教育資料を発行し、その役割の一端を果たしてきた。

「親学」を柱に親としてのあり方を考える素材を提供することを編集方針とし、幼稚園の保護者を対象として年間3回配布した。

(イ) 家庭教育相談事業

全市立幼稚園で、専門家による子育て相談を実施した。

エ 地域ふれあい実践講座

家庭の教育機能を充実させるため、系統的に学習する場として昭和39年度から、家庭教育学級を開設してきたが、平成16年度より、事業名を「地域ふれあい実践講座」に改称し、親や地域の大人が子どもとの関わりをもつための実践的な活動手法について学習する機会を提供している。

平成27年度地域ふれあい実践講座一覧

区 分	実 施 機 関	受講者（人）
地域ふれあい実践講座	今池中、旭丘小、名北小、比良西小、稲西小、松原小、広路小、田光中、船方小、昭和橋小、神宮寺小、大生小、甘軒家小、片平小、豊が丘小、八事東小	413

オ 「家庭の日」普及促進

昭和41年以来、親子のふれあいのある、明るい家庭づくりを促進するため、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定めており、各種啓発資料や広報誌等により関係機関や団体、市民への普及啓発に努めた。また、「家庭の日」のポスター・作文の募集を行った。

カ ファミリーデーなごや

家庭の大切さや家庭の素晴らしさについて改めて考えるイベント「ファミリーデーなごや」を、市立幼稚園・小中学校PTA協議会などの協力により1月9日に日本ガイシホールで開催した。参加者はのべ2万9千人。

キ e - ネット＊なごや

いつでも、どこでも学習できるように、平成16年度からインターネットを活用した講座を開設し、「現代的課題」「なごや学」「親学」に関する内容のコンテンツを動画とテキストで配信している。（平成28年3月末現在62講座）

ク 「おやじの会」の促進

父親や地域の男性に親学の普及・啓発をめざすとともに、家庭教育や地域活動への参加を促すため、「おやじの会事例集」を作成し、活動事例を紹介することによって「おやじの会」「おやじクラブ」の結成や活動の促進を図った。

ケ 親学推進協力企業制度

企業(団体)に親学推進協力企業(団体)として登録してもらい、登録企業(団体)に、保護者である従業員が「親学」にふれる機会を提供してもらうことで「親学」の推進を図った。平成19年度から登録を開始し、平成28年3月末現在で210の企業(団体)が登録している。

コ あいさつ活動の推進

あいさつの大切さを再確認するとともに、PTA、学校、地域と連携し、朝のあいさつ活動をきっかけとして、地域の大人と子どものつながりを深めるため、「あい・あい・あいさつ活動」を推進した。

(2) P T A 活動

父母と教師の協力によって、子どもの健全な成長を図り、また、自らも学習する団体である P T A を対象に指導者研修事業を始め、成人教育活動、非行防止活動等の諸活動への助成を行った。

ア P T A の団体数・会員数

(平成27年5月1日現在)

種 別	団体・会員数 団体数 (団体)	P T A 会 員 数			
		保護者 (人)	教師 (人)	その他 (人)	計 (人)
小 学 校	261	86,127	6,246	1,136	93,509
中 学 校	109	47,433	3,232	205	50,870
高 等 学 校	15	12,731	801	14	13,546
幼 稚 園	23	1,978	165	4	2,147
計	408	148,269	10,444	1,359	160,072

イ P T A 指導者研修

(ア) 幼稚園 P T A 指導者研究集会

a 全 体 会

日 程 9月18日

会 場 イーブルなごや

講演テーマ 遊び心で子育てを

講 師 同朋大学社会福祉学部社会福祉学科特任教授 丹羽 丈司 氏

b 分 科 会

日 程 11月17日

会 場 イーブルなごや

研究テーマ 第1分科会「つながりやふれあいを広げる P T A 活動はどうあればよいか」

第2分科会「幼児が心身ともに豊かに育つための P T A 活動はどうあればよいか」

(イ) 小中学校 P T A 指導者研究集会

a 市 集 会

日 程 6月3日

会 場 市公会堂

講演テーマ 楽しくて参加したくなる P T A 活動とは～親も子も笑顔になるために～

講 師 N P O 法人キャリアスピリッツ協会 理事長 岡田 和久 氏

b 区 集 会

区	会 場	月 日	区	会 場	月 日
千種	ルブラ王山	6. 23	熱田	熱田区役所等複合施設	7. 7
東	ウィルあいち	6. 24	中川	富田北地域センター	6. 9
北	北生涯学習センター	6. 25	港	港区役所	7. 3
西	西区役所	7. 1	南	南生涯学習センター他	6. 23
中村	中村生涯学習センター	7. 3	守山	守山生涯学習センター	6. 30
中	青少年文化センター	7. 1	緑	緑信用農業組合	6. 30
昭和	昭和生涯学習センター	7. 7	名東	名東文化小劇場	7. 8
瑞穂	瑞穂陸上競技場会議室	6. 30	天白	天白生涯学習センター	6. 26

(ウ) 高等学校 P T A 指導者研究集会

a 全 体 会

日 程 10月27日

会 場 中央高等学校

講演テーマ 伝統の世界に飛び込んで

講 師 宝生流能楽師 和久 莊太郎 氏

b 分 科 会

日 程 11月17日

会 場 イーブルなごや

研究テーマ 第1分科会 「菊里高校PTAの1年」

第2分科会 「いつも楽しくわきあいあい～みんなでつくるPTA～」

(エ) 幼・小・中・高 P T A 指導者研究大会 (P T A 活動研究大会)

日 程 2月2日

会 場 市公会堂

講演テーマ 「愛されているという実感をもつために」

講 師 Office MOTOHIRO代表 競 朗子 氏

ウ P T A パトロール活動

心身ともにたくましい青少年の育成を願って、市立小中学校 P T A 協議会との共催により、P T A 全市一斉パトロールを実施し、児童生徒にとって有害な環境をなくすように努めるとともに、非行防止活動を積極的に展開した。

実施期間・参加人員 夏 7月13日～31日 11,313人

冬 12月 1日～15日 10,390人

春 3月 1日～15日 9,929人

(3) 土曜学習の推進

子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現するため、地域、保護者、民間事業者

等の協力を得ながら、学校の教科学習で学んだ知識や技能を実際に生かし、学ぶ意義を見出せるよう、体験を重視した学習プログラムを実施した。

平成27年度名古屋土曜学習プログラム一覧

区 分	実 施 学 区	延べ参加者（人）
名古屋土曜学習プログラム	自由ヶ丘小、川中小、岩塚小、大宝小、港楽小、鳥羽見小、平子小、植田南小	4,757

（４） 生涯学習推進事業

ア 企画開発・調査研究事業

（ア）生涯学習センターが行う新たな講座・事業の展開について

平成25年度に実施した「生涯学習に関する市民意識調査」から、市民の学習状況や学習志向、学習成果の還元についての意識・動向・要望の変化を把握した。そして、公的社会教育施設が行う事業展開のあり方について、これまでの取り組みを振り返り、成果や課題を洗い出した。これらを踏まえて、昨今の社会情勢の変化や、指定管理者制度導入に伴う体制の変化に対応させた、今後のセンターにおける講座・事業の展開を提案した。

（イ）大学等高等教育機関と生涯学習機関との連携について

大学等高等教育機関と生涯学習機関では、連携講座の実施、情報提供など様々な形で連携をしている。また、平成26年度より名古屋土曜学習プログラムにおいても連携し、実施校区の子どもたちに体験的な学習を提供している。これまでの連携における成果、課題を整理し、今後の大学等高等教育機関と生涯学習機関との連携のあり方について、調査研究を行った。

イ 情報提供・学習相談事業

学習成果を生かしたい市民の情報を、教育や生涯学習に関する指導・支援を必要とする地域や学校などからの求めに応じて提供する教育サポーターネットワークを運用するとともに、学習グループ情報の提供、情報誌「生涯学習なごや」の発行、生涯学習情報総合サイト「生涯学習Webナビなごや」による学習情報提供を行った。

また、市民ボランティア（生涯学習アドバイザー）による学習相談を実施した。

ウ 学習機会提供事業

市民の多様化・高度化する学習要求に応えることができる広域的・専門的な学習機会として「名古屋市民大学」や「市民大学公開講演会」を開設した。また、大学等高等教育機関との連携による「大学連携講座」を開設した。

・名古屋市民大学	通年	1講座	受講者数	860人
	後期	1講座	受講者数	36人
・大学連携講座	前期	12講座	受講者数	547人
	後期	17講座	受講者数	1,727人
・市民大学公開講演会		6回	入場者数	1,484人

エ その他の事業

・大学連携懇談会	29大学	37人参加
----------	------	-------

2 女性教育

(1) 女性教育の概況

社会変化により、女性のライフスタイルや家庭生活も大きく変わってきている。また、男女共同参画社会の実現をめざし、家庭・地域・職場などで女性が男性とパートナーシップを図り、個性と能力を発揮し活躍することが今後ますます期待されている。

こうした中で女性の能力の向上を図るとともに、男女平等意識の醸成や女性のエンパワーメント（主体的な力をつけること）をめざすことが大切になってくる。

本市の女性教育は、こうした状況を踏まえて、学習活動を側面から支援し、学習機会の増加や内容の充実を図るとともに、団体・グループの育成、指導者の養成及び資質の向上を主眼として、すすめている。

(2) 主な事業

ア 学習活動の推進と支援

名 称	目 的 等	開設数	参加者 (延べ)
女性 セミナー	女性がもつ身近な生活課題、地域課題をテーマに自主的、継続的に学習することを目的に開設。セミナー終了後も引き続き学習する例が多く、女性の身近な学習機会の場として定着している。	16	人 2,164
女性学習 活動研究委託	女性団体や学習グループの自発的な学習を促すとともに、学習の定着化を図る。研究結果を女性教育推進の参考にするため、公募による委託を実施している。	委託団体・ グループ数 30	3,375

イ 指導者研修

名 称	対 象	回 数	参加者 (延べ)
女性学習団体 リーダー研修	学習活動研究委託団体、グループのリーダー他	回 2	人 310
女性団体指導者研修	女性団体・グループのリーダー	5	90
女性国内研修	女性団体・グループのリーダー	6	24

ウ 女性団体等への支援

市内の女性団体には、地域を基盤として結成されたものと、学習内容別に結成されたものがある。そのうち、全市的規模をもち、協議会組織で活発に学習活動を展開している団体の活動に対し、事業補助、事業共催、求めに応じた指導・助言を行っている。

一方、その他の女性団体が行う学習活動に対しても、求めに応じた助言を行うなど団体の育成に努めている。

3 視 聴 覚 教 育

本市では、生涯学習の一環として市民文化の向上や個性に応じた学習を支援するため視聴覚機器・教材の整備・充実に努めている。また、16ミリ映画教材等の視聴覚教材の収集・提供、視聴覚教育研修等の事業を積極的に行うことにより、視聴覚教育の普及・啓発を図るとともに、指導者の育成を計画的に実施している。

＜視聴覚ライブラリー＞

（１）概 要

昭和56年7月、それまで別個に管理されていた社会教育・学校教育の16ミリ映画教材の収集・提供、視聴覚教育研修などの事業を統合し、それらを総合的に行う施設として視聴覚教育センターを開所した。その後、社会教育・学校教育の両面を対象に、視聴覚教材の収集・提供を始め視聴覚教育に関する各種の研修、教材の作成等に取り組んできたが、平成16年4月、教育センターに統合、教育センター情報教育部視聴覚ライブラリーとなる。

（２）16ミリ映画教材・ビデオ教材・DVD教材の整備状況（平成28年3月31日現在）

【16ミリ映画教材保有本数（タイトル数）】

4,310本 内訳：社会教育用1,591本 学校教育用2,719本 （3,532タイトル）

【ビデオ教材保有本数（タイトル数）】

2,440本（1,821タイトル）

【DVD教材保有本数（タイトル数）】

447本（407タイトル） 平成15年より利用開始

（３）16ミリ映画教材・ビデオ教材・DVD教材の利用状況（平成27年度）

【16ミリ映画教材利用本数】	85本	内訳：社会教育での利用	85本
		学校教育での利用	0本

【ビデオ教材利用本数】	72本	内訳：社会教育での利用	4本
		学校教育での利用	68本

【DVD教材利用本数】	236本	内訳：社会教育での利用	120本
		学校教育での利用	116本

〈利用の多い作品〉

16ミリ映画教材		ビデオ教材		DVD教材	
分野	作品名	分野	作品名	分野	作品名
物語児童文学	小じかの太郎ちゃん	防 災	忍たま乱太郎の 地震用心・火の用心	交通安全	角田信郎の 自転車虎の巻
物語児童文学	しろいぞう	交通安全	ちびまるこちゃんの こんな乗りかたあぶないよ	交通安全	クイズ！危険を探せ 自転車に乗るとき
物語児童文学	とべないホテル	交通安全	安全な自転車の ルール	人 権	いじめと戦おう
物語児童文学	カワウソ親子の冒険	交通安全	ひろしくんと学ぶ 安全な自転車の乗り方	人 権	さるカニ合戦 いじめっこザルと 正直カニさん
物語児童文学	だるまちゃんと だいこくちゃん	人 権	み一つけた！	防災火災	地震への備えが 命を守る

（４）研修会等（平成27年度）

16ミリ映写機等操作技術講座を開催し、27人が受講した。

研修会名	実施回数	受講者数	
		社会教育（人）	学校教育（人）
16ミリ映写機等操作技術講座	延べ2回	23	4

第3章 青少年教育

1 青少年教育の概況

激しく変化する現代社会において、今日の青少年の状況を見ると、情報化社会がより高度に発達していく中、携帯電話やインターネットの普及により、様々な情報ツールを活用する力を身につけている一方、人間関係の希薄化による社会性・主体性の欠如、直接体験の不足など、様々な課題も指摘されている。

こうした現状の認識の上に、青少年が直面する課題の克服をめざすとともに、青少年がもつ明るい可能性を伸ばしていくことが大切である。

生きる活力にあふれ、たくましく、心豊かな青少年を育成するため、青少年がボランティアや自然体験などの様々な体験活動や自主的な成果発表、交流活動等に取り組むことを通して、自らの成長や自己啓発に努め、地域や社会に貢献できるよう条件整備をし、青少年の活動を支援することに努めている。

2 青少年の教育

(1) 青少年の社会参加活動支援

青少年の社会参加活動の促進や青少年を指導者として養成することを目標に、次の事業を実施した。

ア 社会参加活動

事業名	期日・会場	対象	事業内容
プラザ事業への参加・参画事業	27年4月～28年3月 青少年交流プラザ等	15～34歳の青少年	地域と連携したプラザ事業の企画・運営を通して、青少年が主体的に地域やまちの活動に参加・参画することができるように促す。
地域活動への参加・参画事業	27年4月～28年3月 児童館、商店街、生涯学習センター等	15～34歳の青少年	地域や他団体からの要請により、青少年が地域へ出かけ、成果発表や子どもの体験活動、世代間交流活動について、主体的に活動することを通して、社会参加・参画を促す。

イ 青少年ボランティアの養成

事業名	期日・会場	対象	事業内容
青少年育成サポーターの養成	27年4月～28年3月 青少年交流プラザ等	15～34歳の青少年	子どもの体験活動支援、まちづくりにかかわる活動支援などのボランティアを養成する。

(2) 青少年の主体的な成果発表・交流活動支援

青少年がこれまでの活動の成果発表や子どもの体験活動等、地域において主体的に活動することを通して幅広い世代間交流を促進するため、次の事業を実施した。

事業名	期日・会場	対象	事業内容
青少年の自主活動推進事業	27年4月～28年3月 青少年交流プラザ等	15～34歳の青少年	青少年による体験、交流、成果発表の場を提供し、主体的な活動を促す。これらの企画、準備、広報、参加者募集、振り返りなどを自らの手で行い、その過程を通して青少年自身の成長を図る。

(3) 青少年の体験活動支援

自然体験活動や創作体験活動など青少年の体験活動を促進するため、次の事業を実施した。

＜青少年宿泊センター等を活用した自然・宿泊等の体験事業＞

事業名	期日・会場	対象	事業内容
「青少年の自主活動推進事業」の一部において実施（再掲）	27年4月～28年3月 青少年宿泊センター等	6～34歳の青少年	自然、宿泊、ボランティア、創作等の体験活動の場の提供により、主体性や豊かな心を育む。

＜なごや子ども体験活動情報「わくわくキッズナビ」事業＞

子どもたちの学校外でのさまざまな体験活動に関するイベントや施設等の情報提供をするホームページを開設し、情報誌を発行した。

事業名	内 容
ホームページ運用 (パソコン版)	子どもの体験活動に関するイベントや施設の検索機能を備えた「イベント・施設情報」や市民の感想などを掲載する「行ってみました」等のコーナーから構成。
情報誌発行（7月）	学校の長期休業前に体験活動のイベント情報を情報誌にて提供。市内の小中学生のいる各世帯に配布。

（４）障害者青年学級

青少年の自主的な学習・活動と交流を支援し、健全な青少年を育成することを目的とし、障害者青年学級に対する支援を行った。

事項名	期日・会場	対 象	事業内容
障害者 青年学級	27年6月～28年2月 生涯学習センター他	15～34歳の障害者 青年・ボランティア 25人以上の団体	障害者青年の生きがいを つくりや生きる力の育成等 を目指した学級活動を支援する。

第4章 文化財の保護

1 概 要

われわれの歴史、文化、生活の変遷を知るうえで文化財は、市民全体にとって公共的な意義を持つかけがえのない財産であり、将来に向かって保存し、活用し、伝承していく必要がある。

しかし、文化財の中には、開発事業や生活様式の変化等による地域社会の変ぼうや後継者難などから失われ、忘れ去られていくものもある。

そのため、本市では名古屋市文化財の保存及び活用に関する条例(昭和47年名古屋市条例第4号)を制定し、市指定文化財として指定し、指定文化財に対する保存事業への助成をするなど文化財の保護と活用を図っている。

また、新たに文化財を発掘したり、記録するための調査を行っている。その他、市内遺跡の発掘調査、文化財保護意識の高揚、史跡の整備管理等の事業を実施している。

市内所在指定等文化財数

(平成28年3月31日現在)

種別 区分	有 形 文 化 財							無形 文化 財	有形 民俗 文化 財	無形 民俗 文化 財	史跡	名勝	天然 記念 物	伝統 的建 造物 群	計
	絵画	彫刻	工芸	書跡	建造 物	考古 資料	歴史 資料								
国 指 定	17	5	41	51	11	1	—	—	—	—	6	1	1	—	134
県 指 定	17	9	40	18	12	6	4	—	—	2	—	—	—	—	108
市 指 定	11	5	9	—	27	3	4	2	18	33	5	1	3	1	122
国 登 録	—	—	—	—	83	—	—	—	—	—	—	1	—	—	84

2 文化財の保護

(1) 文化財保護事業補助

指定文化財等の保存修理及び後継者育成のために市の補助と併せて国庫補助事業を活用し、神功皇后車(緑区有松)の車輪修理、また花井の山車(緑区鳴海)の欄干等の補助など40件の補助事業を実施した。

(2) 文化財保護事業等

文化財に関する出版物を刊行するとともに、文化財保護意識の高揚や史跡の整備等を図った。その主なものは、次のとおりである。

ア 出版物の刊行

DVD 志段味古墳群 歴史の里 Vol.2

イ 保護意識の高揚

(ア) 文化財普及事業の実施

博物館と共同で、市内の遺跡から出土した遺物の展示を実施した。

(イ) 史跡名勝標札の管理

史跡名勝等の所在地299ヶ所に設置してある標札の一部補修を行った。

(ウ) 文化財の管理

教育委員会所管の史跡の除草、清掃を行った。また、文化財パトロール員（16名）による市内の文化財の保存・管理等を行った。

(3) 市内遺跡の発掘調査

周知の埋蔵文化財包蔵地における開発行為などに先立って、埋蔵文化財の記録保存をするために、玉ノ井遺跡始め5遺跡で延べ4,165㎡、5件の発掘調査を行った。また、埋蔵文化財包蔵地での開発計画等に対して、埋蔵文化財の保護を検討するための試掘調査を八田A遺跡（中川区）始め15件実施した。

(4) 史跡散策路の活用

地域における文化財の活用と保護意識の普及を図り、あわせてゆとりとうるおいのあるまちづくりに資するため設定された散策路（市内16区80コース）の利用者に便宜を図るため、説明板等の設置修繕を行った。

(5) 山車行事の総合調査

市内に残された山車行事の民俗学的な位置づけや祭の歴史、その独自性などについて明らかとするために総合調査を実施した。平成27年度は主に名古屋まつりと中村区の花車神明社祭の調査を行い、幕や鍔（かざり）金具の個別調査も実施した。

3 「歴史の里」の整備

(1) 平成27年度の主な実績

「歴史の里」の整備に着手し、志段味大塚古墳の墳丘、葺石、周濠の復元を行うなど、古墳・緑地の整備を行った。また、現地を活用した古墳見学や体験事業のほか、市街地や中部国際空港など各所で普及啓発イベントを実施した。「歴史の里」の整備にともない、勝手塚古墳の発掘調査を実施した。

(2) 平成28年度の主な取り組み予定

古墳や緑地整備を行うとともに、ガイダンス施設の設計、建設工事の発注を行う。また、現地を活用した古墳見学や体験事業のほか、市内各所でステージや出張体験講座を実施しながら国史跡志段味古墳群を発信し、平成30年度のオープンに向けた普及啓発に取り組む。

4 「歴史文化基本構想」の策定

近年、郷土の文化、文化財や伝統的行事の価値が見直され、歴史や伝統文化を地域づくりに結びつけようとする機運が高まっている。こうした中で、文化財の保全・活用を通じて市民が誇りに思うまちづくりの実現を目指すため、「歴史文化基本構想」の策定に取り組んだ。

第5章 市民スポーツ

1 市民スポーツの概況

スポーツ及びレクリエーション事業を通じて、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の実現を図るために、各区地域力推進室、公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会、名古屋市レクリエーション協会と連携して、各種スポーツ・レクリエーション大会、講習会、研修会等を開催し、その普及奨励に努めている。なお、平成6年11月からインターネットで施設の空き情報や、予約の抽選申込みができる「スポーツ・レクリエーション情報システム」を運用し、市民サービスの向上と生涯スポーツ活動の推進を図っている。

(1) スポーツ功労者顕彰

昭和56年度より本市のスポーツ振興を図ることを目的に、特にスポーツ振興に功績のあった者に対しスポーツ功労賞を、スポーツ競技大会において優秀な成績をあげ、かつ、将来の活躍が期待される者に対してスポーツ奨励賞を、また、生涯スポーツの分野において優秀な成績を挙げた者に対して「生涯スポーツ奨励賞」を、それぞれ市長が授与し表彰している。

平成27年度は、スポーツ功労賞として小栗元貴（ソフトテニス）、佐橋五月（なぎなた）、加藤大貴（なぎなた）、スポーツ奨励賞として個人35名、団体14チーム、生涯スポーツ奨励賞として個人10名を表彰した。

(2) 市民スポーツ祭

スポーツの日常化を図るため、毎年8月を中心に実施しており、平成27年度は6部門（区対抗、一般、高校、中学生、小学生、マスターズ）37種目にわたり開催した。3万人以上の市民が、スポーツを通じて交歓しており、スポーツの普及・振興に大きな役割を果たしている。

(3) 市民体力づくり推進事業

ア スポーツ普及事業

本市制定の女性レクリエーションバレーボール大会・レクリエーションインディアカ大会を開催し、普及に努めた。

イ 「スポーティブ・ライフ月間」における大会イベントの実施

10月の「体育の日」を中心とする秋季（10月～11月）をスポーティブ・ライフ月間とし、多彩なスポーツ・レクリエーション事業を行うとともに、エンディング・イベント「はじめよう！つづけよう！スポーティブ・ライフin瑞穂」を実施するなど、市民へのスポーツ普及に努めた。

ウ 「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」の開催

名古屋シティマラソンと名古屋ウィメンズマラソン、名古屋ウィメンズホイールチェアマラソンを同時開催する3万人規模の大会。開催種目として、女子フルマラソンと男女ハーフマラソン、男女クォーターマラソン、チャレンジランを行った。

エ 「なごやかウォーク」

健康づくりや家庭・地域での交流を深めるため、市内16区でウォーキングイベントを開催し、ウォーキングの推奨に努めた。

オ 「子どもスポーツフェスタ」の開催

子どもが誰でも気軽に参加できるスポーツイベントとして、9月5日と1月16日に「子どもスポーツフェスタ夏・冬」を開催し、子どもへのスポーツ普及に努めた。

(4) 部活動の振興

ア 部活動外部指導者派遣事業

民間指導者の活用により部活動の充実を図るため、小・中・高等学校へ専門的な技術指導を補助する部活動外部指導者を派遣した。さらに、部活動外部指導者の資質向上のための研修会を開催した。

イ 部活動顧問派遣事業

部活動顧問がいなかったため、部活動を継続できなかつたり創部できない中学校へ学校の指導方針、指導計画のもとに部活動全般を担う民間指導者を顧問として派遣した。さらに、部活動顧問の資質向上のための研修会を開催した。

ウ 指導者養成講習会

部活動指導者層の拡大と資質向上のため、小・中・高等学校教員を対象に部活動指導者養成講習会を開催した。

エ 補助金

東海大会・全国大会等に出場する中・高等学校生徒の参加費の補助を行った。

オ 各種大会の開催

小学校ブロック指導会、中学校総合体育大会、高等学校体育大会等を開催した。

カ わいわいスポーツアカデミー・ワクワクアカデミー

トップアスリート・プロの演奏家・指導者による専門的技術指導教室を開催したり、トップレベルのスポーツ観戦招待を行ったりした。

キ 学校体育センター

小・中学校における各種体育大会、交流試合、練習などに活用できる施設として、3施設を設置しており、管理運営を「公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会」へ委託した。

ク ロサンゼルス四世バスケットボール交流事業

本市中学生をロサンゼルス市に派遣し、ロサンゼルス市に在住する日系人による中学生バスケットボールチームと親善試合等を行った。

(5) 地域ジュニアスポーツクラブ育成事業

地域における子どもたちのスポーツ活動の充実を図るため、地域ジュニアスポーツクラブの設立・育成を支援した。

(6) 競技力向上事業

市内の優秀な選手や素質のある選手を早期発掘するとともに、年齢・競技種目に応じて計画

的、継続的に適切な指導を行い、国際的選手の育成を図り、さらに、審判員資格取得又は上級審判員資格取得のための研修会を実施し、審判員等の育成を図った。

ア ジュニア競技力向上事業	33競技	3,203人参加
イ 審判員・指導者養成事業	16競技	823人参加

(7) スポーツ推進委員

昭和36年に制定されたスポーツ振興法（平成23年8月24日にスポーツ基本法に改正）に基づき、スポーツ活動を奨励するため、本市においてもスポーツ推進委員を配置（定数1学区3人、全市で798人）し、各区地域力推進室と協力して、市民生活に直結したスポーツ・レクリエーション活動を展開するとともに、全市的なスポーツイベントに参画した。

(8) 公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会

昭和58年10月、財団法人名古屋市スポーツ振興事業団として発足し、アマチュアスポーツ及びスポーツ・レクリエーションの普及促進並びに教育の振興に資する事業を行うことを目的として、①体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業②学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業③児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発展と豊かな食生活を実現する事業一などを行っている。

事務局 名古屋市南区東又兵衛町5-1-16（スポーツ振興会館内）

理事長 西村 幸久

副理事長 吉田 健一、宇佐美 義光

（平成28年7月1日現在）

(9) 名古屋市レクリエーション協会

健全で明るい市民生活を営むため、レクリエーション活動の普及推進のために、教育委員会と連携して各種レクリエーション行事を開催し、市民の健康増進に努めた。

事務局 名古屋市中区三の丸三丁目1-1（市教委スポーツ振興課内）

会長 小林 義雄

副会長 寺田 邦昭

理事長 小山 祥之

（平成28年7月1日現在）

2 活動状況（平成27年度主要事業実績）

月	日	事業名	会場
4	12・19・26 4月～3月	第87回レクリエーションインディアカ大会 競技力向上事業	稲永スポーツセンター 千種スポーツセンター 各会場
5	13～6/9 17 17	第50回春の女性レクリエーション バレーボール大会 第30回名古屋市ゲートボール大会 2015ふるさとふれあいウォーキング歩かまい稲武	日本ガイシスポーツプラザ 稲永スポーツセンター 千種スポーツセンター 庄内緑地ゲートボール場 豊田市稲武地区
6	27	でらスポ☆アリーナ	日本ガイシスポーツプラザ
7	5	第22回名古屋市グラウンド・ゴルフ大会	パロマ瑞穂北陸上競技場、 パロマ瑞穂レクリエーション広場
8	20～26 22～30	ロサンゼルス四世バスケットボール交流事業 第57回市民スポーツ祭	東スポーツセンター他 各競技場
9	7 9～10/6 5 25～27	スポーツ推進審議会 第50回秋の女性レクリエーション バレーボール大会 子どもスポーツフェスタ・夏 レインボーカップマスターズスイミング in NAGOYA 2015	正庁 日本ガイシスポーツプラザ 稲永スポーツセンター 東スポーツセンター 日本ガイシアリーナ 日本ガイシアリーナ
10	1～11/30 18・25・ 11/1	スポーティブ・ライフ月間 第88回レクリエーションインディアカ大会	鶴舞公園他 稲永スポーツセンター 千種スポーツセンター
11	23	スポーティブ・ライフ月間 エンディング・イベント「はじめよう！つづけよう！スポーティブ・ライフin瑞穂」	パロマ瑞穂スポーツパーク
1	16	子どもスポーツフェスタ・冬	日本ガイシスポーツプラザ 東スポーツセンター 天白スポーツセンター 中スポーツセンター
2	21 8	第57回市民スポーツ祭スキー競技大会 スポーツ推進審議会	ほおのき平スキー場 名古屋市公館
3	11～13 24	マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2016 スポーツ功労者表彰	ナゴヤドーム他 名古屋市公館

第6章 社会教育施設

1 社会教育施設の概況

本市の社会教育施設は、学習、集会等の多目的施設として、生涯学習センター、女性会館がある。専門施設としては、図書館、博物館、スポーツ施設等がある。

図書館は、中区を除く各区と全支所管内に設置されている。

博物館施設としては、博物館、見晴台考古資料館、美術館及び科学館がある。

スポーツ施設としては、ネーミングライツ（命名権）を平成19年度から導入した日本ガイシスポーツプラザ、同じく平成27年度から導入したパロマ瑞穂スポーツパークを始めスポーツセンター、プール、庭球場、スポーツトレーニングセンター、志段味スポーツランドがあり、合理的な管理運営と利用の促進を図るため、指定管理者制度を導入している。

このほか、学校施設を、学校教育に支障のない範囲で市民の学習、スポーツ、レクリエーションの場として開放する学校施設開放を行っている。

2 図 書 館

（1）平成27年度活動のあらまし

平成27年度名古屋市図書館全体で貸出した資料は、個人が3,320,113人の11,881,284点、団体が10,147団体の83,371点で合計11,964,665点となる。これは、名古屋市民が1人5.26点ずつ借りたことになる。この貸出登録者数は、平成27年度末現在、478,190人である。蔵書数は、平成27年度全館で166,727冊受入れ、3,255,110冊となった。図書以外では、新聞、雑誌、CD、カセットテープ、ビデオテープ、ビデオディスク（DVD）、紙芝居等を所蔵している。

「名古屋市子ども読書活動推進計画」における、保健所の乳幼児健診時に絵本の紹介や読み聞かせを行う「はじめての本との出会い事業」を全区の図書館で実施した。小学生を対象として図書館の業務や行事を体験し、学校でその体験を通じて考えたことを伝える子ども図書館大使事業を全区の図書館で実施した。

「その道の達人派遣事業」として司書が小・中学校等に出向く「ブックトーク&読み聞かせ」は84校961クラスに対して延べ560回実施した。図書館見学や調べ学習の援助をする図書館訪問は67校、中学生・高校生などの職場体験学習は88校（延べ123回）322人が体験した。

平成24年度より実施開始しているメールによるレファレンスは、平成27年度は148件受け付けた。また、名古屋に関するあらゆる疑問や質問に対応し、名古屋の歴史・情報・魅力を発信する「名古屋なんでも調査団」により、受け付けた郷土に関するレファレンスは平成27年度1,362件となっている。

図書館ホームページ及び携帯電話サイトにおいて、平成21年6月よりインターネットによる図書の貸出し予約受付サービスを実施している。平成27年度のアクセス件数（トップページ）は、図書館ホームページが6,634,385件、スマートフォンサイトが78,941件、携帯電話サイトが131,240件となっており、予約申込みについても、図書館ホームページからが1,422,768件、

携帯電話サイトからが29,189件と、合計で予約申込み総数（2,083,908件）の約70％を占めている。

名古屋市図書館公式Twitter（アカウント@nagoyalibrary）による情報提供を平成27年12月 1 日より開始した。

市立小中学校の夏休み期間中（7月21日から8月31日まで）、中央館及び志段味図書館の全日開館を実施した。

また、平成25年度から守山区志段味支所管内の志段味図書館に指定管理者制度を試行導入した。

(2) 図書館一覧

館 名	鶴 舞 中 央	千 種	東
開館年月日	大正12年10月1日	昭和43年10月8日	昭和40年7月1日
沿革	大正12年10月1日市立名古屋図書館として開館。 昭和20年戦災にて焼失。昭和27年名古屋市鶴舞図書館として旧地に再建。 昭和39年4月市の中央図書館となる。 昭和59年4月新装開館。	第9番目の市立図書館として開館。	第5番目の市立図書館として開館。 平成13年10月に東スポーツセンター、東文化小劇場、市民ギャラリー矢田の入った複合施設「カルポート東」に移転、移転開館。
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階	鉄筋コンクリート造2階	鉄骨鉄筋コンクリート造 5階
敷地面積 延床面積	8,800.0㎡ 11,285.9㎡	1,691.2㎡ 1,106.5㎡	10,639.5㎡ 1,759.1㎡
所在地	昭和区鶴舞一丁目1番155号	千種区田代町字瓶杵 1番地の137	東区大幸南一丁目1番10号
開館時間	火～金 9時30分～20時 土 9時30分～19時 日・祝 9時30分～17時	火～土 9時30分～19時 日・祝 9時30分～17時	
休館日	月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第3金曜日（祝日を除く）、 年末年始（12/29～1/4）等		
施設内容	主題別参考閲覧室、読み物実用書コーナー、児童室、児童図書研究室等	一般・児童コーナー、集会室、学習コーナー、展示コーナー、閉架書庫等	一般コーナー、スポーツ資料コーナー、参考コーナー、児童コーナー、集会室、学習室等
行及読書会	おはなし会 名古屋郷土文化会 読書会（つるの会、ぼちぼちいこう会） 展示会 てづくりあそび ちくちく手づくりの会 サイエンス夜話 ほか	おはなし会、展示会 伊吹俳句会 ちくさ文学研究会 千種英語クラブ こぐまちゃんの会 ナルニアの会、パパールの会 ちくちく手づくりの会 東山読書会、きららの会	おはなし会、人形劇 わらべうた 対面読書 ふきのとうの会 葵の会（東区婦人読書会） 対面読書ボランティアグループ 保健所読み聞かせボランティア（くれよん）
特色	市の中央館として資料を保存、提供している。 各種和漢書・絵草紙・遺墨・風俗史料・市史資料を所蔵する。 点字文庫を併設する。	南側は東山公園の緑に囲まれ新緑の頃が美しい。 玄関を入るとすぐ、展示コーナーがあり、市民の作品展示などに利用されている。	特色コーナーとして「スポーツ資料」と、東区関係の郷土資料と古地図を中心とした「わが街の伝統と新しい息吹」がある。

北	楠	西	山 田
昭和42年6月15日	平成9年7月10日	昭和40年11月1日	平成17年5月6日
第8番目の市立図書館として開館。 平成12年6月に文化小劇場と複合施設の1階に移転開館。	第17番目の市立図書館、北区楠支所管内図書館として開館。 北区役所楠支所、北消防署楠出張所、北保健所楠分室に隣接。	大正14年矢田績氏により東区武平町に設立された後本市に寄付され、その後、栄図書館となる。 昭和40年11月西区花の木二丁目に移転し西図書館と称する。 平成6年6月に文化小劇場との複合施設の1・2階に開館。	第20番目の市立図書館、西区山田支所管内図書館として開館。山田支所との合築施設の3階にある
鉄骨鉄筋コンクリート造3階	鉄筋コンクリート造2階	鉄筋コンクリート造地上2階地下3階（地上部分）	鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨5階（3階部分）
3,776.8㎡ 1,525.3㎡	1,163.2㎡ 799.9㎡	1,983.1㎡ 2,364.4㎡	3,576.0㎡ 818.9㎡
北区志賀町 4丁目60番地の31	北区楠二丁目974番地	西区花の木二丁目 18番23号	西区八筋町358番2号

火～土 9時30分～19時

日・祝 9時30分～17時

月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第3金曜日（祝日を除く）、
年末年始（12/29～1/4）等

一般コーナー、街道と旅のコーナー、医療情報コーナー、児童コーナー、集会室等	一般閲覧室、児童閲覧室、集会室、学習室、新聞・雑誌コーナー等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室、閉架書庫等	一般コーナー、児童コーナー、集会室、学習室、閉架書庫等
おはなし会 子ども映画会など おはなしの会ボランティア （ブー、どんどこ、千成どうわの会、いろり、まほうのおなべ）、対面読書ボランティア（桜）、保健所よみきかせボランティア（おはなしポケット）、読書会（近代文学読書会）	おはなし会 子ども映画会 工作教室 テーマ展示 対面読書 おはなし会ボランティア（くすのき） 対面読書ボランティア	おはなし会 子ども映画会など としょかんくらぶ 対面読書ボランティア（プリムラ） 万年青読書会・ひよこの会 おはなし会ボランティア（グループぼんぼん、ぐるーぷころころ）、えほんくらぶ	おはなし会 子ども映画会 対面読書ボランティア（オリーブ） おはなし会ボランティア（なずさんピッカ）（山田おはなしの会かかし） 保健所よみきかせボランティア（ころころたまご）
稲置街道にちなみ「街道と旅のコーナー」を設置し、街道や、そこを旅した人々に関する図書を集め、閲覧に供している。また、「医療情報コーナー」を設け、より詳しい医療関連の図書資料を提供している。	日常生活に実際に役立つ図書・雑誌の収集に力を入れ、調べものや読書相談にも積極的に応えるサービスを行っている。地域団体・住民と連携した活動を行っている。	郷土のシンボルである名古屋城に関する資料を豊富に集めた名古屋城コーナーや対面読書室などを備えている。配本所（西文文庫）を運営している。	図書展示コーナーを設け、月1回程度、テーマに沿った図書の紹介を実施している。 「地域・郷土資料コーナー」をはじめ、小説・暮らし・娯楽に関する本を中心に、地域に密着したサービスを行っている。

中 村	瑞 穂	熱 田	中 川
昭和40年7月15日	昭和44年8月1日	昭和35年9月1日	昭和45年6月20日
昭和40年旧配水塔を大改修して、第6番目の市立図書館として開館。 平成3年5月中村公園の中村公園文化プラザ内1・2階に移転開館。	第10番目の市立図書館として開館。 平成27年7月10日、豊岡通3丁目29番地に瑞穂文化小劇場と併設施設として移転開館。	昭和35年東邦瓦斯より寄付を受け、次いで昭和42年井上ゴム工業より冷房設備の寄付をうける。 平成13年10月、JR熱田駅前に移転開館。	第11番目の市立図書館として開館。 平成14年11月、中川文化小劇場との合築施設の1・2階に移転開館。
鉄骨鉄筋コンクリート造3階（一部4階）	鉄骨鉄筋コンクリート造4階	鉄骨鉄筋コンクリート造地下2階・地上7階（北館1階部分）	鉄骨鉄筋コンクリート造4階
5,772.0㎡ 1,324.0㎡	5,451.0㎡ 1,496.0㎡	8,500.0㎡ 1,790.8㎡	3,596.1㎡ 1,529.2㎡
中村区中村町 字茶ノ木25番地	瑞穂区豊岡通3丁目29番地	熱田区神宮三丁目 1番15号	中川区吉良町 178番地の3

火～土 9時30分～19時

日・祝 9時30分～17時

月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第3金曜日（祝日を除く）、
年末年始（12/29～1/4）等

一般閲覧室、秀吉清正コーナー、児童閲覧室、閉架書庫等	一般・児童閲覧室、集会室、学習室、新聞コーナー、閉架書庫等	一般室、児童室、熱田資料コーナー、学習室、集会室、閉架書庫等	一般コーナー、前田利家コーナー、児童コーナー、学習室等
おはなし会、読書会、工作教室つくってあそぼう、こどもおみくじ	みんなのおはなし会、ちいさいひとむけおはなし会、やかまし村くらぶ、英語でおはなし会、ちくちく手づくりの会ほか おはなし会ボランティアグループ、対面読書ボランティアグループ、保健所よみきかせボランティアグループ 読書会（よんでる会）	おはなし会、子ども映画会、カルタ大会など おはなし会ボランティアグループ（ピッピの会、つくしの会、ピースの会、まほうのおなべ） 対面読書ボランティアグループ 保健所よみきかせボランティアグループ（びよんびよんうさぎ）	おはなし会、わらべうたの会、子どもと本の入門講座、工作教室、カルタ大会、長寿イキイキ音読教室 絵本の読み聞かせボランティア（こぶしの会）、対面読書ボランティア（葉ぼたん）、保健所読み聞かせボランティア
緑豊かな中村公園の一角にあり、文化小劇場・秀吉清正記念館を併設した複合施設。 秀吉・清正コーナーを備えている。	山崎川のほとりの知の拠点。誰にでも利用しやすいバリアフリーとなり、特色コーナーとして桜コーナー・グランパスコーナーを設置している。また、市民活動も活発で、児童関係行事などが盛んに行なわれている。	区役所、保健所、文化小劇場、在宅サービスセンターとの複合施設の北館1階にある。誰もが気軽に立ち寄れるバリアフリーの図書館となっている。	前田利家コーナーを始め、利用者のニーズを考えて、様々なコーナーを設置している。また、吹き抜けの明るい閲覧室はバリアフリーにも配慮されている。

富田	港	南陽	南
平成9年7月8日	昭和42年4月27日	平成14年7月12日	昭和39年5月1日
第16番目の市立図書館、中川区富田支所管内図書館として開館。	第7番目の市立図書館として開館。平成11年9月改築開館。	第18番目の市立図書館、港区南陽支所管内図書館として開館。	南部工業地帯の生涯学習振興のために田中均一郎氏の寄付により建設される。平成4年3月に文化小劇場との複合施設の1・2階に移転開館。
鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄骨造 2階	鉄骨鉄筋コンクリート造3階（一部4階）
1,599.9㎡ 800.0㎡	1,779.1㎡ 1,571.0㎡	1,597.4㎡ 800.0㎡	3,069.2㎡ 1,750.4㎡
中川区服部三丁目 601番地	港区港楽一丁目 14番16号	港区秋葉一丁目 130番地の79	南区千竈通 2丁目10番地の2

火～土 9時30分～19時

日・祝 9時30分～17時

月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第3金曜日（祝日を除く）、
年末年始（12/29～1/4）等

一般閲覧室、児童閲覧室、集会室、学習室、新聞・雑誌コーナー等	一般閲覧室、児童室、学習室、集会室、海と港の資料室等	一般閲覧室、児童閲覧室、集会室、学習室、新聞、雑誌コーナー等	一般閲覧室、児童閲覧室、集会室、学習室、伊勢湾台風資料室等
おはなし会 工作教室 対面読書ボランティアグループ（すぎな） おはなし会ボランティア（おはなしえほんばこ・ノントンくらぶ・STロボの耳） 保健所よみきかせボランティア（BBクラブ）	おはなし会 工作会 講演会 テーマ展示、パネル展示 読書会 （もくよう会、まつぼっくり）	おはなし会 工作教室 子ども映画会 おはなし会ボランティア（ぴこの会） 保健所読み聞かせボランティア（しゃぼんだま）	おはなし会、南図書館まつり、子ども映画会、読書会（二水会、しろうさぎの会）、対面読書ボランティアグループ（虹の会）、おはなし会ボランティア（Zoo（ズー）の会・ぴよぴよ・ひまわり）、人形劇、工作教室
対面読書室等機能的な設備を備えている。また、千音寺地域には古くからキツネにまつわる民話が多いことから、キツネをイメージシンボルとしてパンフレットなどに載せている。	港北公園の一角に位置し、読書環境を整え、地下鉄の便も良い。 1階には対面読書室、2階には「海と港の資料室」を備えている。	支所管内3番目の図書館として開館。 「本」「人」「地域」との出会いのお手伝いの場としての図書館サービスを展開している。特色あるコーナーとして「郷土・南陽コーナー」を設置。	南部工業地帯にあり文化小劇場を併設したモダンな建物。 伊勢湾台風資料室を備えている。

守 山	志 段 味	緑	徳 重
昭和47年 8 月10日	平成16年 7 月15日	昭和47年 8 月12日	平成22年 5 月 6 日
第12番目の市立図書館として開館。	第19番目の市立図書館。守山区志段味支所管内図書館として開館。平成25年 4 月 1 日から指定管理者株式会社図書館流通センターが運営。	第13番目の市立図書館として開館。平成28年7月リニューアル開館。	第21番目の市立図書館。緑区徳重支所管内図書館として開館。
鉄筋コンクリート造 2 階、一部 3 階	鉄筋コンクリート造 2 階	鉄筋コンクリート造 2 階	鉄骨造 4 階建（3 階西側部分）
2, 103. 5 m ² 1, 125. 3 m ²	2, 100. 0 m ² 800. 0 m ²	2, 152. 0 m ² 1, 254. 1 m ²	1, 758. 5 m ² 1, 039. 1 m ²
守山区守山一丁目 6番1号	守山区深沢一丁目 101番地	緑区旭出一丁目 1104番地	緑区鳴海町字徳重 18 番地の 41
火～土 9 時30分～19時 日・祝 9 時30分～17時			月・水～土 9 時30分～19時 日・祝 9 時30分～17時
月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第 3 金曜日（祝日を除く）、 年末年始（12／29～1／4）等			火曜日（祝日の場合は直後の平日）、第 3 金曜日（祝日を除く）、年末年始（12／29～1／4）等
一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室、閉架書庫等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、閉架書庫等
おはなし会 工作教室 子どもと本の講座 講演会 読書会 (わかば会、絵本を楽しむ会)	おはなし会 工作教室 英語でおはなし会 おはなし会ボランティア（ほんわかい） 対面読書ボランティア（しだみライブ） 保健所読み聞かせボランティア（よちよち）	おはなし会 読書会（あゆち会、モモの会） おはなしの会（きらら会、おはなし会コスモス、ルる、もうやっこ、にこにこ） 人形劇	おはなし会、英語でおはなし会 工作教室 ユメリアブッククラブ カルタ大会、講演会 おはなし会ボランティア（ぐるんば、にこにこ、波の会、がらがらどん、もうやっこ） 保健所読み聞かせボランティア（あつぷつぶ） 対面読書ボランティア（あいあい）
旧守山市役所跡に建設された図書館。 2 階には郷土資料や辞書類を備えた参考室があり、落ちついた読書環境を提供している。	支所管内 4 番目の図書館として開館。 子どもや高齢者、障害者にも配慮した、人にやさしい施設となっている。また、2 階のテラスは樹木を植え庭園となっている。	市立緑高等学校の南隣に設置され、高台にあるため南部を遠くまで見わたすことができ、その眺望が素晴らしい。バリアフリーに配慮された明るい図書館となっている。	区役所支所、保健所分室、地区会館との複合施設。月曜日を開館、休館日を火曜日とし、時間外貸出しロッカーを整備した。

名 東	天 白
昭和51年 6 月15日	昭和52年11月18日
第14番目の市立図書館として開館。	第15番目の市立図書館として開館。
鉄筋コンクリート造 2 階	鉄筋コンクリート造 4 階（1 階部分）
2,464.7m ² 1,250.7m ²	2,081.6m ² 1,102.7m ²
名東区文教台二丁目 205番地	天白区横町 701 番地
火～土 9 時30分～19時 日・祝 9 時30分～17時	
月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第 3 金曜日（祝日を除く）、年末年始（12/29～1 / 4）等	
一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室等
おはなし会・読書会（ともしび読書会）・子どもと本の講座・名東手づくり絵本の会 子ども人形劇、名東の日おたのしみ会、小さい子向けおはなし会（乳幼児と保護者）、耳でたのしみおはなし会、英語でおはなし会 図書館まつり・講演会、工作教室・科学実験講座、ちくちく手づくりの会	おはなし会、あかちゃんからのおはなし会、おはなしとてづくりあそび、昔話の会、人形劇、子どもと本の講座、おとなのためのおはなし会、対面読書、おはなし会ボランティアグループ（ひばりの会・おはなしビビンの会・波の会）、保健所読み聞かせボランティア（絵本で子育てよちよち）、講座、ブックスタートボランティアグループ
レンガ風タイル貼りの外壁を持つシックな建物で、身体障害者向け施策による施設整備を初めてとりいれた。	大きな窓より陽射しが入り明るい図書館。一般コーナー南側には庭があり、雰囲気のを和らげている。市民の作品を飾る展示コーナー、小グループで使える和室を設置している。

(3) 蔵書数 (平成28年3月31日現在)

(単位 冊)

分類 館名	総数	一 般							
		郷土資料	総記	哲学宗教	歴史地理	社会科学	自然科学	工業工学	産 業
総数	3,255,110	152,080	83,072	101,724	208,675	361,776	165,879	245,523	94,468
鶴舞	1,316,314	54,087	43,797	60,216	101,665	224,184	84,596	112,816	52,826
千種	98,199	4,673	2,237	2,508	5,508	7,935	4,980	6,033	2,046
東	109,319	6,360	2,330	2,446	6,448	7,814	4,505	6,561	1,932
北	117,986	5,785	2,778	2,413	6,979	8,839	5,541	7,079	2,862
楠	71,169	3,606	1,182	1,303	3,789	4,251	2,716	5,077	1,435
西	106,723	8,597	2,344	1,945	5,474	6,541	4,040	7,024	2,134
山田	71,291	2,665	1,060	1,170	2,943	4,570	2,706	5,542	1,425
中村	97,063	5,664	2,387	2,133	6,644	7,574	3,839	6,009	1,892
瑞穂	109,271	5,589	2,427	2,773	6,451	9,014	4,510	7,145	2,239
熱田	130,673	7,979	3,982	4,038	10,645	11,511	5,461	7,389	2,914
中川	106,679	4,852	1,997	2,403	5,875	7,209	4,637	7,728	2,862
富田	66,011	2,671	1,191	1,259	3,269	4,896	2,751	4,860	1,539
港	102,593	6,576	2,262	2,006	5,988	7,309	4,573	6,480	2,536
南陽	66,600	2,484	1,018	1,068	3,442	4,740	2,960	5,279	1,731
南	107,794	6,726	2,309	1,980	5,826	7,288	4,280	7,297	2,104
守山	106,630	4,717	2,121	2,519	6,091	7,548	4,238	8,062	2,377
志段味	70,467	2,440	987	1,361	3,183	4,929	3,123	6,383	1,916
緑	89,373	6,068	1,732	1,877	4,423	5,984	3,717	5,642	1,716
徳重	78,062	2,260	1,003	1,477	3,359	4,924	3,426	6,309	1,828
名東	93,107	3,595	1,635	2,130	5,167	6,725	3,836	6,412	1,843
天白	93,630	4,531	2,164	1,945	4,523	6,628	3,970	5,514	1,715
建物館計	3,208,949	151,925	82,943	100,970	207,692	360,413	164,405	240,641	93,872
自動車 図書館	46,156	155	129	754	983	1,363	1,474	4,882	596

(単位 冊)

和 書						一般洋書	児童書	点字
芸 術	語 学	文 学	漫 画	その他	小 計			
207,758	43,723	803,745	24,637	27,844	2,520,904	14,858	686,068	33,280
98,732	21,926	260,316	5,942	27,761	1,148,864	12,666	121,504	33,280
5,056	1,310	24,877	2,115	0	69,278	664	28,257	0
8,252	1,362	31,229	505	0	79,744	216	29,359	0
6,513	1,326	37,105	486	0	87,706	42	30,238	0
4,073	704	19,970	1,321	0	49,427	6	21,736	0
6,286	1,347	28,691	2,384	0	76,807	65	29,851	0
4,026	775	17,821	787	0	45,490	9	25,792	0
5,289	1,130	27,460	443	0	70,464	187	26,412	0
6,689	1,127	32,735	1,067	0	81,766	119	27,386	0
8,912	1,629	35,044	1,444	0	100,948	212	29,513	0
6,331	1,228	31,880	832	73	77,907	68	28,704	0
3,642	704	19,244	775	0	46,801	7	19,203	0
5,975	1,518	29,384	539	0	75,146	59	27,388	0
3,757	699	19,876	465	0	47,519	8	19,073	0
6,321	1,208	31,792	423	0	77,554	197	30,043	0
5,920	1,324	33,445	640	0	79,002	45	27,583	0
4,114	779	16,360	994	0	46,569	3	23,895	0
4,509	752	26,283	767	10	63,480	29	25,864	0
3,474	717	20,695	29	0	49,501	6	28,555	0
4,285	1,072	21,790	949	0	59,439	206	33,462	0
4,602	929	23,603	1,447	0	61,571	44	32,015	0
206,758	43,566	789,600	24,354	27,844	2,494,983	14,858	665,833	33,275
1,000	157	14,145	283	0	25,921	0	20,235	0

注) 1. 西図書館の蔵書数に配本所を含む。

2. その他は鶴舞中央図書館特別集書(名古屋市史資料、河村文庫、深山文庫、水口屋文庫等)を指す。

(4) 平成27年度館外貸出登録者数

(単位 人)

分類 館名	登 録 者 数							
	個 人						団 体	
	一 般	児 童	小 計	郵送貸出	点字文庫	合 計	団体数	構成員数
総 数	372,606	104,856	477,462	294	728	478,484	1,058	179,420
鶴 舞	63,604	7,389	70,993	106	728	71,827	134	24,074
千 種	16,403	4,700	21,103	15	—	21,118	54	15,925
東	21,859	5,730	27,589	5	—	27,594	41	4,091
北	15,989	4,220	20,209	9	—	20,218	50	6,678
楠	8,957	2,966	11,923	3	—	11,926	25	5,146
西	14,259	3,414	17,673	5	—	17,678	42	5,261
山 田	11,181	4,281	15,462	12	—	15,474	32	7,555
中 村	17,673	4,157	21,830	10	—	21,840	50	8,278
瑞 穂	17,248	5,067	22,315	9	—	22,324	46	7,508
熱 田	18,640	4,925	23,565	8	—	23,573	34	5,504
中 川	20,119	6,539	26,658	12	—	26,670	42	7,454
富 田	9,664	3,612	13,276	7	—	13,283	36	5,582
港	13,508	3,704	17,212	17	—	17,229	55	9,004
南 陽	4,767	1,778	6,545	1	—	6,546	24	2,481
南	15,900	4,704	20,604	5	—	20,609	49	7,750
守 山	12,000	3,949	15,949	14	—	15,963	56	9,308
志段味	10,457	5,424	15,881	8	—	15,889	26	5,908
緑	17,609	5,180	22,789	12	—	22,801	73	15,041
徳 重	18,655	7,760	26,415	10	—	26,425	35	4,735
名 東	20,256	7,322	27,578	12	—	27,590	76	11,413
天 白	17,932	6,017	23,949	14	—	23,963	62	10,514
建物館計	366,680	102,838	469,518	294	728	470,540	1,042	179,210
自動車図書館	5,854	1,983	7,837	—	—	7,837	16	210
配本所 (西文化センター)	72	35	107	—	—	107	0	0

(5) 平成27年度館外利用者数

(単位 人)

分類 館名	館 外 利 用 者 数						
	個 人						団 体
	一 般	児 童	小 計	郵送貸出	点字文庫	合 計	
総 数	2, 593, 238	710, 916	3, 304, 154	2, 027	13, 932	3, 320, 113	10, 147
鶴 舞	281, 458	44, 968	326, 426	793	13, 932	341, 151	1, 076
千 種	122, 307	34, 230	156, 537	114	—	156, 651	653
東	173, 121	44, 581	217, 702	26	—	217, 728	769
北	118, 802	28, 437	147, 239	58	—	147, 297	672
楠	66, 557	16, 990	83, 547	10	—	83, 557	367
西	107, 959	22, 382	130, 341	35	—	130, 376	524
山 田	81, 941	29, 373	111, 314	61	—	111, 375	394
中 村	117, 921	28, 060	145, 981	181	—	146, 162	330
瑞 穂	144, 507	46, 462	190, 969	34	—	191, 003	469
熱 田	142, 173	33, 204	175, 377	64	—	175, 441	302
中 川	137, 653	40, 713	178, 366	100	—	178, 466	313
富 田	71, 197	22, 791	93, 988	0	—	93, 988	293
港	95, 437	20, 117	115, 554	74	—	115, 628	457
南 陽	37, 791	9, 444	47, 235	0	—	47, 235	271
南	113, 052	28, 162	141, 214	25	—	141, 239	257
守 山	100, 364	30, 277	130, 641	69	—	130, 710	517
志段味	77, 580	36, 062	113, 642	87	—	113, 729	325
緑	62, 775	20, 428	83, 203	80	—	83, 283	249
徳 重	210, 211	67, 899	278, 110	64	—	278, 174	521
名 東	164, 833	56, 225	221, 058	89	—	221, 147	683
天 白	141, 828	42, 945	184, 773	63	—	184, 836	611
建物館計	2, 569, 467	703, 750	3, 273, 217	2, 027	13, 932	3, 289, 176	10, 053
自動車図書館	22, 963	6, 726	29, 689	—	—	29, 689	92
配本所 (西文化センター)	808	440	1, 248	—	—	1, 248	2

(6) 平成27年度館外貸出冊数

(単位 冊・点)

分類 館名	個 人						団 体	合計A
	一般書	児童書	小 計	郵送貸出	点字文庫	計		
総 数	6,665,076	4,050,893	10,715,969	6,109	23,359	10,745,437	83,371	10,828,808
鶴 舞	651,514	242,773	894,287	2,040	23,359	919,686	13,893	933,579
千 種	305,522	180,019	485,541	488	—	486,029	3,628	489,657
東	414,929	254,679	669,608	70	—	669,678	3,893	673,571
北	306,661	174,677	481,338	220	—	481,558	4,967	486,525
楠	176,694	96,580	273,274	24	—	273,298	3,064	276,362
西	291,903	121,822	413,725	100	—	413,825	3,770	417,595
山 田	211,449	165,718	377,167	122	—	377,289	2,302	379,591
中 村	306,816	164,047	470,863	324	—	471,187	2,439	473,626
瑞 穂	378,186	246,515	624,701	81	—	624,782	2,505	627,287
熱 田	365,225	197,494	562,719	313	—	563,032	2,063	565,095
中 川	367,690	238,444	606,134	255	—	606,389	3,315	609,704
富 田	196,136	129,883	326,019	0	—	326,019	2,428	328,447
港	237,284	121,075	358,359	285	—	358,644	2,525	361,169
南 陽	105,776	55,519	161,295	0	—	161,295	4,188	165,483
南	304,309	165,507	469,816	61	—	469,877	2,169	472,046
守 山	278,381	169,640	448,021	328	—	448,349	4,270	452,619
志段味	210,670	204,700	415,370	290	—	415,660	3,115	418,775
緑	171,980	114,856	286,836	313	—	287,149	2,363	289,512
徳 重	504,706	397,407	902,113	145	—	902,258	3,803	906,061
名 東	406,690	305,076	711,766	329	—	712,095	4,301	716,396
天 白	362,368	239,351	601,719	321	—	602,040	3,595	605,635
建物館計	6,554,889	3,985,782	10,540,671	6,109	23,359	10,570,139	78,596	10,648,735
自動車図書館	107,373	61,676	169,049	—	—	169,049	4,771	173,820
配本所 (西文化センター)	2,814	3,435	6,249	—	—	6,249	4	6,253
OPAC等	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位 冊・点)

視聴覚資料館外利用点数 (点)				総貸出数 A+B	貸出延長 冊数 (点) C	総貸出数 A+B+C
個人	郵送貸出	点字文庫	合計B			
285,032	793	42	285,867	11,114,675	849,980	11,964,655
42,842	620	42	43,504	977,083	31,005	1,008,088
10,972	0	—	10,972	500,629	13,585	514,214
15,280	0	—	15,280	688,851	18,202	707,053
9,627	0	—	9,627	496,152	12,853	509,005
8,852	0	—	8,852	285,214	7,572	292,786
12,886	0	—	12,886	430,481	11,884	442,365
6,691	0	—	6,691	386,282	9,428	395,710
10,499	59	—	10,558	484,184	12,616	496,800
15,028	0	—	15,028	642,315	14,826	657,141
16,366	0	—	16,366	581,461	16,312	597,773
16,272	1	—	16,273	625,977	19,403	645,380
7,798	0	—	7,798	336,245	8,253	344,498
11,060	35	—	11,095	372,264	10,014	382,278
5,220	0	—	5,220	170,703	4,345	175,048
12,128	3	—	12,131	484,177	12,389	496,566
9,445	33	—	9,478	462,097	13,183	475,280
10,451	12	—	10,463	429,238	13,266	442,504
8,106	18	—	8,124	297,636	8,434	306,070
21,600	10	—	21,610	927,671	25,092	952,763
17,949	2	—	17,951	734,347	19,554	753,901
12,454	0	—	12,454	618,089	18,461	636,550
281,526	793	0	282,319	10,931,054	300,677	11,231,731
3,421	—	—	3,421	177,241	218	177,459
85	—	—	85	6,338	0	6,338
—	—	—	—	—	549,085	549,085

注) OPAC 等には、館内蔵書検索機・インターネット用 (パソコン・携帯電話)・情報ダイヤルサービスを含む。

(7) 自動車図書館

自動車図書館は、南図書館に基地があり、運営は、平成24年4月から中央館に移管されている。

現在、自動車図書館は2台で、中央館、各区の分館とともに図書館システムの一環を担い、建物館から離れた地域への個人貸出サービスと、図書館へ来館できない社会福祉施設や病院などへの団体貸出サービスを行っている。原則として各区の図書館から1.5km以遠を対象に1学区1ヵ所の駐車場を設置し、巡回周期は年8回を目標としている。個人貸出は1人8冊以内で、市立図書館共通の個人貸出券で利用できる。

3 名古屋市博物館

(1) 名古屋市博物館

ア 概 要

沿革	昭和52年4月 本館工事完成 10月 開館 53年10月 常設展開設 〃 蓬左文庫・豊清二公顕彰館が分館となる 11月 博物館法に基づく登録博物館となる 61年4月 国宝・重要文化財の公開指定館となる 平成元年7月 常設展を全面改装		
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、地上4階・地下2階建		
敷地面積 延床面積	15,100.39㎡ 18,821.59㎡		
所在地	名古屋市瑞穂区瑞穂通1丁目27番地の1		
休館日	月曜日（祝日の場合は直後の平日）・第4火曜日（祝日を除く） 年末年始（12/29～1/3）		
開館時間	午前9時30分～午後5時（入場は午後4時30分まで）		
施設内容	部屋名	面積	内 容
	常設展示室	1,867.9㎡	尾張地方の原始から現代までの歴史を時代順に16テーマに区分し、わかりやすく展示するとともに、フリールームでは随時、展示替も行う。
	特別展示室	498.0㎡	内外のすぐれた文化財を紹介する展覧会を催すとともに、常設展示を補う意味で、随時、時代別・分野別の展示を行う。
	部門展示室	465.0㎡	
	展示説明室	264.5㎡	博物館についての基礎知識や、展示資料に関する解説を行う。
	ふれてみるコーナー	11.4㎡	常設展のエントランスに、直接手に触れて学ぶ資料を展示する。

施設内容	部 屋 名		面 積	内 容
	ギ ャ ラ リ ー	第1室	204.0㎡	美術家、美術団体を始め一般市民が行う展覧会の開催に施設を供用し、また、時には国際的な展覧会も催す。
		第2室	123.0	
		第3室	171.0	
第4室	171.0			
	第5室	156.0		
	第6室	89.0		
	第7室	389.0		
	第8室	115.0		
	屋外展示場		500.0㎡	
	講 堂		378.0㎡	舞台、映写室を備え、客席238を有する。講演会、映画会、芸能鑑賞などを催すとともに、一般の利用にも供する。
事業概要			1 歴史、考古、民俗及び美術工芸に関する資料（以下「博物館資料」という。）の収集、保管、展示及び供用 2 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究、博物館資料の保管、展示等に関する技術的研究 3 博物館資料に関する講演会、研究会等の開催、解説書、目録、年報、報告書等の作成及び頒布、その他博物館資料の利用者に対するサービスの提供 4 ギャラリー、講堂等の博物館施設の供用 5 常設展「尾張の歴史」の運営 ボランティアと音声解説機による展示ガイド 6 出前ミュージアム、歴史体験セミナー等の教育・普及活動の実施 ＜平成28年度開催(予定)の特別展・企画展＞ ○特別展「アンコールワットへの道」 4／16～6／19 ○特別展「世界遺産 ポンペイの壁画展」 7／23～9／25 ○特別展「禅の心とかたち 總持寺の至宝」 10／15～11／27 ○特別展「ギリシア考古学の父 シュリーマン」 12／17～1／29 ○企画展「採録 名古屋の衣生活」 2／11～3／26	
所 蔵 資 料 (平成28年3月31日現在)			総 集 327点 民 俗 44,295点 考 古 120,058点 自 然 128点 美術工芸 15,178点 文 献 68,750点 合 計 248,736点	

イ 平成27年度博物館資料利用状況

	資料特別利用		資料貸出		図書閲覧	
件数及び点数	603件	2,572点	91件	155点	—	—

ウ 平成27年度施設利用状況

	特 別 展 示 室	部 門 展 示 室	ギ ャ ラ リ ー									講 堂
			第 1 室	第 2 室	第 3 室	第 4 室	第 5 室	第 6 室	第 7 室	第 8 室	屋外	
利 用 日 数	215	147	220	139	183	255	248	187	147	206	0	42
利 用 率 (%)	73	50	76	48	63	88	85	64	51	71	0	15

(注)利用率＝利用日数÷開館日数295日（ギャラリーは293日）×100

エ 平成27年度入場者数

区 分	日 数	入場者数	1 日平均	備 考
	日	人	人	
常 設 展	295	69,076	235	※ 展覧会開催 状況は別掲
ビ デ オ コ ー ナ ー	178	3,207	19	
ふ れ て み る コ ー ナ ー	295	14,428	49	
展 覧 会	215	142,766	665	
く ら し 体 験 学 習 室	47	22,251	474	
ギ ャ ラ リ ー	266	158,886	598	
講 堂	42	7,511	179	
展 示 説 明 室	24	2,049	86	
ナ イ ト ミ ュ ー ジ ア ム	2	1,256	628	
むかしのおもちゃで遊ぼう	40	11,544	289	
東日本大震災からの復興と 名古屋	26	4,576	176	
合 計	—	437,550	—	

※ 展覧会開催状況

会 期	展 覧 会 名	日 数	入場者数	1 日平均	備 考
		日	人	人	
4/ 1～ 4/ 5	エピソードでたどる書の散歩道	5	1,194	239	
4/25～ 6/ 7	いつだって猫展	37	44,936	1,215	
7/18～ 9/27	魔女の秘密展	62	61,513	993	
10/17～11/29	横井庄一さんのくらしの道具	37	12,896	349	
12/12～ 2/14	名古屋めしのもと	48	17,292	361	
2/27～ 3/27	陸前高田のたからもの	26	4,935	190	
合 計	6 展覧会	215	142,766	665	

(2) 名古屋市蓬左文庫

ア 概 要

沿 革	尾張藩初代藩主徳川義直が父家康の旧蔵書を中心に、名古屋城内に創設した尾張藩御文庫を起源とする。 明治以降、尾張徳川家の私有、昭和7年、財団法人徳川黎明会に寄付されて、東京へ移転 昭和25年4月 名古屋市が購入、社会教育課に所属 26年11月 徳川園において公開 36年6月 鶴舞図書館の分館 41年4月 蓬左文庫として、社会教育部に所属 53年10月 博物館の分館 平成10年 「徳川園整備基本構想」策定 16年11月 新蓬左文庫開館。蔵書数約110,000点（内重要文化財154点） 26年10月 旧書庫、国の有形登録文化財（建築物）に登録		
構 造	鉄筋コンクリート造2階建 木造瓦葺2階建（旧書庫）		
延 床 面 積	3,002.67㎡ うち旧書庫406.36㎡		
所 在 地	名古屋市東区徳川町1001番地（徳川園内）		
休 館 日	月曜日（祝日の場合は直後の平日）・12月中旬～1月3日		
開 館 時 間	閲覧室 午前9時30分～午後5時・展示室 午前10時～午後5時		
施 設 内 容	部屋名	面積	内 容
	ガイダンス ホール	147.39 ㎡	蓬左文庫展示室入り口のホールで、デジタル御文庫（デジタル映像視聴）、陶板地図を設置して、展示室への導入とする。
	展示室1	280.10 ㎡	徳川美術館と提携し、蓬左文庫の蔵書と徳川美術館の調度をあわせて展示し、近世武家文化等をわかりやすく表現する。
	展示室2	103.38 ㎡	
	映像ルーム (32 席)	58.67 ㎡	「源氏物語」をテーマとしたハイビジョン映像「千年の時を越えて」（朗読竹下景子）を上映する。
	閲覧室 (26 席)	296.82 ㎡	蓬左文庫所蔵の資料の閲覧、研究・調査のために一般利用に供する。
	エントラン スホール	120.62 ㎡	旧書庫を正面玄関ホールに再利用。1階に蔵書の複製等を展示し、2階に旧書庫の姿を一部再現している。

事業概要	1 文庫資料の収集、保管、展示及び供用 2 文庫資料の利用者に対する説明、助言及び指導 3 文庫資料に関する専門的、技術的な調査・研究 4 文庫資料の保管、展示等に関する技術的研究 5 文庫資料に関する解説書、目録、調査研究の報告書等の作成及び頒布 6 文庫資料に関する講演会等の開催
事業概要	〈平成 28 年開催（予定）の特別展・企画展〉 夏・秋 2 回の特別展と 5 回の企画展を開催する。 ○特別展「ぶらり浮世絵散歩」 4 / 16 ～ 5 / 29 ○企画展「ジャパン・デザイン」 6 / 1 ～ 7 / 10 ○特別展「信長・秀吉・家康」 7 / 14 ～ 9 / 11 ○企画展「ザ・ベスト@トクガワ」 9 / 15 ～ 11 / 6 ○企画展「やまと絵うるわし」 11 / 9 ～ 12 / 14 ○企画展「美しきかな」 1 / 4 ～ 2 / 5 ○企画展「日本最大の婚礼調度」 2 / 10 ～ 4 / 9

イ 平成27年度利用状況

閲覧者	1,508人	資料特別利用	154件
観覧者	246,848人	資料貸出	7件
資料複写	477件	写真掲載許可	102件

(注)開館日数 296日。入館者数 266,134人。(エントランス(無料)利用者17,778人を含む)

※ 展覧会開催状況

会 期	展 覧 会 名	日 数	入場者数	1 日平均
4 / 1 ～ 4 / 5	企画展「ひなの世界」 「源氏物語の世界②」 「江戸時代の名古屋をさぐる一城・まち・ひと」	5	4,879	976
4 / 11 ～ 6 / 7	企画展「尾張の茶道と香道」	50	40,189	804
6 / 10 ～ 7 / 26	企画展「異国への窓—阿蘭陀・波斯・印度—」 「殿様が愛した鳥たち」	41	21,556	526
8 / 1 ～ 9 / 13	特別展「徳川家康—天下人の遺産—」	38	34,404	905
9 / 19 ～ 11 / 8	特別展「豊かな朝鮮王朝の文化」 「茶の湯の名品」	44	36,852	838

会 期	展 覧 会 名	日 数	入場者数	1 日平均
11／14～12／13	企画展「源氏物語の世界—平安の恋物語—」	26 日	52,460 人	2,018 人
1／5～3／31	企画展「コレクションが語る蓬左文庫のあゆみ」	75	56,508	753
合 計	11展覧会	296	246,848	834

ウ 地域別閲覧人員 (単位 人)

市 内	県 内	県 外	計	1 日 平 均
661	349	498	1,508	5.1

エ 参考事務取扱数 (単位 件)

窓 口	電 話	文 書	画 像	計
250	120	54	255	679

オ 分類別閲覧冊数 (単位 冊)

国 書	郷 土 資 料	絵 図	漢 籍	一 般 図 書	計
576	527	75	861	5,575	7,614

(3) 名古屋市秀吉清正記念館

ア 概 要

沿 革	昭和42年5月 豊臣秀吉と加藤清正の業績を顕彰する目的で中村公園内に豊清二公顕彰館として開館 53年10月 博物館の分館となる 平成元年4月 改築のため休館 3年5月 秀吉清正記念館と名称を改め、中村公園文化プラザ2階に再オープン
構 造	鉄骨・鉄筋コンクリート造3階
延 床 面 積	721.21㎡
所 在 地	名古屋市中村区中村町字茶ノ木25番地
休 館 日	月曜日（祝日の場合は翌日）・第3金曜日（祝日を除く） 年末年始（12／29～1／3）
開 館 時 間	午前10時～午後5時
施 設 内 容	1 常設展示室 205㎡ 2 特別陳列室 88㎡ 3 収蔵庫 81㎡

事業概要	秀吉・清正に関する資料や尾張の戦国武将に関する資料のほか、戦国～安土桃山時代の生活や文化に関連する資料の収集・保管・展示。		
所蔵資料 (平成28年3月31日現在)	絵画160点、工芸52点、文書584点、その他30点 合計826点		

イ 平成27年度利用状況

	資料特別利用		資料貸出	
件数及び点数	72件	109点	8件	8点

ウ 展覧会開催状況

会期	展示会名	日数	入場者数	1日平均
4／1～3／31	常設展示	日 290	人 30,384	人 105
4／1～5／25	特集展示「若き日の秀吉」	45	(4,390)	98
5／26～7／5	パネル展「豊国神社」	35	(4,330)	124
7／18～8／30	夏休み特集展示「秀吉の合戦」	37	(5,945)	161
9／1～10／4	パネル展「名古屋の城」	29	(2,289)	79
10／10～11／23	特別陳列「秘められた暗号」	37	4,230	114
12／1～1／31	パネル展「前田利家」	46	(3,805)	83
2／2～3／21	特集展示「武将清正の逸話」	41	(3,641)	89
3／23～3／31	パネル展「柴田勝家」	8	(751)	94
合計	8展覧会		34,614	

()は再掲

4 名古屋市見晴台考古資料館

ア 概 要

沿 革	南区の笠寺公園一帯に広がる弥生時代後期から古墳時代はじめにかけての環濠集落跡を中心とした遺跡である見晴台遺跡に関する資料の収集、保管及び調査研究並びに展示等の教育普及活動を行うことを目的として設置 昭和54年10月11日 開館 昭和55年1月25日 博物館法に基づく登録博物館となる。
構 造	本館 鉄筋コンクリート造、地上1階、地下1階、一部中2階 西館 軽量鉄骨造平屋建
敷地面積	1,902.33㎡
延床面積	1,529.41㎡
所在地	名古屋市南区見晴町47番地（笠寺公園内）
休館日	毎週月曜日（休日に当たるときはその翌平日）、毎月第4火曜日（休日を除く）、年末年始（12／29～1／3）
開館時間	午前9時15分～午後5時
施設内容	展示室 142.58㎡・映像展示室 136.17㎡
事業概要	1 見晴台遺跡に関する資料の収集、保管、調査研究、利用者に対する説明、助言及び指導 2 見晴台遺跡の出土遺物等の展示 3 市民参加による見晴台遺跡の発掘調査 4 展示説明会、調査成果報告会、講演会等の開催 5 地域連携事業、映画会等の教育普及活動 6 団体利用、博物館実習、職場訪問等の受け入れ 7 館報、年報等の作成及び頒布 8 他の博物館、学校等との連絡及び協力

イ 平成27年度展示活動

（ア）常設展

期 間	展 示 会 名	日 数	入場者数	1日平均
通年	弥生のムラ・見晴台遺跡展 国史跡・志段味古墳群展	299 日	30,943 人	103 人

（イ）企画展

期 間	展 示 会 名	日 数	入場者数	1日平均
(3／25～) 4／1～6／21	やきものの美展	72 日	11,244 人	156 人

期 間	展 示 会 名	日 数	入場者数	1 日平均
6/24～10/25	埴輪を極める展	105 日	9,338 人	89 人
10/29～1/23	濃尾平野の大集落 朝日遺跡展	68	5,179	76
1/24	公開展示替え	1	75	75
1/27～3/13	新出土品展	40	3,430	86
3/17～3/31 (～11/27)	街なかの遺跡展	13	1,677	129
合 計		299	30,943	103

(ウ) 月別入館者数

月 別	開館日数	入 館 者 数			1 日平均	団 体	
		高校生以上	中学生以下	計		団体数	人 員
年 月	日	人	人	人	人		人
27 4	27	2,709	2,121	4,830	179	25	1,986
5	27	3,685	971	4,656	172	5	349
6	24	1,677	583	2,260	94	16	504
7	26	1,699	261	1,960	75	2	23
8	25	2,598	401	2,999	120	0	0
9	26	2,267	177	2,444	94	2	104
10	25	1,534	564	2,098	84	0	0
11	25	1,752	135	1,887	75	5	111
12	23	1,319	173	1,492	65	1	11
28 1	23	1,461	167	1,628	71	8	60
2	23	2,037	93	2,130	93	3	48
3	25	2,364	195	2,559	102	0	0
合 計	299	25,102	5,841	30,943	103	67	3,196

(エ) ロビー展示

○桜田中学校美術展(7/29～8/30)

○笠寺公園の風景写真展(1/27～2/21)

(オ) 出張展示

○「弥生時代の南区展 ～笠寺台地に暮らした人々～」(6/4～6/17 南図書館)

ウ 平成27年度教育普及活動

(ア) 市民発掘調査（見晴台遺跡第55次発掘調査）

期 間 7月31日～9月22日（市民参加期間）

参加者数 138人（延べ516人）

遺 跡 名	所 在 地	調査期間	面積 (㎡)	主な調査成果
見 晴 台 遺 跡 (第 55 次)	南区見晴町	7月～11月	100	弥生時代の溝、竪穴住居 跡、弥生土器

(イ) 見晴台遺跡第55次発掘調査市民見学会（8月30日） 参加者数 20名

(ウ) 見晴台遺跡第55次発掘調査成果報告会（9月23日） 参加者数 83名

(エ) 市民発掘室内編（市民発掘参加による見晴台遺跡出土資料の整理作業）

実施回数 11回（10月～3月） 参加者数 延べ137人

(オ) 講演会等

内 容	回 数	参 加 者 数
講 演 会 ・ 講 座 等	回 4	人 75
展 示 説 明 会	6	42
映 画 会	10	206

(カ) 地域連携事業

「竪穴式住居をつくろう」、「桜田中学校美術展」、「南区民まつり」への出展等、地域と連携した活動を行った。

5 名古屋市美術館

ア 概 要

沿革	昭和58年1月 美術館調査委員会より「名古屋市美術館（仮称）の基本構想について」答申 7月 美術館建設委員会を設置 63年4月 開館 平成元年9月 博物館法に基づく登録博物館となる		
構造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造） 地下1階・地上2階建		
敷地面積	10,509.125㎡（白川公園内の美術館管理区域）		
延床面積	7,232.41㎡		
所在地	名古屋市中区栄二丁目17番25号		
休館日	月曜日（祝日の場合はその直後の平日） 年末年始（12/29～1/3）		
開館時間	午前9時30分～午後5時（入場は4時30分まで）、金曜日（祝日の場合は除く。）は午後8時（入場は7時30分）まで		
施設内容	部屋名	面積	内 容
	常設展示室 1 2 3	768 ㎡ 102 175	エコール・ド・パリ、メキシコ・ルネサンス、現代の美術、郷土の美術という4つの柱からなる収蔵作品を、年3回程度展示替えをしながら、系統だててわかりやすく展示する。
	企画展示室 1 2	688 ㎡ 571	時代的に、また地域的に変化と多様性に富む美術の世界を、テーマを定めて幅広く紹介する企画展を開催する。
	図書室	95 ㎡	美術関係の専門書（洋書も含む。）や各種展覧会の図録などの文献があり、自由に閲覧できる。
	講 堂	239 ㎡	180人収容可能で、ビデオを始めとする映像機器を備え、美術講演会、美術講座、映画会等を開催する。
事業内容	1 美術品及び美術に関する図書、文献、写真等の資料の収集、保管、展示及び供用 2 美術に関する専門的な調査研究 3 美術に関する案内書、解説書、目録、年報、調査研究の報告書等の作成及び頒布 4 美術に関する講演会、ミュージアム・コンサート、ビデオ上映会等の開催 5 常設展示室でボランティアによる所蔵作品のガイド <28年度開催(予定)の特別展> ○生誕130年記念 藤田嗣治展 東と西を結ぶ絵画 4/29～7/3 ○あいちトリエンナーレ2016 虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅 8/11～10/23 ○アルバレス・ブラボ写真展 ーメキシコ、静かなる光と時 11/3～12/18		

	○永青文庫 日本画の名品 ○アドルフ・ヴェルフリ	1/14～2/26 3/7～4/16
所蔵作品 (平成28年3月31日現在)	エコール・ド・パリ関係 513点 メキシコ・ルネサンス関係 514点 現代の美術 590点 郷土の美術 4,276点	計 5,893 点

イ 特別展示

会 期	展 覧 会 名	日 数	入場者数	1 日平均	備 考
4/18～5/24	若林奮 飛葉と振動	32 日	4,725 人	148 人	読売新聞社、中京テレビ放送と共催
7/18～9/23	画家たちと戦争：彼らはいかにして生きぬいたのか	59	15,677	266	中日新聞社と共催
10/3～12/13	リバプール国立美術館所蔵 英国の夢 ラファエル前派展	62	34,879	563	中日新聞社と共催
1/5～2/21	ポジション2016 アートとクラフトの蜜月	42	6,909	165	日本経済新聞社、テレビ愛知と共催
3/5～4/17	東京藝術大学コレクション 麗しきおもかげ 日本近代美術の女性像	23	8,483	369	中日新聞社と共催 (3/31までの数値)
合 計	5 展覧会	218	70,673	324	

ウ 常設展示

会 期	展 覧 会 名	日 数	入場者数	備 考
	常設展	248 日	65,984 人	特別展入場券による入場者数を含む。
10/3～12/20	白土舎コレクションによる 驚見 展～第一級恋愛罪～	(68)	(11,247)	〃
1/5～2/21	愛知県立芸術大学・名古屋市美術館 共同研究 北川民次の絵画 技法—自然科学的調査と再現研究を通して—	(42)	(4,708)	〃
3/5～4/17	思い出の中の揺らめき—J コレクション展	(23)	(3,500)	〃 (3/31までの数値)

(注) () 内の常設展日数・入場者数は内数。

エ 平成27年度美術品等利用状況

資 料 貸 出	図 書 閲 覧
13件、37点	5,739人

オ 教育普及事業

内 容	回 数	参 加 者 数
一般向け事業 (講演会・解説会・芸術と科学の 杜事業など)	48回	4,749人
子ども向け事業 (びじゅつ びっくり たまてば こ・夏休みこどもの美術館など)	141	911
学校向け事業 (出前アート体験・学校団体向け 解説など)	60	2,921
協力会事業 (展覧会ギャラリートークなど)	18	536
合 計	267	9,117

6 名古屋市科学館

ア 概 要

沿 革	昭和37年11月 天文館開館 39年11月 理工館開館 平成元年4月 生命館開館 市立名古屋科学館から名古屋市科学館へ名称変更 2年1月 博物館法に基づく登録博物館となる 23年3月 理工館・天文館改築
構 造	理工館・天文館 鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上7階・地下2階建 生命館 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上9階・地下2階建
敷 地 面 積	13,661.95m ²
延 床 面 積	22,551.32m ²
所 在 地	名古屋市中区栄二丁目17番1号
休 館 日	月曜日(祝日の場合はその直後の平日)第3金曜日(祝日の場合は第4金曜日)・年末年始(12/29～1/3)
開 館 時 間	午前9時30分～午後5時(入場は4時30分まで)

	部 屋 名	面 積	内 容
施設 内 容	展 示 室 天文館 5 階 理工館 2 階～6 階 生命館 2 階～5 階	計6,515 m ² 702 3,636 2,177	天文・理工・生命などの分野を、各階の展示室ごとにテーマを定め、観覧者が実物・模型・映像などを通して、楽しみながら科学を容易に理解できるよう展示する。
	第 1 実 験 室	115 m ²	科学に関する実験や工作などの各種講座を開催する。
	第 2 実 験 室	120 m ²	
	学 習 室	102 m ²	
施設 内 容	情 報 資 料 室	97 m ²	科学系分野の図書と映像（ビデオ、DVD）の閲覧、インターネット検索のサービスを提供する。 開架用図書 約7,000冊 ビデオ等 約1,000本
	プラネタリウム ブラザー アース (Brother Earth) 内径 35m 定員350人	830 m ²	投影する話題を月ごとに定め、学芸員の生解説で投影している。また、幼児投影、学習投影、夜間投影など特別投影も行う。投影時間は約50分。
	イベントホール	777 m ²	特別展、企画展、各種展覧会や事業を開催する。
	サイエンスホール (定員320席)	440 m ²	各種講演会等を開催する。
	サイエンス ス テ ー ジ	173 m ²	空気、運動、電気、化学反応などの実験をショー形式で開催する。
	天 文 台	87 m ²	口径80cmの反射望遠鏡を設置し、昼間の星をみる会、市民観望会などを開催する。
	星 の 広 場 (屋 上)	598 m ²	小型望遠鏡を並べて市民観望会を開催する。
事 業 概 要		1 天文、理工、生命に関する資料及び装置の展示 2 プラネタリウムによる天体運行等の投影及び天体観測等の指導 3 天文、理工、生命に関する知識の普及及び指導 4 科学技術に関する情報の収集及び提供並びに出版 5 科学技術及び運営企画に関する調査研究 6 その他、教育委員会が必要と認める事業 ＜28年度開催(予定)の特別展＞ ○「南極へ行こう!!」 7/16～9/4 ○「チームラボアイランド 踊る!アート展と、学ぶ!未来の遊園地」 11/12～2/12 ○「恐竜の大移動～角竜とティラノサウルス類の起源と進化～(仮称)」 平成29年 3/18～6/11 (予定)	

展 示 資 料 (平成28年3月31日現在)	宇宙天文 44点 物 質 27 数学情報 10 エネルギー・物理 30	交通機械 22点 生 命 11 生 活 11 環 境 25	その他総合 38点 計 218点
ネーミングライツ の 導 入 (ブラザー アース Brother Earth)	対象施設：プラネタリウムドーム 権利内容：施設命名権、施設サイン掲出権等 ネーミングライツ・パートナー：ブラザー工業株式会社 契約期間：平成28年4月1日から平成33年3月31日		

イ 平成27年度月別利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10
入館者数	102,062	125,564	71,888	114,822	219,799	76,804	75,103
内プラネタリウム 入館者数	37,300	45,659	40,848	47,105	55,164	32,505	12,856
開館日数	25	26	24	26	27	22	26

月	11	12	1	2	3	計
入館者数	155,536	114,090	100,245	105,884	120,478	1,382,275人
内プラネタリウム 入館者数	44,023	39,466	39,808	40,930	46,767	482,431人
開館日数	24	23	23	23	26	295日

ウ 平成27年度各種行事実施状況

行 事 名	期 間	日数	参加者数
特別展「夢と感動の宇宙展 『宇宙兄弟』ムッタ とヒビトが挑んだ空へ！」	3/14～5/24	59	88,015
特別展「錯覚体験 ふしぎワールド！」	7/18～8/31	39	111,605
特別展「生命大躍進-脊椎動物のたどった道-	10/17～12/13	49	113,112
特別展「ポケモン研究所～キミにもできる！新たな発見～」	12/23～3/6	57	73,497
特別展「恐竜・化石研究所」	3/19～6/12	72	24,057
企画展「バイオなものづくり」	9/12～9/23	10	14,909
病院の機械を操作してみよう！	6/20・21	2	3,696
楽しい鉄道模型	6/14、9/6	2	入館者対象
科学技術週間行事			
①記念講演会	4/18	1	①②共通

行 事 名	期 間	日数	参加者数
		日	人
②科学技術映像祭入選作品発表	4/18	1	205
第36回古川為三郎サイエンス講演会	3/13	1	255
プラネタリウム投影		(回)	
①一般投影	年間	1,089	342,340
②ファミリーアワー (土・日・祝、夏・冬・春休み)	年間	236	79,762
③字幕付きプラネタリウム	11/7、1/23	2	690
④夜間投影	年間12回	12	3,397
⑤幼児向け学習投影	5/8～7/16、3/4～3/15	84	25,357
⑥小学校4年生向け学習投影	12/8～3/3	53	18,086
⑦小学校6年生向け学習投影	9/4～12/4	53	16,196
昼間の星をみる会(土または日)	4/19～3/26	23	11,895
市民観望会(土または日)	4/25～2/20	11	2,237
皆既月食をみる会	4/4	1	225
部分日食をみる会	3/9	1	入館者対象
おんたけ天文教室	8/16～8/18	3	55
公開セミナー「天文学の最前線」	8/22～8/24	3	304
プラネタリウムと星空観察会(夏・冬)	9/12、2/6	2	46
第14回坂田・早川記念レクチャー	12/20	1	269
電子工作教室	7/24～7/26	3	80
かがくの実験室	8/28・29	2	106
かがくゼミナール	4/29、5/30、8/30、 10/25、2/7	5	138
第18回リフレッシュ理科教室	8/7・8	2	190
地球教室	5/23・24、8/29・30、10/24・ 25、2/13・14	8	115
科学的な考え方を学び楽しむ化学(科学)実験室	7/11	1	24
放射線ウォッチング	7/28～31	4	59
夏休み親子写真教室	8/22・23	2	130
ワクワク実験隊「鉄の不思議教室」	8/4	1	78
その道の達人派遣事業			

行 事 名	期 間	日 数	参加者数
		日	人
①出前ものづくり工房	6月～3月	25	2,677
②出前サイエンスゼミナール	10月～2月	12	740
③トワイライト事業	5月～3月	7	321
名古屋少年少女発明クラブ			
①ものづくりコース			
(a)ものづくり工房	毎週土曜日、祝日、夏 休等の休日(4～3月)	40	4,728
(b)ものづくり教室	第3土曜日(8・3月を除 く)	10	270
②ロボットコース			
(a)ロボット工房 (会場：科学館及び吹上ホール)	毎週日曜日	20	478
(b)ロボット教室	第3日曜日(9月、12月 除く)	9	66
(c)夏休みロボット教室	8/18・19	2	19
(d)ロボットステップアップ講座	4月～12月、2月	17	299
ロボカップジュニア大会			
◎ロボカップジュニアなごやオープン	9/26	1	41
◎ロボカップジュニアなごや大会	9/27	1	60
◎ロボカップジュニア東海ブロック大会 (会場：愛知工業大学名電高等学校内)	12/12	1	68
③地球コース			
地球工房	毎週土・日曜日・祝日 (4～3月)	96	6,898
第42回「化石を語る」文化講演会	4/29	1	206
第14回ヒメボタルサミット in 愛知	4/25	1	52
第22回生きている地球の記録	7/26	1	169
科学創作コンクール	10/6～10/10	5	入館者対象
第59回日本学生科学賞愛知県展	10/20～10/24	5	入館者対象
青少年のための科学の祭典2015名古屋大会	10/3・4	2	4,084 (7,384) ()内はでんきの科学館含む
高校生による科学の祭典2015	1/24	1	500

行 事 名	期 間	日数	参加者数
スペシャル実演	4～3月	388	11,953
H-IIAロケット打上げパブリックビューイング	2/17	1	200
鉄道の日イベント	10/11	1	来館者
芸術と科学の杜連携 エントランスコンサート	7/25・26	2	来館者
特別投影	7/10	1	262
杜の駅@科学館	11/7・8	2	参加者
サイエンス&アートフェスティバル			のべ11,272
環境学習センター・科学館コラボ企画「エコパル なごや出張ワークショップ」	5/24、6/28、9/27、 10/25、11/22、12/20、 1/24、2/28、3/27	9	2,761

7 生涯学習センター、女性会館

(1) 生涯学習センター

生涯学習センターは、市民の誰もが気軽に利用できる学習、集会、軽スポーツのための総合社会教育施設である。その性格として現代的課題、なごや学、親学・青少年育成などの講座や市民が企画・運営する「なごやか市民教室」、講演会などの実施により市民の広範な学習要求に応えるとともに、市民が自主的に行う各種グループ活動に対してその求めに応じて、適切な指導、助言を与えるものである。また、市民の各種活動の場として施設の貸与も行っている。事業は以下の7つの柱のもとに行われている。

- a 幅広い層の市民のための講座の開設
- b 講演会等の開催
- c 市民の学習活動等の支援
- d 図書・記録・資料等の保管及び展示・活用
- e 生涯学習に関する情報の提供
- f 生涯学習のための相談
- g 各種社会教育活動に対する場の提供

また、平成12年4月には、区におけるまちづくり推進事業との連携を図りながら、より地域に密着した柔軟で幅広い事業を展開することを目指して、地域の総合行政機関である区役所に各区の生涯学習センターを編入した。

平成26年4月1日から中村、熱田及び名東生涯学習センターに指定管理者制度を導入し、3館とも公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会が指定管理者として管理運営している。

また、平成28年4月1日から指定管理者制度を導入する千種、東、北、西、中、昭和、瑞穂及び守山生涯学習センターについて指定管理者の募集を行い、東及び西生涯学習センターについてシンコーグループが、守山生涯学習センターについてホームックス株式会社が、他5館について公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会が指定管理者として選定された。

ア 生涯学習センター一覧

			千種 生涯学習センター	東 生涯学習センター	北 生涯学習センター	西 生涯学習センター
開館年月日			昭和50年4月	昭和56年6月	昭和59年6月	昭和60年7月
沿革			平成9年4月「社会教育センター」を「生涯学習センター」に名称変更 平成12年4月 各区生涯学習センターを各区役所に編入			
構造			鉄筋コンクリート 3階建	鉄筋コンクリート 3階建	鉄筋コンクリート 4階地下1階建	鉄筋コンクリート 3階建
敷地面積			3,766.00㎡	1,932.81㎡	1,960.98㎡	874.48㎡
延床面積			2,905.55㎡	2,399.47㎡	3,958.63㎡	2,391.38㎡
所在地			千種区振甫町3丁目34番地	東区葵一丁目3番21号	北区黒川本通2丁目16番地の3	西区浄心一丁目1番45号
休館日			第2水曜日、第4月曜日、 年末年始等		第2火曜日、 第4月曜日、 年末年始等	第2水曜日、 第4月曜日、 年末年始等
開館時間			午前9時～午後9時（日曜日、祝日は午前9時～午後5時）			
施設内容			集会室、和室、視聴覚室、美術室、料理室、体育室等			
26 年度 の 主 な 事 業	定期 講座数 (延回数)	前期 後期	9 (49) 7 (37)	8 (43) 8 (43)	9 (48) 8 (46)	9 (50) 7 (37)
		合計	16 (86)	16 (86)	17 (94)	16 (87)
	定期講座 受講者数	前期 後期	185 190	238 221	201 208	234 120
		合計	375	459	409	354
	特色ある 事業		・〈なごや学マイスター講座〉「あじさいマイスター」になってまちづくり！ ・千種区の地理・歴史から防災を考える ・〈なごや学〉地下鉄東山線・途中下車の旅 ・史跡散策事業 ・大学共催講座 ・ちくさ生涯学習まつり	・生涯学習まつり2015 ・〈なごや学〉古地図から探る東区・今昔 ・〈なごや学マイスター講座〉東区ご当地グルメを盛り上げよう ・〈なごや学マイスター講座〉東区の歩みを伝えるガイドの魅力	・手づくり絵本教室 ・北・パソコン広場 ・〈なごや学マイスター講座〉広げよう！北区のご当地グルメ ・〈なごや学〉名城公園の魅力を再発見 ・愛知学院大学連携講座 ・北生涯学習まつり	・西ふれあいまつり ・〈なごや学マイスター講座〉西区のまちの魅力を語り継いでいきませんか ・浄心寄席 ・〈なごや学〉名古屋の魅力 観光ルートバス「メーグル」で再発見！ ・親子で楽しむお菓子づくり

中 村 生涯学習センター	中 生涯学習センター	昭 和 生涯学習センター	瑞 穂 生涯学習センター	熱 田 生涯学習センター
昭和60年 6 月	昭和57年 6 月	昭和55年 6 月	昭和57年 6 月	昭和59年 6 月
平成 9 年 4 月 「社会教育センター」を「生涯学習センター」に名称変更 平成12年 4 月 各区生涯学習センターを各区役所に編入				
鉄筋コンクリート 3 階 建	鉄筋コンクリート 3 階 建	鉄筋コンクリート 3 階 建	鉄筋コンクリート 3 階 建	鉄筋コンクリート 2 階 建
2,683.46㎡	2,061.62㎡	2,548.76㎡	2,942.57㎡	3,797.6㎡
2,560.49㎡	2,372.27㎡	2,311.46㎡	2,397.47㎡	2,394.63㎡
中村区鳥居通 3 丁 目 1 番地の 3	中区橋一丁目 7 番 11号	昭和区石仏町 1 丁 目48番地	瑞穂区惣作町 2 丁 目27番地の 3	熱田区熱田西町 2 番13号
第 2 水曜日、 第 4 月曜日、 年末年始等	第 2 火曜日、 第 4 月曜日、 年末年始等	第 2 水曜日、 第 4 月曜日、 年末年始等	第 2 火曜日、 第 4 月曜日、 年末年始等	第 2 水曜日、 第 4 月曜日、 年末年始等
午前 9 時～午後 9 時（日曜日、祝日は午前 9 時～午後 5 時）				
集会室、和室、視聴覚室、美術室、料理室、体育室等				
8 (45) 7 (41)	9 (48) 7 (40)	9 (50) 7 (38)	9 (54) 8 (49)	8 (38) 8 (48)
15 (86)	16 (88)	16 (88)	17 (103)	16 (86)
147 198	179 126	207 183	153 195	204 144
345	305	390	348	348
・〈なごや学〉中村区ご当地グルメを作ろう ・〈なごや学マイスター講座〉中村区の魅力 発見！&発信！ ・キッズわくわくスクール ・おもちゃ図書館 ・子育て・ほっと・ひろば ・地域生涯学習まつり ・自主グループ春の発表会 ・中村ほっとサロン ・パソコン相談会	・地域に発信、中区ご当地グルメを広めよう ・中区の魅力を今に伝える！ ・尾張名古屋の本草学と医学・薬学 ・中区の文化と芸能を探る ・はじめてみませんか？多文化共生ボランティア ・なか・ぶんかまつり	・昭和生涯学習センターまつり ・里山ふれあい体験会 ・親子でつくろう！飾り巻き寿司 ・親子そば打ち道場 ・発見！川名公園 ・親子で歌おう☆夏のさわやかコンサート ・ニューイヤーコンサート ・子育てわいわいサロン ・自遊らんど ・スポーツ交歓会	・みずほ生涯学習センターまつり ・みずほこどもまつり ・おばけやしきをつくろう ・まるごと山崎川！ ・【名古屋女子大学・瑞穂区社会福祉協議会との共催】生き生きとした高年人生のために ・「さくらスイーツ」で、瑞穂区の魅力を伝えてみませんか	・熱田生涯学習まつり ・〈なごや学〉熱田の歴史探訪～埋蔵文化財からみる熱田～ ・〈なごや環境大学 共育講座〉熱田から発信する環境メッセージ ・歴史再発見「熱田の町を歩いてみよう」

中川 生涯学習センター	港 生涯学習センター	南 生涯学習センター	守山 生涯学習センター	緑 生涯学習センター
昭和53年 6 月	昭和54年 6 月	昭和58年 6 月	昭和51年 5 月	昭和52年 5 月
平成9年 4 月 「社会教育センター」を「生涯学習センター」に名称変更 平成12年 4 月 各区生涯学習センターを各区役所に編入				
鉄筋コンクリート 3 階 建	鉄筋コンクリート 3 階 建	鉄筋コンクリート 2 階 建	鉄筋コンクリート 3 階 建	鉄筋コンクリート 3 階 建
2,057.92㎡	2,223.41㎡	3,573.74㎡	3,818.87㎡	2,330.08㎡
2,074.24㎡	2,299.90㎡	2,386.26㎡	2,993.29㎡	2,094.71㎡
中川区富川町1丁目 2番地の12	港区港陽一丁目10 番18号	南区東又兵衛町5 丁目1番地の10	守山区守山三丁目 2番6号	緑区鳴海町字本町 54番地
第2水曜日、 第4月曜日、 年末年始等	第2火曜日、 第4月曜日、 年末年始等	第2水曜日、 第4月曜日、 年末年始等	第2火曜日、第4月曜日、 年末年始等	

午前9時～午後9時（日曜日、祝日は午前9時～午後5時）

集会室、和室、視聴覚室、美術室、料理室、和洋裁室（守山生涯学習センターのみ）、体育室等

8 (47) 8 (44)	9 (54) 8 (41)	8 (43) 7 (40)	8 (44) 8 (45)	9 (49) 8 (44)
16 (91)	17 (95)	15 (83)	16 (89)	17 (93)
162 131	195 182	191 109	194 207	159 177
293	377	300	401	336
・〈なごや学マイスター講座〉槍の又左、前田利家マイスター ・〈なごや学〉ミニトマトのご当地グルメで地産地消 ・〈なごや学〉名古屋最多の歴史的界隈を有する中川区 ・大人も子どもも楽しめるプチジャズコンサート ・中川生涯学習センターまつり	・みなとふれあいウオーク ・〈なごや学〉ミナトグルメ誕生！ ・〈なごや学マイスター講座〉名古屋港の魅力発見！ ・自主学習グループによる家庭の日事業・あそびの広場 ・みんなで楽しく国際交流！～ブラジルのお菓子を作って、遊ぼう～ ・港生涯学習センター文化祭	・〈トライアルサマー〉ものづくり工房教室～祭りに出てくる狸々作り体験 ・中国帰国者日本語教室「みなみ文化日本語教室」 ・おもちゃの無料修理 ・〈なごや学マイスター講座〉南区の歴史散策モデルコースをガイドしよう！ ・「みなびィ」ふれあいまつり	・〈なごや学〉蓬萊七福神をめぐる～守山のええとこを堪能する～ ・〈なごや環境大学共育講座〉水から考える守山の環境！～川、池、湿地の豊かな自然を伝えたい～ ・〈なごや学マイスター講座〉歴史の里マイスター養成講座～志段味古墳群「歴史の里」の魅力を発信！～ ・守山生涯学習まつり	・〈なごや学〉有松学入門～絞りと歴史のまちの魅力を再発見～ ・〈なごや学マイスター講座〉あなたから始まるステキなまちづくり～いっしょにつくろう！花と緑あふれるまち～ ・〈親学関連講座〉どんな子育て～親子で育つ学び～ ・パソコン体験教室 ・緑生涯学習センターまつり

緑生涯学習センター 上汐田教育集会所	名 東 生涯学習センター	天 白 生涯学習センター
昭和60年 5 月	昭和55年 6 月	昭和56年 6 月
平成12年 4 月 緑生涯学習 センターの分館となり区役 所に編入	平成 9 年 生涯学習センターに名称変更 平成12年 各区役所に編入	
鉄 骨 造 2 階 建	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 2 階 建	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 2 階 建
187.78㎡	3,691.52㎡	7,393.70㎡
155.14㎡	2,213.61㎡	2,349.93㎡
緑区鳴海町字上汐田 447番地	名東区社が丘三丁目 802番地	天白区天白町島田 黒石4050番地
月曜日、祝日、 年末年始等	第 2 火曜日、第 4 月曜日、 年末年始等	
午前 9 時 ～午後 9 時	午前 9 時～午後 9 時 (日曜日、祝日は午前 9 時～午後 5 時)	
集会室、和室、 談話室	集会室、和室、視聴覚室、美術室、 料理室、体育室等	
5 (33) 5 (31)	8 (44) 8 (45)	9 (48) 7 (39)
10 (64)	16 (89)	16 (87)
47 51	216 159	226 186
98	375	412
・人権週間記念行事 ・社会見学 ・子ども卓球教室 ・健康相談 ・自動車図書館	・ふれあい生涯学習ま つり ・ふれあいサロンコン サート ・名東っ子遊びの広場 ・「家庭の日」親子ス ポーツ教室 ・〈なごや学マイス ター講座〉甲冑隊で勝 家のふるさと 名 東区を発信しよう ！ ・〈なごや学〉なごや の名木・古木を訪ね て～美観風致を求 め、中村から名東へ ～	・天白生涯学習セン ターまつり ・スポーツ交流会 ・大学との共催事業 ・〈なごや学マイス ター講座〉守り伝 えたい 天白の歴 史 ・〈なごや学〉地元 の特産物のおいし い話 ・天白テニユア講座 ・天白お楽しみサロ ン ・パソコン体験&相 談室

イ 利用状況（平成27年度）

	利 用 件 数				利 用 者 数				左のうち 主催事業の 参加者数
	集会室等	体育室	館外等	計	集会室等	体育室	館外等	計	
千種生涯学習 センター	3,948	1,748	30	5,726	50,606	38,969	1,782	91,357	10,733
東生涯学習 センター	5,347	884	17	6,248	65,841	24,228	3,362	93,431	7,501
北生涯学習 センター	6,223	911	109	7,243	85,851	29,551	6,254	121,656	7,831
西生涯学習 センター	4,401	905	258	5,564	54,284	29,099	3,572	86,955	3,767
中村生涯学習 センター	4,254	944	312	5,510	57,137	31,162	3,820	92,119	10,984
中生涯学習 センター	4,563	882	12	5,457	57,021	24,986	819	82,826	7,628
昭和生涯学 習センター	3,842	916	30	4,788	50,325	27,646	3,131	81,102	10,014
瑞穂生涯学 習センター	4,204	919	109	5,232	54,678	27,260	4,284	86,222	18,064
熱田生涯学習 センター	2,841	927	111	3,879	39,486	27,744	2,012	69,242	5,501
中川生涯学習 センター	2,713	840	21	3,574	33,511	14,346	2,713	50,570	2,483
港生涯学習 センター	2,456	879	19	3,354	31,574	20,527	3,743	55,844	8,658
南生涯学習 センター	4,117	923	24	5,064	55,439	24,424	3,503	83,366	12,179
守山生涯学習 センター	5,226	865	27	6,118	64,538	18,321	497	83,356	6,771
緑生涯学習 センター	3,585	888	15	4,488	59,356	20,894	2,306	82,556	8,621
名東生涯学習 センター	3,169	916	424	4,509	49,617	28,794	4,658	83,069	11,523
天白生涯学習 センター	3,434	925	270	4,629	56,226	28,620	5,049	89,895	11,452
上 汐 田 教育集会所	416	-	10	426	2,728	-	290	3,018	1,094
計	64,739	15,272	1,798	81,809	868,218	416,571	51,795	1,336,584	144,804

(2) 女性会館

ア 概 要

沿革	女性教育の振興を図ることを目的に、女性教育の専門施設として設置された社会教育施設である。その性格は、「女性の学習・交流・情報の拠点」として位置づけられ、女性教育のセンター的役割を果たすものとして、大井プール跡地に、昭和53年7月19日婦人会館として開館した。 平成3年5月女性情報センターの開設に伴い、女性会館と改称した。 平成26年4月1日から男女平等参画推進センターが女性会館に移設され、アイ・コニックスグループが指定管理者として、両施設を一体的に管理運営している。
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階・地上4階建
敷地面積	3,380.34㎡
延床面積	5,826.67㎡
所在地	名古屋市中区大井町7番25号
休館日	第3木曜日、年末年始（12月29日～1月3日）
開館時間	午前9時～午後9時（日曜・祝休日は午後5時まで） ただし、図書資料室は午前9時30分～午後8時30分（日曜・祝休日は午後4時30分まで）

	部 屋 名			面積（㎡）	定員（人）	部 屋 名			面積（㎡）	定員（人）
	大	中	小			第1	第2	生活科学研修室		
施設内容	大	中	小	97.40	42	第1	第2	生活科学研修室	97.00	18
	大	中	小	49.80	24	第1	第2	生活科学研修室	87.00	54
	大	中	小	29.88	12	第1	第2	生活科学研修室	144.60	126
	大	中	小	141.60	150	第1	第2	生活科学研修室	117.00	50
	大	中	小	70.80	54	第1	第2	生活科学研修室	76.48	30
	大	中	小	70.80	54	第1	第2	生活科学研修室	350.00	350
	大	中	小	29.88	12	第1	第2	生活科学研修室	86.96	—
	大	中	小	32.00	15	第1	第2	生活科学研修室	13.70	—
	大	中	小	21.39	8	第1	第2	生活科学研修室	29.96	—
	大	中	小	33.62	12	第1	第2	生活科学研修室	163.18	—
	大	中	小	70.25	32	第1	第2	生活科学研修室	18.52	—
	大	中	小	51.41	36	第1	第2	生活科学研修室		
	大	中	小	37.99	22	第1	第2	生活科学研修室		
	大	中	小	31.26	12	第1	第2	生活科学研修室		
	大	中	小	94.40	63	第1	第2	生活科学研修室		

イ 平成27年度事業内容

事業名		内 容
学習機会提供事業	講座・講演会等	女性の主体的な学習を支援するため、女性の課題に対応した学習の機会を提供した。「女性の生き方・エンパワーメント」「現代的課題」「社会参画」「子育て」を4本柱として講座を開設したほか、講演会・デートDV出前講座を実施。 15講座 学習者数269人 26講演会・デートDV出前講座6,576人
	なごや女性カレッジ	大学等の高等教育機関と連携して、女性の学習機会を提供することにより、女性の生涯学習及びリーダーとしての資質の向上を図るため実施。平成27年度は相山女学園大学と共催し、女性会館で実施（託児付）。 学習者数14人
	託児	女性の学習、交流を支援するため、主催講座を中心に託児事業を実施。 講座託児・講演会託児・学習支援託児 88回 託児数695人 託児室交流会 4回 託児数59人 託児ボランティア研修会 5回 学習者数103人
グループ活動支援事業		自主的な学習活動・文化活動・ボランティア活動をしているグループを支援するため、研修会、交流会等を開催。日常活動の発表と市民の交流の場として、イーブルなごや・フェスティバル2015を開催。
学習相談事業		女性の学習課題解決に向けて、適切な情報を提供するとともに、自ら学び、情報収集できるよう学習相談を行った。相談件数 59件
情報収集提供事業		女性の学習に必要な図書・資料の収集・提供を行った。 図書資料室の運営 貸出利用者数 延べ1077人 貸出利用冊数 2688冊

ウ 平成27年度利用状況

区分	大会議室	中会議室	小会議室	大研修室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	第5研修室	第6研修室
利用件数	664	738	714	755	705	640	747	736	784	749
利用者数	13,721	8,686	4,639	22,322	14,284	12,414	4,360	5,447	3,755	4,186

区分	第7研修室	多目的室	文化活動室	第1集会室	第2集会室	第3集会室	第4集会室	ホール	第1和室	第2和室
利用件数	753	868	822	708	709	772	707	355	647	525
利用者数	8,790	8,807	15,124	9,421	6,897	4,377	13,573	44,108	3,298	2,777

区分	生活科学 研修室	視聴覚室	託児室	合計
利用件数	519	609	510	15,736
利用者数	6,402	25,889	5,337	248,614

8 スポーツ施設

平成17年4月1日から冷水プールに指定管理者制度を導入。その他のスポーツ施設においては、平成18年4月1日から導入。

(1) 名古屋市総合体育館（日本ガイシ スポーツプラザ）

沿 革	昭和60年4月に着工し、昭和62年3月竣工。開館昭和62年7月19日 平成4年4月、レインボープール（日本ガイシアリーナ）等を増築、開館 平成19年4月にネーミングライツを導入。
指 定 管 理 者	名古屋市総合体育館NK共同事業体
構 造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階・地上3階建
敷 地 面 積	116,708.01㎡
延 床 面 積	48,902.38㎡ 日本ガイシホール 13,399.70㎡ 第3競技場 1,552.86㎡ 50m温水プール 3,560.22㎡ 共用棟 3,051.45㎡ ガイシフォーラム棟 4,003.31㎡ 第2競技場 5,816.49㎡ 日本ガイシアリーナ 14,547.11㎡ 弓道場 1,466.13㎡ 宿泊研修棟 1,505.11㎡
所 在 地	名古屋市南区東又兵衛町5丁目1番地の16
基 本 開 館 時 間	午前9時から午後9時（ただし、選手控室兼軽運動室及び飛込練習室の日曜日及び祝日は午後6時、日本ガイシアリーナ、50m温水プール及び25m温水プールの専用使用時の日曜日及び祝日は午後5時、弓道場の日曜日及び祝日は午後4時30分） また、日本ガイシアリーナ、50m温水プール、25m温水プールの個人使用及びトレーニング室は午前10時から午後8時30分（日曜日及び祝日は午後6時）、宿泊研修室は午前0時（1月4日は午前9時）から午後12時（12月28日は午前9時）、駐車場は午前8時45分から午後9時30分
基本休館日	毎月第3月曜日（祝日の場合第4月曜日。ただし、日本ガイシアリーナ、50m温水プール、25m温水プール、弓道場及びトレーニング室は、祝日を除く毎週月曜日）、また、競泳プール・飛込プールは10月1日から翌年4月30日、日本ガイシアリーナアイスリンクは4月1日から10月31日、年末年始（12月29日～1月3日）
施 設 内 容	日本ガイシホール 3,646㎡（49.4×84.4m） 観覧席 10,000席 第2競技場 1,638㎡（36×45.5m） 観覧席 480席 第3競技場（格技場－柔道、剣道各4面）826.5㎡ 観覧席 200席 日本ガイシアリーナ（温度調節付） ┌競泳プール（夏季）50m 10コース 観覧席 3,500席 └飛込プール 25×25m ┌日本ガイシアリーナアイスリンク（冬季）60×30m 50m温水プール 50m 8コース 観覧席 244席 25m温水プール 25m 6コース（他に幼児用1コース） アーチェリー場 長さ90m×幅30m 弓道場 近的 12人立 遠的 8人立 トレーニング室 468㎡ その他 会議室・飛込練習室・幼児室・スポーツ健康相談室・宿泊研修室・選手控室兼軽運動室・レセプションホール・研修室・和室

〈平成27年度利用状況〉

施設名 区 別	専 用 利 用		個人利用
	件 数	人 数	人 数
日 本 ガ イ シ ホ ー ル	106 (内、貴賓室26)	1,233,237 (内、貴賓室520)	—
第 2 競 技 場	945	216,208	—
第 3 競 技 場	975	61,067	628
ア ー チ ョ ー リ ー 場	108	3,689	7,136
会 議 室 (Ⅰ)	205	4,095	—
競 泳 プ ー ル	250	72,282	3,370
飛 込 プ ー ル	86	18,241	2,187
日 本 ガ イ シ ア リ ー ナ ア イ ス リ ン ク	259	32,866	9,462
5 0 m 温 水 プ ー ル	1,139	44,872	42,776
2 5 m 温 水 プ ー ル	83	3,090	37,422
弓 道 場	269	57,018	9,943
会 議 室 (Ⅱ)	365	9,985	—
飛 込 練 習 室	101	765	—
選 手 控 室 兼 軽 運 動 室	861	29,999	—
宿 泊 研 修 室	186	4,254	—
レセプションホール	198	55,980	—
研 修 室	1,111	36,607	—
和 室	242	5,987	—
ト レ ー ニ ン グ 室	—	—	100,465
計	7,515	1,890,242	213,389

(2) 名古屋市体育館

沿 革	昭和25年開館の金山体育館が前身(昭和39年4月1日に総務局から教育委員会に移管)。市民会館建設のため取りこわし、昭和44年8月1日開館。		
指 定 管 理 者	シンコースポーツ株式会社		
構 造	鉄筋コンクリート造2階建		
敷 地 面 積	5,386.6㎡		
延 床 面 積	4,330㎡		
所 在 地	名古屋市熱田区六野二丁目5番3号		
基 本 開 館 時 間	午前9時から午後9時(第2及び第4日曜日を除く日曜日並びに祝日は午後6時)		
基本休館日	毎週月曜日(祝休日は開館)、年末年始(12月29日～1月3日)		
施 設 内 容	競技場 1,620㎡(36×45m) 観覧席 908席		
平成27年度 利 用 状 況	競技場 専用	1,308件	67,148人
	会議室 専用	220件	3,014人

(3) 名古屋市港サッカー場

沿 革	平成5年3月竣工、平成5年9月開館		
指 定 管 理 者	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会		
構 造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造		
敷 地 面 積	36,722㎡	所 在 地	港区野跡四丁目11番12号
開 場 時 間	4月から10月は午前9時から午後8時30分、11月から3月は午前9時から午後4時30分		
休 場 日	毎週月曜日(祝休日は開場)、年末年始(12月29日～1月3日)		
施 設 内 容	サッカー場(20,000人収容)、会 議 室		
平成27年度 利 用 状 況	競技場 専用	161件	45,417人
	会議室 専用	55件	2,529人

（４）瑞穂運動場（パロマ瑞穂スポーツパーク）

瑞穂運動場（パロマ瑞穂スポーツパーク）は、本市の中心部からおよそ7.5km離れた東南部に位置し、都市公園として緑豊かな自然に恵まれた総面積24.348haの総合運動公園（瑞穂公園）の中にあり、'94「わかしゃち国体」のメイン会場にもなった陸上競技場を始め、ラグビー場、野球場、テニスコート、相撲場、弓道場、アーチェリー場、屋内・屋外プール、トレーニング室、宿泊研修室などの各種スポーツ施設が設置されている。これらの施設は身近な生活圏におけるスポーツ施設として利用される一方、全国的・国際的競技大会の開催が可能な拠点施設としても重要な役割を担っている。また、平成27年4月にネーミングライツ（命名権）を導入した。

<瑞穂運動場の施設内容>

施設名	所在地	敷 地	竣工年月	施 設 内 容
パロマ瑞穂 スタジアム (陸上 競技場) (第一種 公認) (IAAFクラ ス2公認)	瑞穂区 山下通 5-1	33,386.88㎡	昭和16年2月 平成6年5月 (改修)	○トラック 1周400m 8コース 全天候舗装 3000m障害物競走用トラック ○フィールド 走幅跳、三段跳施設6面 棒高跳施設6カ所 走高跳施設6カ所 槍投施設2面 砲丸投施設3カ所 円盤投、ハンマー投施設2面 ○芝生フィールド 天然芝(ティフトン芝・冬芝(ライグラス類) オーバーシーディング) 106m×71m
北陸上 競技場 (第三種 公認)	瑞穂区 萩山町 3-68 -1	19,820.82㎡	昭和25年10月 平成5年5月 (改築)	○トラック 1周400m 8コース全天候舗装 ○フィールド(走高跳、走幅跳、棒高跳、 槍投、砲丸投、円盤投、三段跳、ハンマー投) ○芝生フィールド 天然芝(高麗芝) 102m×69m
田辺陸上 競技場	瑞穂区 田辺通 3-2	7,541.31㎡	昭和54年3月 平成6年6月 (改修)	○ソフトボール等多目的運動広場
レクリエ ーション 広 場	瑞穂区 萩山町 4-1	11,326.71㎡	平成6年5月	○トラック 1周300m (6コース可能)
ラグビー 場	瑞穂区 山下通 5-4	26,000㎡	昭和25年10月 平成2年3月 (改築)	○フィールド 天然芝(ティフトン芝・冬芝(ライグラス類)オ ーバーシーディング) 135m×80m
ラグビー 練習場	〃	2,400㎡	平成6年5月	砂入人工芝(60m×40m)

収 容 人 員	附 属 設 備 等	平成27年度利用状況
メインスタンド 9,000人 身 障 者 席 50人 バックスタンド 18,000人	◦大型映像装置 ◦照明塔 6 基 夜間照明設備 1,500LX (1 階) 本部室、記録室、放送室、審判員室、役員室、報道関係者室、医務室、更衣室、シャワー室など (2 階) 会議室、観覧席、身障者用観覧席、練習走路など (3 階) 貴賓席、売店、観覧席など (スタンド階) 写真判定室、放送室、指令室など	専用 144件 444,330人 会議室 66件 2,880人
メインスタンド 1,500人 身障者席 10人 芝生スタンド 1,500人	観覧席 (コンクリート造、一部芝生) ◦電光掲示板 (磁気反転式) ◦本部室、役員室、更衣室など	専用 187件 186,020人 個人 26,058人
		専用 255件 14,940人
芝生スタンド 600人		専用 102件 105,810人
メインスタンド 6,500人 バックスタンド 5,400人 サイドスタンド 3,100人 身障者席 18人	観覧席 (コンクリート造、一部芝生) ◦更衣室、シャワー室、会議室など ◦大型映像装置 サッカー・アメリカンフットボール競技併用 夜間照明設備 500LX	専用 166件 151,690人 会議室 143件 3010人
		専用 359件 21,880人

施設名	所在地	敷 地	竣工年月	施 設 内 容
野 球 場	瑞穂区 豊岡通 3-28	26,079.41㎡	昭和32年6月 平成3年3月 (改築)	両翼99.1m中堅122m 舗装材 内外野ロングパイル人工芝
相 撲 場	瑞穂区 萩山町 3-68 -1	延床面積 170.82㎡	昭和49年3月 平成5年5月 (改築)	屋形付土俵 1面
弓 道 場	〃	※	昭和37年3月 平成5年5月 (改築)	近的 10人立 28m
アーチェ リー 場	〃	※	昭和43年10月 平成5年5月 (改築)	30m 50m 10人立
テ ニ ス ト コ ー ト	瑞穂区 田辺通 4-5	9,035.82㎡	昭和45年1月 (3面増設:54年3月) 平成7年6月 (改築)	硬式・軟式両用コート9面 (砂入人工芝コート)
プ ー ル	瑞穂区 萩山町 3-68 -1	※	練 習 昭和40年7月 平成5年5月 (改築) 屋 内 昭和42年6月 平成5年5月 (改築)	○練習プール(冷水) 25m×7コース 学童用、幼児用 ○屋内プール(温水) 25m×5コース 25m×1コース(学童用) 10m×5m(幼児用)
ト レ ー ニ ン グ 室	〃	※	昭和42年6月 平成5年5月 (改築)	427㎡
宿 泊 研 修 室	〃	※	平成5年5月	和室10畳×10室 20畳×2室 計定員70人

注 ※の合計は、23,003.36㎡

収 容 人 員	附 属 設 備 等	平成27年度利用状況
内野スタンド 6,000人 外野芝生スタンド 12,600人	観覧席（内野鉄筋コンクリート造2階建外野芝生） 会議室、本部席、記者席、放送室、審判控室、スコア ボード、ダッグアウトなど 夜間照明設備 内野1,000LX 外野500LX バッテリー間 1,500LX	専用 404件 161,605人 会議室 7件 168人
スタンド 255人	練習場、更衣室	専用 13件 1,471人
	更衣室、師範席 夜間照明設備	専用 147件 4,684人 個人 6,979人
	更衣室 夜間照明設備	専用 141件 4,551人 個人 5,113人
スタンド 1,000人	更衣室 夜間照明設備 300LX	専用 8,530件 80,060人 会議室 60件 868人
		屋外練習プール 専用 0件 0人 個人 19,360人 屋内プール 専用 104件 9,575人 個人 54,814人
		97,725人
	ミーティングルーム 浴室、洗濯室	宿泊研修室 140件 3,313人

(5) スポーツセンター

施設名 区分	露 橋 スポーツセンター	枇杷島 スポーツセンター	稲 永 スポーツセンター	天 白 スポーツセンター
開館年月日	昭和57年6月11日	昭和62年4月24日	平成元年7月11日	平成2年7月17日
指定管理者	公益財団法人名古屋 市教育スポーツ協会	公益財団法人名古屋 市教育スポーツ協会	公益財団法人名古屋 市教育スポーツ協会	愛知スイミング・大成 共同事業体
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート 造 地上3階地下1階 建	鉄骨鉄筋コンクリート造、 公営住宅棟の1・2階部分 体育館棟3階建	鉄骨鉄筋コンクリート 造2階建	鉄骨鉄筋コンクリート 造4階建
敷地面積	5,170.53㎡	14,213.43㎡	26,000㎡	8,145.37㎡
延床面積	9,672.30㎡	9,783.13㎡	9,792.91㎡	9,793.91㎡
所在地	中川区露橋二丁目14-1	西区枇杷島一丁目1-2	港区野跡五丁目1-10	天白区植田三丁目1502
基 本 開 館 時 間	午前9時から午後9時(第2及び第4日曜日を除く日曜日並びに祝日は午後6時) また、プール・ トレーニング室は午前10時から午後8時30分(日曜日及び祝日は午後6時)			
基本休館日	金曜日(祝日を除く)、 年末年始	金曜日(祝日を除く)、 年末年始	月曜日(祝日を除 く)、年末年始	金曜日(祝日を除く)、 年末年始
施 設 内 容	競技場 45×36m 観覧席 1,326席 柔道場497㎡(2面) 観覧席 105席 剣道場 497㎡(2面) 観覧席 105席 トレーニング室 249㎡ 屋内プール温水 25m 4コース (他に幼児用1コース)	第1競技場 45×36m 観覧席 1,750席 第2競技場 (格技場) 525㎡ 観覧席 104席 トレーニング室 348㎡ 屋内プール温水25m 6 コース(他に幼児用1 コース) 軽運動室 305㎡ 弓道練習場(近的)6人 立	第1競技場 46.5×35.5m 観覧席 3,441席 第2競技場 33.5×23m 観覧席 144席 トレーニング室 427㎡ 軽運動室 353㎡ 弓道練習場(近的)6 人立	第1競技場 36×45m 観覧席 1,252席 第2競技場 33×15.5m 観覧席 104席 トレーニング室 384㎡ 屋内プール温水 25m 5コース (他に学童用1コース・ 幼児用50㎡) 軽運動室 252㎡ 弓道練習場(近的)6人 立
平成27年度 利 用 状 況	競技場 専用1,180件 70,571人 柔道場 専用 303件 18,431人 個人 12,028人 剣道場 専用 576件 22,695人 個人 2,779人 トレーニング室 個人 74,690人 屋内プール 専用 102件 2,744人 個人 32,852人 会議室 専用 409件 8,637人	第1競技場 専用1,142件 96,025人 第2競技場 専用 664件 33,492人 個人 3,327人 トレーニング室 個人 74,536人 屋内プール 専用 89件 3,924人 個人 47,000人 軽運動室 専用 2,261件 17,375人 弓道練習場 専用 15件 308人 個人 2,836人 会議室 専用 587件 11,658人	第1競技場 専用 791件 85,933人 第2競技場 専用 923件 28,807人 トレーニング室 個人 73,573人 軽運動室 専用1,531件28,745人 弓道練習場 専用 39件 581人 個人 4,199人 会議室 専用 476件 10,584人	第1競技場 専用 1,380件 73,077人 第2競技場 専用1,266件 37,654人 トレーニング室 個人 98,095人 屋内プール 専用 551件 18,629人 個人 73,573人 軽運動室 専用1,901件 25,279人 弓道練習場 専用 22件 477人 個人 5,753人 会議室 専用1,374件 20,095人

緑 スポーツセンター	北 スポーツセンター	中 村 スポーツセンター	名 東 スポーツセンター
平成4年7月17日	平成4年7月23日	平成6年7月20日	平成9年10月7日
株式会社 J P N	公益財団法人名古屋市 教育スポーツ協会	公益財団法人名古屋市教 育スポーツ協会	公益財団法人名古屋市教 育スポーツ協会
鉄骨鉄筋コンクリート 造 地上2階・地下1階	鉄骨鉄筋コンクリート 造3階建	鉄骨鉄筋コンクリート 造 地上3階・地下1階	鉄骨鉄筋コンクリート 造(一部鉄骨造) 3階建
13,011.75㎡	12,591.93㎡	10,365.44㎡	12,408.06㎡
9,799.44㎡	9,714.79㎡	9,796.58㎡	14,312.88㎡
緑区相原郷一丁目2901	北区成願寺一丁目6-12	中村区中村町字待屋43-1	名東区猪高町大字高針字勢子坊 307番地の12

午前9時から午後9時（第2及び第4日曜日を除く日曜日並びに祝日は午後6時）また、プール・トレーニング室は午前10時から午後8時30分（日曜日及び祝日は午後6時）

月曜日（祝日を除く）、 年末年始	金曜日（祝日を除く）、 年末年始	月曜日（祝日を除く）、 年末年始	月曜日（祝日を除く）、 年末年始
第1競技場 36×45m 観覧席 1,123席 第2競技場 35×15m 観覧席 177席 トレーニング室 402㎡ 屋内プール温水 25m 6コース (他に学童用1コース・幼児 用 50㎡) 軽運動室 265㎡ 弓道練習場(近的) 6人立	第1競技場 36×45m 観覧席 1,118席 第2競技場 35×15m 観覧席 100席 トレーニング室 395㎡ 屋内プール温水 25m 6コース (他に学童用1コース・幼児 用 50㎡) 軽運動室 228㎡ 弓道練習場(近的) 6人立	第1競技場 36×45m 観覧席 1,268席 第2競技場 33×15m 観覧席 100席 トレーニング室 400㎡ 屋内プール温水 25m 6コース (他に学童用 60㎡・幼児用 45㎡) 軽運動室 240㎡ 弓道練習場(近的) 6人立	第1競技場 36×45m 観覧席 1,196席 第2競技場 34×17.2m 観覧席 102席 トレーニング室 326㎡ 屋内プール温水 25m 6コース (他に学童用1コース・幼児 用 50㎡) 軽運動室 264㎡
第1競技場 専用 1,520件 58,817人 第2競技場 専用 855件 27,627人 個人 697人 トレーニング室 個人 97,552人 屋内プール 専用 206件 6,448人 個人 78,299人 軽運動室 専用 1,814件 20,742人 弓道練習場 専用 21件 463人 個人 5,496人 会議室 専用 291件 4,340人	第1競技場 専用 1,317件 56,353人 第2競技場 専用 776件 22,528人 個人 1,017人 トレーニング室 個人 69,070人 屋内プール 専用 137件 5,108人 個人 65,689人 軽運動室 専用 2,328件 13,263人 弓道練習場 専用 25件 486人 個人 1,679人 会議室 専用 298件 4,729人	第1競技場 専用 1,217件 96,403人 第2競技場 専用 635件 29,021人 個人 1,687人 トレーニング室 個人 88,832人 屋内プール 専用 106件 3,614人 個人 73,107人 軽運動室 専用 1,879件 23,862人 弓道練習場 専用 11件 298人 個人 5,238人 会議室 専用 624件 11,030人	第1競技場 専用 1,429件 89,893人 第2競技場 専用 1,311件 35,204人 トレーニング室 個人 75,244人 屋内プール 専用 90件 1,823人 個人 65,969人 軽運動室 専用 2,063件 24,071人 会議室 専用 341件 4,977人

千 種 スポーツセンター	中 スポーツセンター	東 スポーツセンター	昭 和 スポーツセンター	守 山 スポーツセンター
平成10年 7 月15日	平成13年 7 月11日	平成14年11月 1 日	平成14年 2 月18日	平成22年12月 1 日
株式会社 J P N	公益財団法人名古屋 市教育スポーツ 協会	株式会社 J P N	愛知スイミング・大 成共同事業体	守山エス・アンド・ エス株式会社
鉄骨鉄筋コンクリー ト造 4 階建	鉄骨鉄筋コンクリー ト造（一部鉄骨造） 地上 4 階地下 1 階建	鉄骨鉄筋コンクリー ト、鉄骨造 地上 5 階地下 1 階建	鉄骨鉄筋コンクリー ト造（一部鉄骨造） 地上 3 階建	鉄骨鉄筋コンクリー ト造（一部鉄骨造） 地上 3 階建
7,646.47㎡	3,221.72㎡	10,639.47㎡	8,290.69㎡	11,660.81㎡
9,799.13㎡	8,335㎡	10,196.70㎡	8,733.44㎡	10,386.13㎡
千種区星が丘山手121	中区栄一丁目30-10	東区大幸南一丁目 1-10	昭和区吹上二丁目 6-15	守山区竜泉寺二丁目 112
午前9時から午後9時（第2及び第4日曜日を除く日曜日並びに祝日は午後6時）また、プール・トレーニング 室は午前10時から午後8時30分（日曜日及び祝日は午後6時）				
金曜日（祝日を除く）、 年末年始	月曜日（祝日を除 く）、年末年始	月曜日（祝日を除 く）、年末年始	金曜日（祝日を除 く）、年末年始	金曜日（祝日を除 く）、年末年始
第1 競技場 36×45m 観覧席 1,136席 第2 競技場 32×15.5m 観覧席 104席 トレーニング室 349㎡ 屋内プール温水 25m 6 コース （他に学童用1コース・ 幼児用 35㎡） 軽運動室 246㎡ アーチェリー練習場 （30m） 6 人立	第1 競技場 31.5×36.5m 観覧席 498席 第2 競技場 15×28m 観覧席 72席 トレーニング室 440㎡ 屋内プール温水 25m 4 コース （他に学童用1コース・ 幼児用・ジャグジー） 軽運動室 270㎡	第1 競技場 36×45m 観覧席 981席 第2 競技場31×15.4m 観覧席94席 トレーニング室 380㎡ 屋内プール温水25m 5 コース（他に学童用1コース・ 歩行用1コース・幼児用50 ㎡） 軽運動室 215㎡ 弓道練習場（近的） 6 人立 スポーツ広場 3×3バスケット1 面	第1 競技場 36×34m 観覧席 512席 第2 競技場 31.8×14.9m 観覧席 103席 トレーニング室 347㎡ 屋内プール温水 25m 5 コース （他に学童用1 コー ス・歩行用1コース・ 幼児用） 軽運動室 229㎡	第1 競技場 44.8×34.5m 観覧席 1259席 （内車椅子4席） 第2 競技場 30×17m 観覧席 106席 （内車椅子2席） トレーニング室 343㎡ 屋内プール温水 25m 5 コース （他に学童用1 コー ス・幼児用） 軽運動室 282㎡ 屋外フットサルコート（民間設 置施設） 25×15m
第1 競技場 専用 1,224件 97,385人 第2 競技場 専用 857件 54,421人 個人 2,974人 トレーニング室 個人 90,705人 屋内プール 専用 227件10,610人 個人 83,822人 軽運動室 専用 2,033件 20,353人 アーチェリー練習場 専用 44件 1,025人 個人 2,781人 会議室 専用 739件 8,931人	第1 競技場 専用 1,290件 45,987人 第2 競技場 専用 1,170件 28,095人 トレーニング室 個人 99,733人 屋内プール 専用 59件 1,295人 個人 55,857人 軽運動室 専用 1,925件 20,369人 軽運動室兼会議室 専用 2,819件 12,477人 会議室 専用 1,014件 12,837人	第1 競技場 専用 1,295件 100,397人 第2 競技場 専用 810件 37,051人 個人 3,663人 トレーニング室 個人 105,938人 屋内プール 専用495件14,556人 個人 86,981人 軽運動室 専用2,107件18,714人 会議室 専用 829件 18,424人 弓道練習場 専用 82件 1,293人 個人 8,086人 スポーツ広場 1,266件 3,794人	第1 競技場 専用 1,152件 49,948人 第2 競技場 専用 1,138件 41,356人 トレーニング室 個人 100,941人 屋内プール 専用 155件 9,189人 個人 79,239人 軽運動室 専用 2,412件 15,463人 会議室 専用 735件 8,777人	第1 競技場 専用1,523件59,982人 第2 競技場 専用 1,193件 30,742人 トレーニング室 個人 78,688人 屋内プール 専用 219件5,686人 個人 69,404人 軽運動室 専用 2,429件 20,173人 会議室 専用 428件 5,916人 屋外フットサルコート（民間設 置施設） 507件 3,942人

(6) 名古屋市名城庭球場

開設年月日	昭和41年4月1日	所在地	北区名城一丁目3-3
指定管理者	名古屋ローンテニス倶楽部	敷地面積	17,662㎡
構造	アンツーカー		
基本開場時間	4月から9月は午前6時から午前8時及び午前9時から午後9時、10月は午前9時から午後9時、11月から1月は午前9時から午後4時、2月及び3月は午前9時から午後5時	基本休場日	毎月第2月曜日（祝・休日の場合は第3月曜日）及び年末年始（12月29日から1月3日）。ただし、4月から9月の午前6時から午前8時については毎週月曜日
施設内容	観覧席付コート1面、その他のコート14面（全面夜間照明設備）		
平成27年度利用状況	専用 15,939件 89,073人		

(7) 名古屋市黒川スポーツトレーニングセンター

開設年月日	平成9年9月11日	所在地	北区清水四丁目17-17
指定管理者	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	敷地面積	5,411.85㎡の一部
構造	鉄筋コンクリート造地上6階地下2階建ての一部		
基本開場時間	午前9時から午後9時（日曜日及び祝日は午後6時）また、トレーニング室及び浴室サウナ室は午前10時から午後8時30分（日曜日及び祝日は午後6時）	基本休場日	毎週月曜日（祝日を除く）、年末年始（12月29日～1月3日）
施設内容	トレーニング室、浴室サウナ室、軽運動室		
平成27年度利用状況	トレーニング室 個人 85,544人 軽運動室 専用 1,500件 23,511人		

(8) 名古屋市上社レクリエーションルーム

開設年月日	平成10年6月16日	所在地	名東区上社一丁目802番地上社ターミナルビル3階
指定管理者	公益財団法人 名古屋市文化振興事業団	敷地面積	948.63 ㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下2階地上8階建（内3階）		
開場時間	午前9時から午後9時（日曜日及び祝日は午後6時）	基本休場日	毎週月曜日（祝休日の場合は開館）及び年末年始
施設内容	軽運動室（1）、軽運動室（2）、軽運動室兼会議室		
平成27年度利用状況	軽運動室（1）専用 1,592件 15,334人 軽運動室（2）専用 1,246件 24,169人	軽運動室兼会議室 専用 1,274件 9,105人	

(9) 名古屋市志段味スポーツランド

施設名 区分	志段味スポーツランド
沿革	昭和60年7月20日開所（体育館昭和62年4月18日開館、流水プール等平成2年7月1日増設、平成22年4月1日屋外プール廃止）
指定管理者	株式会社 J P N
敷地面積	約 98,000㎡
所在地	名古屋市守山区大字下志段味 字生下り2287番地の1
休場日	毎週月曜日（祝日を除く。）、年末年始（12月29日～1月3日）
施設内容	《体育館》 競技場 1,092㎡（約34×32m） 観覧席 350席 トレーニング室 200㎡ 会議室（兼軽運動室） 80㎡ 《庭球場》 テニス・ソフトテニス両用コート14面（全天候型砂入人工芝） 《少年野球場》2面 18,000㎡
平成27年度 利用状況	庭球場 専用 8,997件 107,758人 少年野球場 専用 469件 35,613人 競技場 専用 1,068件 38,384人 トレーニング室 個人 43,931人 会議室（兼軽運動室） 専用 924件 11,673人

(10) 名古屋市プール（冷水）

名 称	所 在 地	開 設	指定管理者	施 設 内 容	平成27年度 利用状況
港 プ ー ル	港区当知一丁目1401番地	昭和34年7月 平成3年改築	公益財団法人名古屋 市教育スポーツ 協会	練習プール25m 7コース 学童、幼児プール	15,421
名 城 プ ー ル	北区名城一丁目2番13号	昭和39年7月 平成7年改築	株式会社JPN	練習プール25m 5コース 学童、幼児プール	16,156
中 川 プ ー ル	中川区北江町3丁目1番地	昭和40年7月 平成10年改修	公益財団法人名古屋 市教育スポーツ 協会	練習プール25m 7コース 幼児プール	5,402
守 山 プ ー ル	守山区村合町197番地	昭和44年7月	株式会社JPN	練習プール25m 7コース 幼児プール	10,499
熱 田 プ ー ル	熱田区六野二丁目5番2号	昭和45年7月	シンコースポーツ 株式会社	練習プール25m 7コース 幼児プール	10,723
楠 プ ー ル	北区若鶴町126番地	昭和57年7月	公益財団法人名古屋 市教育スポーツ 協会	練習プール25m 7コース 学童、幼児プール	4,725
山 田 プ ー ル	西区五才美町236番地の1	昭和59年7月	株式会社JPN	練習プール25m 7コース 学童、幼児プール	8,467
富 田 プ ー ル	中川区東かの里町809番地	昭和63年7月	公益財団法人名古屋 市教育スポーツ 協会	練習プール25m 7コース 学童、幼児プール	6,848

(11) 名古屋市プール（温水）

名 称	鳴 海 プ ー ル	香 流 橋 プ ー ル	山 田 西 プ ー ル
沿 革	昭和47年6月1日開場	昭和54年8月7日開場 (平成10年12月5日改築移転)	昭和61年11月11日開場
指定管理者	シンコースポーツ株式会社	株式会社 J P N	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会
構 造	鉄筋コンクリート造平家建	鉄筋コンクリート造3階建 (プール部分は2階)	鉄筋コンクリート造2階建 一部平家建
敷地面積	2,037.76㎡	4,125㎡(地域センターとの 共用部分含む)	5,197.91㎡
延床面積	1,419.38㎡	3,813.40㎡(地域センター との共用部分含む)	1,887.50㎡
所 在 地	緑区浦里一丁目66番地	千種区香流橋一丁目2番35号	西区長先町173番地
基 本 開 場 時 間	午前10時から午後8時30分 (日曜日及び祝日は午後6時)	午前10時から午後8時30分 (日曜日及び祝日は午後6時)	午前10時から午後8時30分 (日曜日及び祝日は午後6時)
基本休場日	祝日を除く金曜日、 年末年始(12/29～1/3)	祝日を除く月曜日、 年末年始(12/29～1/3)	
施 設 内 容	屋内温水プール ・練習用25m 6コース ・幼児用25m 1コース	屋内温水プール ・練習用25m 5コース ・歩行用25m 1コース ・学童用、幼児用 ・ジャグジー	屋内温水プール ・練習用25m 5コース (入水用スロープ有) ・学童用、幼児用
平成27年度 利 用 状 況	個人利用 44,125人 専用利用 400件 9,721人	個人利用 94,466人 専用利用 486件 16,619人	個人利用 44,173人 専用利用 135件 2,727人

名 称	南 陽 プ ー ル	富 田 北 プ ー ル
沿 革	昭和60年6月8日開場	平成元年11月18日開場
指定管理者	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会
構 造	鉄筋コンクリート造平屋建	鉄筋コンクリート造2階建 一部平家建
敷 地 面 積	7,008㎡	6,772.42㎡
延 床 面 積	2,762㎡	2,990.58㎡(地域センターとの共用部分を含む)
所 在 地	港区藤前四丁目701番地	中川区吉津四丁目3201番地
基 本 開 場 時 間	午前9時から午後9時(日曜日及び祝日は午後6時) また、プール・トレーニング室は午前10時から午後8時30分(日曜日及び祝日は午後6時)	午前9時から午後9時(日曜日及び祝日は午後6時) また、プールは午前10時から午後8時30分(日曜日及び祝日は午後6時)
基本休場日	祝日を除く金曜日 年末年始(12/29～1/3)	祝日を除く月曜日 年末年始(12/29～1/3)
施 設 内 容	屋内温水プール ・50m 6コース (練習用、学童用、幼児用) トレーニング室 200㎡ 軽運動室 146㎡ 会議室 97㎡	屋内温水プール ・練習用25m 6コース ・学童用、幼児用 体育室 608㎡
平成27年度 利 用 状 況	屋内プール 個人利用 45,056人 専用利用 67件 1,853人 トレーニング室 個人利用 37,660人 軽運動室 専用利用 1,957件 10,019人 会議室 専用利用 62件 1,105人	屋内プール 個人利用 68,472人 専用利用 95件 5,410人 体育室 専用利用 1,612件 21,160人

第7章 学 校 開 放

1 学校開放の概況

教育委員会では、市立の小・中・高等学校の施設を、市民のスポーツや学習、レクリエーションの場、若しくは団体活動の場として開放することにより、市民の健康増進、体力向上、情操の
かん養、教養の向上等に寄与することを目的として、次の学校開放事業を行っている。

2 学 校 開 放

(1) トワイライトスクール

放課後などに子どもたちが学年の異なる友達と自由に遊んだり、学んだり、体験活動に参加したり、地域の大人と交流することなどを通して、子どもたちの自主性、社会性、創造性などを育むトワイライトスクールを全小学校（トワイライトルームを含む）において実施した。

（対 象）参加を希望する児童

（活動場所）放課後学級プレイルーム、体育館及び運動場等

（活 動 日）月曜日～土曜日（祝日、年末年始は休み）

（活動日時）授業のある日……………授業終了後～午後6時

授業のない日……………午前9時～午後6時

※トワイライトスクールを基盤に、保護者が就労等により家庭にいない児童に対してより生活に配慮した事業を併せて実施するトワイライトルームを28校で実施した。（平成25年4月1日事業開始）

平成27年度 トワイライトスクール参加状況

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	事業開始日
内山	287	4, 107	平成18年5月19日
春岡	291	9, 316	平成10年9月4日
千種	289	9, 026	平成15年5月19日
高見	289	9, 008	平成12年6月12日
大和	291	3, 917	平成19年5月24日
田代	291	15, 393	平成14年6月5日
上野	291	11, 409	平成11年7月16日
東山	291	18, 830	平成12年5月19日
自由ヶ丘	291	10, 130	平成20年6月27日
千石	294	5, 293	平成21年3月9日
星ヶ丘	290	5, 197	平成18年5月11日
宮根	290	8, 074	平成16年5月31日
千代田橋	290	11, 122	平成17年6月13日
見付	294	8, 812	平成13年5月31日
旭丘	289	9, 589	平成14年10月17日
筒井	291	6, 993	平成12年5月8日
東桜	286	7, 073	平成19年6月4日
矢田	291	11, 589	平成11年11月1日
山吹	286	10, 723	平成14年6月3日
東白壁	289	5, 600	平成16年5月27日
葵	290	6, 401	平成18年5月25日
明倫	290	5, 754	平成17年6月30日
飯田	289	10, 204	平成16年5月11日
大杉	291	6, 353	平成20年5月27日
清水	289	9, 483	平成12年6月1日
杉村	291	4, 960	平成19年5月31日
名北	288	10, 842	平成14年6月3日
城北	286	7, 114	平成13年6月18日
六郷	289	6, 190	平成19年5月28日
楠	291	15, 249	平成19年6月21日
光城	290	5, 640	平成14年5月13日
東志賀	286	4, 873	平成19年6月21日
味鋤	286	6, 032	平成18年6月1日
西味鋤	294	8, 069	平成17年6月9日
楠西	291	9, 650	平成15年6月19日
如意	291	7, 673	平成10年9月3日
川中	289	8, 121	平成18年6月1日
六郷北	292	5, 396	平成18年5月11日
辻	287	9, 340	平成13年5月19日
榎	289	4, 430	平成15年6月5日
栄生	291	5, 365	平成19年5月31日

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	事業開始日
上名古屋	291	11, 180	平成17年6月16日
城西	285	7, 176	平成13年6月1日
児玉	291	9, 204	平成9年10月9日
枇杷島	288	6, 729	平成18年5月29日
南押切	290	3, 975	平成19年6月7日
庄内	289	13, 082	平成12年5月13日
稲生	289	14, 844	平成13年6月16日
山田	294	15, 180	平成18年6月1日
比良	287	8, 063	平成17年2月3日
大野木	288	10, 969	平成19年5月24日
浮野	294	8, 853	平成14年6月3日
比良西	294	8, 749	平成12年5月29日
中小田井	288	12, 327	平成20年6月10日
なごや西	291	9, 585	平成19年5月31日
なごや東	291	3, 975	平成20年6月4日
中村	291	3, 455	平成18年5月25日
米野	283	6, 336	平成19年5月17日
日比津	293	10, 621	平成19年4月23日
柳	288	9, 939	平成12年5月29日
稲葉地	289	12, 690	平成11年7月14日
日吉	291	8, 234	平成16年5月20日
豊臣	290	6, 661	平成14年5月16日
千成	290	8, 442	平成15年5月19日
諏訪	290	9, 868	平成10年9月3日
稲西	290	5, 336	平成18年5月22日
笹島	289	6, 714	平成22年4月12日
名城	291	4, 308	平成20年11月28日
栄	290	4, 627	平成11年7月2日
新栄	291	3, 475	平成20年10月7日
松原	288	9, 798	平成12年5月25日
橘	288	5, 547	平成18年5月25日
平和	291	5, 490	平成14年6月6日
老松	290	4, 147	平成17年5月26日
正木	290	11, 783	平成19年6月18日
千早	291	3, 960	平成15年5月29日
御園	291	3, 856	平成20年6月20日
鶴舞	288	4, 168	平成10年7月13日
吹上	289	5, 611	平成17年6月6日
村雲	288	10, 180	平成18年6月8日
御器所	291	9, 243	平成11年10月7日
八事	287	4, 495	平成20年6月13日

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	事業開始日
白金	289	3,835	平成13年5月14日
川原	291	10,879	平成18年6月5日
滝川	289	12,210	平成19年5月31日
伊勝	287	5,015	平成14年5月27日
御劔	290	6,874	平成16年5月13日
堀田	290	6,833	平成13年6月21日
汐路	291	10,721	平成12年5月13日
高田	291	8,665	平成14年5月30日
瑞穂	289	8,036	平成18年5月22日
井戸田	289	5,671	平成15年5月26日
穂波	290	10,243	平成10年9月3日
豊岡	290	9,277	平成18年6月12日
陽明	288	7,456	平成13年5月24日
中根	289	12,197	平成18年5月18日
旗屋	289	11,270	平成11年7月13日
千年	289	9,373	平成17年5月30日
白鳥	286	9,678	平成15年6月16日
野立	289	7,573	平成20年6月17日
大宝	290	8,964	平成18年6月1日
広見	291	4,943	平成19年9月20日
露橋	290	10,235	平成16年6月10日
愛知	291	4,122	平成13年5月28日
八熊	290	7,501	平成15年6月9日
昭和橋	291	10,135	平成11年7月15日
常磐	288	13,783	平成18年5月29日
荒子	286	15,849	平成14年6月6日
正色	291	6,517	平成19年5月21日
篠原	290	13,520	平成18年6月19日
豊治	287	9,750	平成19年5月17日
千音寺	294	15,584	平成18年6月12日
長須賀	288	9,667	平成20年5月30日
万場	291	10,747	平成16年5月24日
野田	289	11,410	平成15年6月2日
明正	291	6,584	平成19年5月17日
中島	289	10,584	平成12年5月22日
玉川	289	9,579	平成19年5月21日
西中島	283	9,237	平成19年5月21日
五反田	285	23,014	平成13年5月17日
春田	288	9,243	平成12年6月26日
赤星	290	11,032	平成20年5月23日
西前田	289	7,639	平成17年6月24日

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	事業開始日
東築地	291	12,649	平成15年6月13日
中川	287	7,322	平成19年5月10日
大手	294	13,069	平成17年4月21日
港西	289	16,867	平成13年5月31日
小碓	288	15,554	平成15年5月26日
西築地	289	5,453	平成19年6月21日
高木	288	11,049	平成19年6月18日
港楽	290	10,325	平成18年5月29日
成章	294	7,573	平成18年5月25日
明德	290	8,298	平成9年10月28日
東海	285	7,055	平成16年5月24日
野跡	288	8,491	平成17年5月19日
当知	291	7,535	平成19年6月14日
正保	288	7,199	平成12年5月8日
神宮寺	288	5,626	平成11年9月3日
西福田	287	9,118	平成14年5月15日
福田	288	13,377	平成16年6月17日
福春	290	9,027	平成18年4月1日
豊田	291	14,822	平成13年6月7日
明治	290	9,275	平成15年5月26日
呼続	290	6,291	平成16年6月3日
白水	290	6,652	平成12年5月30日
桜	289	8,349	平成17年5月23日
道德	291	10,906	平成13年6月9日
大生	289	4,750	平成15年5月19日
大磯	289	7,086	平成14年6月3日
千鳥	290	5,931	平成18年5月18日
菊住	290	9,351	平成11年7月14日
宝	290	7,375	平成21年1月20日
柴田	288	6,311	平成19年6月14日
伝馬	289	5,971	平成14年5月16日
星崎	291	8,681	平成19年7月2日
春日野	289	9,004	平成18年6月8日
笠東	290	6,738	平成18年6月8日
宝南	291	8,611	平成21年1月16日
大森	291	9,724	平成16年5月10日
小幡	291	14,105	平成12年6月26日
守山	287	10,008	平成12年6月15日
廿軒家	290	17,030	平成15年5月22日
鳥羽見	291	9,187	平成20年6月27日
瀬古	294	15,972	平成18年6月29日

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	事業開始日
志段味東	290	17,278	平成14年10月7日
志段味西	293	14,859	平成20年6月6日
白沢	289	13,098	平成14年6月20日
本地丘	290	6,180	平成17年5月19日
苗代	289	9,879	平成25年4月12日
二城	291	10,128	平成20年6月3日
森孝東	292	3,250	平成21年1月30日
森孝西	290	7,535	平成11年9月2日
西城	291	8,231	平成19年6月1日
大森北	289	10,120	平成13年5月21日
吉根	288	18,580	平成19年6月21日
下志段味	290	23,307	平成24年4月9日
鳴海	289	15,736	平成12年5月15日
平子	286	9,438	平成15年5月22日
鳴海東部	289	14,887	平成18年5月31日
東丘	289	13,749	平成19年6月21日
鳴子	289	8,012	平成19年5月28日
大高	289	12,218	平成14年5月20日
緑	287	8,033	平成19年6月18日
片平	289	8,019	平成15年5月29日
戸笠	290	8,077	平成13年5月31日
太子	286	9,786	平成18年5月11日
旭出	291	9,225	平成14年5月27日
浦里	291	5,810	平成11年7月15日
黒石	289	4,749	平成19年5月24日
神の倉	294	12,883	平成24年3月12日
長根台	289	6,394	平成16年6月10日
桶狭間	290	14,197	平成18年6月8日
相原	289	10,883	平成13年5月14日
桃山	288	12,618	平成17年5月26日
大高北	293	13,412	平成20年5月30日
大高南	288	15,015	平成24年6月28日
徳重	291	15,353	平成20年10月31日
滝ノ水	290	12,370	平成17年6月9日
大清水	290	14,977	平成20年6月27日
常安	289	8,690	平成10年7月13日
熊の前	290	15,805	平成20年6月20日
猪高	291	11,259	平成14年6月17日
藤が丘	289	9,476	平成16年5月28日
香流	289	11,917	平成20年5月16日
猪子石	289	9,090	平成18年5月25日

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	事業開始日
高針	287	8,739	平成15年5月19日
西山	288	16,230	平成11年10月1日
名東	290	7,130	平成20年6月3日
蓬来	291	9,256	平成19年5月28日
本郷	290	7,966	平成12年4月10日
貴船	288	9,967	平成20年7月4日
上社	290	10,494	平成14年5月20日
豊が丘	290	7,841	平成19年6月4日
引山	291	10,197	平成12年6月15日
極楽	289	10,049	平成10年9月2日
平和が丘	290	7,291	平成13年5月24日
前山	291	9,558	平成13年5月17日
北一社	292	8,244	平成19年6月4日
牧の原	287	8,200	平成18年5月15日
野並	287	11,270	平成12年4月27日
高坂	285	1,764	平成25年4月12日
八事東	289	11,233	平成16年4月26日
表山	285	13,036	平成18年5月25日
平針	288	11,437	平成15年5月15日
平針南	291	6,227	平成24年6月18日
植田	289	11,806	平成21年11月2日
しまだ	294	10,149	平成24年6月21日
山根	290	9,768	平成17年6月9日
相生	287	3,676	平成14年6月3日
大坪	288	12,344	平成15年6月5日
原	289	13,577	平成19年6月12日
植田南	291	13,091	平成21年11月26日
平針北	291	8,157	平成13年6月18日
植田北	291	11,075	平成18年5月29日

平成27年度 トワイライトルーム参加状況

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	トワイライト ルーム事業開始 日
富士見台	294	22,573	平成26年4月1日
砂田橋	294	9,412	平成25年4月1日
金城	294	17,528	平成25年4月1日
宮前	294	7,716	平成26年4月1日
平田	294	16,340	平成27年4月1日
牧野	294	6,048	平成25年4月1日
岩塚	294	10,799	平成26年4月1日
八社	294	12,740	平成25年4月1日
ほのか	294	12,545	平成26年4月1日
大須	294	5,896	平成25年4月1日
松栄	294	20,736	平成26年4月1日
広路	294	9,488	平成25年4月1日
弥富	294	18,640	平成25年4月1日
高蔵	294	11,439	平成25年4月1日

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	トワイライト ルーム事業開始 日
船方	294	18,743	平成25年4月1日
八幡	294	16,260	平成27年4月1日
戸田	294	15,795	平成27年4月1日
南陽	294	11,953	平成25年4月1日
稲永	294	10,350	平成26年4月1日
笠寺	294	13,062	平成25年4月1日
天子田	294	14,679	平成25年4月1日
小幡北	294	8,612	平成27年4月1日
有松	294	16,369	平成25年4月1日
南陵	294	11,984	平成25年4月1日
小坂	294	13,282	平成26年4月1日
梅森坂	294	9,770	平成26年4月1日
天白	294	15,599	平成26年4月1日
植田東	294	12,110	平成26年4月1日

ア 生涯学習開放

地域の身近な施設である学校を、生涯学習や生涯スポーツ及び地域コミュニティ活動の場として有効に活用するため、施設の開放を小学校27校において実施した。

(開放施設等)

開放施設	開 放 日	開 放 時 間
体 育 館 特 別 活 動 室 視 聴 覚 室 多 目 的 室 音 楽 室 研 修 会 議 室	平 日 (月曜日を除く。)	午後6時から午後9時まで
	土曜日、日曜日、休日 (月曜日を除く。)	午前9時から午後5時まで
運 動 場	土曜日、日曜日、休日 (月曜日を除く。)	午前9時から午後5時まで
図 書 室	週3日の範囲内で学校の実情により適宜定める日	午前9時から午後9時までの間で概ね3時間
プ ー ル	夏季休業期間中の概ね20日間	午前9時から午後5時までの間で概ね3時間

(注) 開放施設は学校ごとに異なる

(休 館 日) 月曜日、12月23日から1月6日まで

(平成 27 年度利用者数)

区分 学校名	体育館	特別活動室等	運動場	図書室	音楽室	研修 会議室	プール	合 計
高 見	人 -	人 -	人 -	人 -	人 -	人 -	人 1,610	人 1,610
見 付	8,015	625	-	265	-	-	-	8,905
旭 丘	6,189	-	9,983	4,022	-	-	1,050	21,244
矢 田	5,423	-	-	-	-	988	-	6,411
山 吹	5,498	1,529	4,662	881	716	-	-	13,286
比良西	2,853	-	4,771	-	-	-	-	7,624
諏 訪	5,044	362	5,740	484	-	-	-	11,630
松 原	4,010	-	7,283	523	126	1,379	-	13,321
吹 上	-	-	-	-	-	-	273	273
滝 川	5,030	1,662	7,461	-	-	-	-	14,153
穂 波	2,687	1330	2,911	1,630	260	-	-	8,818
八 熊	7,040	1,306	1,704	872	772	-	616	12,310
春 田	2,237	-	2,755	-	-	575	-	5,567
明 徳	1,979	395	3,105	393	-	-	-	5,872
東 海	3,140	-	2,475	-	-	57	-	5,672
神宮寺	2,302	774	1,600	470	-	-	-	5,146
明 治	4,118	135	10,186	2,194	-	-	831	17,464
道 徳	5,610	1,965	3,875	365	-	-	1,011	12,826
伝 馬	5,995	854	2,277	454	37	-	-	9,617
守 山	4,553	-	3,134	-	-	608	-	8,295
森孝西	3,492	327	1,606	365	448	-	-	6,238
相 原	5,668	-	5,300	-	-	446	-	11,414
常 安	8,519	4,895	4,428	704	2,856	-	1,315	22,717
本 郷	5,551	828	3,556	-	-	1,425	-	11,360
極 楽	5,255	1322	7,139	1,180	-	-	-	14,896
表 山	5,613	1,890	3,775	584	588	-	-	12,450
相 生	4,560	-	3,047	-	-	255	-	7,862

(注)特別活動室等は、特別活動室、視聴覚室及び多目的室

(2) 小学校施設の一般開放

小学校の特別教室（会議用）、体育館及び運動場を午後6時から午後9時まで（ただし、休業日は午前9時から午後9時まで）、その小学校の通学区域内の住民をもって組織する各種団体の連合組織で教育委員会が適当と認めるものが使用する場合に、一年を単位として目的外使用の許可をしている。

<小学校施設一般開放実施校>

(平成28年5月1日現在)

区	千 種	東	北	西	中 村	中	昭 和	瑞 穂
一 般 開 放 実 施 校	内 山 千 種 千 石 高 見 上 野 宮 根 田 代 東 山	東 桜	清 水 金 城 東 志 光 賀 如 城 楠 意 飯 西 杉 田 大 村 名 杉 城 北 六 北 宮 郷 川 前 辻 中 六 北 西 味 鏡	栄 生 城 西 江 西 南 切 押	豊 臣 日 吉 ほ の か	橘	御 器 所 川 原 金 白 勝 雲 伊 村	高 田 井 戸 陽 明 瑞 穂 中 根
計	8	1	17	4	3	1	5	5

区	熱 田	中 川	港	南	守 山	緑	名 東	天 白	
一 般 開 放 実 施 校	野 立 大 宝 千 年	昭 和 玉 橋 川	大 手 稲 永 南 陽 西 福 福 田 港 田 小 楽 成 確 福 章 福 春	豊 田 菊 住 笠 東 星 崎 春 日 大 野 宝 生 大 宝 磯 南	本 地 丘 森 孝 東 二 羽 城 鳥 見 瀬 古 小 幡 苗 代 白 沢 小 幡 大 北 天 子	鳴 海 神 の 倉 東 丘 戸 笠 熊 の 前	平 和 が 丘 引 山 原 牧 の 原	山 根 八 事 大 東 坪	合 計
計	3	2	9	9	11	5	3	3	89

(3) 学習開放

市立名東高等学校の図書室及び集会室を、学校教育に支障のない範囲で、市民の学習その他公共活動の場として開放している。（昭和59年8月11日開設）

ア 開放時間及び休室日

区 分	開放時間	休室日
平 日	午後5時30分～午後8時30分	月曜日、祝日（月曜日が祝日の場合は翌日も休室）、12月24日～1月6日 図書室については、上記に加え図書の整理のため金曜日
土曜日	午後2時00分～午後8時30分	
日曜日	午前9時30分～午後5時00分	

平成27年度利用状況等

開放室	利用者数	貸出冊数等
図書室 （利用定員：90人、蔵書数：約45,000冊）	4,017人	329冊 （学校教育に支障のない範囲で県内に在住、在勤、在学する者に対し3冊/2週間以内で室外へ貸出す）
集会室 （収容人員：60人）	1,276人	

(4) スポーツ開放

＜地域スポーツセンター＞

スポーツやレクリエーション活動の場を提供するため、市内の中学校の体育館・運動場・格技場を学校教育に支障のない範囲で開放し、「地域スポーツの拠点」として親しまれている。

各センターには、専任の管理員を配置し、管理や利用者の調整にあたっている。

（昭和50年3月15日大曽根中、御田中、高針中、名南中で開放開始）

（開放時間）平日・土曜日——午後6時～午後9時

日 曜 日——午前9時～午前11時、午前11時～午後1時

又は午後1時～午後3時、午後3時～午後5時

（利用種目）バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、レクリエーション
インディアカ、軟式野球、ソフトボール、テニス、サッカーなど

〈平成27年度 地域スポーツセンター利用状況〉

施設名称 区分		登 録 件 数		開 放 日 数			
		団体	個人	体育館	格技場	運動場	テニス コート
千 種 区	甫 種 台	17	63	211		201	0
	千 種 池	8	268	198		13	0
	今 池	10	90	214		212	0
	若 水	20	47	233		0	0
	城 山	10	70	224		0	0
	東 星	46	211	223		0	38
		10	27	137		43	0
	区 計	121	776	1,440	0	469	38
東 区	矢 田	15	81	264		163	0
	桜 丘	17	57	273		127	0
	あ ず ま	6	109	274		2	0
	富 士	11	136	226		0	0
	区 計	49	383	1,037	0	292	0
北 区	大 曾 根	18	80	235		139	118
	北	15	109	275		157	0
	志 賀	8	61	217	199	8	0
	北 陵	12	124	224	138	0	0
	若 葉	6	57	215	172	10	0
	八 王 子	6	115	231		0	0
	楠	5	106	230		4	0
	区 計	70	652	1,627	509	318	118
西 区	名 塚	8	164	181		166	0
	平 田	2	32	186		3	0
	山 田	6	25	170		168	0
	山 田 東	3	75	231		0	0
	浄 心	6	18	183		0	0
	天 神 山	5	79	224	177	0	0
	菊 井	6	72	181		5	0
	区 計	36	465	1,356	177	342	0
中 村 区	御 田	17	41	222		115	0
	笈 瀬	12	37	259	197	34	0
	豊 国	2	69	208		0	0
	豊 正	26	55	244		160	0
	日 比 津	11	56	226		29	0
	黄 金	16	68	267		33	0
	笹 島	31	70	214		0	19
	区 計	115	396	1,640	197	371	19
中 区	伊 勢 山	29	38	202		211	30
	白 山	37	185	268		138	0
	丸 の 内	13	86	141		48	0
	前 津	15	55	262		0	0
	区 計	94	364	873	0	397	30

利 用 者 数							
体 育 館			格 技 場	運 動 場			合 計
団体利用	個人利用	小 計	団体利用	運動場	テニス	小 計	
人	人	人	人	人	人	人	人
1,146	1,147	2,293		4,368	0	4,368	6,661
1,078	947	2,025		137	0	137	2,162
1,804	2,952	4,756		1,348	0	1,348	6,104
2,891	1,223	4,114		0	0	0	4,114
1,341	1,628	2,969		0	0	0	2,969
1,675	5,980	7,655		0	432	432	8,087
2,884	1,055	3,939		0	0	0	3,939
12,819	14,932	27,751	0	5,853	432	6,285	34,036
1,339	1,333	2,672		959	0	959	3,631
2,099	1,578	3,677		1,087	0	1,087	4,764
2,002	2,177	4,179		0	0	0	4,179
1,146	1,957	3,103		0	0	0	3,103
6,586	7,045	13,631	0	2,046	0	2,046	15,677
1,159	1,369	2,528		451	263	714	3,242
1,237	2,256	3,493		1,665	0	1,665	5,158
1,137	1,479	2,616	1,348	78	0	78	4,042
1,135	2,428	3,563	981	0	0	0	4,544
1,151	2,107	3,258	912	159	0	159	4,329
1,083	1,920	3,003		0	0	0	3,003
1,032	1,364	2,396		0	0	0	2,396
7,934	12,923	20,857	3,241	2,353	263	2,616	26,714
626	2,341	2,967		2,395	0	2,395	5,362
620	988	1,608		0	0	0	1,608
1,342	3,421	4,763		2,790	0	2,790	7,553
896	1,497	2,393		0	0	0	2,393
734	1,548	2,282		0	0	0	2,282
850	2,508	3,358	176	0	0	0	3,534
1,021	814	1,835		0	0	0	1,835
6,089	13,117	19,206	176	5,185	0	5,185	24,567
2,537	1,474	4,011		2,853	0	2,853	6,864
1,872	1,364	3,236	787	826	0	826	4,849
646	1,301	1,947		0	0	0	1,947
2,281	1,641	3,922		681	0	681	4,603
806	1,207	2,013		427	0	427	2,440
3,196	2,455	5,651		735	0	735	6,386
1,721	408	2,129		0	0	0	2,129
13,059	9,850	22,909	787	5,522	0	5,522	29,218
1,353	735	2,088		4,160	142	4,302	6,390
3,236	4,882	8,118		2,817	0	2,817	10,935
706	902	1,608		117	0	117	1,725
1,452	1,087	2,539		0	0	0	2,539
6,747	7,606	14,353	0	7,094	142	7,236	21,589

区分 施設名称		登 録 件 数		開 放 日 数			
		団体	個人	体育館	格技場	運動場	テニス コート
昭 和 区	山 方	39	23	272		206	0
	北 駒	24	82	210		176	0
	川 名	13	161	232		8	0
	円 上	16	40	231		32	0
	桜 山	7	48	229		0	0
	区 計	99	354	1, 174	0	422	0
瑞 穂 区	山 丘	20	79	266		209	0
	瑞穂ヶ	24	96	223		130	0
	津 賀 田	10	80	257		0	0
	田 光	8	40	269		38	0
	汐 路	12	50	250	278	36	0
	区 計	74	345	1, 265	278	413	0
熱 田 区	宮	12	36	216		46	0
	日比野分	12	55	231		131	0
	日 比 野	6	99	228		0	0
	沢 上	14	75	272		243	0
	区 計	44	265	947	0	420	0
中 川 区	長 良	22	91	173		188	0
	助 光	8	326	249		5	0
	昭 和 橋	5	26	247		0	0
	富 田	11	392	227		131	0
	供 米 田	5	169	230		18	0
	山 王	4	103	195		0	0
	一 色	8	99	240		6	0
	高 杉	12	113	218	218	0	0
	一 柳	7	198	230		1	0
	八 幡	3	65	268		0	0
	は と り	2	113	219		0	0
	区 計	87	1, 695	2, 496	218	349	0
港 区	宝 神	2	20	179		0	0
	南 陽	11	54	230		134	0
	当 知	22	107	228		224	0
	東 港	9	18	216	169	0	0
	港 明	5	73	230		0	0
	港 南	7	75	220		0	0
	港 北	8	72	244		0	0
	南 陽 東	3	61	219		5	0
	区 計	67	480	1, 766	169	363	0
南 区	名 南	29	11	219	285	164	0
	明 豊	4	89	230		0	0
	桜 田	7	61	224		126	0
	大 江	4	50	252		0	0
	南 光	8	134	273		0	0
	本 城	8	49	236		10	0
	新 郊	3	78	219		0	0
	区 計	63	472	1, 653	285	300	0

利 用 者 数							
体 育 館			格 技 場	運 動 場			合 計
団体利用	個人利用	小 計	団体利用	運動場	テニス	小 計	
人	人	人	人	人	人	人	人
2,323	1,482	3,805		4,767	0	4,767	8,572
2,367	899	3,266		1,979	0	1,979	5,245
1,909	2,029	3,938		168	0	168	4,106
1,640	886	2,526		1,134	0	1,134	3,660
1,933	1,722	3,655		0	0	0	3,655
10,172	7,018	17,190	0	8,048	0	8,048	25,238
1,828	1,770	3,598		6,997	0	6,997	10,595
2,001	1,602	3,603		2,072	0	2,072	5,675
1,705	3,044	4,749		0	0	0	4,749
2,189	2,240	4,429		1,279	0	1,279	5,708
2,030	2,032	4,062	2,445	1,045	0	1,045	7,552
9,753	10,688	20,441	2,445	11,393	0	11,393	34,279
1,675	852	2,527		550	0	550	3,077
1,107	1,579	2,686		477	0	477	3,163
808	3,165	3,973		0	0	0	3,973
1,750	1,909	3,659		659	0	659	4,318
5,340	7,505	12,845	0	1,686	0	1,686	14,531
1,319	1,609	2,928		3,841	0	3,841	6,769
771	2,450	3,221		0	0	0	3,221
1,542	1,387	2,929		0	0	0	2,929
1,743	2,904	4,647		905	0	905	5,552
1,334	2,119	3,453		571	0	571	4,024
430	1,191	1,621		0	0	0	1,621
1,452	2,777	4,229		25	0	25	4,254
3,381	831	4,212	2,368	0	0	0	6,580
1,108	1,885	2,993		0	0	0	2,993
804	2,556	3,360		0	0	0	3,360
927	971	1,898		0	0	0	1,898
14,811	20,680	35,491	2,368	5,342	0	5,342	43,201
874	1,185	2,059		0	0	0	2,059
3,182	1,133	4,315		752	0	752	5,067
2,664	1,413	4,077		2,269	0	2,269	6,346
1,505	515	2,020	668	0	0	0	2,688
942	2,431	3,373		0	0	0	3,373
1,730	1,955	3,685		0	0	0	3,685
3,510	1,963	5,473		0	0	0	5,473
921	1,684	2,605		0	0	0	2,605
15,328	12,279	27,607	668	3,021	0	3,021	31,296
3,743	349	4,092	1,442	1,370	0	1,370	6,904
1,239	1,325	2,564		0	0	0	2,564
811	2,116	2,927		2,182	0	2,182	5,109
696	2,007	2,703		0	0	0	2,703
1,950	2,525	4,475		0	0	0	4,475
885	2,636	3,521		78	0	78	3,599
676	1,520	2,196		0	0	0	2,196
10,000	12,478	22,478	1,442	3,630	0	3,630	27,550

区分 施設名称		登 録 件 数		開 放 日 数			
		団体	個人	体育館	格技場	運動場	テニス コート
守 山 区	守 山 北	5	37	225		42	0
	守 山 西	13	63	225		189	0
	森 孝	4	27	230		1	0
	大 森	3	38	242	198	0	0
	守 山	10	254	231	189	0	0
	志 段 味	8	59	195		133	0
	守 山 東	4	54	217	230	0	0
	吉 根	6	7	201		10	0
	区 計	53	539	1,766	617	375	0
緑 区	扇 台	7	94	216		1	0
	大 高	13	55	176		193	0
	鳴 子 台	5	71	230	277	1	0
	有 松	6	46	225		205	0
	東 陵	0	28	227		0	0
	千 鳥 丘	7	55	254		43	50
	滝 ノ 水	12	119	204		191	0
	神 沢	5	87	225		0	0
	鳴 海	5	54	232		0	0
	左 京 山	4	107	193		0	0
	鎌 倉 台	13	108	251		36	0
	神 の 倉	13	399	205	223	0	0
	区 計	90	1,223	2,638	500	670	50
名 東 区	高 針 台	5	65	181		87	0
	猪 子 石	10	112	229		168	0
	藤 森	6	39	231		0	0
	猪 高	9	158	226		0	0
	牧 の 池	9	87	229	281	44	0
	上 社	4	216	224		5	0
	香 流	6	50	165		0	0
	神 丘	5	145	233		0	0
	区 計	54	872	1,718	281	304	0
天 白 区	天 白	11	179	220		185	0
	南 天 白	10	62	232		26	0
	植 田	6	173	229	229	0	0
	平 針	4	107	241		0	0
	久 方	6	43	186	169	0	0
	御 幸 山	7	91	179		0	0
	原	7	169	207		125	0
	区 計	51	824	1,494	398	336	0
合 計		1,167	10,105	24,890	3,629	6,141	255

利 用 者 数							
体 育 館			格 技 場	運 動 場			合 計
団体利用	個人利用	小 計	団体利用	運動場	テニス	小 計	
人	人	人	人	人	人	人	人
1,906	360	2,266		589	0	589	2,855
1,295	1,312	2,607		5,049	0	5,049	7,656
1,756	1,637	3,393		0	0	0	3,393
1,186	1,630	2,816	1,711	0	0	0	4,527
1,395	2,889	4,284	485	0	0	0	4,769
986	817	1,803		342	0	342	2,145
1,143	1,837	2,980	3,620	0	0	0	6,600
836	717	1,553		0	0	0	1,553
10,503	11,199	21,702	5,816	5,980	0	5,980	33,498
866	1,458	2,324		0	0	0	2,324
947	834	1,781		4,924	0	4,924	6,705
625	2,212	2,837	4,779	0	0	0	7,616
1,018	1,847	2,865		5,563	0	5,563	8,428
613	2,000	2,613		0	0	0	2,613
1,931	2,096	4,027		606	0	606	4,633
1,782	3,067	4,849		8,672	0	8,672	13,521
1,042	1,998	3,040		0	0	0	3,040
1,135	1,081	2,216		0	0	0	2,216
1,241	2,094	3,335		0	0	0	3,335
1,068	2,852	3,920		755	0	755	4,675
5,567	4,021	9,588	2,630	0	0	0	12,218
17,835	25,560	43,395	7,409	20,520	0	20,520	71,324
642	1,181	1,823		2,048	0	2,048	3,871
1,130	2,430	3,560		4,336	0	4,336	7,896
1,576	1,242	2,818		0	0	0	2,818
892	2,226	3,118		0	0	0	3,118
2,756	2,173	4,929	3,041	139	0	139	8,109
850	3,296	4,146		0	0	0	4,146
1,483	1,018	2,501		0	0	0	2,501
1,571	4,509	6,080		0	0	0	6,080
10,900	18,075	28,975	3,041	6,523	0	6,523	38,539
913	2,032	2,945		8,194	0	8,194	11,139
2,009	1,360	3,369		295	0	295	3,664
487	2,494	2,981	4,610	0	0	0	7,591
1,304	2,293	3,597		0	0	0	3,597
1,220	790	2,010	1,898	0	0	0	3,908
1,830	1,459	3,289		0	0	0	3,289
1,065	2,735	3,800		838	0	838	4,638
8,828	13,163	21,991	6,508	9,327	0	9,327	37,826
166,704	204,118	370,822	33,901	103,523	837	104,360	509,083

第7部 人 権 教 育

第1章 人権教育の推進体制

1 基本的な考え方

人権が尊重され、差別や偏見のない「人間性豊かなまち・名古屋」を実現するためには、市民一人一人が人権問題に関心を持ち、自らの課題として人権尊重についての理解と認識を深め、主体的に考えて行動することが重要である。また一人一人が、人権の意義やその尊重と共存の重要性について、理性と感性の両面から理解を深めるとともに、権利の行使に伴う責任を自覚し、互いの人権を尊重することが求められる。このような基本的認識のもと、これまでの同和教育事業の成果をふまえ「新たなごや人権施策推進プラン（改訂版）」に基づいて、学校教育や社会教育の場において、以下のように、人権尊重の精神の涵養を図る人権教育の充実を図っていくこととする。

- （１）人権教育事業は、「名古屋市教育委員会人権教育推進会議」において必要な事項を審議し、教育委員会関係各課（室）及び公所をあげて推進する。

具体的な事業の推進については、施策や事業を所管する課（室）及び公所による対応を基本とする。

- （２）学校教育においては、あらゆる差別や偏見をなくし、お互いの人権を認め合う人間性豊かな幼児、児童、生徒を育成する人権教育を推進する。

発達段階に応じながら、学校教育活動全体を通じて、幼児、児童、生徒の人間尊重の意識を高める教育を推進するため、教育研究などに取り組むとともに、初任者から校（園）長まで職務や経験年数に応じた教職員の人権教育研修を計画的に実施する。

- （３）社会教育においては、差別意識の解消と人権意識の高揚を図る人権教育を推進する。

市民が生涯の各時期に応じて、人権に関する学習ができるよう、生涯学習センター等の社会教育施設における講座・講演会の開催、家庭教育への支援、市民の自主的な学習を支援する場と機会の提供などに取り組む。また、人権教育を推進するための学習教材・情報の収集・提供、指導者の育成、職員研修の充実などに取り組む。

第2章 学 校 教 育

1 人権教育の研究推進

(1) 小中学校人権教育研究協議会

人権教育に関する研究をすすめ、教職員の人権教育への理解と認識を深めることを目的とする名古屋市小中学校人権教育研究協議会を助成し、学校での人権教育の推進に努めた。

(2) 人権教育の推進

人権教育研究実践校・推進校を設定し、研究・実践をすすめ、その成果を本市の人権教育の推進に資するよう努めた。

平成27年度主な研究テーマ

- 相手を思いやり、楽しく学校生活を送ることができる児童の育成
- 「笑顔で学び 笑顔で生きる」生徒の育成
- 自分も他の人も大切にし、互いに認め合うことができる児童の育成
- 「温かい心」をもって人と接することができる児童の育成
- 互いの人権を大切に作る心と態度の育成
- あなたも わたしも みんな大切
- 互いのよさを認め合い、ともに生きようとする児童の育成
- 自分も他の人も共に大切にできる生徒の育成
- 自他の存在を認め合い共に生きる態度を育てる人権教育
- みんな笑顔で共に生きる教育活動
- 互いを認め合う心を持ち、共に生きる態度を育む教育活動

2 人権教育研修会

教職員の人権教育についての認識を深めるため、各種の研修会を開催した。

平成27年度事業実績

研 修 会 名	対 象	月 日
校（園）長研修会	新任校（園）長	4. 24
校（園）長研修会	経験年数2年目の校（園）長	
教頭研修会	新任教頭	5. 29
教頭研修会	経験年数2年目の教頭	
学校運営研修会（Ⅰ）	経験年数2年目の教務主任	8. 4
学校運営研修会（Ⅱ）	新任校務主任	7. 30
幼稚園新規採用教員研修会	新規採用幼稚園教諭	7. 27
初任者研修会	新規採用教諭	
高等学校初任者研修会	新規採用高等学校教諭	
新規採用養護教員研修会	新規採用養護教諭	
高等学校新規採用養護教員研修会	新規採用高等学校養護教諭	
新規採用栄養教員研修会	新規採用栄養教諭	
新規採用学校事務職員研修会	新規採用学校事務職員	6. 23
幼稚園教職経験者研修会（Ⅰ）	経験年数5年目の幼稚園教諭	7. 24
教職経験者研修会（Ⅰ）	経験年数5年目の教諭	7. 23
高等学校教職経験者研修会（Ⅰ）	経験年数5年目の高等学校教諭	5. 12
養護教員経験者研修会（Ⅰ）	経験年数5年目の養護教諭	7. 24
高等学校養護教員経験者研修会（Ⅰ）	経験年数5年目の高等学校養護教諭	5. 12
栄養教員・学校栄養職員経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10年目の栄養教諭・学校栄養職員	7. 21
幼稚園教員経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10年目の幼稚園教諭	7. 21
教職経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10年目の教諭	8. 28
高等学校教職経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10年目の高等学校教諭	
養護教員経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10年目の養護教諭	8. 3
高等学校養護教員経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10年目の高等学校養護教諭	
学校事務職員経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10年目の学校事務職員	8. 28
学校運営推進講座（Ⅱ）	経験年数13年以上の教諭	8. 4
教育研究員	教育研究員	4. 24
人権教育研修会	研究実践校の新任・転任の校長・教頭・本務教諭・養護教諭・栄養教諭	4. 8
人権教育担当教員研修会	人権教育担当教諭	11. 17

3 資 料 の 整 備

教職員の人権問題に対する認識を深め、同和問題をはじめとする人権問題の解決に積極的な意欲をもった人間を育てる教育の充実を図るため、人権教育を推進するための指導者用参考資料として「人権教育の手引き」を始めとして各種指導資料を充実した。

第3章 社 会 教 育

1 文化センター等における教育委員会主催事業

地域住民の生活の充実・教養の向上・相互交流の促進を図るための各種の事業を実施した。

平成27年度実績

区 分	開 設 回 数	延 参 加 者 数
	回	人
教 養 講 座	167	1,907
子 ども 向 け 事 業 (親子対象事業を含む)	34	878
家 庭 教 育 講 座	21	371

2 市民の人権問題についての認識を深めるための社会教育

市民の一人一人が同和問題をはじめとする人権問題の解決を自らの課題であると認識するための啓発活動を実施した。

(1) 名古屋市民大学の開設

ア テ ー マ 人権啓発ファシリテーター養成講座
～人間性豊かなまち名古屋のために～

イ 期 日 1月16日、1月30日、2月20日、2月27日、3月5日 5回

ウ 受講者数 延べ120人

エ 会 場 イーブルなごや

(2) 市民大学公開講演会の開催

ア テ ー マ 「マンガ」にひそむ偏見に気付く

イ 期 日 12月2日

ウ 参加者数 250人

エ 会 場 イーブルなごやホール

(3) 社会教育施設等における人権問題学習

学級講座等の受講者を対象に、同和問題をはじめとする人権問題学習や冊子「同和問題と人権」、「人権教育の手引き～みんなで学ぶ人権ワーク集～実践編」等による啓発を行った。

平成27年度実績

事 業 名	実 施 回 数	延 参 加 者 数
	回	人
人 権 問 題 講 座 等	111	1,327
人権問題特別講演会	4	113

※生涯学習センター、女性会館、青少年交流プラザ

(4) グループリーダー人権問題研修会

社会教育関係団体や地域社会の指導者を対象に、同和問題をはじめとする人権問題についての理解と認識を深めるため実施した。

ア 期 日 9月14・15日

イ 会 場 イーブルなごや

ウ 内 容 講演、ビデオ鑑賞、グループ討議

エ 研 修 生 社会教育関係団体指導者、地域団体指導者等延べ117人

(5) 市民啓発のための資料の作成・整備

市民の同和問題をはじめとする人権問題についての認識を深めるために、視聴覚教材等を整備し、学習活動の充実を図った。

付 録

1 事務参考資料

出版物等一覧（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

名 称	担当課等	時期 (月)	部数	形式	ページ	主な配布対象
学校配置図	総務課	8	5,000	B全	1	事務局各課室、公所、関係機関
教育要覧	企画経理課	9	110	A4	253	事務局各課室、公所、関係機関
名古屋市教育振興基本計画	企画経理課	5	3,000	A4	113	学校（園）、事務局各課室、公所、関係機関
名古屋の特別支援教育	指導室	6	6,400	A5	8	学校（園）、事務局各課室、公所、関係機関
特別支援教育資料	指導室	7	1,000	A4	28	学校（園）、事務局各課室、公所、関係機関
なごやの学校	指導室	3	900	A4	100	学校（園）、事務局各課室、公所、関係機関
定時制の生徒調査と研究紀要	指導室	1	300	A4	50	高等学校
まもろうたいせつないのち	指導室	3	47,000	A4	4	学校（園）
なごやっ子防災ノート 小学1～3年生用	指導室	3	20,600	A5	22	学校
なごやっ子防災ノート 小学4～6年生用	指導室	3	20,100	A5	22	学校
なごやっ子防災ノート 中学生用	指導室	3	18,100	A5	22	学校
いじめ防止教育プログラム	指導室	3	3,000	A4	91	学校
名古屋市立幼稚園の子どもたち	教職員課	9	15,000	A4	4	幼稚園、各区役所、その他の施設
人権教育の手引き	人権教育室	3	12,150	A4	200	学校（園）、関係機関
親子で歩いてつくる安全マップ	学校保健課	7	39,700	A4	8	小学校1・4年生の児童・保護者
中学校スクールランチ	学校保健課	9	20,700	A4	2	中学校
中学校スクールランチ —楽しくおいしくバランスよく—	学校保健課	9	23,700	A4	4	小学校

名 称	担当課等	時期 (月)	部数	形式	ページ	主な配布対象
パンフレット「親学」	生涯学習課	7	292,000	A 4	8	市内全市立・国立・私立幼稚園・保育園・小・中・特別支援学校の保護者
幼児期家庭教育支援事業「幼稚園の子どもたち」	生涯学習課	7・10・2	各37,000	A 4	4	市内全市立・国立・私立幼稚園の保護者
生涯学習なごや	生涯学習課	毎月	各5,000	A 4	16	市民
生涯学習センターが行う新たな講座・事業の展開について	生涯学習課	3	100	A 4	25	関係機関
楽しく充実した運動部活動リーフレット	スポーツ振興課	3	66,000	A 4	2	学校・保護者
D V D 志段味古墳群 歴史の里 VoL. 2	文化財保護室	6	1,000	DVD	20分	関係機関
館報みはらし No.296～No.300	見晴台考古資料館	4	各1,200	A 4	4	関係機関、市民
		6			2	
		11			4	
		1			2	
		3			4	
見晴台考古資料館年報32	見晴台考古資料館	3	500	A 4	8	関係機関
名古屋市立図書館年報 平成27年版	鶴舞中央図書館	7	200	A 4	65	関係図書館
こんなほん あんなほん 2015<小学生向き>	鶴舞中央図書館	7	7,300	B 6	32	市民
こんなほん あんなほん 2015<ティーンズ(中高生)向き>	鶴舞中央図書館	7	4,600	B 6	16	市民
絵本で子育て あぶあぶ編 (3か月児健診用)	鶴舞中央図書館	5	18,900	A 5	16	市民
絵本で子育て よちよち編 (1歳6か月児健診用)	鶴舞中央図書館	5	19,700	A 5	16	市民
絵本で子育て すくすく編 (3歳児健診用)	鶴舞中央図書館	5	19,500	A 5	16	市民
選定児童図書目録 平成26年度版	鶴舞中央図書館	5	1,100	A 4	21	学校、関係機関

名 称	担当課等	時期 (月)	部数	形式	ページ	主な配布対象
なごやっ子読書ノート (1・2年生向き)	鶴舞中央図書館	6	43,300	B 5	20	学校
なごやっ子読書ノート (3・4年生向き)	鶴舞中央図書館	6	43,300	B 5	20	学校
なごやっ子読書ノート (5・6年生向き)	鶴舞中央図書館	6	43,300	B 5	20	学校
なごやっ子読書カード (中学生向き)	鶴舞中央図書館	6	46,000	A 4	1	学校
図書リスト「としょかんほんのたね」	鶴舞中央図書館	6	3,000	B 5	32	小学校 特別支援学校小 学部
名古屋市博物館だより No.213～No.216	博物館	4・7・ 10・1	各3,800	A 4	8	関係機関、関係博 物館、市民
名古屋市博物館研究紀要 第39巻	博物館	3	900	A 4	42	関係機関、関係博 物館、市民
猿猴庵の本 第22回配本 「東街便覧図略 巻五」	博物館	3	1,500	A 4	118	関係機関、関係博 物館、市民
蓬左 No.91	蓬左文庫	12	4,000	A 4	8	関係機関、学校、 市民
名古屋市美術館ニュースア ートペーパー No.99～No.101	美術館	8・ 12・3	各5,000	A 2 2つ折り	4	市民
「びじゅつ びっくり たま てばこ」案内スケジュール	美術館	3	36,000	A 4	2	市民
名古屋市美術館年間案内	美術館	3	20,000	A 4 4つ折り	8	市民
アサラスコープ No. 410～No. 412	科学館	7	25,000	A 4	8	学校、公所、同種 施設、市民
		9	20,000		4	
		3	25,000		8	
名古屋市科学館要覧 (平成27年度)	科学館	8	350	A 4	71	同種施設、関係機 関
科学館紀要 No.42	科学館	3	300	A 4	61	同種施設、関係機 関
事業案内	教育センター	3	800	A 4	49	学校(園)、公所

名 称	担当課等	時期 (月)	部数	形式	ページ	主な配布対象
教育センターNAGOYA No.69～No.71	教育センター	4	12, 000	A 4	16	学校(園)、公所
		10	各 11, 500		8	
		2			8	
教育研究員研究要録	教育センター	3	130	C D	500	教育研究所
「ハートフレンドなごや」 リーフレット	教育センター	3	9, 000	A 4 3つ折り		学校(園)、公所
名古屋教育史資料編	教育センター	3	1, 100	D V D		事務局各課室、公所、関係機関、学校(園)
なごや子ども体験活動情報 「わくわくキッズナビ 2015」	子ども青少年局 青少年家庭課	7	162, 000	A 4	24	学校、関係機関

2 教 育 年 表

(平成27年4月～平成28年3月)

▲印は、名古屋市の教育に係るのあるものを示す。

月 日	事 項
4. 1	改正地方教育行政法が施行。教育行政における首長の権限強化
28	文部科学省、与野党の「選挙権年齢に関するプロジェクトチーム」において高校生の政治活動規制を緩和する方針を説明
30	文部科学省、「性同一性障害」の児童・生徒の学校生活に支障がないよう配慮することを各教育委員会等に通知
5. 13	改正文部科学省設置法が成立。東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け10月にスポーツ庁設置
19	文部科学・厚生労働両省の調査。平成27年3月大学卒業者の就職率は4月1日時点で96.7%、リーマンショック直前の平成20年春に次ぐ2番目の高水準
6. 1	▲名古屋市私立高等学校授業料補助に係るあり方懇談会を開催 ▲中区で子ども適応相談センター第2サテライトスクールを開始
2	文部科学省、学校図書館調査の結果を発表。学校司書の配置率は小学校54.3%、中学校53.0%で5割を初めて超える
17	選挙権年齢を「18歳以上」とする改正公職選挙法が成立
25	文部科学省の地方教育費調査。地方自治体が支出した平成25年度の教育予算は15兆6,732億円で4年連続の減少
7. 3	文部科学省、教科化される道徳の学習指導要領の解説を公表
27	文部科学省の勤務実態調査。公立小中学校の教職員は1日平均10～13時間、自宅でも約2時間が仕事
31	文部科学省、虐待等が原因で児童相談所に一時保護されている子どもの進路保障のため、学校に行けない期間も適切な指導があれば出席扱いとするよう通知
8. 5	文部科学省初の実態調査。義務教育段階の不登校児を支援するフリースクール等の民間施設が全国に474か所あり、少なくとも4,169人の小中学生が在籍していることが判明
28	文部科学省が平成28年度予算概算要求を発表。一般会計総額は前年度比9.8%増の5兆8,552億円、うちスポーツ関連予算を過去最高額の367億円を要求
9. 29	文部科学省、選挙権年齢の引き下げを受けて高校生向けに主権者教育の副教材を作成。高校等の全生徒に配布へ

10. 5	大村智北里大学特別名誉教授が平成27年のノーベル生理学・医学賞を受賞
6	梶田隆章東京大学宇宙線研究所所長が平成27年のノーベル物理学賞を受賞
7	第3次安倍改造内閣が発足し、文部科学大臣は馳浩氏が就任
11	スポーツ庁の平成26年度「体力・運動能力調査」。多くの年齢で子どもの運動能力が平成10年以降最高となるもピーク時の昭和60年には及ばず
11. 24	財政制度等審議会、人口減少に合わせ9年間で公立小中学校などの教員を3万7,000人削減する平成28年度予算案編成に関する建議を麻生太郎財務相に提出
12. 11	スポーツ庁、「全国体力・運動能力、運動慣習等調査」(全国体力テスト)の結果を公表。女子の成績が過去最高。一方ボール投げ等では課題も
21	中央教育審議会、スクールカウンセラーや部活動指導員等を法令上「学校に必要な職員」として位置付ける「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について(答申)」を取りまとめる。
24	政府、平成28年度の政府予算案を決定。文部科学省の一般会計予算案は前年度比0.2%減の5兆3,216億円 文部科学省の「公立学校教職員人事行政調査」。平成26年度に精神疾患で休職した公立学校教員は5,045人で、全教員の0.55%
1. 20	文部科学・厚生労働両省の調査。平成28年3月卒業予定の大学生の就職内定率は80.4%(平成27年12月1日時点)で、5年連続上昇
25	馳文部科学相、「チーム学校」や教員養成の改善等を求めた中央教育審議会の3答申の具体化に向けた「次世代の学校・地域」創生プランを発表
2. 10	東京大学、初めて実施した推薦入試で出願者173人のうち77人が合格したと発表
27	文部科学省、英語教員に最低限必要な能力や習得メニューを示したコアカリキュラムのモデル案を公表。平成30年度以降、大学の教員養成課程で実施へ
3. 22	政府の「まち・ひと・しごと創生本部」、文化庁を数年中に京都へ全面移転する等の基本方針を決定
25	スポーツ庁、多発する組体操の事故について、一律の規制は行わず各学校の判断に委ねた上で、「確実に安全でない場合」は中止すること等を通知

3 中学校区一覧

(平成28年4月1日現在)

区名	中学校名	学区関係小学校名
千種	今 池 城 山 東 星 千 種 台 千 種 振 甫 若 水	内 山 千 種 千 石 田 代 見 付 東 山 星 ケ 丘 自由ケ丘 富士見台 宮 根 千代田橋 大 和 上 野 春 岡 高 見
東	あ ず ま 富 士 桜 丘 矢 田	筒 井 葵 東 桜 山 吹 東 白 壁 旭 丘 明 倫 矢 田 砂 田 橋
北	若 葉 志 賀 北 陵 大 曾 根 八 王 子 楠 北	杉 村 名 北 金 城 光 城 川 中 辻 東 志 賀 城 北 飯 田 宮 前 六 郷 六 郷 北 大 杉 清 水 楠 楠 如 意 楠 西 味 鉦 西 味 鉦

区名	中学校名	学区関係小学校名
西	浄 心 菊 井 名 塚 天 神 山 山 田 平 田 山 田 東	上名古屋 城 西 児 玉 な ご や 庄 内 稲 生 榎 栄 生 枇杷島 南 押 切 山 田 中小田井 平 田 浮 野 大 野 木 比 良 比 良 西
中村	豊 国 笹 島 笈 瀬 御 田 豊 正 黄 金 日 比 津	日 吉 千 成 笹 島 ほ の か 柳 岩 塚 八 社 中 村 稲 葉 地 稲 西 牧 野 米 野 豊 臣 日 比 津 諏 訪
中	前 津 丸 の 内 伊 勢 山	栄 大 須 名 城 御 園 松 原 橘 平 和 正 木

区名	中学校名	学区関係小学校名
中	白 山	新 栄 老 松 千 早
昭和	桜 山 北 山 川 名 駒 方 円 上	松 栄 御 器 所 鶴 舞 吹 上 川 原 伊 勝 滝 川 広 路 八 事 村 雲 白 金
瑞穂	田 光 瑞穂ヶ丘 萩 山 汐 路 津 賀 田	堀 田 穂 波 御 劔 高 田 弥 富 中 根 豊 岡 汐 路 陽 明 瑞 穂 井 戸 田
熱田	沢 上 宮 日 比 野	高 蔵 旗 屋 千 年 白 鳥 船 方 野 立 大 宝
中川	一 色 長 良 山 王 一 柳 高 杉 八 幡 昭 和 橋	正 色 五 反 田 愛 知 常 磐 篠 原 広 見 露 橋 八 熊 荒 子 野 田 中 島 島 八 幡 昭 和 橋 玉 川

区名	中学校名	学区関係小学校名
中川	富 田 供 米 田 助 光 は と り	春 田 明 正 戸 田 豊 治 長 須 賀 西 前 田 千 音 寺 赤 星 万 場
港	港 南 港 北 当 知 宝 神 東 港 港 明 南 陽 南 陽 東	大 手 稲 永 野 跡 小 碓 正 保 明 徳 当 知 港 西 高 木 神 宮 寺 東 築 地 西 築 地 港 楽 中 川 東 海 成 章 福 田 西 福 田 福 田 福 春 陽
南	本 城 新 郊 桜 田 大 江 明 豊 名 南	笠 寺 笠 東 星 崎 呼 続 大 磯 桜 住 春 日 野 菊 田 道 徳 豊 田 伝 馬 明 治 柴 田 白 水 鳥

区名	中学校名	学区関係小学校名
南	南 光	大 生 宝 宝 南
守山	守 山 守 山 北 守 山 東 大 森 森 孝 守 山 西 志 段 味 吉 根	守 山 西 城 廿 軒 家 小 幡 北 白 沢 小 幡 苗 代 大 森 大 森 北 天 子 田 森 孝 西 本 地 丘 森 孝 東 二 城 鳥 羽 見 瀬 古 志 段 味 東 下 志 段 味 志 段 味 西 吉 根
緑	鳴 海 左 京 山 滝 ノ 水 扇 台 鎌 倉 台 千 鳥 丘 東 陵 鳴 子 台 神 沢 有 松	鳴 海 相 原 緑 平 子 旭 出 滝 ノ 水 小 坂 鳴海東部 徳 重 常 安 大 清 水 片 平 浦 里 東 丘 太 子 鳴 子 長 根 台 戸 笠 黒 石 桃 山 有 松 桶 狭 間 南 陵

区名	中学校名	学区関係小学校名
緑	大 高 神 の 倉	大 高 大 高 南 大 高 北 神 の 倉 熊 の 前
名東	猪 高 上 社 藤 森 猪 子 石 香 流 神 丘 高 針 台 牧 の 池	猪 高 猪 子 石 北 一 社 上 社 本 郷 藤 が 丘 豊 が 丘 蓬 来 平和が丘 香 流 引 山 西 山 名 東 高 針 極 楽 貴 船 前 山 梅 森 坂 牧 の 原
天白	天 白 植 田 南 天 白 平 針 原 方 久 山 御 幸 山	天 白 山 根 植 田 植 田 北 植 田 南 植 田 東 野 並 平 針 平 針 南 原 平 針 北 高 坂 相 生 しまだ 八 事 東 表 山 大 坪

教 育 要 覧

平 成 28 年 版

発 行 名 古 屋 市 教 育 委 員 会

編 集 名古屋市教育委員会事務局
総 務 部 企 画 経 理 課

発行年月 平 成 2 8 年 9 月

この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。